福井県埋蔵文化財調査報告　第173集

福井城跡

—ＪＲ北陸線外２線連続立体交差事業に伴う調査—

第１分冊　遺構編

２０２１

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

序　　文

福井城跡である福井市中心部は、かつて北庄と呼ばれ、北陸道と足羽川の交差する交通・流通の要衝として発展してきました。越前統治の拠点として栄えた一乗谷の焼亡後、柴田勝家の居城となる北庄城が築かれ、北庄が新たな拠点となりました。その後、越前へ入府した結城秀康は北庄城を大幅に改修して、新たな城下町を造営しました。それが現在の市街地の基礎となり、近代以降の鉄道や戦後の道路等新たに敷設されたものを除くと、城下の小路等はそのまま引き継がれています。また、松平忠昌が北庄を改称し、福居庄・福居から福井へと名称が変遷・定着して現在に至ります。ただし、明治維新とともに役割を終えた福井城は、外堀から順に埋め立てられて市街地化し、現在は本丸の堀と石垣を残すのみとなっています。

このたび、福井駅周辺連続立体交差事業のえちぜん鉄道高架工事に伴い、発掘調査を実施しました。調査面積は6,580m^{2}に及びましたが、範囲は福井駅から北へ約800ｍ・幅８ｍ前後と非常に狭長なものです。そのため、今回の調査範囲の成果だけでは、広大な福井城下のごく一部を覗いたにすぎません。しかし、隣接する北陸本線高架工事や北陸新幹線駅部工事等に伴う発掘調査、周辺の駅西口地下駐車場建設に伴う発掘調査、そして福井市が実施した発掘調査の各成果をあわせると、福井城の曲輪の形状や位置、屋敷地の区画や変遷等が分かるようになってきました。ただし、調査地点が福井駅周辺に偏り、福井城全体としては未調査部分が多いため、今後の調査例の増加と、当時の生活を窺い得るより詳細な成果が期待されます。

失われた福井城に関する調査・研究はいまだ端緒に就いたばかりです。本書が埋蔵文化財としての福井城跡に対する理解を深める手がかりとなり、また、学術研究、郷土史研究、学校教育等、各方面で広く活用されることを願ってやみません。

最後になりましたが、発掘調査の実施から報告書の刊行に至るまで、多大なご協力とご配慮を頂きました関係各位・関係機関の皆様方に、深く感謝申し上げます。

令和３年３月

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
所長　赤　澤　徳　明

例　　言

1　本書は、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターがJR北陸線外２線連続立体交差事業に伴い、平成18年度から28年度にかけて実施した福井城跡（福井県福井市中央１丁目、大手１・２丁目、日之出１丁目、宝永１丁目所在）の発掘調査報告書である。報告書は第１分冊遺構編、第２分冊遺物編で構成され、本書は第１分冊遺構編にあたる。また、連続立体交差事業に伴う福井城跡調査報告書は複数刊行されているため、本書については「えちぜん鉄道地点」の通称を用いた。

2　福井城跡の調査は、福井県福井駅周辺整備事務所の依頼を受けて福井県教育庁埋蔵文化財調査センターが実施し、本多達哉、青木隆佳、中原義史、櫛部正典、中森敏晴、御嶽貞義、野路昌嗣、白川 綾、山本孝一、田中祐二、田中勝之、中島啓太、秋山綾子、安達俊一、木村茉莉が担当した。

3　発掘調査は、平成18年８月１日から平成18年９月29日まで（FKJ06－5）、平成25年８月１日から９月30日まで（FKJ13－1・2）、平成26年10月１日から11月28日まで（FKJ14－2）、平成27年11月１日から平成28年５月31日まで（FKJ15－3～6）の５カ年度にわたって実施した。

4　本書の編集は中原があたり、青木、中原、中森、御嶽、野路、白川、山本、田中勝之、中島、秋山、岩田隆が分担して執筆した。執筆分担は以下のとおりである。

第１・２章・第３章第１節：中原　　第３章第２節：中森　野路　　第３章第３節：中島

第３章第４節：中原　中森　中島　山本　　第３章第５節：白川　青木　秋山　御嶽

第３章第６節：田中　　第３章第７節：御嶽

5　調査区全体図の合成は株式会社吉田組に委託した。

6　福井城跡に関するこれまでの成果の発表のうち、本書と齟齬のある場合は、本書をもって訂正したものと了解されたい。

7　本書における水平レベルの表示は海抜高（m）を示し、方位は座標北を用いた。また、X・Y座標値は、国土方眼座標第Ⅵ系に基づく。

8　本書に掲載した遺物と調査に際して作成した図面・写真は、一括して福井県教育庁埋蔵文化財調査センターに保管してある。

9　発掘調査には地元の方々の参加･協力を得た。また、遺物整理作業は、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターの整理・普及グループ職員および整理作業員があたった。

10　福井城跡の調査区番号は、遺跡の略号FKJと調査年次および調査番号（試掘調査・工事立会を含む）からなる。えちぜん鉄道地点の調査区番号は、FKJ06－5、13－1・2、14－1・2、15－3～6である。

11　本遺跡の所在地は、中世から柴田勝家の時代、さらに結城秀康入国後の17世紀初めまで、「北庄」と呼ばれていた。その後、寛永元年（1624）に「福居庄」「福居」へと改称され、さらに元禄年間（1688～1704）から「福井」が広く使われるようになっていった。しかし、このような変遷を記述に反映させると煩雑になるため、本書では柴田勝家築城の城を北庄城、結城秀康築城の城を福井城と表記し、遺跡名としては北庄城の時期を含めて福井城跡と総称する。また、慶長６年（1601）の結城秀康の越前入国・福井城の築城開始を以て近世の始まりとする。

12　本書で使う福井城の曲輪等の名称は、福井県文書館所蔵 山内秋郎家文書「福井藩家中絵図」（＝「戊午屋舗絵図」）による幕末頃の呼称である。ただし、堀の名称は百間堀、漆ヶ淵、外堀等のほかに知られないため、便宜上、土橋北側の三ノ丸と松原の間の堀を三ノ丸東堀、元割場の北東にあたる堀を割場北堀と称して報告する。

13　土層断面図の土色は、小山正忠･竹原秀雄編　新版『標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局 監修･財団法人日本色彩研究所 色票監修に拠る。

目　　次

第１章　調査の経緯
　第１節　調査に至る経緯……………………………………………………………………………………… 1
　第２節　調査の経過…………………………………………………………………………………………… 2

第２章　位置と環境 …………………………………………………………………………………………… 4

第３章　遺　構
第１節　基本層序……………………………………………………………………………………………… 7
第２節　FKJ13－1・2、15－3 調査区 ……………………………………………………………………… 10
第３節　FKJ14－2 調査区 …………………………………………………………………………………… 39
第４節　FKJ14－1、15－4 調査区 …………………………………………………………………………… 49
第５節　FKJ15－5 調査区 …………………………………………………………………………………… 89
第６節　FKJ15－6 調査区 ……………………………………………………………………………………123
第７節　FKJ06－5 調査区 ……………………………………………………………………………………144

写真図版目次

図版第１　FKJ13－1・2 調査区
（1）FKJ13－1 調査区北半部全景（北東から）
（2）FKJ13－1 調査区南半部全景（北東から）
（3）FKJ13－2 調査区全景（北東から）
（4）廃棄土坑 131－1（北西から）
（5）土坑 132－1 遺物出土状況（北東から）
（6）土坑 132－1（北東から）
図版第２　FKJ15－3 調査区１
（1）砂利敷道路 153－1 1区（南西から）
（2）土坑 153－12（南西から）
（3）土坑 153－13（南西から）
（4）暗渠 153－14（西から）
（5）小穴 153－9（南東から）
（6）溝 153－15（北西から）
図版第３　FKJ15－3 調査区２
（1）砂利敷道路 153－1 2区（北から）
（2）越前甕敷 153－17（南西から）
（3）土坑 153－19（南西から）
（4）溝状土坑 153－18（北西から）
（5）溝状土坑 153－18 近接（南東から）
（6）小穴 153 － 23（南から）
（7）溝 153－24・25（北から）
図版第４　FKJ15－3 調査区３
（1）３区全景（南西から）
（2）土坑 153－38（南から）
（3）礎石列 153－49（北東から）
（4）土坑 153－50（南から）
（5）土坑 153－44・集石 153－74（東から）
（6）畝状遺構、土坑 153－59・60・61（南から）
（7）井戸 153－63 土層断面（北から）
図版第５　FKJ15－3 調査区４
（1）土坑 153－55（南東から）
（2）石組溜枡 153－81（南東から）
（3）礎石列 153－95（南東から）
（4）礎石列 153－89（西から）
（5）土坑 153－84（南東から）
（6）土坑 153－84 漆椀出土状況（南西から）
（7）砂利敷道路 153－1　B2 区（東から）
（8）石組溝 153－106（東から）
図版第６　FKJ15－3 調査区５
（1）土坑 153－105・石組溝 153－106（南東から）
（2）土坑 153－105 石組（南から）
（3）土坑 153－105 遺物出土状況（東から）
（4）溝 153－109（北西から）
（5）土坑 153－113（南東から）
（6）井戸 153－115（南東から）
（7）井戸 153－115 井戸側（南東から）
（8）井戸 153－115 石塔出土状況（東から）
図版第７　FKJ14－2 調査区１
（1）中之馬場北面石垣（北から）
（2）割場西面石垣（南から）
図版第８　FKJ14－2 調査区２
（1）土橋北面石垣（北から）
（2）土橋南面石垣（南から）
図版第９　FKJ14－2 調査区３
（1）土橋遠景（西から）

（２）石垣刻印
（３）石垣墨書
（４）土橋南面石垣崩落状況（南から）
（５）土橋土層断面・噴砂（東から）
図版第 10　FKJ15－4 調査区 1
（１）Ⅲ街区近世上面全景（南東から）
（２）Ⅲ街区近世下面全景（南東から）
（３）土坑 154－43（西から）
（４）廃棄土坑 154－33 土層断面（南から）
（５）井戸 154－9 井戸側半裁状況（南西から）
（６）井戸 154－46 石組半裁状況（北西から）
（７）溝 154－49（西から）
図版第 11　FKJ15－4 調査区 2
（１）Ⅳ街区近世・中世面（北東から）
（２）Ⅳ街区中世面（北東から）
（３）土坑 154－34 遺物出土状況（南西から）
（４）溝 154－8（西から）
（５）溝 154－36（西から）
（６）落込み 154－25（西から）
（７）自然流路 154－10（東から）
（８）溝 154－26（北から）
図版第 12　FKJ15－4 調査区 3
（１）割場北堀 154－53 完掘状況（南西から）
（２）割場北面石垣 154－12 胴木検出状況(南西から)
（３）割場北面石垣 154－12 胴木検出状況（西から）
（４）割場北面石垣 154－12 胴木検出状況(南西から)
（５）割場北面石垣 154－12 胴木検出状況（西から）
（６）割場北面石垣 154－12 胴木検出状況（南西から）
図版第 13　FKJ15－4 調査区 4
（１）松原南面石垣 154－52（南西から）
（２）松原南面石垣 154－52（西から）
（３）松原南面石垣 154－52 断面（西から）
（４）石組井戸 154－74（南東から）
（５）井戸 154－100（南東から）
（６）道路砂利敷 154－63（西から）
（７）道路遺構 154－63・64・67・68（北西から）
（８）河川 154－69（北東から）
図版第 14　FKJ15－4 調査区 5
（１）Ⅴ街区近世・中世面（南西から）
（２）Ⅴ街区近世・中世面（北西から）
図版第 15　FKJ15－4 調査区 6
（１）Ⅴ街区古代面（北東から）
（２）Ⅴ街区古代面（北東から）
（３）導水管 154－130 部分（西から）
（４）小穴 154－109 上層遺物出土状況（南東から）
（５）井戸 154－73 曲物出土状況（北東から）
図版第 16　FKJ15－5 調査区 1
（１）調査区全景（北東から）
（２）北端部全景（南西から）
（３）中央部Ｈ１区付近（北東から）
（４）石列 155－38（北から）
（５）石列 155－6（西から）
（６）竹樋 2（北東から）
（７）土坑 155－86（北西から）
図版第 17　FKJ15－5 調査区 2
（１）溝 155－13・84（南東から）
（２）溝 155－57・113・114（南東から）
（３）溝 155－30（北から）
（４）土坑 155－16（北西から）
（５） 井戸 155－63（南東から）
（６）土坑 155－139（南から）
（７）土坑 155－88 遺物出土状況（北西から）
（８）井戸 155－72 曲物出土状況（南西から）
図版第 18　FKJ15－5 調査区 3
（１）池状遺構 155－18（南東から）
（２）溝 155－15（北西から）
図版第 19　FKJ15－6 調査区 1
（１）屋敷地Ⅶ－1（北東から）
（２）井戸 156－115（北西から）
（３）土坑 156－112（南東から）
（４）区画溝 156－148 東側石列（北東から）
（５）区画溝 156－148 西側石列（南東から）
（６）区画溝 156－148 東半部（南から）
（７）区画溝 156－148 南西端（南西から）
図版第 20　FKJ15－6 調査区 2
（１）屋敷地Ⅷ－1（南西から）
（２）池状遺構 156－52 の木組･石組検出状況（西から）
図版第 21　FKJ15－6 調査区 3
（１）土坑 156－14 遺物出土状況（北から）
（２）井戸 156－7 井戸側断ち割り状況（南東から）
（３）井戸 156－55（南東から）
（４）土坑 156－14（西から）
（５）土坑 156－54（南東から）
図版第 22　FKJ15－6 調査区 4
（１）屋敷地Ⅷ－2（北東から）
（２）土坑 156－67 遺物出土状況（北から）
（３）土坑 156－108 遺物出土状況（南東から）
（４）小穴 156－128 埋設桶検出状況（西から）
（５）小穴 156－142 遺物出土状況（西から）
図版第 23　FKJ15－6 調査区 5
（１）区画溝 156－144・145（北東から）
（２）砂利敷道路 156－151･区画溝 156－144（北東から）
（３）石列 156－152（東から）
（４）区画溝 156－145（南東から）
（５）区画溝 156－144（北から）
図版第 24　FKJ15－6 調査区 6
（１）区画溝 156－144 の栗石と暗渠（東から）
（２）区画溝 156－144 暗渠（西から）
（３）区画溝 156－144 胴木組（北から）
（４）区画溝 156－153（北から）
（５）区画溝 156－153 暗渠 1（西から）
（６）区画溝 156－153 暗渠 2（西から）
（７）区画溝 156－153 掘方（北から）
（８）区画溝 156－144・153 土層堆積状況（北西から）
図版第 25　FKJ15－6 調査区 7
（１）外堀 156－156（南西から）

（2）石垣156－161上層（南西から）
（3）石垣156－161下層（南西から）
（4）石垣156－161下層胴木組（西から）
（5）石垣156－161の断ち割り状況（西から）
図版第26　FKJ06－5調査区1全景
（1）上層全景（南東から）
（2）上層全景（北西から）
（3）下層全景（南東から）
（4）下層全景（北西から）
図版第27　FKJ06－5調査区2
（1）石組水路065－2（南東から）
（2）洗い場065－121（南東から）
（3）石組水路065－2（北西から）
（4）洗い場065－121（北西から）
（5）石組水路065－2（北から）
（6）洗い場065－121（北から）
（7）石組水路065－2（南西から）
（8）石組水路065－2西岸・洗い場065－121対岸（西から）
図版第28　FKJ06－5調査区3
（1）柱穴065－53（南西から）
（2）埋甕065－83（北から）
（3）廃棄土坑065－43（南から）
（4）廃棄土坑065－102（西から）
（5）便所跡065－3・1（南から）
（6）便所跡065－61・62（南東から）
（7）石列065－135・砂利敷道路065－124（西から）
（8）砂利敷道路065－124（南西から）

挿図目次

第1図　調査地の位置図…… 1
第2図　調査区・グリッド図…… 3
第3図　城下町割り・調査区対照図（近世初頭）… 5
第4図　城下町割り・調査区対照図（近世後期）… 6
第5図　基本層序模式図①…… 8
第6図　基本層序模式図②…… 9
第7図　FKJ13－1・2、15－3調査区全体図 … 11・12
第8図　153－1・24・25・26・32…… 13
第9図　153－1・17・18・19・23…… 14
第10図　132－1・7・8・9 …… 15
第11図　153－1・14・16…… 16
第12図　153－1・2・3・4・5・6・15 …… 17
第13図　153－3・4・8・9・10・11・12・13 …… 18
第14図　131－1・2 …… 19
第15図　153－38・80・91・畝状遺構 …… 20
第16図　153－50・51・53・54・55・62 …… 21
第17図　153－56・57・58・64・66・67・68・69・70・79…… 22
第18図　153－59・60・61 …… 23
第19図　153－41・42・46・63・65 …… 24
第20図　153－40・73・75・83・85・86・87・100・G8東西ベルト …… 25
第21図　H9区南北畔東側土層断面 …… 26
第22図　153－36・37・48・49・74・76・81…… 27
第23図　I9－10杭南側トレンチ …… 28
第24図　153－105・114 …… 29
第25図　153－105・106 …… 30
第26図　153－107・108 …… 31
第27図　153－111・115 …… 32
第28図　153－115・116・117…… 33
第29図　153－109・110・112・113 …… 34
第30図　153－1・トレンチ4…… 35
第31図　FKJ15－3調査区下層全体図 …… 36
第32図　153－24・26・28・29・30 …… 37
第33図　153－88・89・90・95・96・101・104…… 38
第34図　FJ14－2調査区全体図…… 40
第35図　中之馬場北面石垣…… 41
第36図　土橋南面石垣…… 42
第37図　土橋北面石垣…… 43
第38図　割場西面石垣…… 44
第39図　FKJ14－2－1調査区土層断面図 …… 45
第40図　FKJ14－2－2調査区土層断面図① …… 46
第41図　FKJ14－2－2調査区土層断面図② …… 47
第42図　FKJ14－2－3調査区土層断面図 …… 48
第43図　割場北面石垣試料採取・遺物出土状況図… 50
第44図　FKJ14－1、15－4調査区全体図・近世… 51・52
第45図　154－9・14・23…… 53
第46図　154－33・37・43・47・48 …… 54
第47図　154－1・13・20・21・35…… 55
第48図　割場北面石垣・松原南面石垣…… 57
第49図　割場北面石垣・松原南面石垣・割場北堀・154－69 …… 59
第50図　154－57・58・78・80 …… 62
第51図　154－51・54・55・56・60 …… 63
第52図　154－86・87・90・91 …… 64
第53図　154－92・93・94・96 …… 65
第54図　154－74・100…… 66
第55図　154－104・105・107・110・113・114…… 67
第56図　154－130・131 …… 68
第57図　FKJ15－4調査区全体図・中世 …… 69
第58図　Ⅲ・Ⅳ街区中世面遺構配置図…… 70
第59図　154－28・30・34・46・49・50 …… 71
第60図　Ⅴ街区中世上面遺構配置図…… 72
第61図　154－63・64・66・67・68 …… 73
第62図　154－64・73 …… 74

第63図　154－76・77・82 ………………………………… 75
第64図　154－75・79・81・83・85・89・95・
97・98…………………………………………… 76
第65図　154－101・102・108・109 …………………… 77
第66図　Ⅴ街区中世下面遺構配置図………………… 78
第67図　154－69 …………………………………… 79・80
第68図　Ⅳ街区古代面遺構配置図…………………… 81
第69図　154－2・3・8・10・17・18・26・31 …… 82
第70図　154－27・32 ……………………………… 83
第71図　Ⅴ街区古代上面遺構配置図………………… 84
第72図　Ⅴ街区古代下面遺構配置図………………… 85
第73図　154－84・145……………………………… 86
第74図　154－143・144 …………………………… 87
第75図　154－70・71・72 ………………………… 88
第76図　FKJ15－5調査区全体図 …………………… 91
第77図　155－6・38・111 ………………………… 93
第78図　1面目　G・H区周辺の遺構配置図 ……… 94
第79図　155－5・7・8・9・10・11・12、
竹樋1・2………………………………………… 95
第80図　155－43・44・71・91 …………………… 96
第81図　155－23・86 ……………………………… 97
第82図　155－104・117・136……………………… 98
第83図　2・3面目
G9グリッド周辺の遺構変遷1・2 ……… 99
第84図　2・3面目
G9グリッド周辺の遺構変遷3・4 …… 100
第85図　155－25・58・62・79・80・81・82・
113・114・133・164…………………………… 101
第86図　2・3面目　155－13・57・58・80・82・
84・98・113・114……………………………… 102
第87図　2・3面目　155－13・84 ……………… 103
第88図　155－32・34・35・42・47・53・54・
103・137………………………………………… 104
第89図　2面目　155－83・87・99・108………… 105
第90図　2面目　H1・10区付近の遺構配置図、
155－93・97 …………………………………… 106
第91図　2面目　155－16・88 …………………… 107
第92図　155－60・63・64・74・96・116………… 108
第93図　155－52・72 ……………………………… 109
第94図　155－28・29・30・31 …………………… 110
第95図　155－24・27・37 ………………………… 111
第96図　155－18 …………………………………… 112
第97図　155－18の変遷…………………………… 113
第98図　Ⅵ街区北半部遺構配置図 ……………… 114
第99図　155－138・139・142・150・
154・155 ………………………………………… 115
第100図　155－143・151・152・153・162 …… 116
第101図　Ⅵ街区北半部土層断面図 ……………… 117
第102図　155－15 ………………………………… 118
第103図　トレンチ1 ……………………… 119・120
第104図　下層確認トレンチ1・3・5・6 … 121
第105図　下層確認トレンチ配置図 ……………… 122
第106図　FKJ15－6調査区全体図………… 125・126
第107図　屋敷地Ⅶ－1遺構配置図……………… 127
第108図　156－112・113・115・118・119 …… 128
第109図　156－1・148 …………………………… 129
第110図　屋敷地Ⅷ－1西側遺構配置図………… 130
第111図　156－7・14 …………………………… 131
第112図　屋敷地Ⅷ－1東側遺構配置図・156－48・
53・54・55 ……………………………………… 132
第113図　156－51・52・53 ……………………… 133
第114図　屋敷地Ⅷ－2遺構配置図……………… 134
第115図　156－60・62・64・67・68・84・99・
96・108・109・128・142 ……………………… 135
第116図　156－151付近遺構配置図 …………… 137
第117図　156－144・151・153等 ……………… 138
第118図　156－144 ……………………………… 139
第119図　156－153 ……………………………… 140
第120図　外堀（156－156）付近遺構配置図・
断面図 …………………………………… 141・142
第121図　156－161 ……………………………… 143
第122図　FKJ06－5調査区全体図……………… 145
第123図　065－2・120・121 …………………… 146
第124図　調査区北部遺構配置図 ……………… 148
第125図　調査区北部遺構図1 ………………… 149
第126図　調査区北部遺構図2 ………………… 150
第127図　調査区中央部遺構配置図 …………… 151
第128図　調査区中央部遺構図1 ……………… 152
第129図　調査区中央部遺構図2 ……………… 153
第130図　調査区南部遺構配置図 ……………… 154
第131図　調査区南部遺構図 …………………… 155
第132図　065－20・124・135 …………………… 156
第133図　下層遺構 ……………………………… 157

表　目　次

第1表　調査経過一覧 ……………………………… 2
第2表　FKJ13－1調査区遺構観察表 …………… 158
第3表　FKJ13－2調査区遺構観察表 …………… 158
第4表　FKJ14－1調査区遺構観察表 …………… 158
第5表　FKJ14－2調査区遺構観察表 …………… 158
第6表　FKJ15－3調査区遺構観察表 … 158・159・160
第7表　FKJ15－4調査区遺構観察表 … 160・161・162
第8表　FKJ15－5調査区遺構観察表 … 162・163・164
第9表　FKJ15－6調査区遺構観察表 … 164・165・166
第10表　FKJ06－5調査区遺構観察表 … 166・167・168

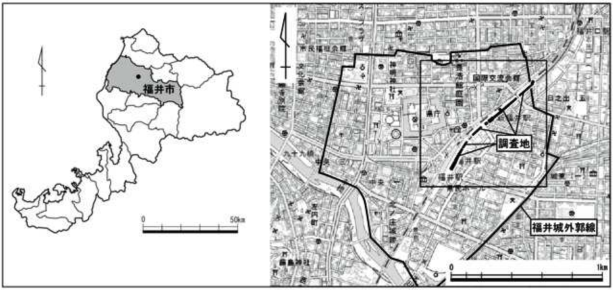
第１章　調査の経緯

第１節　調査に至る経緯

今回の調査は、福井駅付近のＪＲ北陸線外２線連続立体交差事業に伴い実施した。この事業は、福井駅周辺の鉄道による交通渋滞や市街地の分断状況を解消し、東西市街地の一体的な整備を目的に構想されたもので、平成４年に国の事業認可がなされた。工事予定地は、福井市みのり１丁目から開発町にかけての総延長3.3kmに及び、そのうち福井駅周辺の約1.4kmが周知の遺跡である福井城跡を縦断する予定であった。

このため、事業主体である福井県土木部都市計画課及び福井駅周辺整備事務所と福井県教育庁生涯学習・文化財課（現在）とは事前協議を重ね、ＪＲ線の高架化部分については、高架側道４号線、同５号線、ＪＲ福井駅部の３地区の着工時期に応じて、調査に着手することになった。高架側道４号線の調査は平成８年から10年まで、高架側道５号線地点の調査は平成10年から12年まで、ＪＲ福井駅部の調査は平成12年９月から平成14年６月まで、それぞれ降雪期の中断をはさみながら実施した。また、この工事に関連して、平成９年には仮跨線橋地点、平成11年には豊島地下道地点の調査を行った。さらに平成18年には、北陸新幹線の交差道路の一部について調査を行った（FKJ06−5）。これらの調査区について、FKJ06−5地区を除いては、平成26年度までに報告書を刊行した。

しかし、今回の連続立体交差事業のうち、えちぜん鉄道線部分については、当初、北陸新幹線との２階建て構造の高架化が予定されていたため、平成９年に仮線に移行して以後、北陸新幹線の着工の目途が立たないまま、未着工となっていた。この間、北陸新幹線の福井駅部分のみを先行着工することが認可され、平成17・18年にはこの部分の調査を行い、平成20年度には報告書を刊行した。この時点で、えちぜん鉄道線の高架化については、新幹線駅に乗り入れての暫定開業や、在来線駅への乗り入れなど、さまざまな案が検討されたが、平成23年に金沢から敦賀までの同時開業が認可されると、単独の高架化が決定した。これにより、えちぜん鉄道線の高架部の発掘調査に着手することになった（第１図）。



第１図　調査地の位置図（縮尺1/2,000,000・1/25,000）

第２節　調査の経過

えちぜん鉄道地点の調査は工事の進捗に合わせ、８つの調査区に分けて行われた（第２図・第１表）。えちぜん鉄道の高架線は仮線用地に建設することになったため、現仮線をさらに別の仮線に移設する必要があった。そのため、既に高架で完成していた北陸新幹線福井駅部を仮駅として利用することとなり、これへの取り付け線の工事に着手した。一方、仮線移設を待たずに着手できる地点については調査を進めることとなり、平成25年にはFKJ13－1・2調査区、平成26年にはFKJ14－2調査区の調査を行った。FKJ14－2調査区では、堀の中央部を調査対象から除外したため、調査区が３地区に細分されている（１～３区）。FKJ13－1・2調査区は平成25年８月１日に調査を開始し、９月30日に調査を終了した。また、FKJ14－2調査区は平成26年10月１日に調査を開始し、11月28日に調査を終了した。また、平成26年には仮設の新福井駅の駅舎橋脚部分について、立ち合い調査を行った（FKJ14－1調査区）。なお、先行して調査を行ったFKJ06－5調査区は、平成18年８月１日に調査を開始し、９月30日に調査を終了した。

平成27年９月には、えちぜん鉄道線の新仮線への移設が完了し、鉄道設備の撤去を待って、同年11月から調査に着手した。えちぜん鉄道の開業は平成30年秋の福井国体開催以前と決定していたことと、平成28年４月以降は北陸新幹線建設に伴う調査が急増する予定であったこともあり、この地区の調査期間は平成27年11月から平成28年５月までとなった。調査期間には大規模な調査対応が困難な降雪期を含むため、該当する調査区にテントを設置することで調査を実施した。なお、平成27年から発掘調査支援業務の委託を行った。委託先の内分けは第１表のとおりである。

FKJ15－3調査区は、平成27年11月１日に調査を開始し、平成28年４月30日に調査を終了した。全体を４地区（１～４区）に細分し、それぞれの地区を順次調査、引き渡しを行った。FKJ15－4地区は平成27年11月１日に調査を開始し、平成28年５月31日に調査を終了した。まず南側部分を調査、引き渡し後、北端部の調査を行った。FKJ15－5調査区は平成27年12月１日に調査を開始し、平成28年４月30日に調査を終了した。まず南側部分を調査、引き渡し後、北端部の調査を行った。FKJ15－6調査区は平成27年12月１日に調査を開始し、平成28年５月31日に調査を終了した。まず、南側部分を調査、引き渡し後、北端部の調査を行った。

今回の調査区におけるX・Y座標値は、これまでの福井城跡の調査成果との対照のしやすさを優先し、国土方眼座標系第Ⅵ系に基づくこととした。X座標では10m単位で西から東へ１～10の番号を、Y座標では10m単位で南から北へA～Jの番号を振り、それを組み合わせて10m四方のグリッドを設定した。

第１表　調査経過一覧

FKJ06－5調査区

平成18年８月１日	調査開始
９月30日	調査終了

FKJ13－1・2調査区

平成25年８月１日	調査開始
９月30日	調査終了

FKJ14－2調査区

平成26年10月１日	調査開始
11月28日	調査終了

FKJ15－3調査区

（発掘調査支援業務委託先：株式会社サンワコン）

平成27年11月１日	FKJ15－3－1調査区調査開始
平成28年１月６日	FKJ15－3－1調査区調査終了・ FKJ15－3－2調査区調査開始
２月４日	FKJ15－3－3調査区調査開始
２月10日	FKJ15－3－2調査区調査終了
３月18日	FKJ15－3－3調査区調査終了
３月22日	FKJ15－3－4調査区調査開始
４月30日	FKJ15－3－4調査区調査終了

FKJ15－4 調査区
（発掘調査支援業務委託先：国際文化財株式会社）

平成 27 年 11 月 1 日	Ⅳ街区調査開始
11 月 26 日	割場北堀周辺調査開始
12 月 2 日	Ⅲ街区調査開始
平成 28 年 2 月 12 日	Ⅲ・Ⅳ街区調査終了
3 月 11 日	割場北堀周辺調査終了
3 月 14 日	北端部調査開始
5 月 31 日	調査終了

FKJ15－5 調査区
（発掘調査支援業務委託先：株式会社島田組）

平成 27 年 12 月 1 日	調査開始
平成 28 年 4 月 1 日	北端部調査開始
4 月 30 日	調査終了

FKJ15－6 調査区
（発掘調査支援業務委託先：日本海航測株式会社）

平成 27 年 12 月 1 日	調査開始
平成 28 年 4 月 1 日	北端部調査開始
5 月 31 日	調査終了

第２図　調査区・グリッド図（縮尺1/5,000）

第２章　位置と環境

福井城跡をとりまく地理的・歴史的環境については、これまで当センターで刊行した福井城跡の報告書に詳述しており、本書ではその記載を省くこととする。ここでは、主に今回の調査区と近世城下町の町割りとの対応関係について述べる。

今回の調査区は、福井城本丸の東南方から東方に位置している。調査区付近の近世町割りは、城下絵図によると正保年間以前に変化している（第３・４図）。慶長18年頃の状況が描かれた「北之庄城郭図」と正保年間に描かれたとされる「御城下之図」では、後者で百間堀北側の武家屋敷地に新たに堀（割場北堀）が造られるとともに、百間堀の一部が埋め立てられ、武家屋敷地となっている。この時に造られた堀は、以前の絵図で川として描かれていたものと位置が重なり、その大部分が旧流路を利用したものと考えている。また、寛文９年（1669）の寛文大火後には、さらに、城下町の外郭にあたる外堀周辺に細い道路が増えるとともに、外堀外にも屋敷が設けられるようになった。また、百間堀南側の武家屋敷が広範囲に撤去され、「御菜園」等と称する火除け地となっている。

ここからは、各調査区と町割りとの関係について見ていく。FKJ13－2調査区とFKJ15－3調査区の南端部（FKJ15－3－2）は、近世を通して東側が「中之馬場」と称された道路に、西側が武家屋敷地に掛かっていると想定できる。FKJ13－1調査区とFKJ15－3調査区の中央部（FKJ15－3－1・3）は、やはり東側が中之馬場、南端部が道路交差点になっている。西側は大火以前には武家屋敷地であるが、その後には火除け地となっている。なお、町割り対照図では表記していないが、幕末から明治初めには、この火除け地の調査区にあたる部分が再び武家屋敷地となっている。FKJ15－3調査区の北端部（FKJ15－3－4）も中央部と同じ状況であるが、北側が百間堀に沿う道路となっている。

FKJ14－2調査区の南端部（FKJ14－2－1）は百間堀とその南側石垣、FKJ14－2調査区の中央部（FKJ14－2－2）は百間堀とそこに掛かる土橋、FKJ14－2－3調査区の北端部（FKJ14－2－3）は三ノ丸東堀と石垣にあたる。

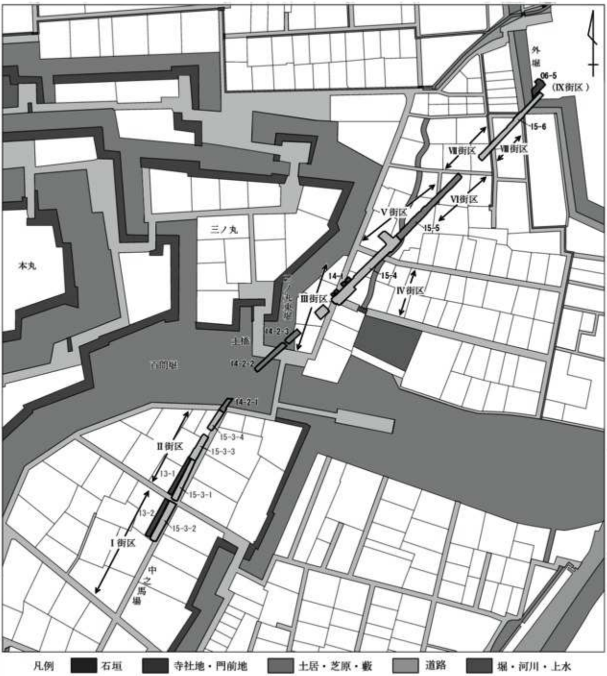
FKJ15－4調査区南端の飛び地状の地区は、近世を通じて武家屋敷地である。一方、残りの地区は南半分が大火以前に武家屋敷地や道路、大火後は堀やそれに沿う石垣、道路などとなっている。北半分は近世を通じて道路と武家屋敷地となっており、一部には近世以前から続く流路が掛かっている可能性がある。

FKJ15－5調査区は、ほとんどが武家屋敷地にあたり、北端部と中央部が道路に掛かる。南端部は先ほどの流路に掛かっている。

FKJ15－6調査区は、近世を通じて南端部と中央部に道路が掛かる。絵図では道路に沿って水路が描かれているが、これは九頭竜川の水を城下に引いている芝原上水の分流である。調査区北端部は、外堀の屈曲部にあたり、外堀の内側には土居があった。

FKJ06－5調査区は外堀とその外側に掛かり、大火後に武家屋敷地となった。調査区は、福井城下で最も外側の武家屋敷地に一部がかかっているが、その先の屋敷地内の調査を行うことはできなかった。

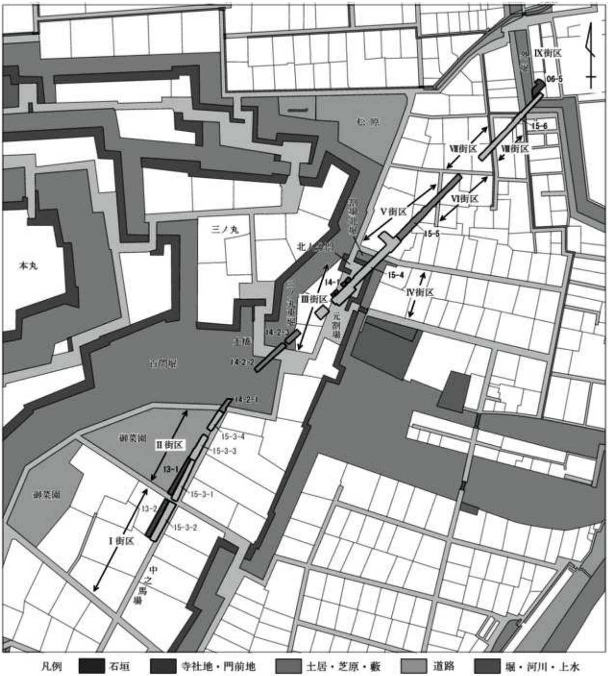
このような対応関係を基に、道路に挟まれた武家屋敷地に南から北へ８つの街区を設定した。FKJ13－2・FKJ15－3－2調査区がⅠ街区、FKJ13－1・FKJ15－3－1・3・4調査区がⅡ街区、FKJ15－4調査区の飛び地部がⅢ街区、FKJ15－4調査区の中央部がⅣ街区、FKJ15－4調査区の北端部とFKJ15－5調査区の南半部がⅤ街区、FKJ15－5調査区の北半部がⅥ街区、FKJ15－6調査区の南端部



第３図　城下町割り・調査区対照図（近世初頭）

がⅦ街区、中央部がⅧ街区、FKJ06－5調査区がⅨ街区に当たる。なお、FKJ15－4調査区については正保年間以前に新たに堀や枡形・道路が設けられ、Ⅳ街区にあたる武家屋敷地が道路や堀・土居へと変わっている。また、Ⅸ街区については、城下絵図によると近世初頭には屋敷等はなかったと想定できる。各街区について、さらに個々の武家屋敷地に細分できる部分もあるが、その対応関係については、第３章の各調査区の遺構解説の中で述べていくこととする。なお、本書で使用している堀および石垣の名称のうち、百間堀・外堀以外は、近世に使用されていたものではなく、今回の報告に際し新たに付けたものである。

柴田勝家築城の北庄城に関わる絵図は伝わっていないため、この時期の町割り復元の手がかりとな



第４図　城下町割り・調査区対照図（近世後期）

る資料はない。ＪＲ北陸線や北陸新幹線に関わる調査では、今回の調査区より南に位置する地点で、道路や側溝、門跡などが発見されているが、当調査区に隣接する地点では、当該期の遺構はごく少数で、町割りを復元できるものは見つかっていない。遺構が比較的まとまって検出できたのは、FKJ15－4調査区に隣接する、北陸新幹線地点のFKJ06－2調査区の一部で、自然河川と溝、土坑等が発見された。このような状況のため、この地点は当時の城下の縁辺部にあたっているものと考えている。

古代の遺構についても、FKJ15－4に隣接する、北陸新幹線地点のFKJ06－2調査区や高架側道４号線地点で、古墳時代から平安時代にかけての溝や柱穴群がまとまって検出されている。また、これらの地区では弥生土器や縄文土器も小片ながら出土しているが、当該期の遺構に伴うものはほとんどない。

第3章　遺　構

第1節　基本層序

現地表面の標高は9.0～8.0m前後であるが、今回の調査区は鉄道線の下になっていたため、鉄道施設の基礎や地盤改良工事の影響により、かなり深くまで破壊が及んでいた。このため、近世の生活面が残っている地点は限られていた（第5・6図）。

FKJ15－3調査区は道路部分の残存状況が他調査区よりは良く、一部では近世の道路上に近代の道路路盤が何面も重なっていた。近世道路面の標高は、FKJ15－3－1･2調査区で高く、7.6～7.7m程となっている。FKJ15－3－2調査区では道路路盤の下に、中世包含層を挟んで標高7.3m程で地山となっているが､FKJ15－3－1調査区では道路路盤直下の標高7.5m程で地山となっている。近世城下造成以前、FKJ15－3－1調査区周辺の標高が最も高かったことが分かる。ここからの百間堀にかけて、遺構面の標高が下がっていき、FKJ15－3－3調査区では、上層遺構面が7.3m程、下層遺構面が7.0m程となる。さらに、FKJ15－3－4調査区では近世道路面が6.8m程、その下の造成土を経て、標高6.1m程で地山となる。地山面は百間堀に向かって、さらに低くなっており、百間堀が近世以前、吉野川と呼ばれる自然河川であった状況を反映している。この調査区の地山は黄褐色粘質土となっている。

FKJ14－2調査区は近代の破壊が著しく、近世遺構の確認面は最も高い地点で6.7mである。ただし、石垣石材が2～3段程度しか残っていないことから考えると、近世の石垣や土橋上面はさらに高い位置にあったと想定できる。石垣構築面が地山と考えると、ここでは標高5.5m前後となる。

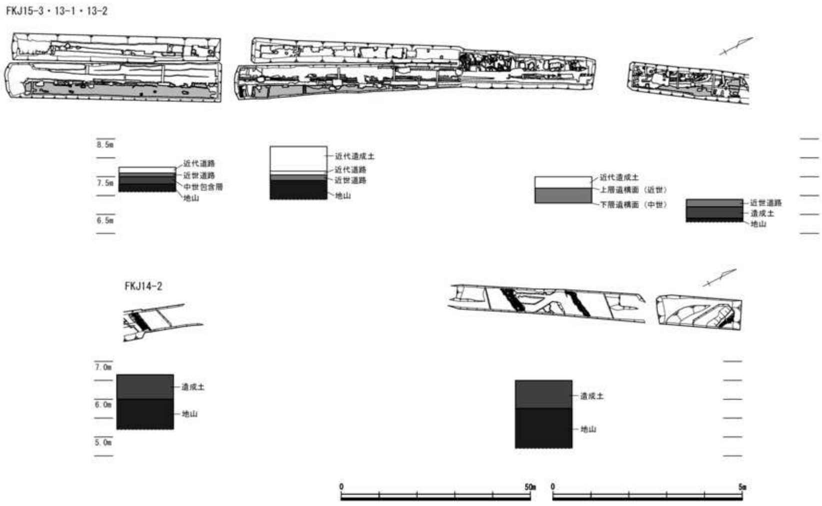
FKJ15－4調査区の内、南端の飛び地状の地区は、近世上面が標高7.0前後、近世下面が6.9m前後、中世面が標高6.8m前後でここが地山となる。調査区中央部は近世遺構面が全て失われており、近世遺構の内、最も高い位置で確認できたものは、標高7.0mにある。しかし、調査区壁面の層序や遺構から見ると、近世の遺構面は標高7.5mの位置にあったと考えられる。古代・中世の遺構面は6.9mの位置にあり、ここの黄褐色粘質土が地山となる。調査区中央部の堀周辺は石垣の根石や胴木のみが残存する程度まで破壊されている。調査区北端部は、近世面が標高7.3m、造成土を経て中世・古代面が7.2m前後に位置し、この灰オリーブ粘質土が地山となる。

FKJ15－5調査区も近世遺構面が大きく破壊されていた。最も残りが良かったのは調査区北端部で、近世遺構面は標高7.1mにある。しかし、この高さでは道路の側溝は残っていたが、道路面が失われていたため、本来の近世遺構面はさらに高い位置にあったと考えている。この地区は、南端部の旧流路周辺以外では､中世以前の遺構は確認できず､標高6.7m前後のオリーブ灰色粘質土が地山となっている。

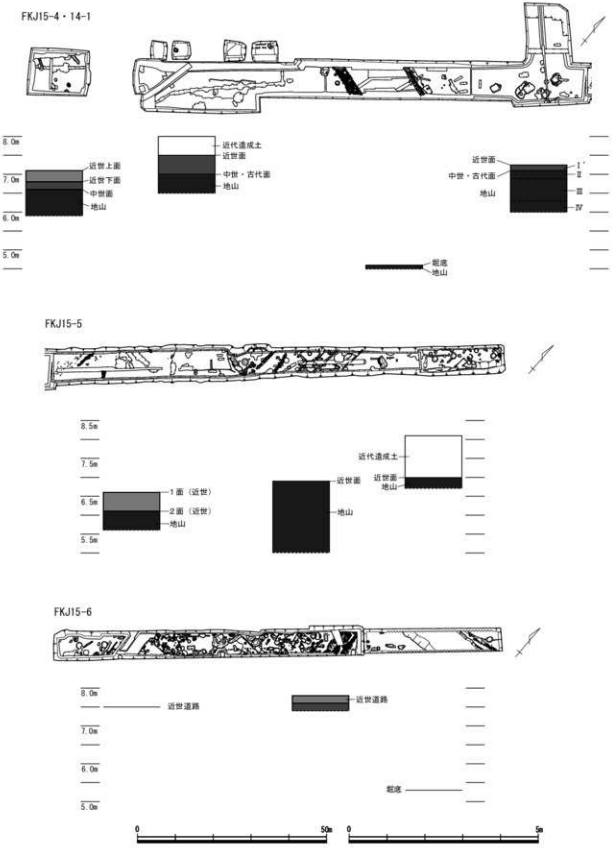
FKJ15－6調査区は、今回の調査区の中でも最も残存状況が良かった。近世の道路面が残っており、南側の道路面は標高7.5m、北側の道路面は標高8.0mに位置する。この地区は、中世以前の遺構は確認できず、標高7.5m前後の黄褐色粘質土が地山となっている。

FKJ06－5調査区は､近世遺構面が標高7.6mから7.9mほどに位置していた。一部に残る下層遺構は、標高7.5mに位置する。

全体を通して地山は粘質土層と砂層との互層となっており、その下部は多くの水分を含み、湧水源となっている。通常の井戸の底はこの深さに造られているが、幕末期以降に見られる自噴式の井戸の導水管は、さらに深い地下水層に達している。



第５図 基本層序模式図①（縮尺：平面図1/1,000・断面図1/100）



第６図　基本層序模式図②（縮尺：平面図1/1,000・断面図1/100）

第2節 FKJ13－1・2、15－3調査区

1 FKJ13－1・2調査区（第7図）

調査区全体が近代以降の掘削・削平を被っており、埋土にコンクリートやレンガ、石炭屑等の旧福井駅に関わる残滓が多量に混ざるほか、戦災もしくは福井震災後の整地土も検出した。城下絵図と対照すると、ともに武家屋敷地にあたる（FKJ13－2がⅠ街区、FKJ13－1がⅡ街区、第7図）。

1）FKJ13－1調査区

廃棄土坑1基、小穴1基を検出した（第14図、図版第1）。

廃棄土坑131－1 底面近くに廃棄された木製品が多量に堆積していた。土器類では越前焼の甕・擂鉢、陶磁器類、瓦、土師質皿など、木製品では漆器椀と椀蓋が各1点、下駄数点のほか、板材・角材や杭などが出土した。

小穴131－2 18世紀代の土師質皿が多く出土した。

2）FKJ13－2調査区

廃棄土坑3基、土坑6基を検出した（第10図、図版第1）。ここでは遺物出土状況に特異な点が見られる土坑132－1についてのみ記述する。

土坑132－1 覆土はほぼ単一の黒灰色粘質土で、平面形は歪長方形を呈し、長軸3.5m、短軸0.75m、深さ0.3mを測る。形状から墓壙と推測する。越前焼の鉢が数個体分まとまって出土しており、埋葬儀礼的な要素をうかがわせる。

2 FKJ15－3調査区2区（第7・31図）

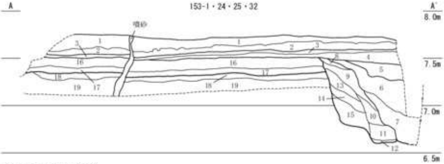
15－3調査区の2区は、城下絵図によると中之馬場の中央やや北寄りにあたり、同地を南北に貫く道路とそれに面する武家屋敷地（Ⅰ街区）に該当する。調査区の大部分が近代以降の鉄道敷設等による攪乱を受け、遺構の残存状態は悪い。主要遺構には、道路・溝・土坑・小穴などがある。下層には中世の遺物包含層が残存し、少数であるが中世に属する遺構を確認した。以下、主要な遺構のみ記述する。

2区砂利敷道路（第7～9図、図版第3） 砂利敷道路153－1は、調査区のほぼ東側半分を占める。長さ50.0m、幅は3.7m分を確認した。攪乱および調査区幅のため道路側溝は確認していないが、調査区中央を貫く旧福井駅に関わる攪乱が道路西側側溝の名残と考える。中之馬場を南北に貫く道路であり、北方に続く15－3調査区の1区・4区で確認した道路と一連の遺構である。道路の構造は、砂や砂質土を5cm程度の厚さに固く敷いて路盤とし、その上に径2～4cmの玉砂利を敷き詰めて舗装している。なお、絵図や過去の調査例から道路幅は4間（約7m）と推定可能である。

今回確認した道路遺構の範囲は、福井城築城以降、複数回の補修・かさ上げを経ているものの、近代の道路敷設により大きく削平され､比較的良好に遺存していたのは福井城築城時にあたる面であった。

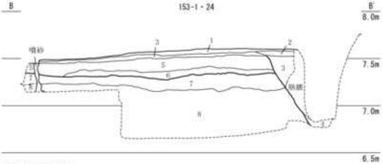
道路路盤の下にはにぶい黄褐色土層が約20cm堆積し、中世の遺物包含層となっている。地山面では少ないながら中世の遺構を確認し、溝の断面では道路敷設の際に埋められた様子が窺えた。また、道路面を検出していく過程で、2区北端付近で越前焼の甕や被熱した礫が集中した箇所を検出した（越前甕敷153－17)。道路かさ上げ時の造成に伴うと考える。土坑153－18･19などは道路の砂利層を切っており、特に153－18は幕末段階での道路補修時の地鎮に伴う可能性がある。道路の各所で噴砂を確認しているが、昭和23年（1948）の福井地震の時のものである。

土坑・小穴（第9図、図版第3） 土坑153－18は深さ10cm程度の浅い溝状を呈す土坑である。土師質皿多数が底面を上に重なり合うように出土した。他に陶磁器類の甕や碗・皿片、笏谷石片を含む。



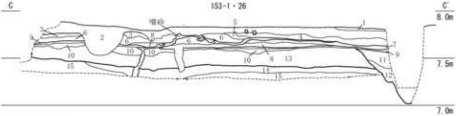
153-1 A断面　153-24・25・32

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	表土	－	－	－	－	－	多	近代以降の道路・路盤
2	褐色砂質土	10YR4/4	－	微	－	微	－	近代以降の道路・路盤
3	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面　153-1
4	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/4	－	－	－	－	－	路盤　しまり強　153-1
5	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/4	－	－	－	－	－	褐色土が層状に堆積　153-24
6	褐色粘質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	粗砂を含む　153-25
7	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	粗砂を少量含む　153-25
8	暗褐色土	10YR3/3	－	－	－	－	－	砂多量　153-32
9	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	粗砂多量　153-32
10	暗褐色土	10YR3/3	－	－	－	－	－	砂多量　153-32
11	褐色粘質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	砂多量　153-32
12	灰黄褐色粘質土	10YR5/2	－	－	－	－	－	褐色土少量　153-32
13	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	褐色粘質土少量　153-32
14	褐色粘質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	暗褐色粘質土少量　153-32
15	暗褐色粘質土	10YR3/3	微	－	－	－	－	黄褐色粘質土ブロック少量　153-32
16	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	－	－	中世包含層
17	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	耕作層
18	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山
19	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	地山



153-1 B断面　153-24

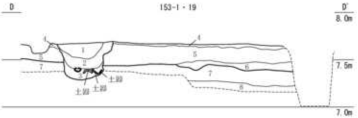
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面　153-1
2	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	路盤
3	明黄褐色砂質土	10YR6/6	－	－	－	－	－	路盤　153-24を埋める
4	灰黄褐色砂	10YR4/2	－	－	－	－	－	砂層
5	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	－	－	中世包含層
6	褐色土	10YR4/6	－	－	－	－	－	耕作層
7	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山
8	灰黄褐色粘質土	10YR6/2	－	－	－	－	－	地山



153-1 C断面　153-26

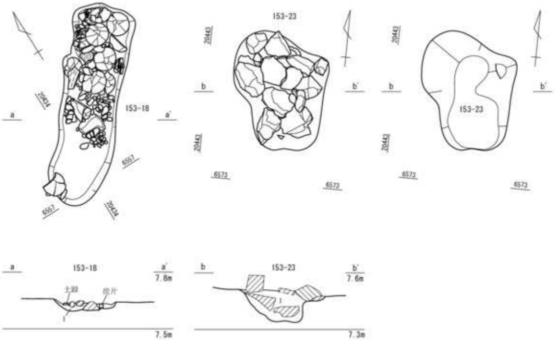
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	黒色砂質土	10YR1.7/1	－	－	－	－	多	近代以降の道路
2	黒色砂質土	10YR2/1	－	－	－	－	多	近代以降の道路
3	砂利層	－	－	－	－	－	－	道路面(時期不明)
4	灰黄褐色土	10YR5/2	－	－	－	－	少	3の道路路盤
5	暗褐色砂質土	10YR3/3	－	－	－	－	多	3の道路路盤
6	にぶい黄褐色土	10YR5/3	少	少	－	－	－	3の道路路盤
7	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面
8	にぶい黄褐色砂	10YR5/4	－	－	－	－	－	7の道路路盤
9	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面　153-1
10	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	－	－	－	－	－	路盤　153-1
11	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	－	－	－	－	砂質をおびる　153-26
12	暗褐色土	10YR3/3	微	－	－	微	－	砂質をおびる　153-26
13	にぶい黄褐色土	10YR4/3	少	少	－	－	－	中世包含層
14	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山
15	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	地山

第８図　153-1・24・25・26・32（縮尺1/40）



153-1 D断面 153-19

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色砂質土	10YR6/3	−	−	−	−	多	細砂・粗砂混じる　153-19
2	灰黄褐色土	10YR5/2	−	−	−	−	−	にぶい黄褐色土小ブロック多量　153-19
3	黒褐色砂質土	10YR3/1	中	−	−	少	少	土器出土　153-19
4	砂利層	−	−	−	−	−	−	道路面と路盤　153-1
5	褐色土	10YR4/4	含	含	−	−	−	中世包含層
6	黄褐色土	10YR5/6	微	−	−	−	−	漸移層
7	黄褐色土	10YR5/6	−	−	−	−	−	地山
8	にぶい黄褐色土	10YR5/4	−	−	−	−	−	地山

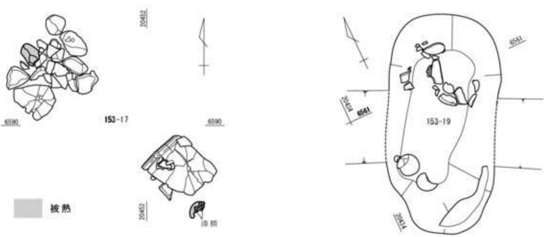


153-18

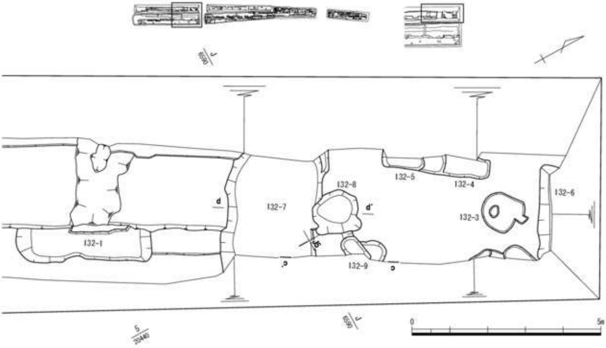
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色土	10YR4/3	含	−	−	含	少	粗砂少量

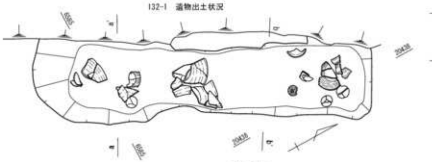
153-23

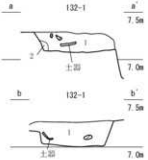
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	−	−	−	多	−	細砂・粗砂多量



第9図 153-1・17・18・19・23（縮尺1/40・1/20）





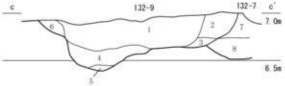


132-1 a断面

No.	土色・土質	炭化物	焼土	他の石	備考
1	黒灰色粘質土	多	多	多	－
2	淡青灰色粘質土	－	－	－	－

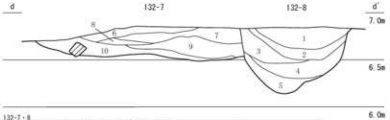
132-1 b断面

No.	土色・土質	炭化物	焼土	他の石	備考
1	黒灰色粘質土	多	多	多	－



132-7・9

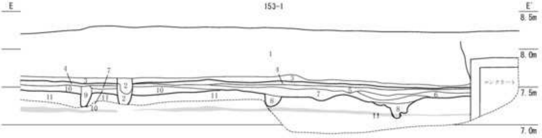
No.	土色・土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考	
1	暗灰色粘質土	多	－	－	－	多		132-9
2	暗褐灰色粘質土	有	－	－	－	有	砂含む。	132-9
3	暗灰色粘質土	有	－	－	－	－		132-9
4	黒灰色粘質土	有	－	－	－	有	淡灰色土ブロック含む。	132-9
5	灰色砂質土	－	－	－	－	－		132-9
6	淡黄褐色粘質土	多	－	－	－	－	暗灰色土多く含む。	132-9
7	暗灰色粘質土	－	－	－	－	－	砂含む。	132-7
8	暗灰色粘質土	少	－	－	－	少	灰色土多く含む。	132-7



132-7・8

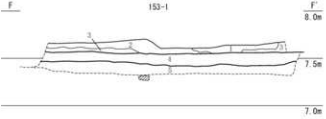
No.	土色・土質	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考	
1	灰色粘質土	有	－	－	－	多		132-8
2	黒褐色粘質土	－	－	多	－	－	ピート層に近い。	132-8
3	暗灰色粘質土	－	－	－	－	多		132-8
4	暗灰色粘質土	－	－	多	－	多	木製品多く含む。	132-8
5	灰色粘質土	－	－	少	－	－		132-8
6	灰色粘質土	－	－	少	－	少		132-7
7	灰色粘質土	－	－	多	－	－	黒灰色土多く含む。	132-7
8	暗茶褐色粘質土	－	－	多	－	－	ピート層。	132-7
9	暗茶褐色粘質土	－	－	多	－	－	灰色土多く含む。砂含む。	132-7
10	暗茶褐色粘質土	－	－	多	－	多	ピート層。灰色土ブロック少し含む。	132-7

第10図　132-1・7・8・9（縮尺1/100・1/40）



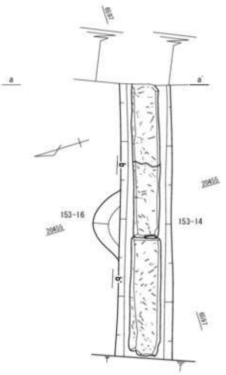
153-1 E断面

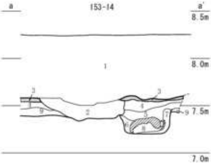
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	表土	－	－	－	－	－	多	近代～現代
2	撹乱	－	－	－	－	－	－	－
3	灰黄褐色土	10YR4/2	－	－	－	－	－	近代の道路路盤
4	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面 153-1
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	－	－	－	少	－	粗砂多量
6	褐色土	10YR4/4	少	－	－	少	－	部分は砂質
7	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	－	－	－	微	－	土師質土器片含む
8	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	－	－	－	－	不整形な落ち込み
9	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	杭跡か
10	にぶい黄褐色土	10YR5/4	微	－	－	微	－	整地層
11	明黄褐色土	10YR6/6	－	－	－	－	－	地山



153-1 F断面

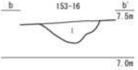
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	黒色土	N2/0	－	－	－	－	多	近代の道路整地層
2	褐色砂質土	10YR4/4	微	－	－	－	－	整地層(近世後半?)
3	黒褐色土	10YR3/2	－	－	－	－	中	整地層(近世後半?)
4	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	－	－	道路面と路盤
5	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山





153-14

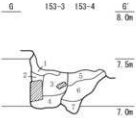
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	表土	－	－	－	－	－	－	－
2	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	多	撹乱
3	砂利層	－	－	－	－	－	多	粗砂含む 153-1
4	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	－	－	－	－	少	粗砂多量
5	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	少	－	－	少	やや砂質 153-14
6	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	－	－	粗砂少量 153-14
7	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	含	－	粗砂少量 153-14
8	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	黒褐色土をブロック状に少量 153-14
9	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	－	－	－	－	整地層

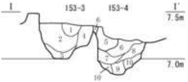


153-16

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色土	10YR4/3	少	－	－	－	－	灰色粗砂と褐色粘土含む

第11図 153-1・14・16（縮尺1/50・1/40）



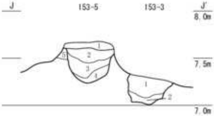


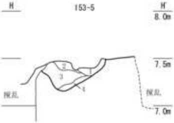
153-3・4 G断面

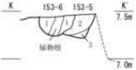
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	黄褐色土	10YR5/6	中	－	－	－	－	近代の覆土　153-3
2	暗褐色土	10YR3/3	少	－	－	少	－	153-3
3	灰黄褐色土	10YR4/2	少	－	－	少	－	153-3
4	灰黄褐色土	10YR5/2	少	－	－	－	少	153-3
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	－	－	－	少	－	粗砂多量　153-4
6	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	－	－	－	－	少	粗砂多量　153-4
7	褐灰色土	10YR4/1	－	－	－	－	－	粗砂少量　153-4

153-3・4 I断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	黒色土	N2/0	－	－	－	－	多	153-3
2	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	中	－	－	－	中	粘土ブロック多量　153-3
3	褐灰色砂質土	10YR4/1	少	－	－	－	－	153-3
4	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	－	－	－	－	微	153-3
5	黒褐色土	10YR3/1	多	－	－	－	多	撹乱
6	褐灰色粘質土	10YR4/1	－	－	－	－	多	砂を層状に含む　153-4
7	黒褐色土	10YR3/1	微	－	－	－	少	砂を層状に含む　153-4
8	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	－	粘土ブロック含む　153-4
9	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	－	－	－	少	黄灰色砂少量　153-4
10	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	－	－	－	－	灰色粘土ブロック少量　153-4







153-3 J断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	多	－	－	－	多	灰色土をブロック状に多量
2	灰色砂質土	10Y4/1	微	－	－	－	微	黄色砂多量

153-5 J断面

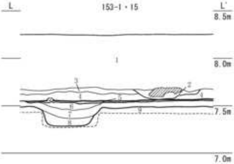
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	撹乱
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	－	－	－	少	－	暗褐色粘土ブロック少量
3	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	微	－	－	－	少	－
4	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	－	－	－	－	微	粘土ブロック少量
5	褐色粘質土	7.5YR4/4	－	－	－	－	－	整地層

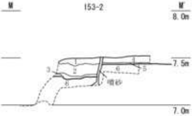
153-5 H断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	－	－	－	－	－
2	褐色砂質土	10YR4/6	少	－	－	微	－	－
3	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/6	－	－	－	微	微	－
4	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	－

153-6・5 K断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	褐色土	10YR4/4	－	－	－	多	－	153-6
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	－	－	－	－	－	153-5
3	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	－	－	－	－	－	153-5





153-1・15

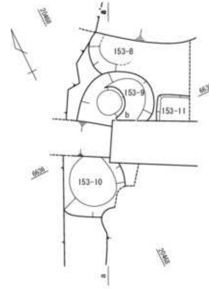
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	表土	－	－	－	－	－	－	近代～現代
2	撹乱	－	－	－	－	含	少	近代
3	褐灰色土	10YR5/1	－	－	－	－	－	近代整地層
4	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	少	－	整地層
5	砂利層	－	－	－	－	－	多	道路面　153-1
6	褐色土	10YR4/4	－	－	－	－	－	－
7	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	－	－	－	－	整地層
8	暗褐色土	10YR3/4	－	－	－	－	－	明黄褐色土を下部に少量　153-15
9	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山

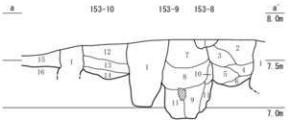
153-2

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	大谷石	他の石	備考
1	黒褐色土	10YR3/1	－	－	－	－	多	撹乱(近代?)
2	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	黄色砂・灰色土多量
3	にぶい黄橙色砂	10YR6/3	－	－	－	－	微	－
4	黒褐色土	10YR3/2	－	－	－	－	－	整地層(近世)
5	にぶい黄橙色砂	10YR6/3	－	－	－	－	－	砂層(噴砂の影響か)
6	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山

0　2m

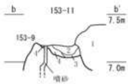
第12図　153-1・2・3・4・5・6・15（縮尺1/40）





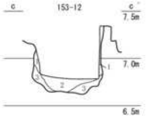
153-8・9・10

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	撹乱	-	-	-	-	-	-	-
2	にぶい黄褐色土	10YR5/4	少	-	-	少	少	153-8
3	にぶい黄褐色土	10YR5/4	-	微	-	-	-	灰色粘質土ブロック少量 153-8
4	褐色土	10YR4/4	-	-	-	-	-	153-8
5	にぶい黄褐色土	10YR5/4	-	-	-	-	-	灰白色粘質土多量 153-8
6	褐色土	10YR4/4	-	-	-	-	-	153-8
7	褐色土	7.5YR4/3	少	中	-	少	-	153-9
8	褐色土	7.5YR4/4	少	中	-	少	-	黄褐色、灰色土ブロック中量 153-9
9	褐色土	7.5YR4/4	少	少	-	少	-	炭化物等7,8より少量 153-9
10	褐色土	7.5YR4/4	-	-	-	微	-	やや砂質 153-9
11	褐色土	7.5YR4/4	微	-	-	微	-	153-9
12	褐色土	7.5YR4/3	少	多	-	少	少	153-10
13	褐色土	7.5YR4/3	少	多	-	少	-	黄色土ブロック中量 153-10
14	褐色土	10YR4/6	-	-	-	微	-	153-10
15	褐色土	10YR4/4	微	-	-	微	-	色調明るめ 整地層
16	黄褐色土	10YR5/6	-	-	-	-	-	地山



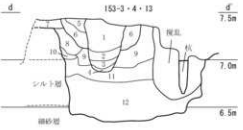
153-11

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	撹乱	-	-	-	-	-	-	-
2	褐灰色土	7.5YR	-	少	-	少	-	-
3	にぶい黄褐色土	10YR5/4	-	-	-	-	-	-
4	にぶい黄褐色土	10YR5/3	-	-	-	-	-	褐灰色土少量



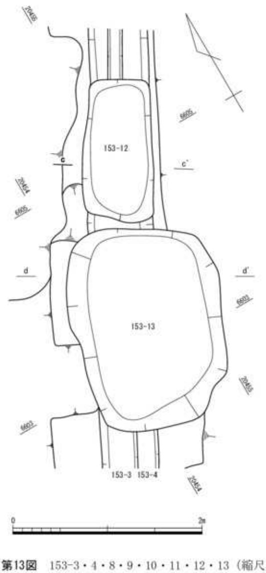
153-12

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色土	10YR6/4	少	-	-	-	-	やや砂質
2	褐灰色砂質土	10YR4/1	中	-	-	微	-	-
3	にぶい黄褐色土	10YR5/3	微	-	-	-	-	シルト質

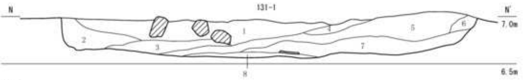


153-3・4・13

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	10YR3/1	多	-	-	-	多	153-3
2	褐灰色砂質土	10YR4/1	少	-	-	-	少	153-3
3	黒色砂質土	10YR2/1	-	-	-	-	-	粗砂多量 153-3
4	褐灰色砂質土	10YR5/1	微	-	-	-	-	粗砂多量 153-3
5	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	-	-	-	-	中	粗砂多量 153-4
6	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	-	-	-	-	-	細砂中量 153-4
7	褐色土	10YR5/8	-	-	-	微	-	整地土
8	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	-	微	-	微	少	153-13
9	にぶい黄橙色砂礫土	10YR6/3	-	-	-	微	多	粗砂多量 153-13
10	にぶい黄褐色土	10YR5/4	-	-	-	-	-	地山の崩落土 153-13
11	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/3	少	-	-	-	-	薄い砂粒層含む 153-13
12	暗灰色粘性砂質土	N3/1	中	-	-	中	中	粗砂多量 153-13



第13図 153-3・4・8・9・10・11・12・13（縮尺1/40）

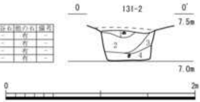


131-1

No.	土色・土質	出土物	焼土	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	淡黄褐灰色粘質土	－	－	－	－	多	近代
2	淡黄褐灰色粘質土	－	－	－	－	－	近代
3	暗褐灰色粘質土	－	－	－	－	－	－
4	暗茶褐色粘質土	有	－	－	－	有	－
5	暗茶褐色粘質土	多	－	－	－	多	瓦多く含む。
6	暗茶褐色粘質土	多	－	多	－	－	－
7	灰色粘質土	－	－	－	－	－	－
8	淡黄褐灰色粘質土	－	－	－	－	－	－

131-2

No.	土色・土質	出土物	焼土	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	暗黄褐色粘質土	有	－	－	－	有	－
2	暗黄褐色粘質土	有	－	－	－	有	－
3	褐色粘質土	－	－	－	－	有	－
4	暗褐色粘質土	有	－	－	－	有	－



第14図　131-1・2（縮尺1/40）

先述したように削平された幕末の道路面から掘りこまれ、底面付近のみ残存した遺構と考える。土坑158－19も幕末頃の面から掘りこまれた土坑である。153－18と違い、遺物の出土状況に規則性はない。小穴153－23は道路砂利層・路盤層を除去した面で検出した。平面は不整形を呈し、小穴内には15cm程度の笏谷石片が多く含まれており、礎石建物の根石の可能性も考えられる。

下層遺構（第31・32図、図版第３）　道路153－1の下層には中世の包含層が堆積しており、包含層の下標高約7.3～7.5mで黄褐色土の中世遺構確認面となる。確認した遺構は柱穴・小穴・溝である。小穴は同程度の規模のものが３基ある（153－28・29・30）。柱穴は調査区北東端に位置し溝と切りあっている（153－27・31・32）。限定的な検出のため、柱穴列として構成されるかは不明瞭である。溝は西側肩部のみ検出した（153－24・25）。遺構検出時の覆土の違いから遺構番号を別にしたが、複数回の掘直しが行われた同一の溝とみなせる。上層の砂利敷道路と並行している様相は、中世段階の町割りが福井城築城にも引き継がれた可能性がある。これらの遺構の時期は153－31が17世紀代の遺物を含むが、おおむね16世紀後半に収まる。

３　FKJ15－3調査区１・３・４区（第７・31図）

この区域は中之馬場の北部、ＪＲ北陸線外２線連続立体交差事業に伴う調査で確認した道路６と道路７の延長部に挟まれた、南北道路に沿った範囲である（福井県埋文2014）。城下絵図によるとⅡ街区にあたり、寛文９年（1669）の大火を機に屋敷地から火除地となり「御菜園」・「御花畠」と絵図に記され、幕末には再び屋敷地となる。明確に屋敷境と判断できる遺構を確認していないため、屋敷地ごとではなく調査を行った区域順に主要な遺構のみ記述する。

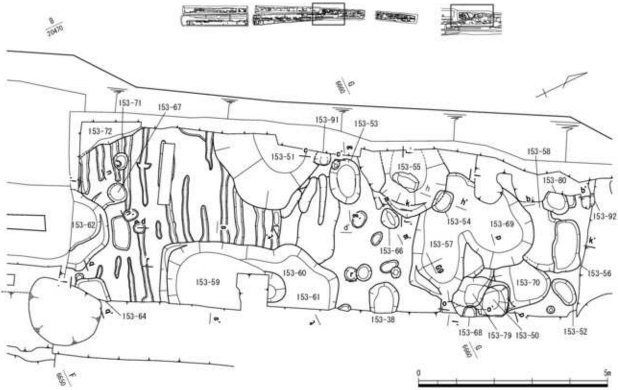
１区の主要な遺構には、道路跡・溝・土坑などがあるが、２区から続く道路および並行する溝が主体である。西側は攪乱のため確認できた遺構は少ないものの、大型の廃棄土坑を確認した。

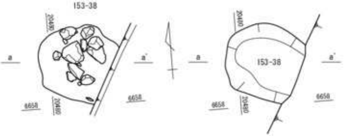
３区の主要な遺構は土坑・溝・小穴などである。調査区中央から東は攪乱のため遺構の残存状態が悪い。西側に広がる土坑には、廃棄土坑と言えるほどの遺物量を有す土坑は確認できない。この調査区の北部には下層面として中世段階の遺構を確認している。

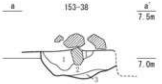
４区の主要な遺構は道路・井戸・土坑・溝がある。

１）FKJ15－3調査区１区

１区砂利敷道路（第７・11図、図版第２）　砂利敷道路153－1は、長さ48.0m、幅は最大3.1m分を確認した。中之馬場を南北に貫く道路であり、南方の２区、北方の４区で確認している道路と一連の遺構である。道路の構造は、２区と同様に砂質土主体の路盤を３～４cm程度の厚さに固く敷き、玉砂利を敷き詰めて舗装している。玉砂利層の遺存状況は、北側にかけて薄くまばらとなる。１区では路

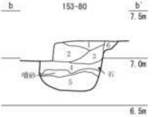


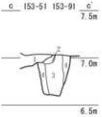




153-38

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	7.5YR4/4	含	含	−	−	−	−
2	褐色砂質土	10YR4/4	含	含	−	−	−	−
3	黄褐色砂質土	2.5Y5/4	−	−	−	−	−	−





153-80

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	褐色土	10YR4/6	−	少	−	少	少	−
2	褐色砂質土	10YR4/6	−	−	−	微	−	−
3	褐色砂質土	10YR4/6	−	−	−	少	−	−
4	褐色砂質土	10YR4/6	−	−	−	少	−	−
5	褐色砂質土	10YR4/6	−	−	−	少	−	−
6	黄褐色砂質土	10YR5/6	−	−	−	微	微	−

153-51・91

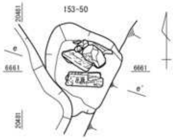
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	−	−	−	−	少	153-51
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	−	−	−	微	−	にぶい黄褐色砂少量 153-91
3	褐色土	10YR4/4	微	微	−	少	−	明黄褐色土多量 153-91
4	暗褐色土	10YR3/4	−	−	−	−	−	明黄褐色土含む 153-91

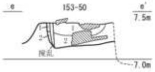
F8区畝状遺構

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/6	少	少	−	−	微	−
2	褐色砂質土	7.5YR4/4	少	少	−	−	−	灰色粘土ブロック少量
3	褐色粘質土	7.5YR4/3	微	−	−	−	−	灰色粘土ブロック微量

0 2m

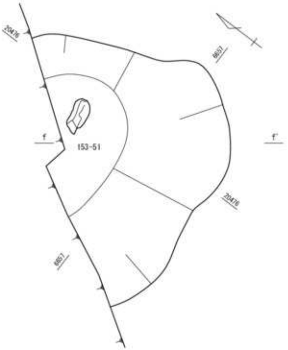
第15図 153-38・80・91・畝状遺構（縮尺1/100・1/40）

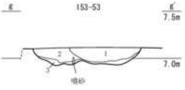


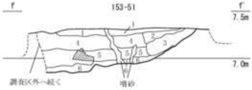


153-50

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	含	含	−	含	−	−
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	含	含	−	−	−	−





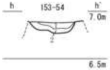


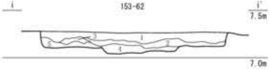
153-53

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/6	少	−	−	少	少	黄褐色砂質ブロック少量
2	黄褐色砂質土	10YR5/6	少	−	−	少	少	−
3	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	少	−	−	−	−	黄褐色砂質ブロック少量

153-51

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黄褐色砂質土	2.5Y5/6	−	−	−	少	−	黄褐色砂質土少量
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	−	−	−	−	中	−
3	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	−	−	−	−	中	−
4	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	−	−	−	少	少	−
5	黄褐色砂質土	2.5Y5/6	−	−	−	少	少	−
6	黄褐色粘質土	10YR5/6	微	−	−	−	−	黄褐色粘土ブロック少量



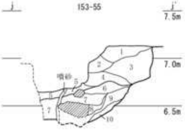


153-54

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	−	微	−	微	−	−
2	褐色砂質土	10YR4/6	−	微	−	−	−	灰黄色砂質土中量

153-62

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	少	−	−	少	−	暗灰色砂質ブロック少量
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	−	−	−	−	暗灰色砂質ブロック少量
3	褐色砂質土	10YR4/6	微	−	−	−	−	暗灰色砂質ブロック少量
4	褐色砂質土	10YR4/4	微	−	−	−	−	黄褐色粘土ブロック少量
5	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	微	−	−	−	−	黄褐色粘土ブロック少量

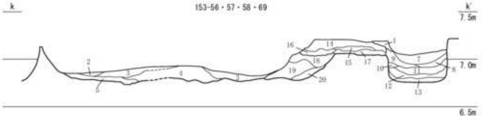


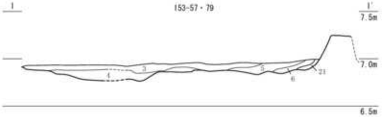
153-55

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	7.5YR3/4	少	中	−	−	少	暗灰色粘土ブロック中量
2	暗褐色砂質土	7.5YR3/4	少	多	−	−	−	暗灰色粘土ブロック少量
3	暗褐色砂質土	7.5YR3/3	中	多	−	−	含	暗灰色粘土ブロック中量
4	黒褐色砂質土	7.5YR3/2	中	中	−	−	−	暗灰色粘土ブロック少量
5	褐色砂質土	7.5YR4/3	少	中	−	−	−	暗灰色粘土ブロック少量
6	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	−	少	−	−	−	暗褐色砂質ブロック、黄褐色粘土ブロック少量
7	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	−	少	−	少	−	黄褐色砂質土中量
8	黒褐色粘質土	10YR3/2	−	中	−	−	−	灰黄褐色粘質土ブロック中量
9	褐色粘質土	10YR4/4	少	少	−	−	−	灰黄褐色粘土ブロック中量
10	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	少	少	−	−	−	灰黄色粘土ブロック少量

0　　2m

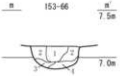
第16図　153-50・51・53・54・55・62（縮尺1/40）

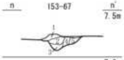


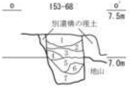


153-56・57・58・69・79

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考	
1	撹乱	–	–	–	–	–	–	–	
2	暗褐色土	10YR3/3	–	微	–	–	–	灰黄褐色土ブロック少量	153-57
3	灰黄褐色土	10YR4/2	微	–	–	–	–	にぶい黄褐色土多量	153-57
4	暗褐色土	10YR3/4	微	–	–	–	–		153-57
5	暗褐色土	10YR3/3	微	–	–	–	–	にぶい黄褐色土多量	153-57
6	灰黄褐色土	10YR4/2	–	–	–	–	–	にぶい黄褐色砂多量	153-57
7	にぶい黄褐色砂質土	10YR6/4	–	–	–	–	–	粗砂多量	153-56
8	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	微	–	–	–	–		153-56
9	にぶい黄褐色土	10YR5/4	–	–	–	–	–	黄褐色土少量 粗砂少量	153-56
10	黄褐色土	10YR5/6		–	–	–	–	にぶい黄褐色土少量	153-56
11	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	中	–	–	少	–	にぶい黄褐色土少量	153-56
12	褐色砂質土	10YR4/4	–	–	–	少	–	にぶい黄褐色土ブロック多量	153-56
13	暗褐色土	10YR3/4	微	–	–	微	–	粗砂中量	153-56
14	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	–	–	–	少	–		153-58
15	灰黄褐色土	10YR4/2	–	–	–	–	–		153-58
16	にぶい黄褐色土	10YR5/4	–	–	–	–	–	灰黄褐色土ブロック多量	153-58
17	褐色土	10YR4/4	–	–	–	–	–	黄褐色土小ブロック多量	153-58
18	暗褐色土	10YR3/4	–	–	–	–	–	黄褐色土多量	153-69
19	暗褐色土	10YR3/4	微	微	–	–	–		153-69
20	暗褐色土	10YR3/3	微	微	–	–	–		153-69
21	褐色砂質土	10YR4/4	–	–	–	–	–	褐灰色砂質土含む	153-79







153-66

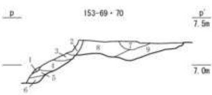
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	少	少	–	–	少	–
2	褐色砂質土	10YR4/4	少	–	–	少	–	–
3	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	–	–	–	–	褐灰色砂質ブロック少量
4	褐色砂質土	10YR4/4	–	–	–	–	–	暗褐色粘土ブロック少量

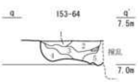
153-67

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	微	微	–	微	–	–
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	微	微	–	微	–	–
3	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	–	–	–	–	–	褐灰色・暗褐色砂質ブロック少量
4	褐色砂質土	10YR4/4	–	–	–	–	–	–
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	微	–	–	–	–	–

153-68

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考
1	黄褐色砂質土	10YR5/6	–	少	–	–	少	褐灰色砂質土少量
2	褐色砂質土	10YR4/6	–	–	–	少	少	–
3	褐色砂質土	10YR4/4	–	–	–	少	少	褐灰色砂質土少量
4	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	微	–	–	–	–	褐灰色砂質土少量
5	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	少	–	–	少	少	–
6	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	少	–	–	–	–	暗灰色粘土
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	–	–	–	少	–





153-69・70

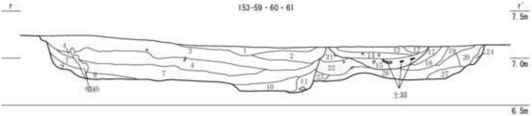
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考	
1	にぶい黄褐色土	10YR5/4	–	–	–	–	–		153-57
2	褐色土	10YR4/4	–	–	–	–	–	灰色シルト多量	153-69
3	暗褐色土	10YR3/4	微	–	–	少	–		153-69
4	暗褐色土	10YR3/3	微	–	–	–	–	黄色土ブロック少量	153-69
5	黄褐色土	10YR5/6	–	–	–	–	–	暗褐色土少量	153-69
6	暗褐色土	10YR3/3	微	–	–	–	–	黄色土少量	153-69
7	褐色土	10YR4/6	–	–	–	少	–		153-70
8	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	–	–	少	–	灰色シルト多量	153-70
9	暗褐色土	10YR3/4	–	–	–	微	微	灰色土ブロック多量	153-70

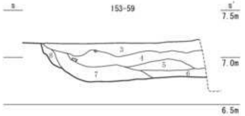
153-64

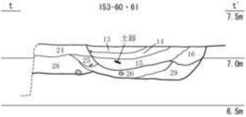
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	気谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	7.5YR4/4	少	少	–	少	–	–
2	褐色砂質土	7.5YR4/3	少	–	–	–	–	褐灰色砂質ブロック少量
3	褐色砂質土	7.5YR4/3	–	–	–	少	少	褐灰色砂質ブロック少量
4	褐色砂質土	7.5YR4/4	–	少	–	–	–	黄褐色砂質ブロック少量
5	灰褐色砂質土	7.5YR4/2	–	–	–	–	少	褐灰色粘土ブロック少量

0　2m

第17図　153-56・57・58・64・66・67・68・69・70・79（縮尺1/40）







153-59・60・61

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考	
1	オリーブ褐色土	2.5Y4/6	少	少	－	－	少	灰色砂・褐色粘土含む	153-59
2	オリーブ褐色土	2.5Y4/4	含	－	－	少	含	灰色砂・黄色砂含む	153-59
3	褐色土	10YR4/4	含	含	－	含	－	－	153-59
4	褐色土	10YR4/6	含	－	－	含	含	－	153-59
5	オリーブ褐色土	2.5Y4/3	含	－	－	含	－	褐色粘土含む	153-59
6	褐色土	7.5YR4/4	少	－	－	少	－	－	153-59
7	褐色土	10YR4/6	含	－	－	含	－	－	153-59
8	褐色土	7.5YR4/3	含	－	－	－	－	灰色砂含む	153-59
9	褐色土	7.5YR4/4	少	－	－	少	－	－	153-59
10	褐色土	10YR4/4	少	－	－	少	－	－	153-59
11	黄褐色土	10YR5/8	－	－	－	含	－	－	153-59
12	褐色土	7.5YR4/6	含	含	－	含	－	黄色粘土含む	153-60
13	黄褐色土	2.5Y5/6	－	－	－	少	少	－	153-60
14	黄褐色土	2.5Y5/6	多	－	－	－	少	－	153-60
15	褐色土	7.5YR4/3	－	－	－	－	含	－	153-60
16	褐色土	7.5YR4/3	少	少	－	－	－	灰色砂・褐色粘土含む	153-60
17	褐色土	10YR4/4	多	－	－	－	－	黄色粘土・褐色粘土・灰色砂含む	153-61
18	褐色土	10YR4/4	－	－	－	－	－	褐色粘土含む	153-61
19	褐色土	7.5YR4/3	含	含	－	－	－	黄色粘土・灰色砂含む	153-61
20	褐色土	7.5YR4/4	－	－	－	－	－	黄色粘土・灰色砂含む	153-61
21	褐色土	10YR4/4	含	－	－	－	含	灰色砂・黄色粘土・褐色粘土含む	153-61
22	にぶい黄褐色土	10YR4/3	含	－	－	－	含	－	153-61
23	褐色土	10YR4/4	－	－	－	少	－	－	153-61
24	褐色土	10YR4/4	－	－	－	多	－	－	153-61
25	にぶい黄褐色土	10YR4/3	含	－	－	含	－	－	153-61
26	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	含	－	－	153-61
27	褐色土	7.5YR4/3	少	－	－	－	－	黄色粘土・灰色砂含む	153-61
28	にぶい黄褐色土	10YR4/3	－	－	－	多	－	－	153-61
29	褐色土	7.5YR4/4	－	－	－	－	－	灰色砂多量	153-61

第18図　153-59・60・61（縮尺1/40）

盤の下層に中世包含層は存在せず、道路敷設にあたり地山面まで削平を行ったと考える。また、砂利敷下から確認した遺構には暗渠153－14・小穴153－16・溝153－15がある。

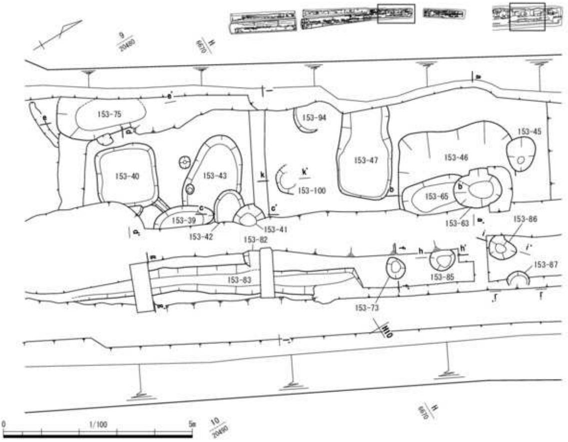
福井城下絵図を参照すると、153－1は、北陸線連続立体交差事業（FKJ00－5－4地区・福井県埋文2014）、北陸新幹線福井駅部建設事業（FKJ05－4地区・福井県埋文2009）、工事立会（FKJ06－8地区）など、過去の調査で確認した道路6と直交するように交差しており、福井城下絵図に描かれた様子とほぼ一致する。道路6の南側では石積の側溝が設けられており、今回の調査で確認した153－14は道路6との交差地点に該当するため、これら南側の側溝と一連となる可能性がある。

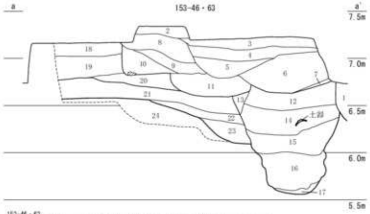
暗渠（第11図、図版第２）　暗渠153－14は小穴153－15を切って構築されている。検出長2.81m、幅0.54mの掘方に笏谷石製の石樋を上下逆に設置する。石樋は２石分を検出した。底面に板石は設置されない。

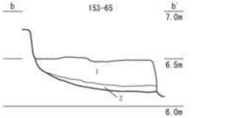
溝（第12図、図版第２）　溝は道路153－1と並行するもの（153－3・4・5）と直交するもの（153－15）がある。153－3・4は直線的に走る同規模の溝で、近世とするよりも鉄道敷設に関係する溝の可能性もある。153－5は断片的であるが、153－3・4とは軸がずれている。153－15は153－1構築以前の溝である。

土坑（第12～13図、図版第２）　確認できた土坑は少ない。土坑153－2は出土遺物が無く、時期の判断はできない。土坑153－12は溝153－3・4に先行し、平面形は長方形を呈し、壁は直立気味となる。土坑153－13は153－3・4に先行し、平面形は不整長方形を呈し、壁は直立気味となる。17世紀代の遺物を含む。廃棄土坑と言えるほどの遺物量は無く、埋没後に整地され、上層から杭が打ち込まれていた。

小穴・柱穴（第13図、図版第２）　１区における小穴の確認例は少ない中、小穴153－8～11は近接して存在する。撹乱のため上部が削平されているが、153－9は検出面から深さ0.74mを測り、壁の

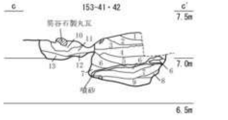






153-65

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	黒色粘質土	N2/	多	−	−	やや多	炭多量
2	暗灰色粘質土	N3/		−	−	少	−



153-46・63

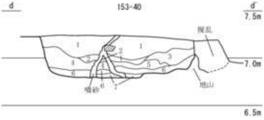
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	撹乱	−	−	−	−	−	−	土管埋設
2	灰白色砂質土	2.5Y8/1	少	−	−	少	少	−
3	黄褐色砂質土	2.5Y5/4	少	−	−	中	−	153-46
4	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	少	−	−	中	−	153-46
5	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	−	−	−	−	−	153-46
6	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	少	少	−	少	少	153-46
7	黒色粘質土	7.5Y2/1	多	−	−	少	−	153-46
8	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	少	−	−	−	−	153-46
9	暗灰黄色砂質土	2.5Y5/2	少	−	−	少	少	153-46
10	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	中	−	−	少	−	153-46
11	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	少	−	153-46
12	オリーブ黒色粘質土	10Y3/2	中	−	−	少	−	153-63
13	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	少	−	−	少	−	153-63
14	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	−	−	−	少	−	153-63
15	黒色粘質土	10Y2/1	多	−	−	少	−	153-63
16	黒褐色粘質土	7.5YR3/2	−	−	少	−	−	153-63
17	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	少	−	−	−	−	153-63
18	褐色砂質土	10YR4/4	少	−	−	少	少	−
19	にぶい褐色砂質土	10YR4/3	少	−	−	少	少	−
20	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	−	−	少	−	−
21	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	−	−	少	−	−
22	黒色粘質土	5Y2/1	少	−	中	−	−	153-84
23	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	少	−	−	−	−	153-84
24	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	−	−	−	−	−	地山

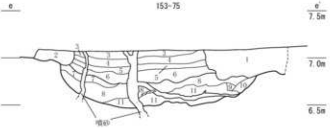
153-41・42

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/4	−	−	−	−	−	粗砂を多量　153-41
2	にぶい黄橙色砂質土	10YR7/4	−	−	−	−	−	にぶい黄橙色砂質土を多量　153-41
3	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	−	微	−	少	−	−　153-41
4	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/3	−	−	−	微	−	−　153-41
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	−	−	−	−	−	粗砂を少量　153-41
6	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	−	−	−	少	−	やや粗い砂を少量　153-41
7	にぶい黄橙色砂質土	10YR6/3	多	少	−	−	−	−　153-41
8	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	−	−	−	−	−	褐灰色砂質土を少量　153-41
9	褐灰色砂質土	10YR4/1	−	−	−	微	−	ややキメの粗い砂　153-41
10	暗褐色土	10YR3/3	−	微	−	−	−	−　153-42
11	暗褐色土	10YR3/3	少	少	−	−	−	−　153-42
12	褐色土	10YR4/6	−	−	−	−	−	−　153-42
13	褐色土	10YR4/4	微	−	−	含	−	−　153-42

0　2m

第19図 153-41・42・46・63・65（縮尺1/100・1/40）



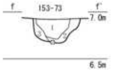


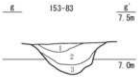
153-40

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	少	－	－	少	少	－
2	暗褐色砂質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	－
3	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	－	－	－	少	－
4	褐色砂質土	10YR4/6	含	－	－	－	－	－
5	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	－	－	－	－	－	－
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	中	－	－	－	－	－
7	黄褐色粘質土	2.5Y5/3	－	－	－	－	－	－

153-75

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	撹乱	－	－	－	－	－	－	－
2	褐色土	10YR4/4	－	－	－	少	－	黒褐色土少量
3	黄褐色土	10YR5/6	－	少	－	－	－	緑灰色砂質土多量
4	明黄褐色土	10YR6/6	－	少	－	－	－	緑灰色土少量
5	灰黄褐色土	10YR5/2	微	微	－	－	－	黄褐色土ブロック少量　粗砂少量
6	明黄褐色土	10YR6/6	－	－	－	－	－	シルト質
7	黒褐色土	10YR3/2	多	－	－	－	－	明黄褐色土ブロック少量
8	暗褐色土	10YR3/3	少	少	－	中	－	黄色土小ブロック少量
9	褐灰色土	10YR4/1	少	－	－	－	－	緑灰色シルト少量
10	黒褐色土	10YR3/1	中	－	－	少	少	－
11	褐灰色土	10YR4/1	多	－	－	－	－	緑灰色シルト多量



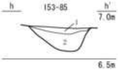


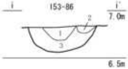
153-73

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	－	－	含	含	－
2	灰色砂質土	5Y4/1	少	－	－	含	含	－
3	にぶい黄褐色砂質土	10Y4/3	－	－	－	－	－	しまり強い

153-83

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰黄褐色土	10YR5/2	微	－	－	－	－	にぶい黄橙色土少量
2	にぶい黄褐色土	10YR5/3	－	－	－	－	－	にぶい黄橙色土多量
3	オリーブ黒色土	5Y3/2	－	－	－	－	－	灰黄褐色細砂少量



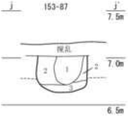


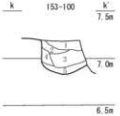
153-85

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	－	－	含	含	粗砂主体
2	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	少	－	－	－	－	1より粘質

153-86

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	少	－	－	少	含	－
2	オリーブ黒色砂質土	10Y3/1	少	－	－	含	－	－
3	灰色砂質土	10Y4/1	少	－	－	－	少	－





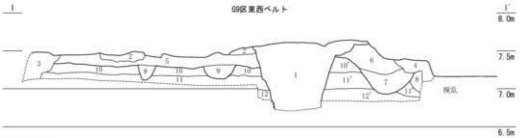
153-87

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	少	－	－	－	－	－
2	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	－	－	－	－	－
3	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/2	少	－	－	－	－	－

153-100

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐色土	10YR4/4	少	－	－	少	－	－
2	褐色土	10YR4/6	微	－	－	－	－	明黄褐色土多量
3	暗褐色土	10YR3/4	少	－	－	－	－	明黄褐色土含む
4	にぶい黄褐色土	10YR5/4	－	－	－	－	－	黄褐色土多量
5	にぶい黄橙色	10YR6/3	微	－	－	－	－	暗褐色土少量

0　2m

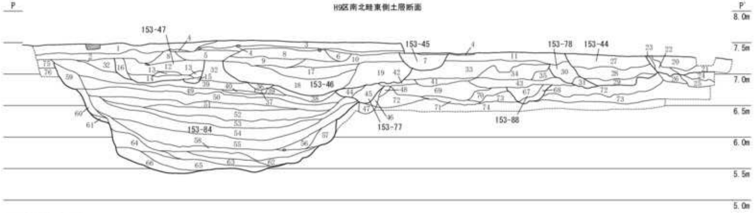


09区東西ベルト

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	土管埋設溝	－	－	－	－	－	－	－
2	撹乱	－	－	－	－	－	－	－
3	撹乱	－	－	－	－	－	－	－
4	撹乱	－	－	－	－	－	－	－
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	－	－	－	中	－	近代整地層か?
6	褐色土	10YR4/4	微	－	－	微	－	包含層
7	灰黄褐色シルト	10YR4/2	微	－	－	－	－	153-83
8	灰黄褐色シルト	10YR4/2	－	－	－	－	－	－
9	褐色土	10YR4/4	微	－	－	－	－	－
10	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	地山
10'	黄褐色土	10YR5/6	－	－	－	－	－	植物根多い
11	黄褐色土	10YR5/8	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色細砂混
11'	黄褐色土	10YR5/8	－	－	－	－	－	11よりも細砂多い
12	灰黄褐色シルト	10YR5/2	－	－	－	－	－	明黄褐色細砂含
12'	灰黄褐色シルト	10YR5/2	－	－	－	－	－	12より細砂多い

0　2m

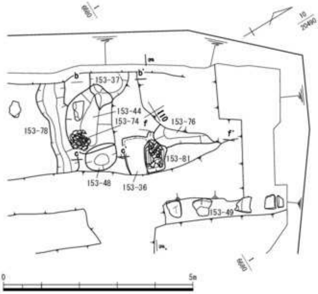
第20図　153-40・73・75・83・85・86・87・100・G8東西ベルト（縮尺1/50・1/40）

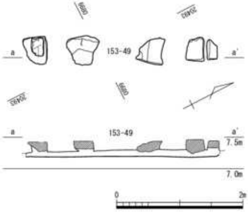


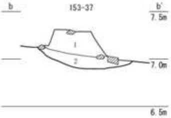
H9区南北畦東側土層断面

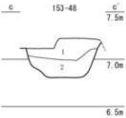
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	粒の石	備考
1	撹乱土	10YR5/3	少	-	-	少	中	-
2	撹乱土	10YR4/3	少	-	-	中	-	-
3	にぶい黄橙色砂質土	10YR7/3	-	-	-	-	-	近代の造成土
4	黄灰色砂質土	2.5Y6/1	少	-	-	中	中	近代の造成土
5	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	少	-	-	中	中	-
6	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	中	中	-	少	少	-
7	黒褐色砂質土	10YR3/2	中	-	-	少	少	153-45
8	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	少	-	中	少	-
9	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	少	少	-	中	少	-
10	黄褐色砂質土	2.5Y5/4	少	-	-	少	少	-
11	褐色砂質土	10YR4/6	少	-	-	少	少	-
12	褐色砂質土	10YR4/4	少	少	-	中	中	153-47
13	暗褐色砂質土	10YR3/4	中	少	-	-	-	153-47
14	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	-	-	少	-	153-47
15	褐灰色砂質土	10YR4/1	-	-	-	-	-	153-47
16	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	-	-	-	-	-	153-47
17	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	少	-	-	中	少	153-46
18	暗褐色砂質土	10YR3/4	少	-	-	中	中	153-46
19	暗褐色砂質土	10YR3/4	少	-	-	中	中	153-46
20	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	-	-	少	少	-
21	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	-	-	少	少	-
22	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	少	-	-	少	少	-
23	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/6	少	-	-	-	-	-
24	オリーブ黒色砂質土	10Y3/2	少	-	-	-	-	-
25	オリーブ黒色砂質土	10Y3/2	少	-	-	-	-	-
26	褐色砂質土	10YR4/4	中	中	-	-	-	-
27	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/6	中	中	-	少	-	153-44
28	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	-	-	153-44
29	にぶい黄褐色砂質土	2.5Y4/3	少	-	-	-	-	153-44
30	暗褐色砂質土	10YR3/4	中	-	-	少	-	153-78
31	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	-	-	-	-	153-78
32	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	少	-	-
33	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	少	-	-
34	暗褐色砂質土	10YR3/4	中	少	-	少	-	-
35	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	少	-	-	-	-	-
36	褐灰色砂質土	10YR4/1	少	-	-	-	-	-
37	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	少	-	-	-	-	-
38	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	少	-	-	少	少	-
39	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	少	-	-	少	-	-
40	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	中	-	-	少	-	-
41	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	-	-	-
42	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	-	-	-
43	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	少	-	-	少	-	-
44	黄褐色砂質土	2.5Y5/4	少	-	-	少	-	153-77
45	褐色砂質土	10YR4/4	少	-	-	少	-	153-77
46	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	少	少	-	-	-	-
47	褐色砂質土	10YR4/6	-	-	-	-	-	シミ状
48	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	少	-	-	-	-	-
49	褐灰色砂質土	10YR4/1	中	少	-	少	-	153-84
50	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	中	-	-	少	-	153-84
51	オリーブ灰色粘質土	10Y4/2	少	-	-	少	-	153-84
52	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	中	-	-	少	-	153-84
53	黒色粘質土	10YR2/1	中	-	中	-	-	153-84
54	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	中	-	中	少	-	153-84
55	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	中	-	中	少	-	153-84
56	灰色粘質土	10Y4/1	中	-	少	少	-	153-84
57	灰色砂質土	10Y5/1	少	-	-	-	-	153-84
58	灰色粘質土	10Y4/1	中	-	中	少	少	153-84
59	灰黄褐色砂質土	10YR4/2	少	-	-	少	-	153-84
60	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	少	-	-	-	-	153-84
61	灰色粘質土	10Y4/1	-	-	-	-	-	153-84
62	オリーブ灰色砂質土	10Y4/2	少	-	-	-	少	153-84
63	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	少	-	少	-	-	153-84
64	灰色粘質土	10Y4/1	中	-	少	-	-	153-84
65	灰色粘質土	10Y4/1	中	-	少	-	-	153-84
66	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	少	-	少	-	-	153-84
67	褐色砂質土	10YR4/6	中	-	-	-	-	153-88
68	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/4	少	少	-	-	-	153-88
69	褐色砂質土	10YR4/4	中	中	-	少	-	-
70	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/6	少	-	-	-	-	-
71	褐色砂質土	10YR4/4	少	少	-	-	-	153-102
72	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	-	-	-	-	-	-
73	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	-	-	少	-	-
74	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	-	-	-	-	-	-
75	黄褐色土	10YR5/6	-	-	-	-	-	-
76	黄褐色土	10YR5/8	-	-	-	-	-	-

第21図 H9区南北畦東側土層断面（縮尺1/60）







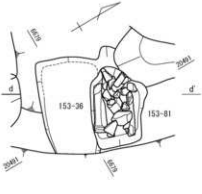


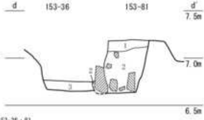
153-37

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	頁岩石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	－
2	黄褐色砂質土	10YR5/6	－	－	－	－	－	－

153-48

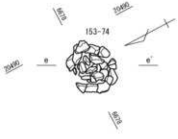
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	頁岩石	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	含	－	－	少	含	－
2	褐色砂質土	10YR4/4	含	－	－	－	－	－

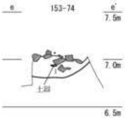


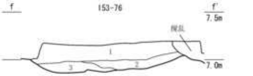


153-36・81

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	頁岩石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	含	－	－	含	153-81
2	暗褐色砂質土	10YR3/4	含	含	－	多	153-81
3	黒色粘質土	7.5YR2/1	多	－	－	－	153-36







153-76

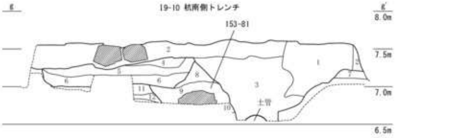
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	頁岩石	他の石	備考
1	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	含	－	－	含	－	黄褐色土混
2	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	－	－	－	少	にぶい黄褐色土混
3	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	含	－	－	－	含	－

0　2m

153-74

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	頁岩石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	含	－	－	－	－	黄褐色土ブロック多量

第22図　153-36・37・48・49・74・76・81（縮尺1/100・1/60・1/40）



19-10杭南側トレンチ

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	貝殻	笏谷石	他の石	備考
1	撹乱	–	–	–	–	–	–	–
2	近代以後の造成土	–	–	–	–	–	–	–
3	撹乱	–	–	–	–	–	–	土管埋設
4	灰オリーブ色砂質土	5Y5/2	中	–	–	少	少	–
5	オリーブ灰色砂質土	10Y4/2	中	–	–	少	少	–
6	オリーブ黒色砂質土	10Y3/2	中	–	–	少	少	–
7	灰色砂質土	10Y5/1	少	–	–	少	中	構築面 153-49
8	灰色砂質土	10Y4/1	少	–	–	少	少	153-81
9	オリーブ黒色砂質土	10Y3/1	少	–	–	少	少	153-81
10	黒色砂質土	5Y2/1	多	–	–	–	–	153-81
11	オリーブ黒色砂質土	10Y3/2	少	–	–	–	–	–
12	オリーブ黒色砂質土	10Y3/2	少	–	–	–	–	–

第23図 19-10杭南側トレンチ（縮尺1/50）

部材ともいえる遺物が出土している。掘立柱建物を構成する柱穴の可能性があるが、周辺の状況や西に隣接するFKJ13－1地区の様相からは不明と言わざるを得ない。

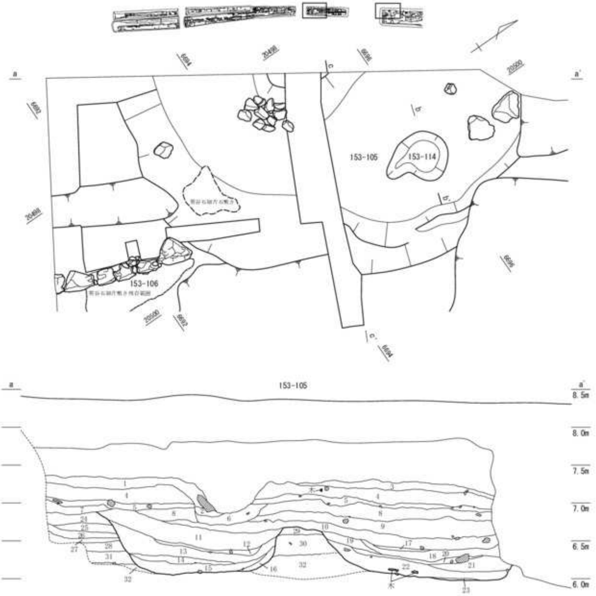
2）FKJ15－3調査区3区

建物・礎石列（第22図、図版第4） 3区の北端で北東～南西方向の礎石列を確認した。礎石列153－49は4点の礎石が南北方向3.1m、礎石の間隔は0.3～0.6mで並ぶ。建物の規模は不明である。南端の礎石は面を成形した際の加工痕が残り、平坦面を形成しており、転用した石を用いている。上面には毛引き状の線刻がある。下には小振りの石が重なっていた。

土坑（第15～23図、図版第4） 3区の土坑は、南半部は小～中規模の土坑が集中して切り合っている。日常的な廃棄土坑と考えるが、総じて遺物量は少ない。北半部は南半部ほど多くなく、切り合いも少ない。土層断面で確認したところ、北側は段階的に土を盛って整地を行っており、平面では確認し難い土坑もある。遺物から、17世紀前半から中頃と考える土坑、18世紀前半から中頃と考える土坑の二時期に大別でき、少数の18世紀後半台の土坑（153－51）、19世紀代の土坑（153－40）がある。遺物からは17世紀後半の土坑は確認できないが、寛文の大火後に火除け地へと変化したことと合致する。土坑には、覆土に火事場整理の痕跡である焼土・炭化物を明瞭に含む土坑は無い。大火前の遺構では、土坑153－38は上面に笏谷石を含んでいる。土坑153－50からは破損した笏谷石製丸瓦が3点出土した。土坑153－57・58・69からは志野の皿や鉢などが出土している。大型の土坑153－59は、平面形は推定長方形を呈す。底面はほぼ平坦だが一部に段を伴う。土坑153－60との前後関係は不明だが、土坑153－61に後行する。大火後の土坑では、土坑153－40は19世紀に属し、平面方形を呈す。土坑153－55は上層を中心に焼土を多く含むが、18世紀半ばの遺物が出土しており、寛文の大火とは関連しないと考える。

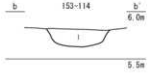
井戸（第19図、図版第4） 井戸と考えるものは153－63である。素掘りで、井戸側等の構造物を伴わない。断面形は逆ハの字状に広がり、土坑153－46に先行する。出土遺物から17世紀中頃に属す。

石組溜枡・集石（第22図、図版第4・5） 石組153－81は四方のうち、長軸方向の2面に笏谷石製の瓦と板石を直立させて設置し、内側には東側を中心に笏谷石片を充填している。上部にはやや大振りの礫が積まれていた。石組溜枡としたが、性格は不明である。土坑153－36に後行する。153－74は集石で、土坑153－44の東側で確認した。円形に石を並べた中に、やや小ぶりな礫を充填した様相を呈す。



153-105

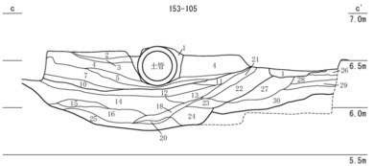
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	黒谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	–	–	–	含	–	–
2	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	–	–	–	含	–	–
3	灰オリーブ色砂質土	5Y5/3	–	–	–	少	少	–
4	暗オリーブ色砂質土	5Y4/4	少	–	–	少	少	–
5	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	多	–	–	多	含	–
6	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	–	–	–	少	含	–
7	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	少	–	–	含	–	–
8	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	含	–	–	含	–	–
9	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	含	–	–	含	少	–
10	暗オリーブ色粘質土	2.5Y3/3	多	含	–	含	–	–
11	灰色砂質土	5Y4/1	少	–	–	含	–	–
12	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	多	–	–	少	少	–
13	灰色砂質土	7.5Y4/1	–	–	–	少	–	–
14	灰色砂質土	7.5Y4/1	–	–	少	少	–	–
15	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	–	多	少	–	–
16	灰色粘質土	2.5Y4/1	少	–	少	–	–	–
17	灰褐色粘質土	7.5YR4/2	含	–	–	–	–	–
18	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	–	–	少	–	–
19	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	少	–	–	少	–	–
20	黒褐色粘質土	10YR3/2	多	–	多	少	少	–
21	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	–	–	少	–	–
22	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	–	–	多	少	少	–
23	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	–	–	–	少	–	–
24	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	含	–	–	少	–	–
25	灰オリーブ色砂質土	5Y5/2	含	–	–	少	–	–
26	暗オリーブ色砂質土	5Y4/4	少	–	–	–	–	–
27	オリーブ色砂質土	5Y5/4	含	–	–	–	–	–
28	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	–	–	少	–	–
29	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	含	–	–	少	–	–
30	灰色粘質土	5Y4/1	少	–	–	少	–	–
31	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	–	–	–	–	–	地山
32	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	–	–	–	–	–	地山

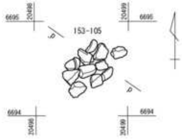


153-114

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	黒谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	少	–	–	少	–	–

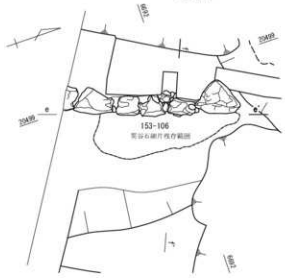
第24図　153-105・114（縮尺1/50・1/40）

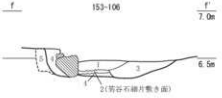




153-105

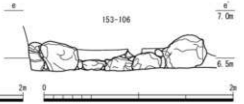
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	撹乱	-	-	-	-	-	-	-
2	灰オリーブ色砂質土	7.5Y6/2	少	-	-	少	-	上層
3	灰色砂質土	7.5Y5/1	少	-	-	少	-	上層
4	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	-	-	少	少	上層
5	黒褐色粘質土	10YR3/2	中	-	多	-	-	上層
7	黒色粘質土	7.5Y2/1	多	-	-	-	-	上層
10	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	多	-	-	少	-	上層
11	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	中	-	少	-	少	下層
12	黒褐色砂質土	10YR3/2	中	-	多	少	-	下層
13	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	中	-	-	少	少	下層
14	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	多	-	多	多	少	下層
15	黒褐色粘質土	10YR3/2	多	-	多	-	-	下層
16	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	多	-	-	-	少	下層
18	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	-	-	少	-	下層
20	灰色砂質土	5Y4/1	少	-	-	-	-	下層
21	灰色砂質土	7.5Y4/1	少	-	-	少	-	-
22	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/2	少	-	-	少	-	-
23	灰色砂質土	7.5Y4/1	少	-	-	-	-	-
24	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	-	-	少	-	下層
25	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	少	-	-	少	-	下層
26	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/2	少	-	-	少	-	-
27	灰オリーブ色砂質土	5Y5/3	少	-	-	-	-	-
28	オリーブ色砂質土	5Y5/4	少	-	-	-	-	-
29	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	-	-	-	-	-	-
30	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	-	-	-	-	-





153-106

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/2	-	-	-	-	-	-
2	灰色砂質土	7.5Y5/1	-	-	-	多	-	笏谷石敷き面
3	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/3	-	-	-	-	-	-
4	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	-	-	少	-	掘方
5	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	-	-	-	-	-



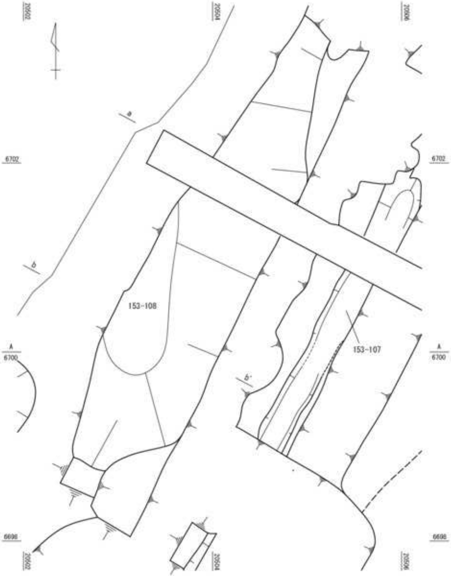
第25図　153-105・106（縮尺1/50・1/40）

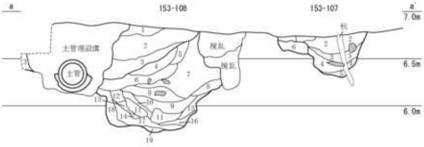
溝（第20図）　溝は153－83がある。溝153－5の延長にあたる可能性がある。

柱穴（第15・17図）　柱穴は153－66・68・91がある。掘立柱建物・柵などを構成すると考える。礎石は確認していない。

畝状遺構（第15図、図版第4）　F８区にて東西方向に延びる幅12～25cm前後の並行する多数の溝を検出した。溝と溝の間隔は概ね20～30cmを測る。深さは10cm以内に収まるものがほとんどである。過去の調査では、ＪＲ北陸線外２線連続立体交差事業に伴う調査の屋敷地Ⅳ－4で確認した、花壇の可能性がある遺構に類似する（福井県埋文2014）。また、中世遺跡の例だが、畑作に伴う畝状遺構とも類似する。本来は溝と溝の間に土を盛って畝としたと考えられ、屋敷地内における土地利用の一端を示すものである。

下層遺構（第31・33図）　３区北側において下層面を確認した。確認した遺構は礎石列・石列・土坑・小穴などである。これら下層遺構の時期は16世紀後半と考える。



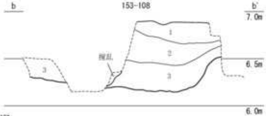


153-107

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐灰色土	10YR5/1	−	−	−	−	−	近現代
2	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	−	−	−	少	少	近現代
3	灰黄褐色土	10YR4/2	−	−	−	微	少	近現代
4	暗褐色土	10YR3/3	−	−	少	−	−	近現代
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	近現代
6	黄灰色土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	153-107

153-108・116

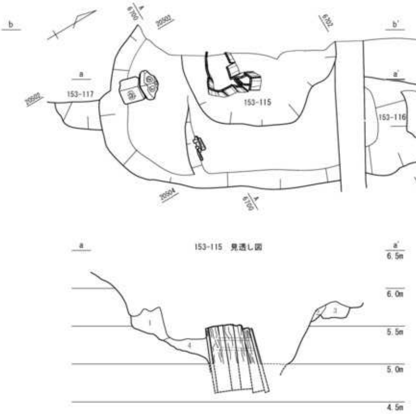
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色土	10YR2/3	少	多	−	−	−	153-108
2	黒褐色土	10YR2/2	中	多	−	少	−	153-108
3	黒褐色土	10YR2/3	多	多	−	少	−	黄灰色粘土ブロック多量　153-108
4	褐灰色砂質土	10YR4/1	微	−	−	微	−	黒褐色土少量　153-116
5	黒褐色砂質土	10YR3/1	微	−	−	微	−	褐灰色砂少量　153-116
6	黒褐色土	10YR3/1	少	−	−	少	−	153-116
7	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	−	−	−	少	−	153-116
8	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	微	−	−	有	−	153-116
9	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	−	−	有	−	暗灰黄色砂少量　153-116
10	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	−	−	−	−	153-116
11	黄灰色土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	153-116
12	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	少	−	−	−	−	粗砂中量　153-116
13	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	−	オリーブ褐色砂多量　153-116
14	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	−	153-116
15	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	暗灰黄色砂多量　153-116
16	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	少	−	−	黄灰色砂多量　153-116
17	黒色砂質土	2.5Y2/1	−	−	少	−	−	黄灰色粘質土少量　153-116
18	黒褐色土	2.5Y3/1	少	−	−	−	−	黄灰色粘質土少量　153-116
19	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	黄灰色シルト少量　153-116

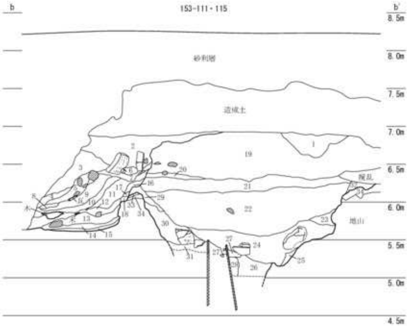


153-108

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色土	10YR2/3	中	多	−	少	−	黄灰色砂質土多量
2	黒褐色土	10YR2/3	多	多	−	−	微	−
3	黒褐色土	10YR2/3	多	多	−	少	−	黄灰色粘土ブロック多量

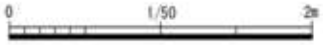
第26図　153-107・108（縮尺1/40）





153-115見透し図

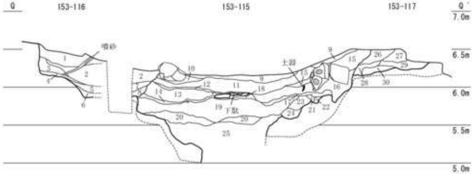
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	-	-	-	-	微	砂中量
2	灰色粘質土	5Y4/1	-	-	微	-	-	砂中量
3	灰色シルト	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	粗砂含む
4	灰色砂質土	5Y4/1	-	-	-	-	-	-



153-111・115

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	-	-	-	-	-	-
2	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	微	少	-	含	-	-
3	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	微	微	-	微	微	-
4	黒褐色土	2.5Y3/2	微	-	-	少	-	-
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	-	少	-	-
6	黄灰色土	2.5Y4/1	少	少	-	-	-	-
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	中	-	-	-	-
8	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	微	微	-	-	-	-
9	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	中	多	-	微	微	-
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	多	-	微	-	-
11	黒色土	10YR2/1	多	多	-	-	微	-
12	灰色砂質土	5Y4/1	少	中	少	少	-	-
13	黒色腐植土	2.5Y2/1	-	少	多	少	-	-
14	黒色腐植土	N1.5/0	-	-	多	-	-	-
15	黒褐色腐植土	10YR3/1	-	少	多	少	-	-
16	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	-
17	黒色粘質土	7.5YR2/1	-	-	-	-	-	-
18	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	-	-	-	-	-	-
19	黒褐色土	10YR2/3	中	多	-	少	-	覆土 153-108
20	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	-	-	-	-	-	-
21	灰色土	7.5Y4/1	-	-	-	少	-	ブロック状
22	オリーブ黒色土	5Y3/1	少	-	含	少	微	-
23	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	-
24	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	-	-	-	含	-	-
25	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	微	-	-
26	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	-	-	含	-	-
27	灰オリーブ砂	7.5Y4/2	-	-	-	少	-	-
28	灰色砂	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	-
29	黒色土	7.5Y2/1	-	-	少	微	-	-
30	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	含	-	-
31	灰色粘質土	5Y4/1	-	-	-	-	-	-
32	オリーブ黒色土	5Y3/1	少	-	-	少	-	-
33	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	-	-	-	-	-	造成土
34	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	-	-	-	-	-	造成土

第27図　153-111・115（縮尺1/50）



153-115・116・117

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考	
1	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	中	－	－	少	－	暗灰黄色砂ブロック少量	153-116
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	－	－	少	少		153-116
3	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	中	－	－	－	－	暗灰黄色砂小ブロック少量	153-116
4	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	微	－	－	－	－	細砂含む	153-116
5	黒色土	2.5Y2/1	－	－	少	－	－	腐植土含む	153-116
6	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	微	－		153-116
7	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	微		153-116
8	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	黄灰色砂	153-116
9	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	少	微	－	含	少	黄灰色土ブロック中量	153-115
10	黒褐色砂質粘土	2.5Y3/1	－	－	－	含	少		153-115
11	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	－	少	－	中	腐植土多い	153-115
12	暗オリーブ褐色土	2.5Y3/3	微	－	－	－	－	砂中量	153-115
13	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	－	少	－	－	砂・腐植土含む	153-115
14	黒色土	2.5Y2/1	－	－	含	－	－	腐植土層	153-115
15	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	少	－	－		153-115
16	黒褐色土	2.5Y3/2	少	－	少	少	少	土師皿・五輪塔出土	153-115
17	暗オリーブ褐色土	2.5Y3/3	－	－	少	少	－	粗砂少量	153-115
18	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	少	－	－	腐植土少量	153-115
19	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	－	－	少	－	暗灰黄色粘質土ブロック多量	153-115
20	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	－	暗灰黄色粘質土ブロック多量	153-115
21	黒色土	2.5Y2/1	微	－	－	－	－	腐植土層	153-115
22	黄灰色土	2.5Y5/1	－	－	－	－	－	腐植土少量	153-115
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	－	少	－	－		153-115
24	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	－	暗灰黄色砂含む	153-115
25	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	－	暗灰黄色砂少量	153-115
26	褐灰色砂質土	10YR4/1	少	少	－	－	少		153-117
27	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	少	－	－	－		153-117
28	黒褐色土	2.5Y3/1	少	－	－	少	－		153-117
29	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	微	微	－	－	－	黒褐色土中量	153-117
30	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	－	微	－	含	－	粗砂含む	153-117

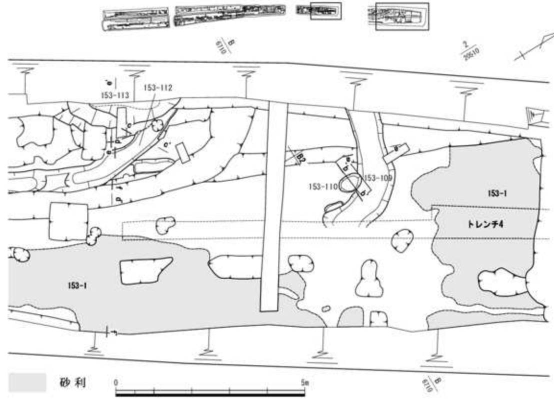
第28図　153-115・116・117（縮尺1/50）

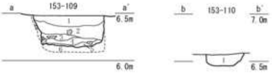
土坑（第21･31図、図版第５）　土坑153－84の西側は調査区外へ続く。平面形は隅丸方形状を呈し、断面形は逆台形状を呈す。断面では南側は地山を確認できたが、北側では60cm前後の厚さの盛土中に遺構が構築されている上、上層遺構が重複するため中世段階の掘り込み面は確認できなかった。覆土は黒色粘質土を主体とし、薄くレンズ状に堆積する。

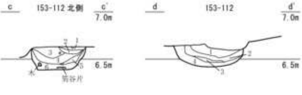
礎石列･石列（第31･33図、図版第５）　礎石列153－88は東西方向1.3m､礎石の間隔は0.8mで並ぶ。２石のみであり、西側の石は大きく傾斜しており建物とは違う性格と考える。礎石列153－89は南北方向6.3m、礎石の間隔は1.2～2.4mで一定しない。建物の規模は不明である。石列153－90は土坑153－84が埋まった後に設けられている。東西方向1.1m、石の間隔は0.5mである。礎石列153－95は建物を構成する。南北方向2.2m、東西方向2.5m、礎石の間隔は1.4～1.6mで並ぶ。建物の規模は不明である。確認しているのは南北１間、東西１間分のみである。小穴153－93・101などは153－95と同一の建物を構成し、礎石を抜き取った後の可能性もある。柱穴153－96は礎石が据えられる。153－95とは東西方向のdd' 間がcc' 間と直交し、153－95と同一の建物を構成する可能性がある。153－95は礎石面の標高が低く、153－89より約20cm掘り下げた面で検出した。

３）FKJ15－３調査区４区

４区砂利敷道路（第７・30図、図版第５）　砂利敷道路153－1は、長さ28m、幅は最大4.8m分を確認した。北端部ではＪＲ北陸線外２線連続立体交差事業に伴う調査で確認した、道路７の延長部分と交差する（福井県埋文2014）。道路の構造は、砂質土主体の路盤を２～７cm程度の厚さに固く敷き、玉砂利で舗装している。玉砂利層は薄い。路盤を盛って部分的にかさ上げ・補修がされている様子も窺えた。道路面の標高は１区・２区の道路面より50cm以上低くなる。道路面除去後のトレンチ４断面（第30図）







153-109

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗黄灰色砂質土	2.5Y4/2	少	少	−	中	−	黒褐色粘土ブロック中量
2	暗黄灰色砂質土	2.5Y4/2	中	中	−	中	−	−
3	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	−	多	−	−	−	暗褐色粘土ブロック多量
4	暗黄灰色砂質土	2.5Y4/2	−	−	−	中	−	−
5	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	−	多	−	含	−	暗褐色粘土ブロック多量
6	暗黄灰色砂質土	2.5Y4/2	−	−	−	含	−	造成土

153-110

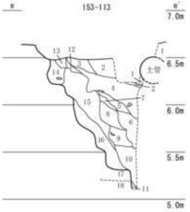
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ砂質土	5Y4/2	−	−	−	−	少	暗褐色粘土ブロック少量

153-112北側

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	−	含	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	少	−	−
3	オリーブ黒色土	5Y3/2	少	−	−	少	−	−
4	灰色粘質土	5Y4/1	−	微	−	−	−	−
5	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	−	−	−	少	少	−
6	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	含	含	−	−

153-112

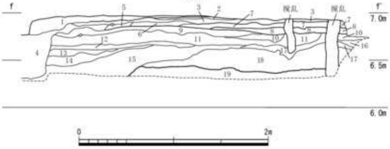
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗黄灰色土	2.5Y5/2	−	−	−	含	含	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	−
3	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	−
4	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	−



153-113

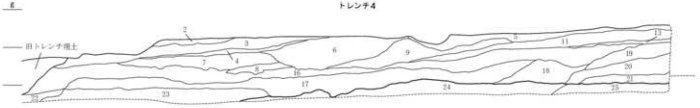
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	−	土管埋土
2	暗黄灰色土	2.5Y4/2	多	多	−	少	−	−
3	暗黄灰色土	2.5Y4/2	少	少	−	−	少	−
4	オリーブ黒色土	5Y3/1	多	多	−	少	少	−
5	黒褐色土	2.5Y3/2	多	中	−	−	−	−
6	黒褐色土	2.5Y3/2	多	中	多	−	−	−
7	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	−
8	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	少	−	少	少	−	−
9	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	−	−	少	−	−
10	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	微	−	−	微	−	−
11	黄灰色砂	2.5Y4/1	−	−	−	少	−	−
12	暗黄灰色土	2.5Y4/2	微	微	−	−	−	−
13	暗黄灰色土	2.5Y4/2	−	微	−	−	−	−
14	暗黄灰色砂質土	2.5Y4/2	−	−	−	−	含	−
15	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	−	−	−	−	−	−
16	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	−
17	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	地山
18	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	地山

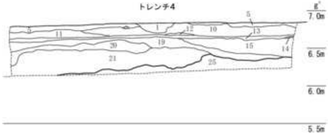
第29図 153-109・110・112・113（縮尺1/100・1/40）



153-1

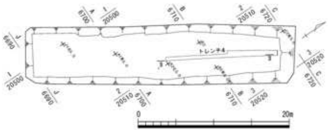
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒灰色砂質土	10YR4/1	－	－	－	少	多	近代道路面と路盤
2	砕石層	－	－	－	－	－	多	近代道路面
3	黒褐色土	2.5Y3/1	－	－	－	中	－	近代道路面と路盤
4	褐灰色土	10YR4/1	－	－	－	－	微	時期不明の溝
5	褐灰色砂質土	10YR4/1	－	－	－	－	少	－
6	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
7	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	少	道路面と路盤
8	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	少	路盤
9	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	－	－	－	－	多	道路面と路盤
10	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	多	路盤
11	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	－	－	－	－	－	ブロック土主体
12	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	しまり強い
13	暗灰黄色土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	シルト質
14	オリーブ褐色土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	シルト質
15	暗灰黄色砂	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
16	暗灰黄色砂	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
17	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	しまり強い
18	灰色粘質土	10Y4/1	－	－	－	－	－	細砂少量
19	灰色粘質土	10Y4/1	－	－	－	－	－	地山



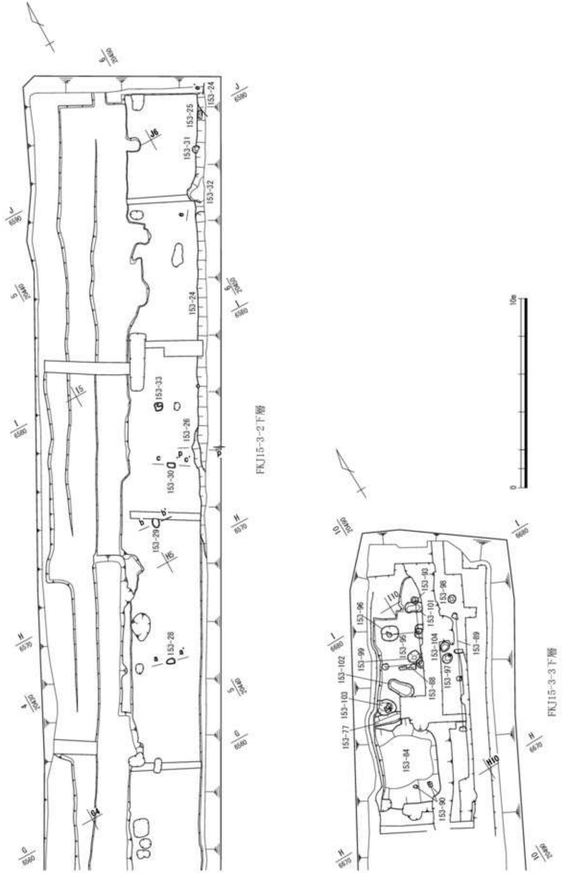


トレンチ4

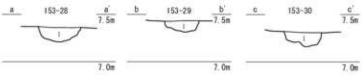
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰黄色砂質土	2.5Y6/2	－	－	－	－	少	粗砂多量
2	暗灰黄色砂質土	2.5Y5/2	－	－	－	－	－	粗い砂
3	灰オリーブ色砂質土	5Y5/2	－	－	－	少	－	粗砂多量
4	オリーブ灰色砂質土	10Y4/2	－	－	－	－	－	粗砂少量
5	灰黄褐色砂質土	10YR5/2	－	－	－	－	－	道路路盤
6	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	－	－	－	少	－	粗砂主体
7	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	－	－	－	－	粗砂少量
8	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	－	－	－	－	－	粗砂やや多い
9	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	少	－	－	少	－	粗砂多量
10	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	－	－	－	－	－	黄褐色砂多量
11	暗灰黄色砂質土	2.5Y5/2	－	－	－	－	－	－
12	オリーブ褐色土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	部分で赤味をおびる
13	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	しまり強
14	暗灰黄色土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
15	オリーブ褐色土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	－
16	オリーブ灰色粘質土	10Y4/2	－	－	－	－	－	－
17	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	－	－	－	－	－	細砂主体
18	オリーブ灰色粘質土	10Y4/2	－	－	－	－	－	－
19	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	シルトと混じる
20	暗灰黄色土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
21	オリーブ黒色土	10Y3/1	－	－	－	－	－	－
22	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	－	－	－	－	－	細砂やや多い
23	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	－	－	－	－	－	細砂を含む
24	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	－	－	－	－	－	地山
25	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	－	－	－	－	－	地山



第30図　153-1・トレンチ4（縮尺1/500・1/50・1/40）



第31図 FKJ15-3調査区下層全体図（縮尺1/200）



153-28

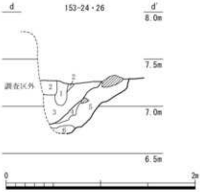
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	暗褐色土	10YR3/4	－	微	－	－	明黄褐色土ブロック中量

153-29

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	暗褐色土	10YR3/4	－	－	－	－	明黄褐色土少量

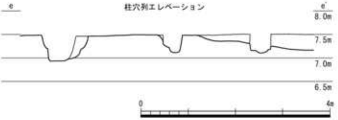
153-30

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	暗褐色土	10YR3/4	－	－	－	少	明黄褐色土ブロック多量



153-24・26

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考	
1	にぶい黄褐色砂	10YR5/4	－	－	－	少	少	根痕?	
2	にぶい黄褐色砂	10YR5/4	－	－	－	－	－	にぶい黄褐色粘質土ブロック多量	153-24
3	褐色砂	10YR4/4	－	－	－	－	－	灰黄褐色シルトブロック多量	153-24
4	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	－	－	－	－	－	砂少量	153-26
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR5/3	－	－	－	微	－		153-26
6	にぶい黄褐色土	10YR4/3	微	－	－	－	－		153-26



第32図　153-24・26・28・29・30（縮尺1/80・1/40）

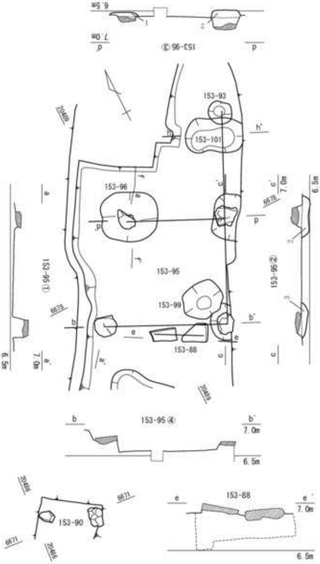
では標高6.2～6.6mにかけての土層を旧地形および地山と判断したが、百間堀にかけて緩やかに下がっていく様相となる。路盤下で遺構及び中世包含層は確認できず、路盤下を20～40cm程度盛土し、中之馬場北石垣へ続く。道路に付属する遺構には、道路北端部西側に溝153－109が屈曲して走っており、北陸新幹線福井駅部建設事業（FKJ06－1－1地区）で確認した溝611006と一連の道路南側側溝に該当するようである（福井県埋文2009）。153－109は南に延びないが、溝以東が丁字路、以西が屋敷地となる。

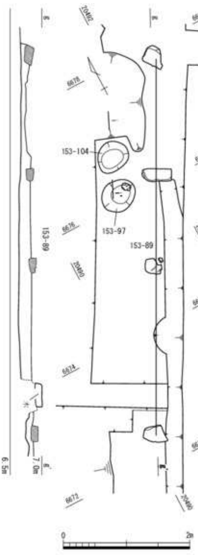
井戸（第27～29図、図版第６）　井戸には153－113･115がある。153－113は掘方の一部のみを確認し、平面形や覆土の堆積から井戸と判断した。153－115は西側部分が調査区外となるが、平面形は楕円形を呈す。井戸側の構造は、幅10～15cm、長さ90cmの板材を一辺に６枚縦にならべた平面方形となるが検出時は歪んでいた。本来は上部にさらに構造物が設置されたと考える。側面は竹を編んだタガで巻いていたが、タガの残存状況は不良であった。底面まで完掘していないため、下部構造は不明である。掘方からは土器・陶磁器以外に五輪塔の火輪・地輪、下駄、漆器椀などが出土した。井戸側の傾きは地震の影響の可能性がある。

土坑（第24・26～28図、図版第６）　土坑153－105は３区北側から続く整地土層から掘りこまれている。溝状を呈すると考えたが、断面から本来は２基の土坑が切り合っていることがわかる。南側の土坑からは笏谷石の細片が敷かれたような範囲および、礫が集中した範囲を確認した。性格としては廃棄土坑と考える。17世紀後半の遺物が出土し、底面付近には腐植物が比較的多く含まれていた。土坑153－108は覆土に焼土を多量に含んでいるが、遺物は18世紀代のものを含むため、寛文の大火と直接関係はないようである。土坑153－111は一部のみの確認だが、覆土中に炭化物・焼土を含む。土坑153－116は153－108や井戸153－115と重複し、平面形を明瞭にできなかった。

石組溝（第25図、図版第５・６）　石組溝153－106は南北方向に延びる石組溝の西側部分である。東側の石は残っておらず、掘方のみの確認である。石組は一石分の高さしか残存していないが、上部に積み上げられていた様子が窺える。溝の底部と考える部分には笏谷石の細片が残存する面がある。

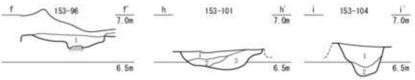
溝（第29図、図版第６）　溝には153－107・112・109などがある。153－107と153－112は同一の遺構とみなせる。





153-95

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	−	−	−	−	−	−
2	灰色砂質土	7.5Y4/1	少	−	−	少	−	−
3	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	少	−	−	−	−	−



153-96

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	−	−	−	多	−	−

153-101

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	−	−	−	−	−
2	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	−
3	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	やや多	−	−	−	−	−

153-104

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	男谷石	他の石	備考
1	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	−	−	−	多	−	−
2	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	少	−	−	−	−	−

第33図 153-88・89・90・95・96・101・104（縮尺1/60・1/40）

第３節　FKJ14－２調査区

FKJ14－２調査区は、百間堀と三ノ丸東堀・土橋およびそれらに面する石垣を検出した。堀の中央部は調査範囲から外したため、調査区は南から１～３区に細分されている（第34図）。

中之馬場北面石垣（第35図、図版第７）　検出した石垣は、北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06－1－1）で検出した石垣と一連のものである（福井県埋文2009）。石垣に使用された石材は、すべて火山礫凝灰岩（笏谷石）である。石垣の残存状況は悪く、検出した石垣は最大２段が残存しており、高さは約0.8mである。検出した部分の石垣の長さは約6.0mである。根石は、標高5.2mあたりに配置される。胴木・跳木などは確認できなかった。石垣石材の刻印は、12石中10石に確認した。詳細は第２分冊第７章にて後述する。なお、隣接する北陸新幹線調査区（FKJ06－1－1）では、石垣の背後に砂利敷道路面が確認されるものの、本地点では後世の攪乱によって激しく改変されており、確認することはできなかった。

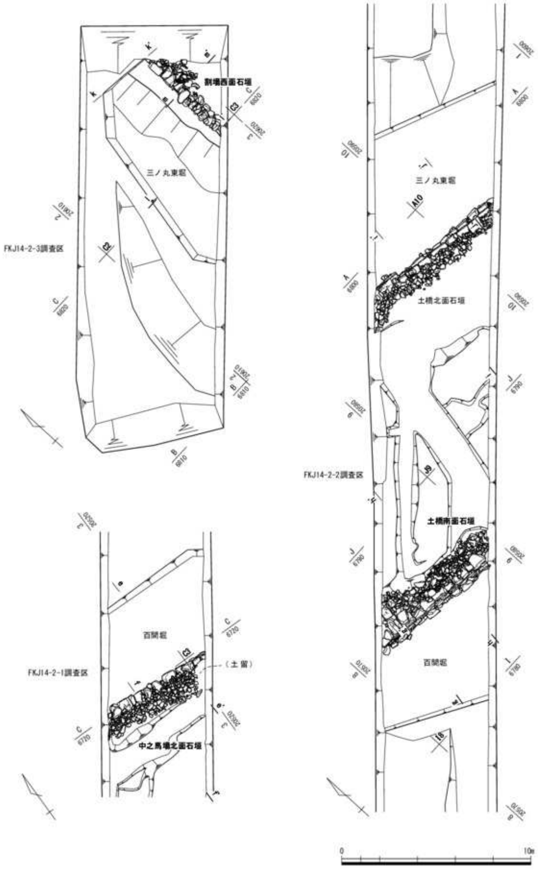
百間堀（第39・40図）　中之馬場北面石垣と土橋南面石垣の間の堀が百間堀である。百間堀はもともとここを流れていた吉野川を改変して造られた堀であり、下部には堀が機能する以前の河川堆積土を認めるが、ここからは遺物は出土していない。河川堆積土の上層に堀の埋土を認める。堀の埋土からは、遺物（陶磁器、土師質皿）や火山礫凝灰岩（笏谷石）が出土している。火山礫凝灰岩（笏谷石）には、石垣を構築する際の細片や、石垣石材や裏込め石がある。特に土橋南面石垣の前面は、百間堀内の調査区全域にわたって、石垣石材や裏込め石などが残されていた（図版第９）。これは、近代の鉄道敷設時に石垣が破壊された状況を示している。

三ノ丸土橋（第40・41図、図版第９）　検出した土橋は、ＪＲ北陸線連続立体交差事業に伴う調査（FKJ00－8）や北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06－1－2）で検出した土橋と一連のものである（福井県埋文2009・2014）。幅は約15.0mである。隣接する北陸新幹線調査区（FKJ06－1－2）では、土橋の上に砂利敷道路面が確認されるものの、本地点では後世の攪乱によって激しく改変されており、確認することはできなかった。土橋の構築は、土橋の中央付近をまず嵩上げして、次に石垣の石材を積み、そして石材の背後に裏込め石や土を加えて平らにするという工程を繰り返していることが確認できた（第40・41図）。また、南面石垣のみであるが裏込め石の一部に石瓦を転用している。加えて、土橋の盛土には噴砂痕を確認した。これは昭和23年(1948)の福井地震によるものであると推測する(第40図、図版第９)。なお、表土中からではあるが、金属製の迷子札が１点出土している。

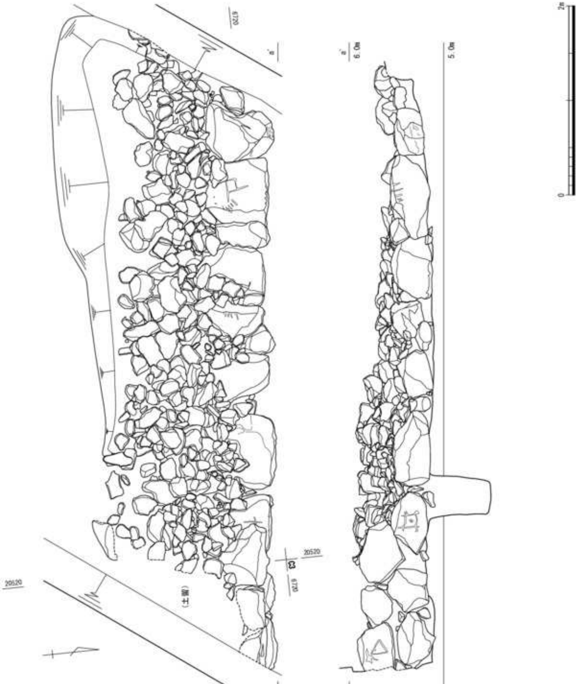
土橋南面石垣(第36図、図版第８)　土橋南面石垣に使用された石材は、すべて火山礫凝灰岩(笏谷石)である。検出した石垣は最大５段が残存しており、高さは約1.8mである。検出した部分の石垣の長さは約7.5mである。根石は、標高4.8mあたりに配置される。胴木・跳木などは確認できなかった。石垣石材の刻印は、52石中24石に確認した。詳細は第２分冊第７章にて後述する。なお、墨書も１点のみ確認した（図版第９)。

土橋北面石垣(第37図、図版第８)　土橋北面石垣に使用された石材は、すべて火山礫凝灰岩(笏谷石)である。検出した石垣は最大３段が残存しており、高さは約0.8mである。検出した部分の石垣の長さは約8.0mである。根石は、標高5.5～5.7mあたりに配置される。胴木・跳木などは確認できなかった。石垣石材の刻印は、23石中15石に確認した。詳細は第２分冊第７章にて後述する。

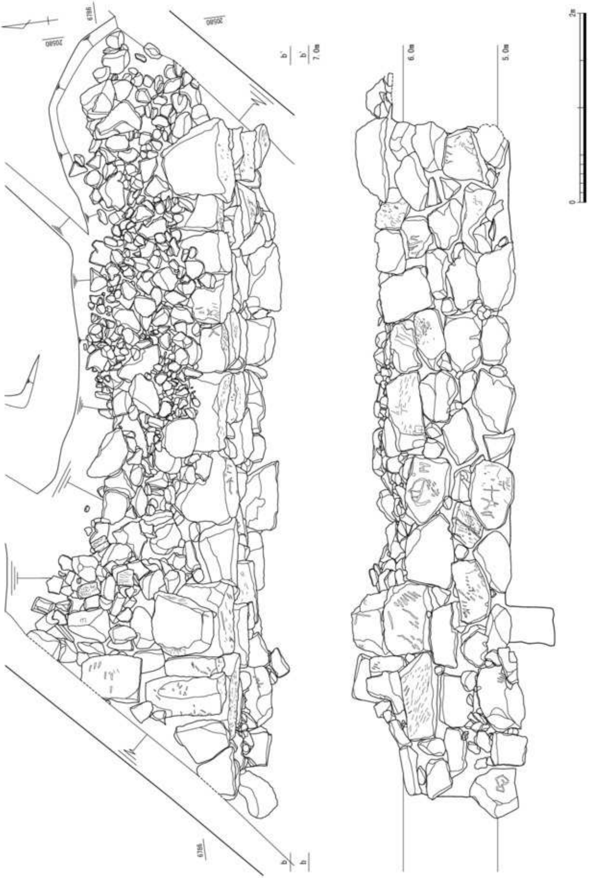
三ノ丸東堀（第41・42図）　土橋北面石垣と割場西面石垣の間の堀である。土橋北面石垣に面する部分では、石垣を構築した際の掘り込みを確認した。また割場西面石垣に面する部分では、堀の埋土から、石垣石材や裏込め石などの火山礫凝灰岩（笏谷石）が出土している。これは、近代の鉄道敷設時に石垣が破壊された状況を示している。



第34図 FKJ14-2調査区全体図（縮尺1/200）

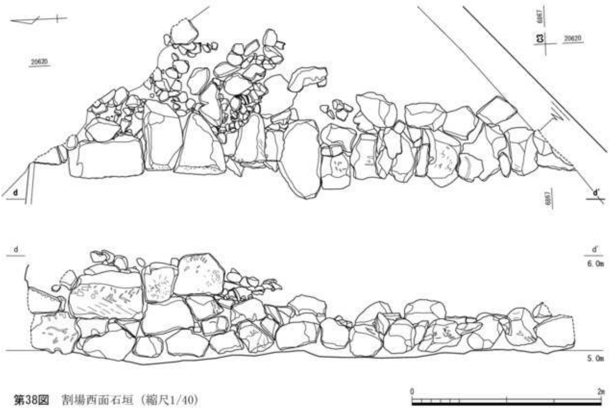


第35図　中之馬場北面石垣（縮尺1/40）



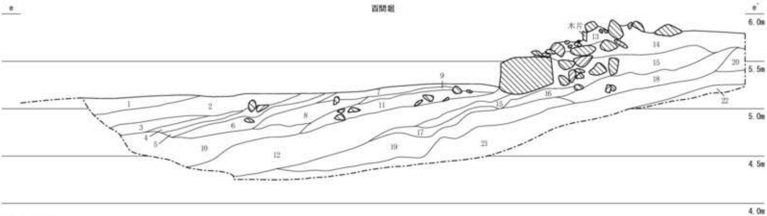
第36図 土橋南面石垣（縮尺1/40）

第37図　土橋北面石垣（縮尺1/40）



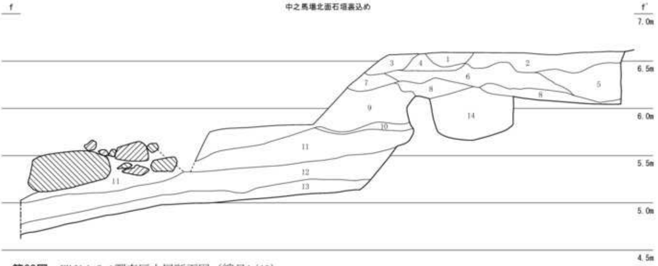
第38図 割場西面石垣（縮尺1/40）

割場西面石垣（第38図、図版第7） 石垣に使用された石材は、すべて火山礫凝灰岩（笏谷石）であり、残存状況は悪く、原位置をとどめているのは根石のみであった。検出した部分の石垣の長さは約6.0mである。根石は標高5.0mあたりに配置される。根石は中之馬場北面石垣や三ノ丸土橋石垣のものと比較すると、小ぶりな石材が使用されている。検出した石垣は最大3段が残存しており、高さは約1.0mである。石は前方に押し出されていることから、すでに原位置はとどめていないと考える。胴木・跳木などは確認できなかった。石垣石材の刻印は、15石中5石に確認した。詳細は第2分冊第7章にて後述する。なお隣接する北陸新幹線調査区（FKJ06－1－3）では、撹乱のため石垣は確認されていない（福井県埋文2009）。



14-2-1　西間堀

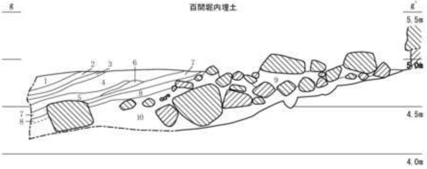
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	遺物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	細砂含む。
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	有	粗砂含む。
3	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	－	砂含む。
4	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	粘土含む。
5	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	有	－	粗砂含む。
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	有	－	粗砂多く含む。粘土ブロック含む。
7	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	－	－	有	－	有	－
8	暗褐色砂質土	2.5Y3/2	有	－	有	－	有	粘土ブロック含む。
9	黒褐色粘質土	10YR2/3	－	－	－	－	－	－
10	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	粘土ブロック含む。
11	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	有	有	有	粘土含む。
12	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	有	－	細砂含む。
13	黒色粘質土	2.5Y2/1	有	－	有	有	有	－
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	有	－	－	細砂・粘土ブロック含む。
15	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	粘土ブロック含む。裏込
16	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	有	－	粗砂含む。
17	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	粗砂含む。
18	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	有	－	粗砂含む。裏込
19	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	－	粘土ブロック含む。
20	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	粘土ブロック含む。
21	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	細砂と粘土が均等に含む。
22	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	－



14-2-1　中之馬場北面石垣裏込め

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	－	－	－
2	黄褐色砂質土	10YR5/6	－	－	－
3	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	－	－	－
4	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	－	－	－
5	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	－	－	－
6	暗オリーブ色砂質土	7.5Y4/3	－	－	－
7	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	－	－	－
8	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	－	－	砂含む。
9	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	粘土含む。
10	灰色砂質土	5Y4/1	－	－	－
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	有	砂含む。
12	黒色粘質土	5Y2/1	－	有	砂ブロック含む。
13	オリーブ黒色砂質土	5Y2/2	－	－	－
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	有	有	砂含む。

第39図　FKJ14-2-1調査区土層断面図（縮尺1/40）

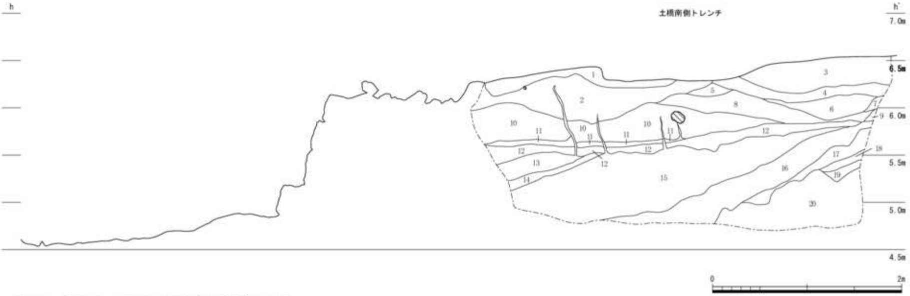


14-2-2 百間堀内埋土

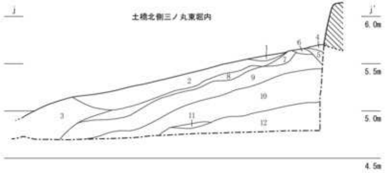
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	−
2	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	−
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	−	−	−	粗砂少し含む。
4	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	有	−	粘土ブロック含む。
5	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	有	有	粗砂多く含む。
6	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	粘土ブロック含む。上層片出土。
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	有	−	−	細砂含む。
8	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	有	−	−
9	青灰色粘質土	10BG6/1	−	−	−	有	−	−
10	灰色砂質土	10Y4/1	−	−	−	有	−	粘土ブロック含む。

14-2-2 土橋南側トレンチ

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−	−	−	−
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	粗砂含む。
3	オリーブ黒色粘質土	2.5Y4/4	−	−	−	−	−	−
4	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	−	−	砂含む。
5	灰色粘質土	5Y5/1	−	−	−	−	−	砂含む。
6	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	粘土ブロック含む。
7	暗灰黄色砂質土	2.5Y5/2	−	−	−	−	−	粘土ブロック含む。
8	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	砂含む。
9	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	−	有	−	−
10	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	有	−	砂含む。
11	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	−	−	−	−	−	粘土ブロック含む。壌砂あり。
12	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	−	−	−	−	−	−
13	灰色砂質土	5Y4/1	−	−	−	−	−	壌砂あり。
14	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	−	−	−
15	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	有	−	壌砂あり。
16	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	−
17	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	−
18	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	−
19	オリーブ黒色砂質土	7.5Y2/2	−	−	−	−	−	−
20	黒褐色粘質土	10YR3/2	−	−	−	有	−	−



第40図 FKJ14-2-2調査区土層断面図①（縮尺1/40）

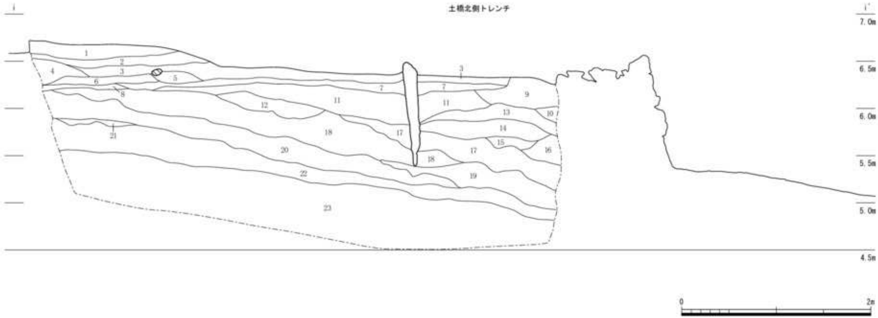


14-2-2　土橋北側三ノ丸東堀内

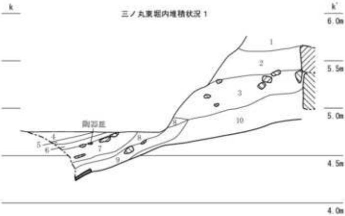
No.	土色・土質	土色No.	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	粘土塊・粗砂・細砂含む。
2	黄褐色砂質土	2.5Y5/6	−	−	粘土ブロック少し含む。
3	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	−	−	粘土ブロック含む。
4	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	多	粘土ブロック多く含む。
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−
6	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	−	粘土ブロック多く含む。
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	砂が多く含む。
8	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	−	−	粘土ブロック多く含む。
9	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	細砂ブロック含む。
10	暗緑灰色砂質土	7.5GY4/1	−	−	粘土ブロック多く含む。
11	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	−	−	粘土ブロック多く含む。
12	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	−	−	細砂多く含む。

14-2-2　土橋北側トレンチ

No.	土色・土質	土色No.	笏谷石	備考
1	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	−	砂含む。
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	砂含む。
3	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/4	−	砂含む。
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	砂含む。
5	灰色砂質土	5Y4/1	−	粘土含む。
6	オリーブ黒色砂質土	5Y3/3	−	−
7	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	−	−
8	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	有	笏谷石片の層を含む。
9	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−
10	灰色砂質土	7.5Y4/1	有	石組裏込石含む。
11	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	−	粘土ブロック含む。
12	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−
13	灰色粘質土	5Y4/1	−	−
14	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	−	粘土ブロック含む。
15	灰色砂質土	7.5Y4/1	−	粘土ブロック含む。
16	灰色粘質土	7.5Y4/1	−	砂含む。
17	灰色粘質土	10Y4/1	−	砂含む。
18	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	−	−
19	オリーブ黒色粘砂	7.5Y3/1	−	−
20	灰色粘質土	5Y4/1	−	砂含む。
21	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	−	−
22	灰色粘質土	5Y4/1	−	−
23	灰色粘質土	7.5Y4/1	−	砂含む。

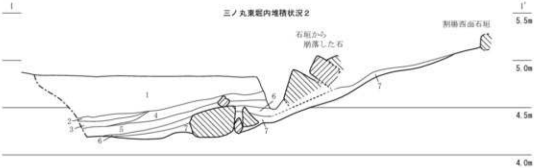


第41図　FKJ14-2-2調査区土層断面図②（縮尺1/40）



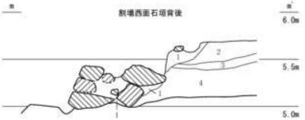
14-2-3　三ノ丸東堀内堆積状況１

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	有	－	有	有	有	粘土含む。
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	少	有	－	砂少し含む。
3	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	有	有	砂含む。
4	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	－	－
5	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	粘土含む。
6	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	－	砂わずかに含む。
7	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	有	－	陶器皿出土。
8	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	－	－	有	－	－	砂含む。
9	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	有	有	－	－
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	砂含む。



14-2-3　三ノ丸東堀内堆積状況２

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	有	－	－	－
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	有	－	－
3	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	少	－	－	砂含む。
4	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	有	－	－
5	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	少	－	－	－
6	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	少	少	－	－
7	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	少	－	－	砂わずかに含む。



14-2-3　割場西面石垣背後

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	有	－	－	－
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	少	－	－
3	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	－
4	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	－	－

0　2m

第42図　FKJ14-2-3調査区土層断面図（縮尺1/40）

第４節　FKJ15－4調査区

FKJ15－4調査区は城下絵図と対照すると、南端の飛地が武家屋敷地（Ⅲ街区）、残りの部分が南から道路・土居・割場北堀・石垣（近世初頭はⅣ街区）、道路、武家屋敷地（Ⅴ街区）となっている。また、調査の結果、近世以外に中世や古代の遺構が確認できた（第44・57・68・70～72）。

１　Ⅲ街区

１）近世上面（第45図、図版第10）

井戸１基、溝１条、土坑３基を検出した。うち、井戸154－9の埋土では近世と近代の遺物が出土し、近代になって埋められたものと想定している。154－9は直径0.66m、高さ1.82m以上の桶状の井戸側を持ち、底板に空いた直径８cmの穴からは、地下に竹管が伸びていた。溝154－14は長さ2.4m、幅0.5mで調査区外へ延びている。土坑154－23は長辺1.6m以上、短辺0.9mで、埋土最下層には木屑を多く含んでいた。これらの遺構では19世紀の遺物が出土した。

２）近世下面（第46図、図版第10）

土坑11基を検出した。土坑154－43は短辺1.5m、長辺2.9m以上あり、調査区外に向かい底面が段上に高くなり、段の境には土留めのための石列が２列設けてあった。廃棄土坑154－33は2.2m四方の方形を呈し、埋土の下半分は木屑を大量に含んでいた。また、土坑154－37は長辺1.6m以上、短辺1.3m、土坑154－47は長辺1.8m、短辺1.2m、土坑154－48は長辺2.1m、短辺1.0mあり、いずれも埋土最下層には木屑や炭化物を多く含んでいた。この面の遺構からは、17世紀後半から18世紀前半にかけての遺物が出土した。

３）中世面（第58・59図、図版第10）

井戸１基、溝１条、土坑１基を検出した。井戸154－46は内径0.9mの石組井戸で、深さは1.8m以上あるが底面まで完掘できなかった。溝154－49は幅1.1mで長さは10m以上あり、調査区内を蛇行し両端は調査区外へ延びていた。土坑154－50は長辺4.0m以上、短辺2.3m以上あり、調査区外へと続き、154－49を切って作られたものである。この面の遺構からは16世紀後半の遺物が出土した。城下絵図と対照すると、近世上面・下面の多くの遺構の長軸は、道路や屋敷地境に並行あるいは直行するようになっている。一方、中世面の遺構は、近世の町割りとは異なった方向に延びている。

２　Ⅳ街区（道路・土居）

１）中・近世面（第47・58・59図、図版第11）

近世に道路・土居（近世初頭はⅣ街区）があったと想定される地点は、水道管や暗渠など近代以降の攪乱によって大規模に破壊されており、近世の遺構面は一部しか残っていなかった。近世の遺構は僅少で、土坑が７基確認できただけであった。中世の遺構としては土坑が４基確認された。土坑154－34は長径0.59m、短径0.53mで、ほぼ完形の天目茶碗や土師質皿、漆椀が出土した。また、中世の落ち込み154－25が調査区を横断する形で確認された。幅は6.0m、長さは10m以上あるが、これは下層にある古代以来の落ち込みが自然に埋没していく過程での、最後の状態を示していると考える。

２）古代面（第68・69図、図版第11）

奈良・平安時代の遺構として、溝４条、土坑３基、自然流路１条を確認した。溝154－8は幅0.9m、N87°Wを向き、長さ14.4mで直線状に調査区外へ延びる。溝154－26は幅0.8m、長さ5.0mで、N16°Wを向き、自然流路154－10にほぼ直交する。北側は攪乱によって失われている。溝154－36は長さ5.8mで、北岸の一部のみを検出した。溝としたが、土坑や落ち込みの可能性もある。自然流路

154－10は長さ22.9mで、南岸のみを検出した。岸線はN62°～84°Eに屈曲する。対岸は未検出で全体の規模は不明であるが、最大幅は約10m以上と推定される。土坑154－3は直径1.8mである。

３）古墳時代面（第70図）

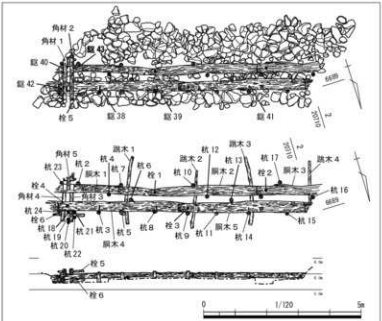
古墳時代の遺構として溝１条、土坑１基を確認した。溝154－27は幅1.1m、長さ4.4mで、調査区外へ延びる。溝154－36に先行し、土坑154－32より後出のものである。N60°EからE－Wに屈曲する。154－32は、全体が溝154－27に切られており、全体形は不明瞭である。

なお、工事立ち合いで調査を行ったFKJ14－1調査区では、井戸１基と土坑２基を確認した。ともに近世のもので、井戸141－3は20～40cmほどの礫を積んだ構造のものであった。

３　割場北堀・石垣

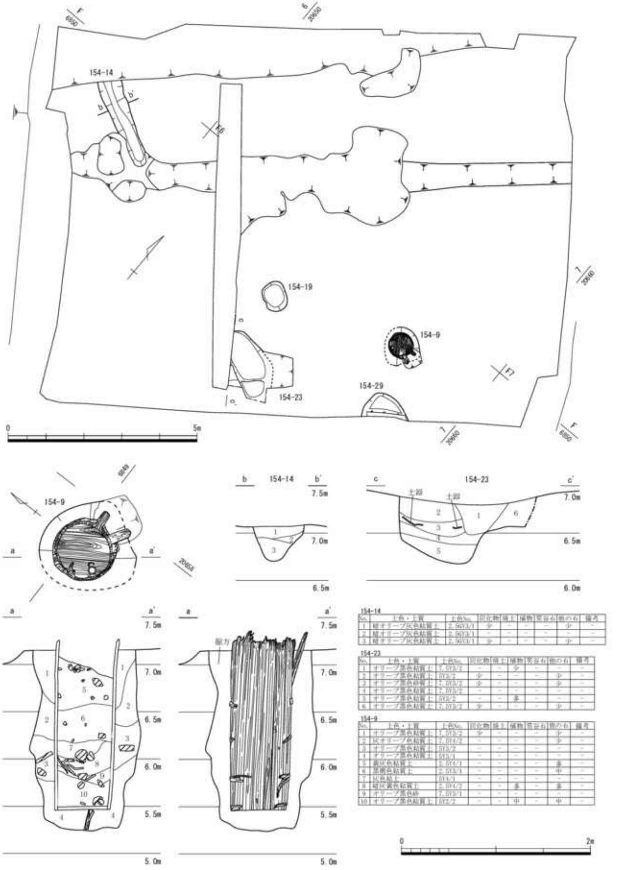
割場北面石垣（154－12）（第48・49図、図版第12）　城下絵図と対照すると、（元）割場の北面に位置する石垣である。これは、慶長期（1613年頃）の絵図には表現されておらず、正保期（1645～1648）の絵図から表現される。そのため、元和～寛永期（1615～1645）の間に構築されたと考える。

裏込栗石と胴木組が残存するのみである。胴木組の構造は、太さ約0.4mの胴木を２列並行させて配置し、胴木と直交させる形で梯子状に跳木を下部に据え、胴木の周囲に垂直方向に杭を打ち込んで固定する。胴木は両端に切り欠きを作り、隣の胴木同士をつなぎ合わせ、重なった部分に穴を穿ち、栓を打ち込んで継いでいる。胴木の一部は、ほぞ穴や切り欠きを複数認めるものもあり、何らかの建築部材を転用して、胴木として再利用していたことを示すものである。すべての杭に認められる訳ではないが、杭と胴木とつなぎ合わせるために鎹を打ち込んでいるものもある。特に胴木組の東端は、太さ約0.1mの角材を２本用いて胴木を挟み込み、角材と胴木は鎹を複数打ち込んで固定しており、かなり堅固な造りとなっている。胴木はおおむね標高5.8mでほぼ水平に据えられる。ここで出土した鎹は合計で６点あり、出土状況を第43図で示す（38～43）。遺物の詳細は第２分冊第５章にて後述する。また、出土した胴木、角材、跳木、栓、杭は樹種同定や年代測定を行う目的で43点をサンプリングしており、その結果は第２分冊第６章にて後述する。なお、樹種同定は胴木５点、角材５点、跳木４点、栓６点、杭23点で行い、年代測定は跳木２点、杭２点で行った。その際にサンプルを採取した試料には番号を付記する（第43図胴木１～５、角材１～５、跳木１～４、栓１～６、杭２～24、※杭１は欠番）。樹種同定と年代測定の結果は第２分冊第６章で後述する。



第43図　割場北面石垣試料採取・遺物出土状況図（縮尺1/120）

なお、隣接するFKJ06－2調査区で検出した胴木組には、跳木は全く確認されていない（福井県埋文2009）。このことから、同一の石垣でも地点により胴木組の構造に違いがある。本石垣においては、東方に向かうにつれて、胴木組がより堅固になっていく点が指摘できる。同一の石垣でありながら胴木組



154-14

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	少	−	−	−	少	−
2	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	−	−	−	−	−	−
3	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	少	−	−	−	少	−

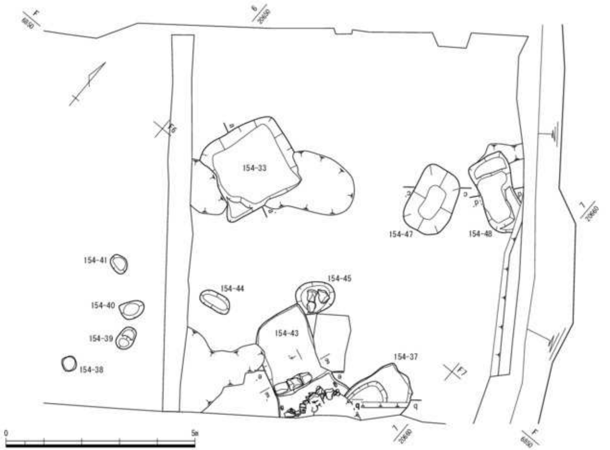
154-23

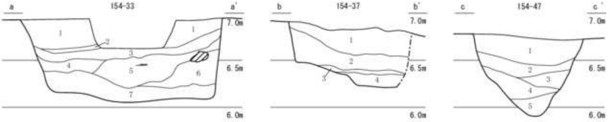
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	−	−	少	−	−	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	少	−
3	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	少	−	−	−	少	−
4	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	−	−	−	−	−	−
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	多	−	−	−
6	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	少	−	−	−	少	−

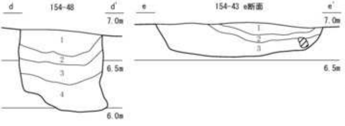
154-9

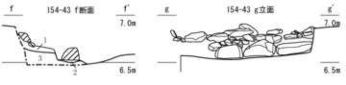
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	少	−	−	−	少	−
2	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	−	−	−	−	少	−
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	−
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	−
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	多	−
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	−	−	中	−
7	灰色粘土	5Y4/1	−	−	−	−	−	−
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	多	−	多	−
9	オリーブ黒色砂	7.5Y3/1	−	−	−	−	−	−
10	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	−	−	中	−	中	−

第 45 図　154-9・14・23（縮尺1/100・1/40）









154-33

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	少	−	−	−	少	−
2	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	少	−	−	−	多	−
3	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	少	−	−	−	−	−
4	黒色腐食土	7.5YR2/1	−	−	多	−	多	−
5	木くず層	7.5YR2/1	−	−	多	中	−	−
6	褐灰色粘質土	10YR4/1	−	−	多	−	多	−
7	木くず層	7.5YR2/1	−	−	多	中	−	−

154-37

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	−	−	−	少	−
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	−	−	多	−	−
3	灰色粘質土	10Y5/1	−	−	−	−	−	−
4	木くず層	5Y2/1	−	−	多	−	−	−

154-47

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘土	2.5Y4/1	少	−	−	−	−	−
2	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	−	−	−	−
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	多	−	少	−	−	−
4	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	−	少	−	−
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	−	多	−	−	−

154-48

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	−	−	−	少	−
2	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	−	−	−
3	黒褐色粘質土	7.5YR3/1	少	−	少	−	少	−
4	褐灰色粘質土	7.5YR4/1	−	−	多	−	多	−

154-43 e断面

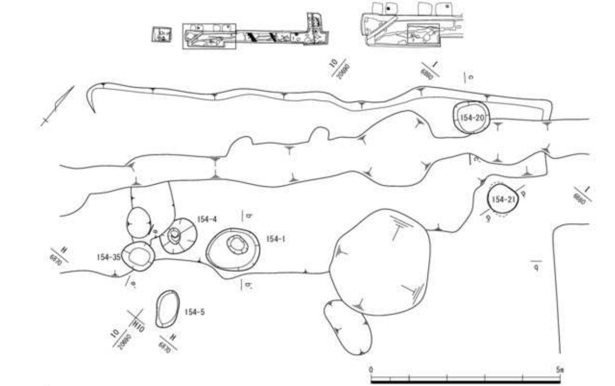
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	緑灰色粘質土	7.5GY5/1	少	−	−	−	−	黄褐色土混
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	−	−	−	少	−
3	灰色粘質土	7.5Y5/1	−	−	−	−	中	−

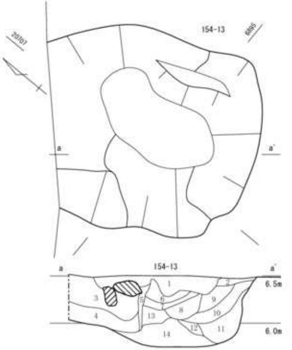
154-43 f断面

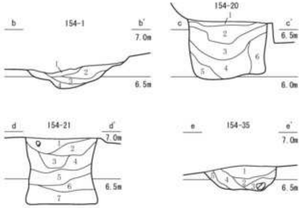
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	−	−	−	−	黄褐色土混
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	−	−	−	−	多	−
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	−	−	−	−	−

0 2m

第46図　154−33・37・43・47・48（縮尺1/100・1/40）







154-1

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	5YR2/1	－	－	多	－	－	シルト少量
2	黒褐色粘質土	7.5YR3/1	少	－	－	－	－	シルト少量
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	－	－	シルト少量
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	－	－	－	－	オリーブ褐色粘土少量

154-20

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	少	－	－	－	－	－
2	オリーブ黒色砂質土	5Y2/2	少	－	－	－	－	－
3	黒色砂質土	5Y2/1	少	－	－	－	－	－
4	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	－	－	－	－	－	－
5	黒色粘質土	2.5Y2/1	－	－	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量

154-21

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	少	－	－	少	－
2	暗オリーブ色粘質土	5Y4/3	少	－	－	－	－
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量
5	赤黒色砂質土	2.5YR2/1	－	－	多	－	有機物層
6	黒褐色粘質土	10YR2/2	－	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量
7	黒色砂質土	10YR1.7/1	－	－	多	－	有機物層

154-35

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	－	－	－	灰色粘土ブロック少量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y5/1	－	－	－	－	黒褐色砂質土少量
3	黒色粘質土	2.5Y2/1	－	－	－	10cm程度	灰色砂質土中量
4	黒褐色砂質土	10YR3/1	－	－	－	－	灰色粘土の互層
5	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	灰色砂質土中量

154-13

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	－	－	少	－	砂質土中量
2	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/3	－	－	－	－	－	砂質土中量
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	－	－	少	－	砂質土中量
4	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	少	－	－	－	－	－
5	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	－	－	－	－	－	－
6	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	－	－	－	－	－	砂質土中量
7	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/3	－	－	－	－	－	砂質土中量
8	オリーブ黒色粘土	7.5Y3/2	－	－	－	－	－	－
9	灰オリーブ色粘土	7.5Y4/2	－	－	－	－	－	黒褐色ピート少量
10	灰色粘土	7.5Y4/1	－	－	－	－	－	黒褐色ピート少量
11	オリーブ黒色粘土	7.5Y3/2	－	－	－	－	－	黒褐色ピート少量
12	灰色粘土	7.5Y4/1	－	－	－	－	－	黒褐色ピート少量
13	灰色粘土	5Y4/1	－	－	－	－	－	黒褐色ピート少量
14	灰オリーブ色粘土	5Y5/2	－	－	－	－	－	－

第47図　154-1・13・20・21・35（縮尺1/100・1/40）

になぜこのような違いが生じるのか、なぜ東方へ向かうのにつれて堅固になっていくのかなど、これらの疑問に対する明確な回答は現在のところ出し得ない。あくまでも、ひとつの解釈であるが、北人分門を構成する枡形石垣の出隅部が近いために、このような構造になった可能性を指摘しておくに留めておきたい。

この石垣については、本調査区では築石や根石等は全く残存していない。隣接するFKJ06－2調査区で検出した石垣もわずかに根石が数石残るのみである。石垣前面部分には規則的に並べた石列を認める。使用された石材はすべて火山礫凝灰岩（笏谷石）である。裏込栗石は胴木上にも確認できることから、石垣石材が抜きとられた後に裏込栗石が転落したものと考えられるが、原位置を留める裏込栗石と崩落した裏込栗石を明確に区別するのは困難である。石垣の上部はすべて削平されており、構築する際の掘り込みを確認することはできなかった。なお、石垣は旧河川の河川堆積によって形成された厚い粘質土層の上部に構築される。

土坑 154－16（第48図） 直径約1.0mを測り、石瓦片が出土した。割場北面石垣（154－12）に隣接して位置しており、これに関連するものと判断するものの、詳しい遺構の性格は不明である。

松原南面石垣（154－52）（第48・49図、図版第13） 城下絵図と対照すると、松原地区の南面にあたる石垣である。これは、慶長期（1613年頃）の絵図には表現されておらず、正保期（1645～1648）の絵図から表現される。そのため元和～寛永期（1615～1645）の間に構築されたと考える。

この石垣に使用された石材はすべて火山礫凝灰岩（笏谷石）である。検出した石垣は2段が残存しており、高さは約1.0mである。検出した部分の石垣の長さは約9.0mである。根石は標高5.7mあたりに配置される。石垣石材の配置は、正面に対する控え長が長いものと短いものの両者を確認できる。このような石垣の積み方は、福井城跡においては寛文9～12年（1669～1672）の間に修理された山里口御門櫓台石垣にて確認されており、遅くとも1670年頃には出現する石垣構築技法である（福井県2019）。先述のように、この石垣は絵図からは元和～寛永期（1615～1645）に構築されたと評価できるものである。しかし、ほぼ同時期に構築されたと思われる中之馬場南面石垣（FKJ00－3－1地区）の東側築石部には、正面に対する控え長が長いものしか認められないのである（福井県埋文2014）。このことから松原南面石垣（154－52）は、元和～寛永期（1615～1645）に構築された石垣の中でも、より後出的な特徴を有していると指摘できる。また、明治時代以降に石垣の一部（検出部分のほぼ中央に相当）が改修されていることも判明した。胴木組は確認できず、石垣石材は粘質土上に直置きされる。裏込栗石は割場北面石垣（154－12）と比較して少ない。石垣石材の刻印は23石中11石に確認した。刻印の詳細は第2分冊第7章にて後述する。石垣は基盤層の上部に堆積した旧河川の河川堆積によって形成された厚い粘質土層の上部に構築される。石垣を構築する際の掘り込みを確認した。また、明治時代以降の石垣改修の際の部分的な掘り込み（攪乱）も確認できる。

割場北堀（154－53）（第48・49図、図版第12） 城下絵図と対照すると、割場北面石垣と松原南面石垣の間に存在する堀である。この堀は、慶長期（1613年頃）の絵図には表現されておらず、正保期（1645～1648）の絵図から表現される。そのため、元和～寛永期（1615～1645）の間に造設されたと考える。

検出長は約9.0mで、幅約12.6mを測る。旧河川の河川堆積によって形成された厚い粘質土層を掘削して造設されている。堀の中心部分が最も深くなっており、その最大深度は標高約4.7mを測る。堀は江戸時代を通じてかなり整備されていたようで、江戸時代に堆積した堀埋土はほとんど確認できず、割場北面石垣（152－12）付近にて石垣構築の際の排土と想定される笏谷石細片を多く含む層を確認す

るのみである。堀埋土の大半は明治時代のもので、19世紀末の鉄道敷設の際に、この石垣を破壊して、堀を完全に埋めた状況を土層観察から窺うことができる。

4　道路・Ⅴ街区

1）近世面（第44図）

土坑154－57・58（第50図）　性格不明の土坑である。平面が隅丸四角形を呈し、深さ0.2m未満と比較的浅く、底面中央寄りに小規模な凹みを有する点で共通する。154－58は長軸を松原南面石垣（154－52）の方向にそろえる。

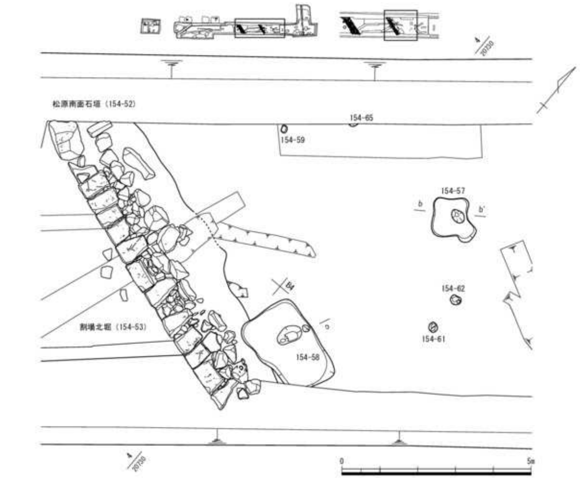
道路等154－54～56・60（第51図）　松原南面石垣（154－52）と並行して東西に延びる道路であり、調査区東側で部分的に残存する。道路面154－60・路床154－54で構成し、側溝154－56・55を付帯する。道路面（154－60）は玉砂利と粗砂からなり、厚さ約3cmを測る。路床（154－54）は盛土とし、残存幅3.7m、厚さ0.24mを測る。砂利舗装直下の最上層（同図1層）はしまりが強い。側溝（154－55・56）は調査区中央部で途切れ、約3.7mの間隔をあける。両溝ともに底面からの立ち上がりが道路に向けて緩やかに傾斜する。154－55は石垣外面から約3.5m北側に位置する。幅約1mを測る。掘り直しによる1回の改修を確認でき、改修後では溝底の幅が狭くなり、薬研堀状となる。砂利舗装面からの深さ0.5mを測り、改修前より0.05m深い。154－56は石垣表面から約4.1m北側に位置する。幅0.62m、砂利舗装面からの深さ0.55mを測る。なお、道路北側には、154－55・56と対になる側溝は確認できなかった。元来、存在していなかった可能性もある。

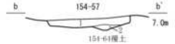
廃棄土坑154－78・86～88・90～94（第50・52・53図）　内部から多量の遺物が出土する点、あるいは腐植土が厚く堆積する点で、廃棄土坑と判断した。C5・6区に集中して分布する。平面が隅丸四角形を呈す例が多い。長径には1.3～2.9mの数値幅があるが、底面標高は6.7m前後と6.0m前後にまとまる傾向にある。

土坑154－96（第52・53図）　平面が隅丸方形を呈し、外縁に沿って浅い段や溝をもつ。この段や溝付近で人頭大の笏谷石を多く検出し、覆土中からも笏谷石小塊が多く出土した。

井戸154－74・100（第54図、図版第13）　2基ともに屋敷地に伴う井戸である。井戸側は石組で、下端部のみ残存する。覆土の状態から、井戸側材は下端部を残して抜き取られたと判断される。石材は笏谷石を基本とする。石組部の平面は正方形を呈し、各辺は東西南北に対応する。154－74の礫組部は内径58×62cmを測る。主に長さ40cm前後の角礫を積み上げるが、部分的に河原石もわずかに使用する。裏込土は確認できず、土壁面に接着させて石材を積み上げる。水溜部には指頭大以下の玉石と砂利を敷き詰める。この玉砂利層（同図3層）は厚さ約40cmを測り、浄水用と考えられる。井戸底は標高3.52mを測る。154－100の石板組部の内径は一辺72cmを測る。各石板は同規格であり、長さ80cm、高さ40cm、厚さ12～18cmを測る。側板の組み合わせは、南北側石板の両端を加工し、包み打ち付け継ぎにより接合する。側板の積み上げは上下両端面を無加工のままで接合する。その他、下端の石板組部の外周で、側板底面と同じ高さで接地する人頭大の笏谷石をまとまって検出した。なお、井戸底は湧水のため明確には検出できなかったが、側板がさらに下方に延長しないことを確認している。

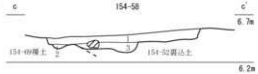
柱穴・小穴154－104～107・110～129・132～142（第55図）　D5・6区、E5区に位置する柱穴・小穴で、計35基を検出した。このうち、平面が楕円形や隅丸長方形を呈し、径0.5～0.7m、深さ0.3～0.5mを測り、覆土に柱痕跡が認められる例は柱穴と判断される。ただし、分布には規則的な配置が認識できず、建物として認定することは困難であった。なお、柱痕跡には径0.13～0.33mの数値幅が





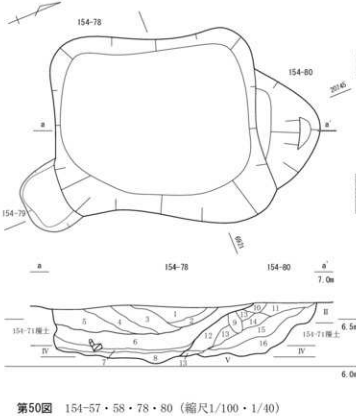
154-57

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼砂石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	多	−	玉砂利多	盛土多く混じる
2	オリーブ黒色粘質土	2.5Y4/1	多	−	玉砂利少	1層と同質（床面土）



154-58

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼砂石	他の石	備考
1	暗灰色粘質土	2.5Y4/1	−	多	玉砂利多	しまり弱い・粗砂多量
2	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	粗砂多量
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	−	少	玉砂利少	裏込3層土多く混じる 粗砂多量

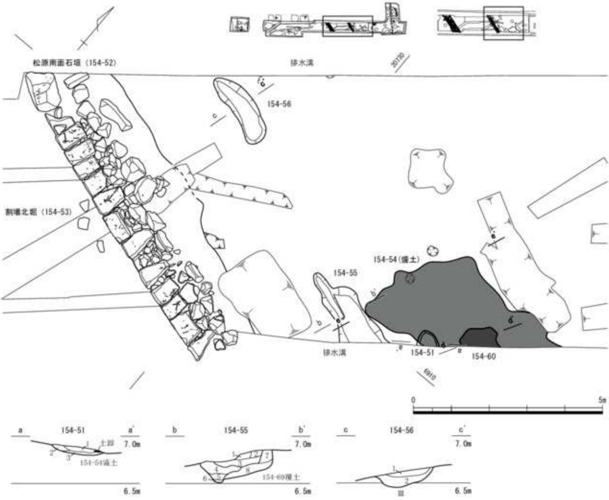


154-78・80

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	少	玉砂利少	Ⅲ層土多量
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	多	−	Ⅲ層土・6層土多量
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	多	玉砂利多	Ⅲ層土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	多	玉砂利少	Ⅲ層土多量
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	極多	玉砂利少	Ⅲ・Ⅳ層土多量
6	黒褐色粘質土	10YR2/3	多	極多	玉砂利少	154-71層土多量
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	少	−	6・11層土多量
8	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	Ⅳ層土を主体とする
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	少	玉砂利少	Ⅲ・Ⅳ層土多量
10	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	−	−
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	−	−	Ⅳ層土多量
12	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−	土質は10層土に近似する
13	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	多	−	−
14	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−	玉砂利少	−
15	灰色粘質土	5Y4/1	少	多	−	−
16	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	−	土質は15層土に近似する Ⅳ層土多量

0　2m

第50図　154-57・58・78・80（縮尺1/100・1/40）



154-51

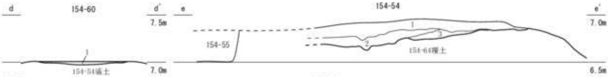
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	多	少	遺物出土層
2	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	154-54 1層(盛土)が多く混じる
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	154-54 1層(盛土)が多く混じる

154-56

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	多	玉砂利多	しまり弱い・
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	−		腐植土少量

154-55

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y5/4	少	−	−
2	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	−	−	鉄分多量
3	灰色粘質土	5Y4/1	−	玉砂利多	−
4	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−	−
5	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	鉄分多量
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	154-69B 1層土を主体とする 5層土が若干混じる
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	鉄分多量 154-69B1層土が多く混じる



154-60

No.	土色・土質	土色No.	他の石	備考
1	灰色砂	5Y6/1	玉砂利微多	粗砂を主体とする

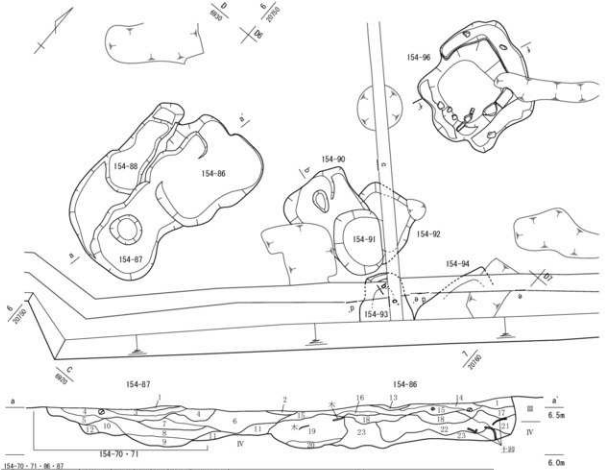
154-54

No.	土色・土質	土色No.	笏谷石	備考
1	明黄褐色粘質土	2.5Y6/6	−	しまり強い・2.5Y4/2暗灰黄色粘質土ブロック状に多量
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	−	鉄分・3層土多量
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	鉄分多量 土質は154-63盛土に近似

第51図　154-51・54・55・56・60（縮尺1/100・1/40）

あるが、掘方内で片寄り、かつ傾斜する例が多く認められる。その他、河原石を根石として埋設する例（154－113）もある。

導水管 154－130（第56図、図版第15）　石樋を用いた導水管である。北西－南東方向に緩やかな曲線で延長し、約７ｍ残存する。石樋は笏谷石製であり、断面が倒「コ」字形の受け部と蓋部で構成する。受け部を埋設し、蓋部を露出させている。受け部は製品としての規格が長さ約100cm、幅約20cm、厚み約６cmと想定される。埋設連結時には、曲線的な掘方内に収めるため、長さおよび端部の平面角度



154-70・71・86・87

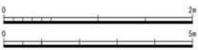
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	多	少	小砂利多	10Y3/2黒褐色粘質土多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	多	−	小砂利少	6層土を主体とする
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	少	多	少	−	−
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	−	多	−	小砂利極多	−
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	少	小砂利多	Ⅳ層土多量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	多	−	−	小砂利少	13層土の流入土か
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	少	−	小砂利少	6層土と8層土とのやや均一な混合土 Ⅳ層土多量
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	−	少	−	−	Ⅳ層土多量
9	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	極多	−	−	−
10	黒色粘質土	5Y2/1	少	−	少	−	−	しまり強い
11	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	少	−	−	2.5Y3/1黒褐色粘質土・Ⅳ層土多量
12	灰オリーブ色砂質土	5Y5/3	−	−	−	−	−	しまり弱い Ⅳ層土・10層土・154-70・71層土との不均一な混合土
13	にぶい黄褐色粘質土	2.5Y6/3	少	−	少	−	−	−
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	多	極多	−	−
15	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	極多	−	多	小砂利多	−
16	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−	少	−	Ⅳ層土と13・16層土多量
17	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	−	−	多	小砂利少	−
18	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	多	−	−	2.5Y3/1黒褐色粘質土・2.5Y4/2暗灰黄色粘質土小ブロック多量
19	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	極多	少	小砂利多	しまり弱い
20	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	少	−	−	Ⅳ層土・21層土多量
21	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	少	−	小砂利少	−
22	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	多	少	−	しまり弱い 23層土多量
23	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	−	−	−	−	−	しまり弱い Ⅳ層土を主体とする Ⅲ層土・2.5Y5/1黄灰色粘質土小ブロック多量

154-91

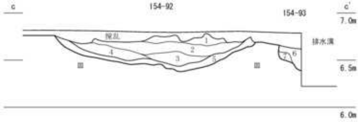
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	少	−	−	小砂利少	Ⅲ層土多量
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	少	−	多	−	1層土と3層土とのやや均一な混合土
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	小砂利多	Ⅲ層土多量
4	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	多	多	多	多	−	−
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	少	少	少	小砂利少	砂性有
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	−	少	−	−	砂性有
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	多	−	小砂利少	Ⅲ層土多量
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	多	−	小砂利少	砂性有
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	少	多	−	−	砂性有 Ⅳ層土多量
10	灰色砂質土	7.5Y6/1	−	−	−	−	−	しまり弱い Ⅳ層土を主体とする Ⅲ層土多量
11	灰色砂質土	7.5Y6/1	少	−	少	少	−	しまり弱い Ⅳ層土を主体とする
12	灰色砂質土	7.5Y6/1	−	−	−	−	−	しまり弱い Ⅳ層土を主体とする

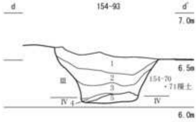
154-90

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
13	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	多	−	少	小砂利極多	−
14	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	少	少	少	小砂利少	砂性有
15	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	少	多	少	小砂利少	砂性有 鉄分多量
16	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	多	少	小砂利少	砂性有
17	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/2	−	−	−	−	−	Ⅲ・Ⅳ層土と2.5Y4/1黄灰色粘質土との不均一な混合土



第52図 154-86・87・90・91（縮尺1/100・1/40）





154-92

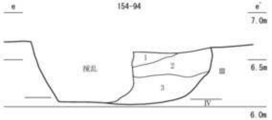
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	少	多	少	玉砂利少	砂性あり
2	黒褐色粘質土	10YR3/2	少	－	極多	多	玉砂利少	2.5Y6/1黄灰色粘質土多量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	極多	－	多	－	－	砂性あり
4	黒褐色粘質土	10YR2/2	少	－	極多	少	玉砂利少	－
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	少	少	玉砂利少	－

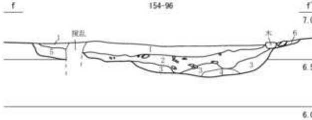
154-93

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
6	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	極多	－	－	－
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	少	－	－	－

154-93

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	極多	－
2	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	極多	154-71層土多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	－	－	極多	1・2層より腐植が進む
4	黒褐色粘質土	10YR2/2	－	－	－	腐植土を主体とする
5	灰色砂質土	10Y5/1	－	－	－	Ⅳ層を主体とする



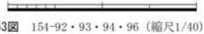


154-94

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	褐灰色粘質土	10YR4/1	－	－	極多	－	－	－
2	灰黄褐色粘質土	10YR5/2	－	－	極多	－	－	－
3	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/3	－	－	極多	－	－	－

154-96

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	荒谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	－	少	玉砂利少	－
2	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	－	－	極多	玉砂利極多	－
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	－	－	－	畑層土多量
4	黒色粘質土	7.5Y2/1	多	－	－	－	畑層土多量
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	少	－	畑層土多量
6	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	－	畑層土を主体とする 1層土多量

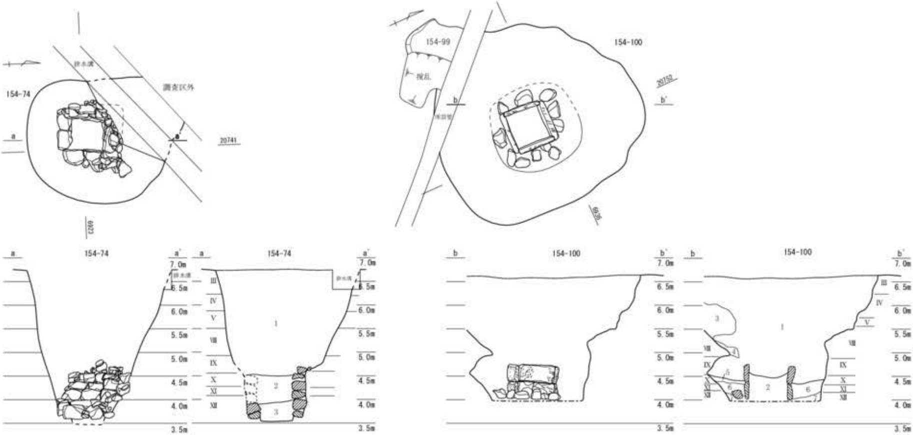


第53図　154-92・93・94・96（縮尺1/40）

に対して打ち欠き調整を行う。蓋部は３点残存する。長さ 58cm を測る破損品の１点と約 90cm の完形品２点があり、幅約 20cm は共通する。断面は台形を呈し、厚み約７cm を測る。受け部との接合のための加工はなく、直接、被せて組み合わせる。石樋内部は一辺 10cm の方形を呈し、粒子の細かい粘質土が蓋部底付近まで堆積していた。掘方は深さが受部と同程度であり、幅は受部の２倍程度となる。

２）中世面（第 60・66 図）

道路等 154－63・64・67（第 61・62 図、図版第 13）　南東－北西方向に延びる道路であり、東端でやや南方に湾曲する。路面（154－63）のみを検出し、側溝（154－64・67）が付帯する。路面（154－63）は玉砂利と粗砂からなり、調査区東端部でのみ検出した。厚さ約３cm を測る。路面直下の路床にあたる盛土は確認できなかった。側溝 154－64･67 は北西側が極端に幅狭で浅くなる。調査区中央部付近で、溝底に段をもち、南東へ向けて幅広で深くなる。掘り直しによる改修が認められ、東側（154－67）で１回、西側（154－64）で３回を確認できる。東側１回目と西側１・３回目の改修では、溝底が改修以前より約 30cm 浅くなる。西側２回目の改修では、南側へ向けて新たに付け替え掘削を行う（154－64A）。これらの側溝間を道路幅とみなせば、北西側で約 3.9m、南東側で改修前が約 2.8m、改修後が約 4.5m を測る。また、側溝間の標高は北西側から南東側にかけて、緩やかに傾斜しており、約 15cm の比高が認められる。敷砂利が未検出であることも含めれば、標高の高い北西部は削平を強く受けており、付近の両側溝も下部のみが残存していた可能性がある。この場合、側溝が本来、南東側と同様の規模を保持していたと仮定すれば、北西側の道路幅は約３m となり、路面はさらに約 40cm 高い位置に存在していたと推測される。また、側溝内に認められる段についても、路面が調査区内で全面的に傾斜していたのではなく、階段などの施設が存在しており、路面の段階的な高さの変化に付随した結果として説明することも可能である。



154-74

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒灰色粘質土	10YR4/1	多	少	多	三砂利少	Ⅲ・Ⅳ層土多量 埋戻し土
2	灰色粘質土	5Y4/1	多	多	-	-	-
3	灰色砂利	N5/1	-	-	-	-	指頭大の小円礫を主体とする 人為堆積砂利

基盤層

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笠谷石	他の石	備考
Ⅲ	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	-	-	-	-	-
Ⅳ	灰色砂質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	-
Ⅴ	灰色砂質土	5Y6/1	-	-	-	-	-
Ⅷ	黒色粘質土	5Y2/1	-	-	-	-	しまり強い ほぼ均一な有機物腐植土層
Ⅸ	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	-	-	-	-
Ⅹ	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	-	-	-	-	しまり強い ほぼ均一な有機物腐植土層
Ⅺ	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	砂性あり
Ⅻ	灰色砂質土	5Y6/1	-	-	-	-	-

0 4m

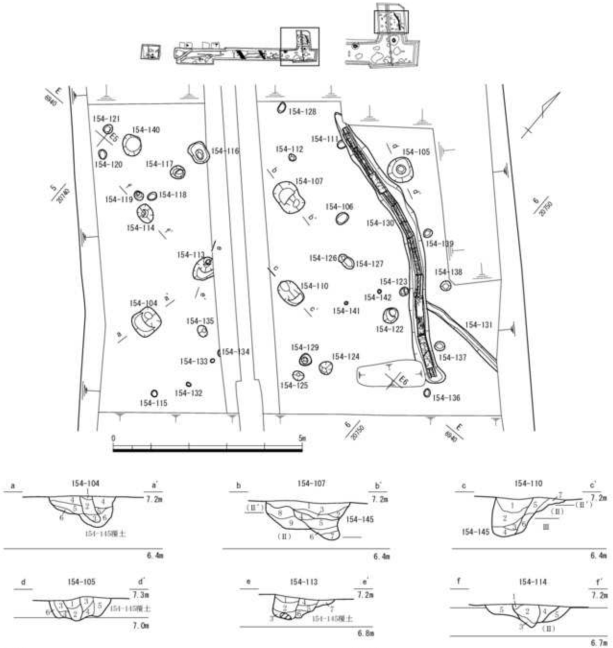
第54図 154-74・100（縮尺1/80）

154-100

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒灰色粘質土	10YR4/1	多	-	少	多	三砂利少	上部に砂分多量 Ⅲ・Ⅳ層土多量
2	灰色粘質土	5Y4/1	少	-	多	-	-	-
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	少	少	-	-	Ⅲ・Ⅳ層土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	-	-	-	-	-	Ⅷ層土を主体とする
5	黄灰色	2.5Y4/1	-	-	-	-	-	Ⅺ層土を主体とする 6層土多量
6	灰色粘質土	5Y4/1	少	-	少	少	-	Ⅹ層土多量
7	灰色砂質土	5Y6/1	-	-	-	-	-	Ⅻ層土を主体とする

基盤層

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
Ⅲ	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	灰色砂質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	-
Ⅴ	灰色砂質土	5Y6/1	-	-	-	-	-	-
Ⅷ	黒色粘質土	5Y2/1	-	-	-	-	-	しまり強い ほぼ均一な有機物腐植土層
Ⅸ	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	-	-	-	-	-
Ⅹ	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	-	-	-	-	-	しまり強い ほぼ均一な有機物腐植土層
Ⅺ	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	-	砂性あり
Ⅻ	灰色砂質土	5Y6/1	-	-	-	-	-	-



154-104

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	腐食石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	多	少	−	−	−	砂性あり
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	−	玉砂利少	2.5Y7/2灰黄色粘質土・(Ⅱ)層土多量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	−	少	−	−	2層土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	多	玉砂利少	砂性あり 鉄分・(Ⅱ)層土多量
5	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	−	−	−	(Ⅱ)層土多量
6	黒褐色粘質土	10YR3/1	−	−	−	−	−	154-145層土多量

154-105

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/2	多	少	−	10YR4/1褐灰色粘質土小ブロック多量
2	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	少	少	−	鉄分・2.5Y6/2灰黄色粘質土多量
3	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	少	少	−	10YR4/1褐灰色粘質土小ブロック多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	−	下位に2.5Y6/2灰黄色粘質土多量
5	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	少	少	−	鉄分多量 ほぼ均一な層
6	灰黄褐色粘質土	10YR4/1	多	少	玉砂利少	鉄分多量 10YR4/2灰黄色粘質土多量

154-107

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	腐食石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	多	少	少	砂性あり 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	−	(Ⅲ)層土を主体とする
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	砂性あり
4	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	(Ⅲ)層土多量
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	−	−	2.5Y7/3浅黄色粘質土多量
6	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	砂性あり ほぼ均一な層
7	灰色粘質土	5Y6/1	−	−	−	Ⅲ層土多量
8	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	−	砂性あり 1層土・Ⅲ層土多量
9	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	砂性あり 鉄分・Ⅲ層土多量

154-110

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−	砂性あり しまり弱い
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	鉄分・(Ⅱ)層土・Ⅲ層土多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	Ⅲ層土多量
5	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	少	少	しまり弱い 鉄分・1層土・2層土多量
6	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	(Ⅱ)層土多量
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	−	しまり弱い 2.5Y4/1黄灰色粘質土・5Y6/1灰色粘質土多量

154-113

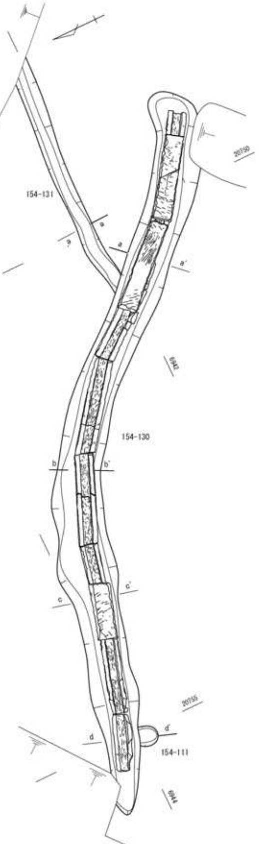
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	多	少	玉砂利少	砂性あり 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	玉砂利少	砂性あり 1層土多量
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	2.5Y6/1黄灰色粘質土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	−	砂性あり 2.5Y5/1黄灰色粘質土多量
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	−	砂性あり 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	(Ⅲ)層土多量
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	砂性あり

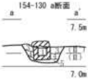
154-114

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	−	−	砂性あり
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	砂性あり
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	砂性あり (Ⅱ)層土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	−	−	砂性あり

0　2m

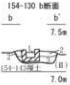
第55図　154-104・105・107・110・113・114（縮尺1/100・1/40）





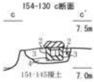
154-130 a断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	−	−	−	−	−	粒子が極めて細かい
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	−	−
4	黒褐色粘質土	10YR3/1	−	−	−	−	−	−
5	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	少	−	−	−	−	田層土多量



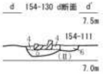
154-130 b断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	他の石	備考
1	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	−	−	粒子が極めて細かい
2	褐色粘質土	10YR4/4	−	−	3層土を主体とする 鉄分多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	玉砂利少	(Ⅱ)層土・2.5Y5/2暗灰黄色粘質土多量



154-130 c断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	−	−	−	−
2	褐色粘質土	10YR4/4	−	−	−	−
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	−
4	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	少	玉砂利少	(Ⅱ)層土を主体とする

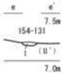


154-130 d断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
4	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	−	−	少	玉砂利多	(Ⅱ)層土を主体とする
5	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	少	−	−	−	−	黄層土多量

154-111

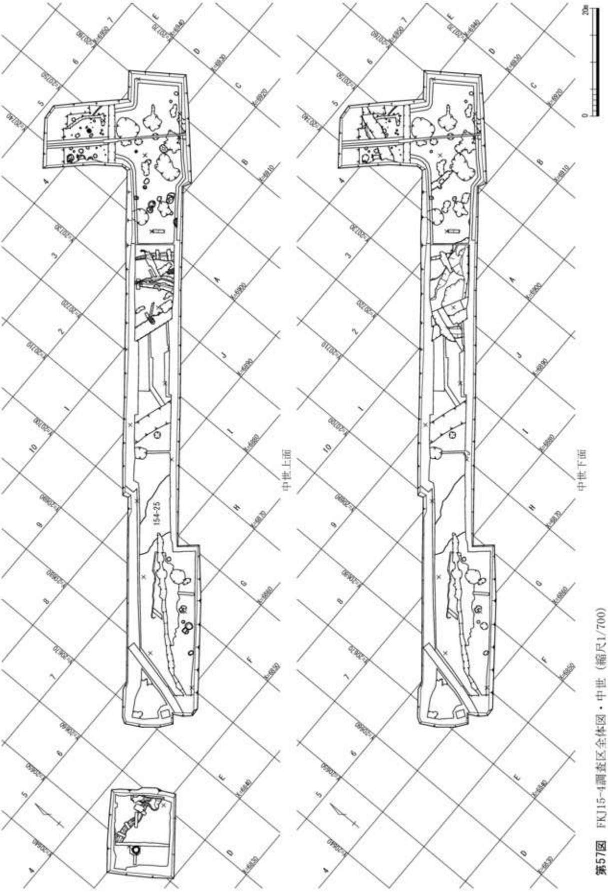
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	笏谷石	備考
6	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	少	少	少	鉄分・2.5Y6/3にぶい黄色粘質土多量



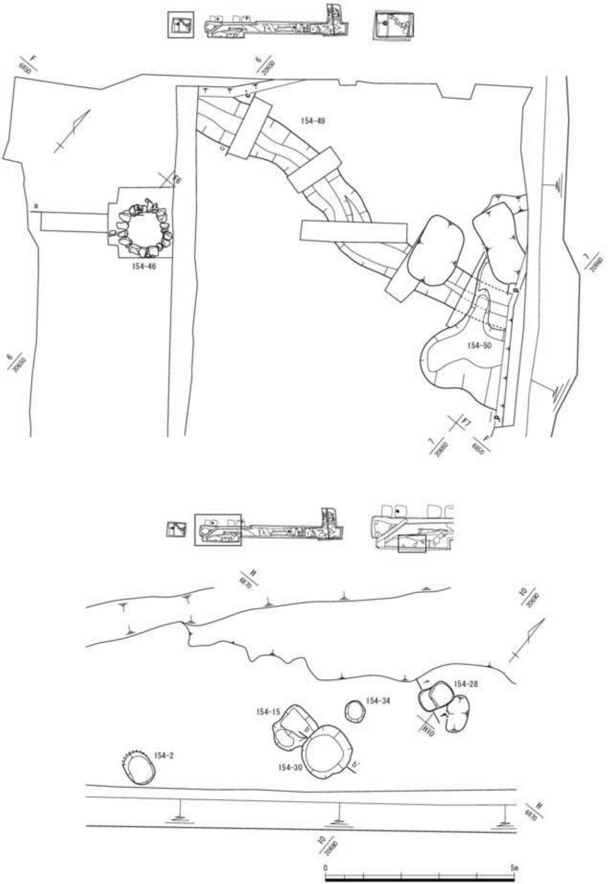
154-131

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	少	少	−	−	(Ⅱ')層土多量

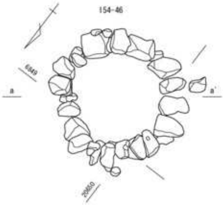
第56図 154-130・131（縮尺1/40）

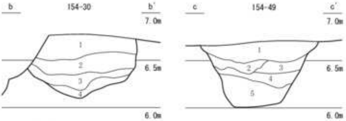


第57図　FKJ15-4調査区全体図・中世（縮尺1/700）



第58図 Ⅲ・Ⅳ街区中世面遺構配置図（縮尺1/100）



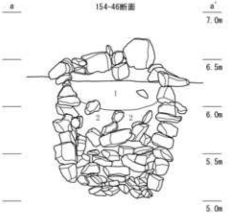


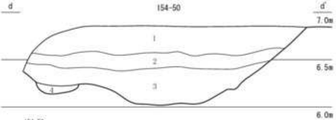
154-30

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	暗灰色砂質土
2	灰黄褐色粘土	10YR4/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
3	黒褐色粘土	10YR3/1	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
4	暗灰黄色粘土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	灰色粘土・砂質土中量

154-49

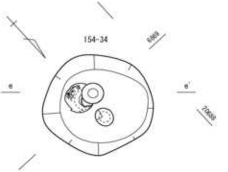
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	－	－
2	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/2	－	－	－	－	－	－
3	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	－	－
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	－	－	－	－	－
5	オリーブ黒色砂	7.5Y3/2	－	－	－	－	－	－

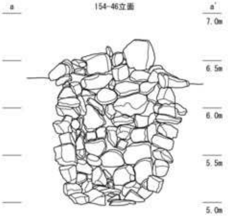


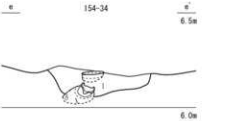


154-50

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	－	－	－	－	－
2	灰色粘質土	5Y4/1	中	－	－	－	－	－
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	－	少	－	－	－
4	灰色砂	7.5Y4/1	－	－	－	－	－	154-49覆土





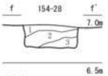


154-46

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	－	－	－	中	－	－
2	灰色粘土	5Y4/1	－	－	－	多	－	－

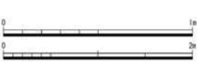
154-34

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	－	－	－	－	灰色砂質土中量

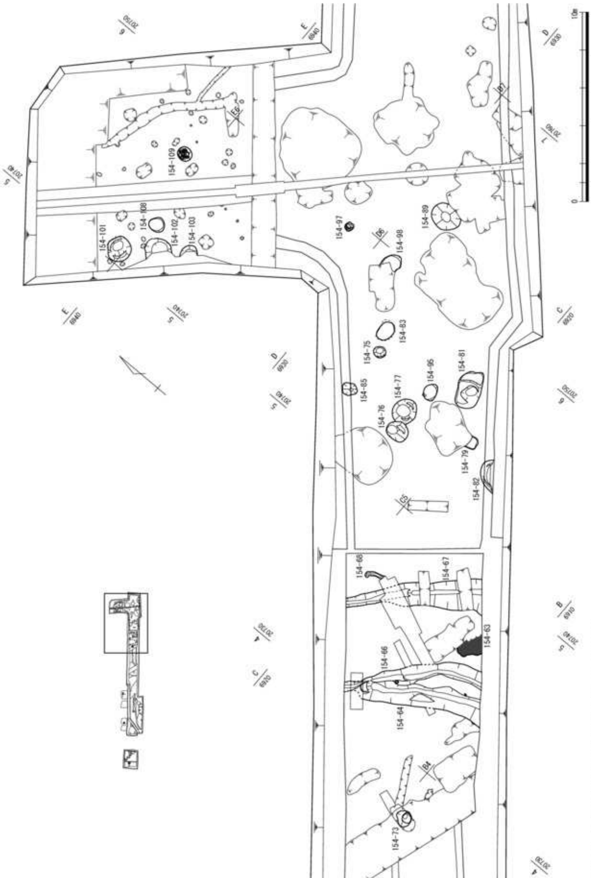


154-28

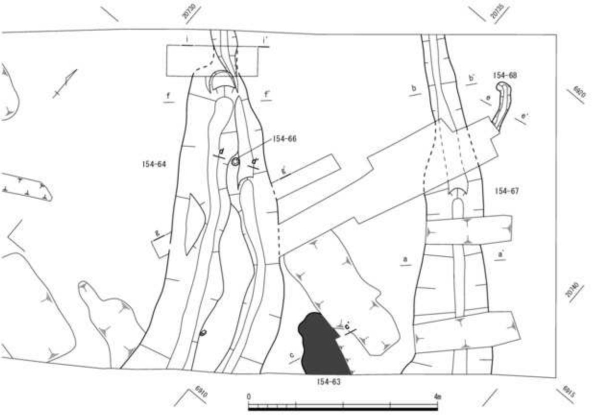
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	7.5YR3/1	中	－	－	－	－	暗灰色粘土ブロック少量
2	黒色砂質土	7.5YR2/1	少	－	－	－	－	暗灰色粘土の互層
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	－	－	灰色砂質土の互層

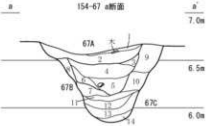


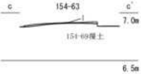
第59図　154−28・30・34・46・49・50（縮尺1/40・1/20）



第60図 V街区中世上面遺構配置図（縮尺1/200）

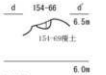


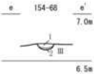




154-63

No.	土色・土質	土色No.	他の石	備考
1	黄灰白色粘質土	2.5Y4/1	石砕粒極多	砂性強い





154-67 a断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	管谷石	他の石	備考
1	黒色粘質土	10Y2/1	－	－	－	－	腐植土を主体とする 2層土多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	少	－	5Y4/1灰色粘質土多量
3	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	少	－	－
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	少	－	－	2.5Y3/1黒褐色粘質土多量
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	少	玉砕粒少	－
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	4層土と5層土との不均一な混合土
7	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	－	－	多	－	－
8	灰色粘質土	5Y6/1	－	－	－	－	154-69覆土を主体とする
9	灰色粘質土	7.5Y5/1	少	－	－	－	－
10	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	－
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	－	－	腐植土を主体とする
12	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	154-69覆土を主体とする 11層土多量
13	灰色粘質土	7.5Y5/1	－	－	－	－	154-69覆土を主体とする 腐植土多量
14	灰色粘質土	10Y5/1	－	－	－	－	154-69覆土を主体とする 13層土少量

154-66

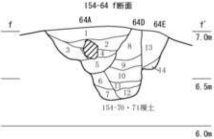
No.	土色・土質	土色No.	備考
1	灰色粘質土	10Y4/1	5Y4/1灰色粘質土が平面では多重の円環状に、断面では多重のU字状に混じる

154-67 b断面

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	基層土・腐植土多量
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	腐植土を主体とする
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	腐植土を主体とする 灰色粗砂多量

154-68

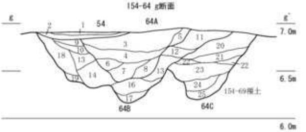
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	少	Ⅲ層土小ブロック少量
2	灰色粘質土	10Y6/1	－	Ⅲ層土を主体とする 2.5Y3/1黒褐色粘質土多量



154-64 f断面

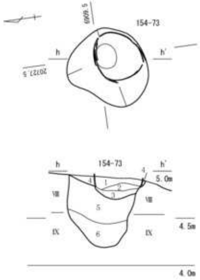
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	管谷石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	極多	－	少	－
2	灰色粘質土	5Y4/1	極多	少	－	－
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	－	－	－	5Y3/2灰オリーブ色粗砂多量
4	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	－	－	－	154-70覆土を主体とする 5Y4/1灰色粘質土少量
5	灰色粘質土	7.5Y5/1	－	－	－	154-70覆土と5Y4/1灰色粘質土との不均一な混合土
6	灰色粘質土	10Y5/1	少	－	－	154-70覆土を主体とする
7	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	154-70覆土を主体とする 腐植土多量
8	灰色粘質土	7.5Y5/1	少	－	少	154-70覆土と腐植土との不均一な混合土
9	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	－	－
10	灰色粘質土	5Y5/1	－	－	－	154-70覆土を主体とする 9層土少量
11	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	－	－	－	154-70覆土を主体とする
12	灰色粘質土	5Y5/1	－	－	－	154-70覆土を主体とする 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
13	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	－	少	土質は1・2層に近似する
14	灰オリーブ色粘質土	5Y6/2	－	－	－	154-70覆土が多量

第61図　154－63・64・66・67・68（縮尺1/80・1/40）



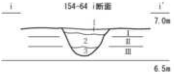
154-64 g断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	笈谷石	他の石	備考
1	明黄褐色粘質土	2.5Y6/6	－	－	－	－	2.5Y4/2暗灰黄色粘質土多量 154-54
2	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	鉄分・1層土多量 154-54
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/2	極多	－	少	－	－
4	灰色粘質土	5Y4/1	極多	少	－	－	－
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	5Y3/2オリーブ黒色粗砂少量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	5Y3/2オリーブ黒色粗砂多量
7	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	－	－	－	－	5Y3/2オリーブ黒色粗砂少量 土質は4層土に近似する
8	灰色粘質土	5Y4/1	少	少	少	－	5Y3/2オリーブ黒色粗砂多量
9	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	－	－	－	－	鉄分多量 5Y4/1灰色砂質土多量
10	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	－	－	－	－	2.5Y7/3浅黄色粗砂多量
11	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	－	－	－	2.5Y7/3浅黄色粗砂少量
12	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	－	－	－	－	鉄分多量 13層土の流入土
13	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	多	－	－	－	鉄分多量 均一な土層
14	黄灰色 粘質土	2.5Y4/1	少	－	－	－	下部に13層土多く混じる
15	灰色粘質土	7.5Y5/1	－	－	－	－	7.5Y4/1灰色粘質土多量
16	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	－	－	－	腐植土多量
17	灰色粘質土	5Y5/1	－	－	－	－	154-69覆土を主体とする 14層土多量
18	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	－	－	－	－	壁崩壊土
19	灰色粘質土	10Y5/1	－	－	－	－	壁崩壊土
20	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	少	－	－	－	154-69覆土を主体とする
21	灰色粘質土	7.5Y4/1	－	少	少	－	灰色粗砂多量
22	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	均一な土層
23	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	－	腐植土を主体とする
24	灰色粘質土	7.5Y6/1	－	－	－	花崗岩少	灰色細砂多量
25	灰色粘質土	5Y5/1	－	－	－	－	154-69覆土と腐植土との混合土



154-73

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	しまり強い 腐植土主体 ほぼ均一な土層
2	灰色砂	5Y6/1	しまり強い 粗砂主体 ほぼ均一な土層
3	灰オリーブ色粘質土	5Y5/3	しまり弱い 1層土多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	粗砂を主体とする 腐植土多量
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	しまり弱い 1層の崩壊層多量
6	褐灰色粘質土	10YR5/1	しまり弱い 粗砂と腐植土との不均一な混合土



154-64 i断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	笈谷石	備考
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	多	少	少	－
2	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	－	－
3	オリーブ黄色粘質土	5Y6/3	－	－	－	腐植土を主体とする 2層土少量

第62図 154-64・73（縮尺1/40）

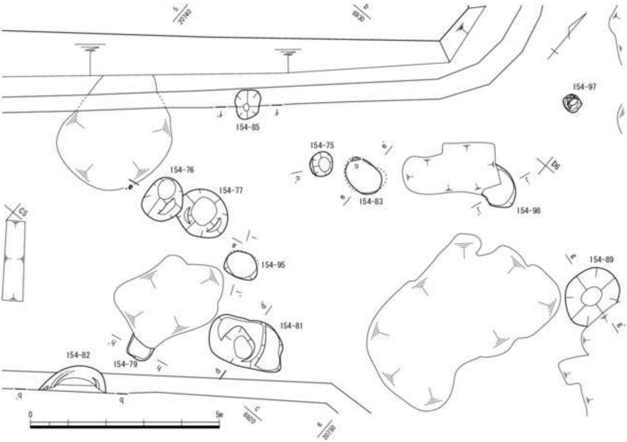
井戸 154−73・75〜77・81〜83・85・89・95・98・101〜103・108・109（第62〜65図、図版第15） 規模や深さから井戸と想定した。E5区、C5区に集中する傾向が認められ、切り合いを呈す例はほとんどない。径0.6〜2.0mの数値幅を示すが、このうちの6割が0.9〜1.1mとなる。底面標高は154−73の4.19mを最深とし、おおむね5.9〜6.0mに収まる。構造は井戸側曲物積の1基（154−73）を除き、すべて素掘りである。154−73は松原南面石垣（154−52）により大きく削平され、曲物下端部と水溜部のみを検出した。曲物は顕著に破損するが、径約50cmを復元でき、薄皮状の外板をもつ。154−76は覆土の状況から、曲物などの井戸側の設置が推測される。154−109は覆土中層で廃棄に伴う漆椀や石製品などがまとまって出土した。

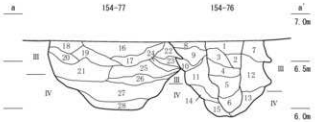
土坑 154−79・97（第64図） ともに平面隅丸方形を呈す。下端部のみ検出し、底面の標高は6.5m前後を測る。154−97では底面で廃棄に伴う笏谷石製品などがまとまって出土した。

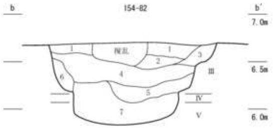
自然河川 154−69（第67図、図版第13） 深さは約2.5m以上を測る。調査区内は蛇行する右岸部にあたり、落ち込み状の凹部を2箇所確認した（154−69A・B）。古代から中世にかけての遺物が出土した。

3）古代面（第71・72図）

溝 154−70・71・143・144（第71・72・74・75図、図版第15） おおむね東西方向に延長し、南側から7m、9mの間隔をあけて並行する。154−70の東側は南方に向かい緩やかに湾曲する。各溝底は平坦であり、断面が箱薬研形となる例（154−71・144）が認められる。154−70・144では、掘り直しによる1回の改修が認められる。154−70・71は形態や規模は異なるが、深さは同様である。







154-76

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	少	Ⅲ層土多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	少	砂性あり
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	－	－	しまり強い
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	多	－	－	Ⅱ・Ⅲ層土多量
5	灰色粘質土	10Y5/1	－	－	－	4層土多量
6	灰色粘質土	10Y5/1	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	－	少	Ⅱ層土多量
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	－	Ⅱ・Ⅲ層土多量
9	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	－	－	上方にⅢ層土集中
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	－	9層土多量
11	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	しまり強い Ⅲ層土を主体とする 5Y5/1灰色粘質土少量
12	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	しまり強い Ⅲ層土を主体とする 5Y5/1灰色粘質土＋7層土多量
13	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	しまり強い Ⅲ層土を主体とする 5Y5/1灰色粘質土＋Ⅳ層土若干
14	灰色砂質土	10Y4/1	－	－	－	Ⅳ層土を主体とする 11層土少量
15	暗オリーブ色砂質土	7.5Y4/3	－	－	－	Ⅳ層土を主体とする

154-77

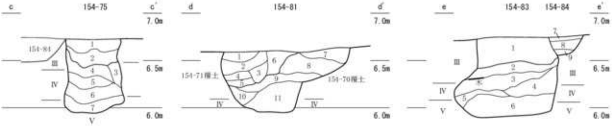
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
16	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	少	少	－
17	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	－	Ⅲ層土多量
18	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	少	－
19	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	少	多	－
20	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	少	しまり強い 鉄分多量
21	灰色粘質土	10Y5/1	－	－	－	Ⅲ層土と2.5Y4/1黄灰色粘質土との不均一な混合土
22	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	－	しまり強い
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	しまり強い Ⅲ層土多量
24	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	Ⅲ層土と23層土との不均一な混合土
25	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする 5Y3/1オリーブ黒色粘質土ブロック多量
26	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	－	しまり強い 5Y3/1オリーブ黒色粘質土ブロック多量
27	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする 5Y5/1灰色粘質土多量
28	暗オリーブ色砂質土	7.5Y4/3	－	－	－	Ⅳ層土を主体とする

154-82

No.	土色・土質	土色No.	植物	[illegible]	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	少	Ⅲ層土多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	－	－	しまり弱い
3	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	しまり弱い
4	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	しまり弱い Ⅲ層土多量
5	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	腐植土を主体とする
6	灰色粘質土	10Y6/1	－	－	Ⅲ層土を主体とする 4層土多量
7	灰色粘質土	10Y6/1	－	－	Ⅲ層土と5層土との不均一な混合土

0　2m

第63図　154-76・77・82（縮尺1/100・1/40）



154-75

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	鉄分多量 Ⅲ層土と2.5Y4/2暗灰黄色粘質土との不均一な混合土
2	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	Ⅲ層土を主体とする Ⅳ層土多量
3	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	Ⅲ層土を主体とする
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	腐植土主体 Ⅲ層土多量
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	6層土と腐植土との不均一な混合土
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	腐植土主体
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	腐植土主体 6層土より粘性強い

154-83

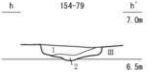
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	少	−	腐植土ブロック多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	多	−	腐植土を主体とする
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	−	多	−	腐植土を主体とする
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	−	極多	−	腐植土を主体とする 腐植土多量
5	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	−	−	−	−	−
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	−	少	小砂利多	−

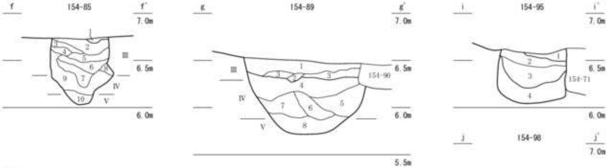
154-84

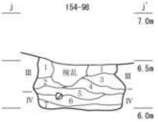
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	他の石	備考
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	しまり強い
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−	−	しまり強い
9	灰色粘質土	10Y5/1	−	−	−	−	腐植土を主体とする 8層土多量

154-81

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	−	砂性あり
2	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	Ⅱ層土多量
3	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	−	−	−	Ⅲ層土を主体とする
4	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	土質は2層土に近似する
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	−	−	−	Ⅲ層土多量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	上位にⅢ層土多量
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	−	砂性あり しまり強い
8	褐灰色粘質土	10YR4/1	−	−	少	砂性あり
9	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	−
10	灰色砂質土	10Y4/1	−	−	−	しまり弱い 154-71覆土を主体とする
11	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	Ⅳ層土多量







154-79

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	少	Ⅲ層土多量
2	灰オリーブ色粘質土	5Y6/2	−	−	Ⅲ層主体 Ⅰ層土多量

154-85

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y6/2	−	−	−	腐植土と2層土との不均一な混合土
2	黒褐色粘質土	10YR3/2	多	少	多	−
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	−	腐植土多量
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	−	−	−
5	灰色粘質土	5Y4/1	少	−	多	−
6	黒褐色粘質土	10YR3/2	−	−	多	腐植土を主体とする 腐植土小ブロック多量
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	−	−	腐植土多量
8	灰オリーブ色粘質土	5Y6/2	−	−	−	腐植土と6層土との不均一な混合土
9	暗オリーブ灰色砂質土	2.5GY4/1	−	−	−	Ⅳ層土を主体とする
10	灰色砂質土	10Y4/1	−	−	−	しまり弱い Ⅴ層土を主体とする

154-89

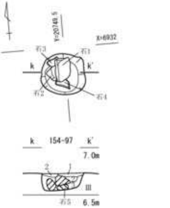
No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	2.5Y4/2暗灰黄色粘質土多量
2	灰色粘質土	5Y4/1	鉄分・Ⅲ層土多量
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	しまり強い 粒子が極めて細かい
4	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	腐植土を主体とする 鉄分・2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
5	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	腐植土を主体とする
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	鉄分・Ⅲ層土多量
7	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	腐植土を主体とする 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
8	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	腐植土を主体とする 2.5Y4/1黄灰色粘質土多量 Ⅳ層土少量

154-95

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	−	均一な土層
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	Ⅲ層土・2.5Y7/4浅黄色粗砂多量
3	灰色粘質土	7.5Y6/1	少	Ⅲ層土多量
4	灰オリーブ色砂質土	7.5Y4/2	−	Ⅳ層土を主体とする

154-98

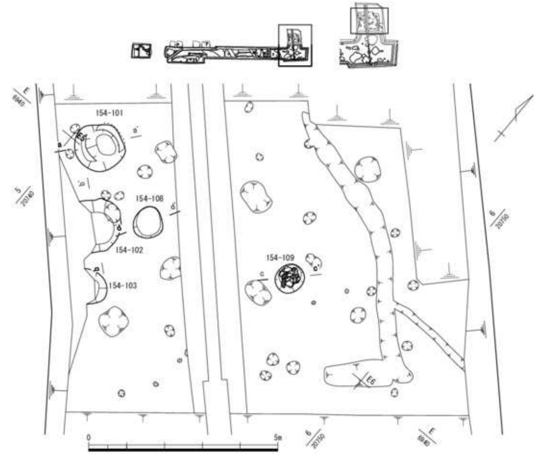
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	−	−
2	灰色粘質土	5Y4/1	多	−	−	−	−
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	多	−	多	−	Ⅲ層土多量
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	−	多	−	Ⅲ層土多量
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	多	少	−
6	オリーブ灰色粘質土	10Y6/2	−	−	−	−	Ⅲ層土を主体とする 腐植土多量
7	灰オリーブ色砂質土	7.5Y5/2	−	−	−	−	Ⅳ層土を主体とする 6層土多量

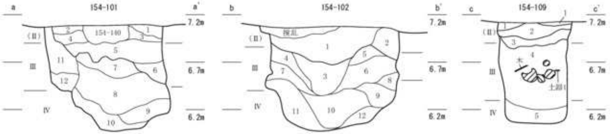


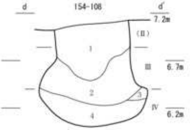
154-97

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	多	腐植土多量
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	少	−
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	−	腐植土多量

第64図 154-75・79・81・83・85・89・95・97・98（縮尺1/40）







154-101

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	鉄分多量
2	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	少	(Ⅱ)層土を主体とする 鉄分・4層土多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	砂性あり (Ⅱ)層土多量
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	少	砂性あり
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	少	砂性あり
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	少	5層土多量
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	少	－
8	黒褐色粘質土	10YR3/1	多	－	－
9	灰色粘質土	10YR6/1	－	－	Ⅲ層土を主体とする
10	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	－	Ⅲ層土多量
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	－	9・11層土多量
12	オリーブ灰色粘質土	10YR6/2	－	－	Ⅲ層土を主体とする

154-102

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	[illegible]	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	[illegible]	－
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	－	－	砂性あり (Ⅱ)層土多量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	4・6層土を主体とする 5層土多量
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	1・3層土多量
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	－	1層土多量
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	均一な土層
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	－	－
8	灰色粘質土	5Y5/1	少	－	－	Ⅲ層土多量
9	灰色粘質土	10Y6/1	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする 10層土多量
10	灰色粘質土	5Y5/1	少	－	－	土質は8層土に近似する
11	灰色粘質土	10YR6/1	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする 10層土多量
12	灰色粘質土	10YR6/1	－	－	－	－

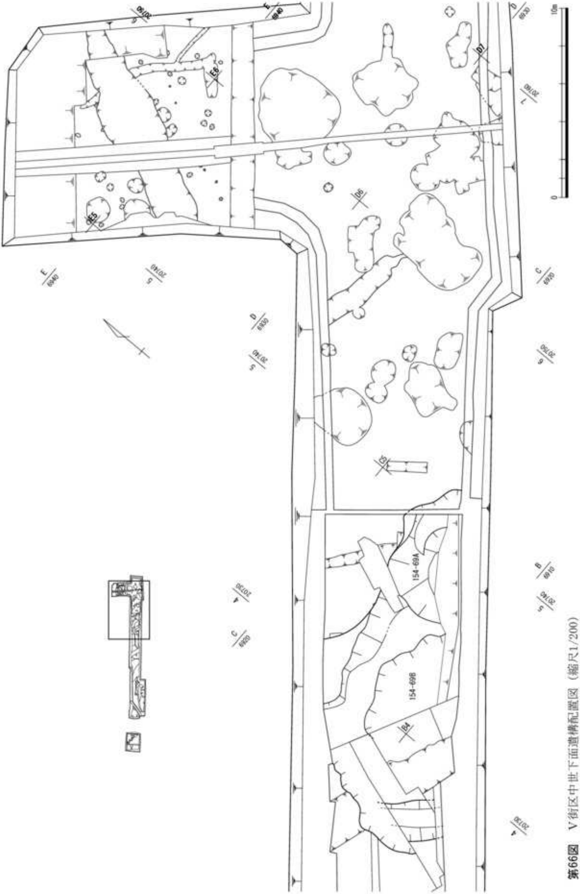
154-109

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	遺物	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	－	砂性あり
2	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	少	－	－	Ⅲ層土と3層土との不均一な混合土 上面に黄褐色粗砂
3	黄灰色 粘質土	2.5Y4/1	少	－	少	砂性あり しまり弱い
4	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	－	－	－	Ⅲ層土を主体とする 投棄遺物包含層
5	暗オリーブ色砂質土	7.5Y4/3	－	－	－	Ⅳ層土を主体とする

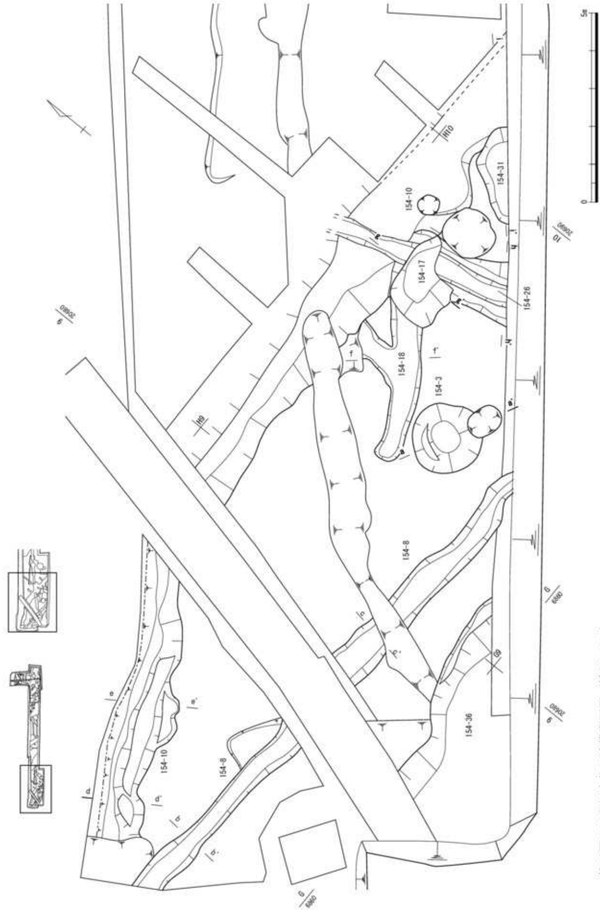
154-108

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	[illegible]	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	Ⅲ層土多量
2	灰色粘質土	10Y6/1	－	－	Ⅲ層土と5Y3/1 オリーブ黒色粘質土との不均一な混合土
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	－	－	－
4	灰色粘質土	10Y6/1	－	－	Ⅲ層土を主体とする 5Y3/1オリーブ黒色粘質土多量

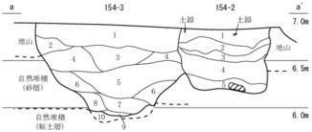
第65図　154-101・102・108・109（縮尺1/100・1/40）



第66図 V街区中世下面遺構配置図（縮尺1/200）



第68図　Ⅳ街区古代面遺構配置図（縮尺1/100）

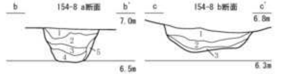


154-2

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	－	－	－	－	天井崩落
2	黒色粘質土	7.5YR2/1	少	－	－	－	－	－
3	黒色粘質土	2.5Y2/1	少	－	－	－	－	砂質土中量
4	黒色粘質土	2.5Y2/1	－	－	少	－	－	砂質土中量
5	暗灰色粘土	5Y4/1	－	－	－	－	20cm程度石	－

154-3

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	－
2	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	－	－	－	－	－	地山の崩れ
3	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	少	－	－	－	－	－
4	灰黄褐色粘土	5Y4/2	－	－	－	－	－	－
5	黒褐色粘質土	5Y3/1	－	－	－	－	－	砂質土少量
6	灰黄褐色粘土	5Y4/2	－	－	－	－	－	灰色粘土少量
7	黒褐色粘質土	5Y3/2	－	－	－	－	－	－
8	暗灰色粘土	5Y4/1	－	－	－	－	－	－
9	オリーブ黒色粘土	7.5Y3/2	－	－	－	－	－	－
10	灰色粘土	7.5Y4/1	－	－	－	－	－	自然堆積

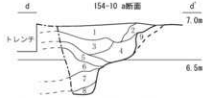


154-8 a断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	－
2	暗褐色砂質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	－
3	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	－
4	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	－	－	－	－	－	地山土含む
5	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	－	－	－	－	－	地山土含む

154-8 b断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
2	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	地山土含む



154-10 a断面

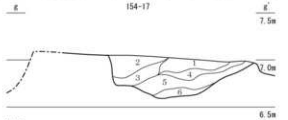
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	－	－	－	－	[illegible]の1層目が変色
2	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	－
3	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量
4	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量
5	褐灰色粘質土	10YR4/1	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量
6	褐灰色粘土	7.5YR4/1	－	－	－	－	－	－
7	褐灰色砂質土	10YR4/1	－	－	－	－	－	－
8	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	－	－	－	－	－	地山土含む
9	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	－	－	－	－	－	地山

154-10 b断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗褐色粘質土	10YR3/3	少	－	－	－	－	－
2	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	－
3	黒褐色粘質土	10YR3/2	－	－	－	－	－	地山土含む
4	暗褐色粘質土	7.5YR3/3	－	－	－	－	－	－
5	黒褐色粘質土	7.5YR3/1	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量
6	褐灰色粘土	7.5Y4/1	－	－	－	－	－	－
7	褐灰色砂質土	10YR4/1	－	－	－	－	－	－
8	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	－	－	－	－	－	地山

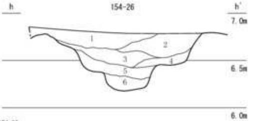
154-18

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量
2	暗褐色粘質土	10YR3/4	少	－	－	－	－	地山土少量
3	褐色粘質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	地山土多量



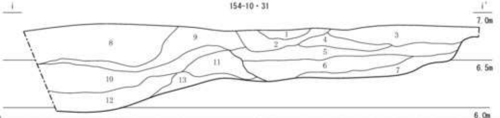
154-17

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	少	－	－	－	－	砂質土少量
2	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	－
3	極暗褐色粘質土	7.5YR2/3	－	－	－	－	－	砂質ブロック少量
4	暗褐色粘質土	7.5YR3/3	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
5	黒褐色粘質土	7.5YR3/2	－	－	－	－	－	地山土含む
6	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	砂質土少量



154-26

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	褐色粘質土	7.5YR4/4	－	－	－	－	－	流土
2	黒褐色粘質土	7.5YR3/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
3	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子少量
4	褐色粘質土	10YR4/6	－	－	－	－	－	地山土含む
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	地山土含む
6	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	砂質土中量

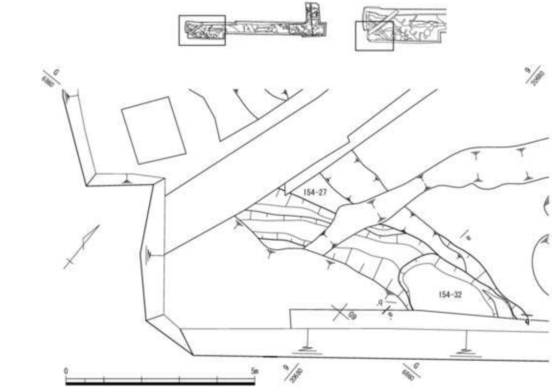


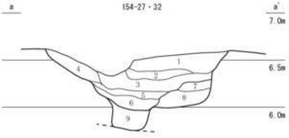
154-10・31

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	－	－	流土
2	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	－	－	－	－	－	流土
3	黒褐色粘質土	7.5YR3/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量 流土
4	暗褐色砂質土	10YR3/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量 154-31
5	黒褐色粘質土	10YR2/3	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量 154-31
6	暗褐色砂質土	10YR3/3	－	－	－	－	－	サビ状粒子 154-31
7	褐色砂質土	10YR4/4	－	－	－	－	－	サビ状粒子 154-31
8	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	－	－	－	－	－	流土
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	－	－	－	－	－	サビ状粒子中量 流土
10	黄灰色粘土	2.5YR4/1	－	－	－	－	－	154-10
11	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	－	－	154-10
12	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	－	－	－	－	－	粘土ブロックの互層 154-10
13	灰色砂質土	5Y5/1	－	－	－	－	－	154-10

0 2m

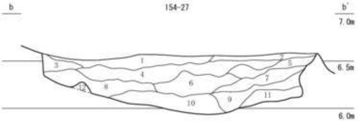
第69図 154-2・3・8・10・17・18・26・31（縮尺1/40）





154-27・32

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	褐色砂質土	10YR4/4	−	−	−	−	−	サビ状粒子多量　154-27
2	にぶい黄褐色砂質土	10YR4/3	−	−	−	−	−	サビ状粒子多量　154-27
3	黒褐色粘質土	10YR3/2	−	−	−	−	−	灰色粘土ブロック少量　154-27
4	暗褐色粘質土	10YR3/3	−	−	−	−	−	砂少量　154-27
5	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	−	−	−	−	−	砂少量　154-27
6	黒色砂質土	10YR2/2	−	−	−	−	−	砂少量　154-27
7	褐色砂質土	10YR4/4	−	−	−	−	−	154-32
8	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	−	−	−	−	−	154-32
9	オリーブ褐色粘土	2.5Y4/3	−	−	−	−	−	自然堆積



154-27

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	備考
1	暗褐色砂質土	7.5YR3/4	−	−	−	−	サビ状粒子中量
2	黒褐色粘質土	10YR3/2	−	−	−	−	サビ状粒子中量
3	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	−	−	−	−	地山の崩れ
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	−	−	サビ状粒子中量
5	褐色粘質土	10YR4/6	−	−	−	−	サビ状粒子中量
6	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	−	−	−	−	サビ状粒子中量
7	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	−	−	−	−	サビ状粒子中量
8	黒褐色粘質土	10YR3/1	−	−	−	−	サビ状粒子中量
9	黄灰色砂質土	10YR4/1	−	−	−	−	サビ状粒子中量
10	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	−	−	−	−	サビ状粒子中量
11	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	−	−	−	−	サビ状粒子中量
12	オリーブ褐色砂層	2.5Y4/6	−	−	−	−	自然堆積

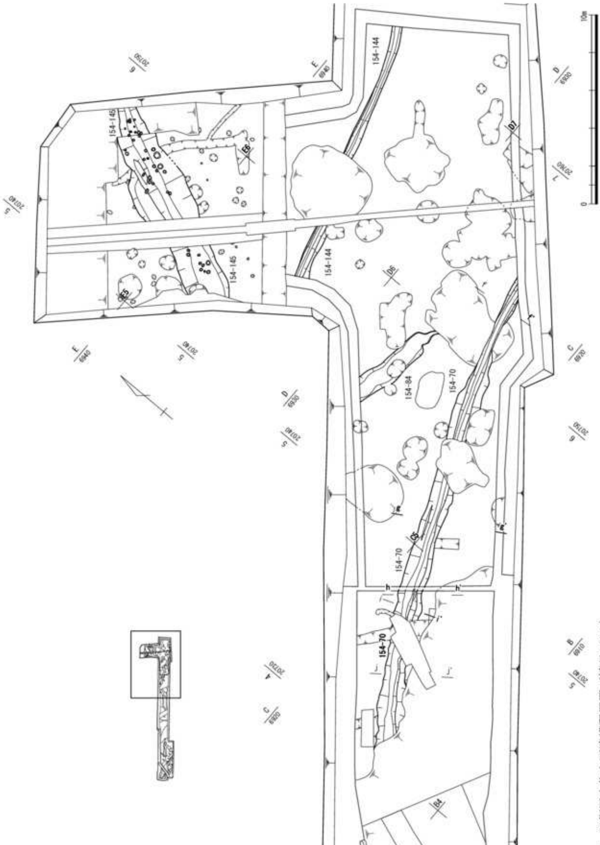
0　2m

第70図　154-27・32（縮尺1/100・1/40）

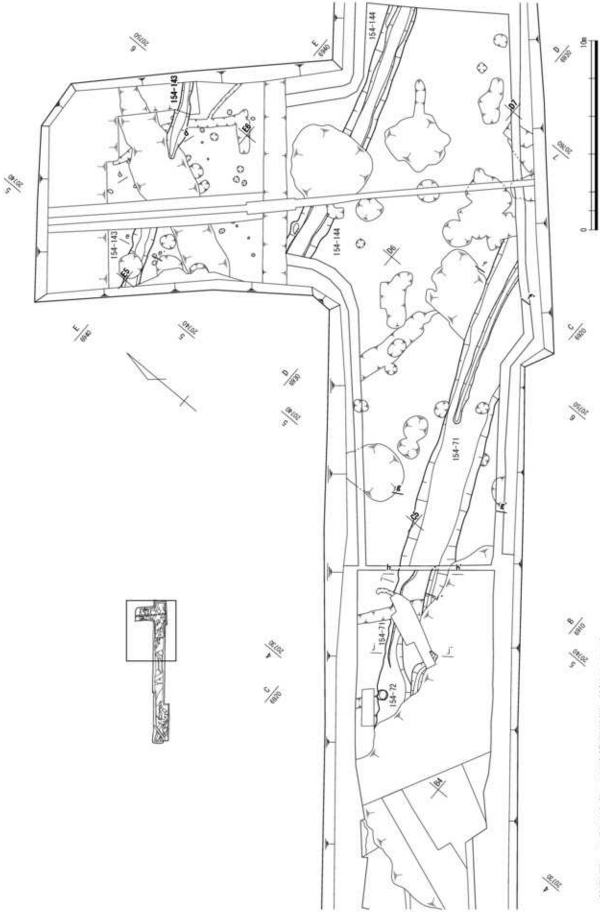
154－144 の溝底は改修前後で約 0.26m の高低差がある。

土坑 154－72（第 75 図）　性格不明の土坑である。溝 154－70 に切られる。径 0.54m、深さ 0.52m を測る。

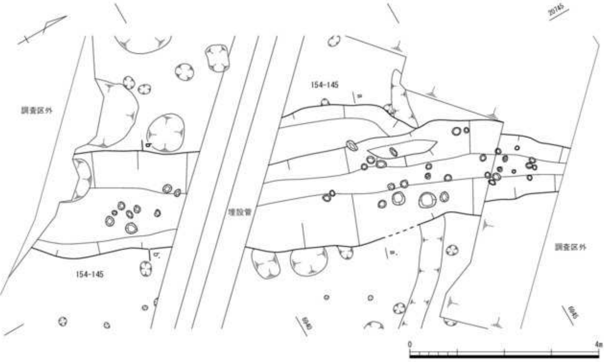
溝 154－84・145（第 73 図）　154－84 は東西方向に延長し、東側は削平のため途切れる。154－145 は北東－南西方向に延びる。溝底は平坦ではなく、壁面の立ち上がりは緩やかとなる。また、壁面下半部から底面にかけて、径 10 ～ 40cm、深さ 10cm 程度の凹みが多数残る。覆土は上下に２大別でき、上層には笏谷石小塊や指頭大の炭化物と焼土粒を多量に含む層（同図３・４層）があり、下層（同図７層）からは古代の遺物が多く出土した。なお、上層部分（同図１～６層）が改修後の堆積土の可能性もある。

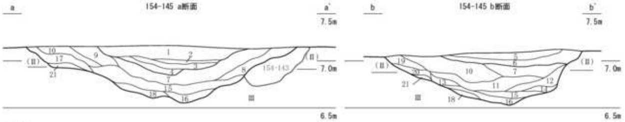


第71図　V街区古代上面遺構配置図（縮尺1/200）



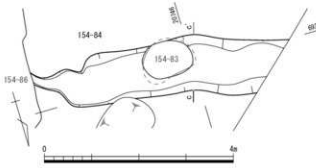
第72図　Ⅴ街区古代下面遺構配置図（縮尺1/200）

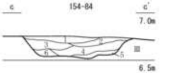




154-145

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒砂石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	少	少	-	2.5Y7/2灰黄色粘質土小ブロック多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	多	-	極多	3層土を主体とする
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	極多	多	-	-	2.5Y7/2灰黄色粘質土小ブロック多量
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	多	少	-	-	-
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	少	-	-	砂性あり
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	少	少	-	砂性あり 基層土小ブロック多量
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	少	-	-
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	少	-	-	Ⅲ層土・7層土多量
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	-	-	-	鉄分多量
10	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	-	-	鉄分多量 基層土小ブロック多量
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	少	-	-	鉄分多量
12	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	少	-	-	-	-
13	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	-	-	-	鉄分多量 基層土・11層土・15層土・21層土多量
14	灰色粘質土	7.5Y4/1	-	-	-	-	15層土多量
15	灰色粘質土	10Y4/1	少	-	-	-	鉄分多量 基層土・7.5Y5/1灰色粗砂多量
16	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	-	-	-	-	鉄分多量 基層土・15層土多量
17	オリーブ灰色粘質土	10Y5/2	-	-	-	-	鉄分多量 基層土を主体とする 7.5Y5/1灰色粗砂・2.5Y4/1黄灰色粘質土多量
18	オリーブ灰色粘質土	10Y5/2	-	-	-	-	Ⅲ層土を主体とする 5Y4/1灰色粘質土多量
19	黒褐色粘質土	10YR3/1	-	少	-	-	(Ⅱ)層土を主体とする
20	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	-	-	-	2.5Y6/2灰黄色砂質土多量
21	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	-	-	-	Ⅲ層土・2.5Y3/1黒褐色粘質土小ブロック多量



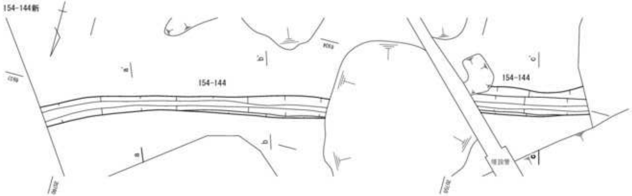


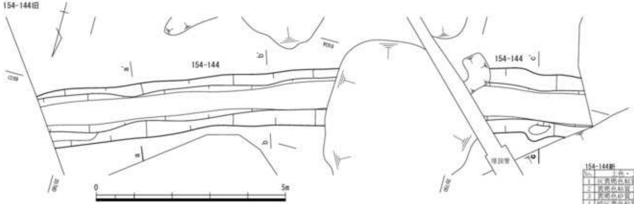
154-84

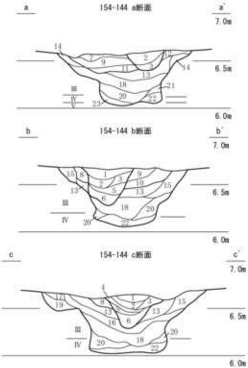
No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	しまり強い
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	しまり強い Ⅲ層土多量
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	しまり強い
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	しまり強い
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	4層土を主体とする 基層土多量
6	灰色粘質土	10Y5/1	Ⅲ層土を主体とする 4層土多量

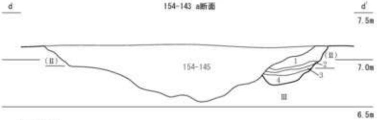
0　2m

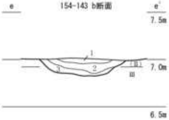
第73図　154-84・145（縮尺1/80・1/40）









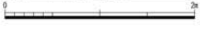


154-144新

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	極多	－	砂性あり 2.5Y6/3にぶい黄褐色砂質土多量
2	黄褐色粘質土	2.5Y5/3	多	－	砂性あり 2.5Y6/3にぶい黄褐色砂質土極多量
3	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	多	少	砂性あり 10層土極多量
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	－	砂性あり 10層土多量
5	黄褐色粘質土	2.5Y5/3	多	－	砂性あり 10層土多量
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	－	砂性あり 10層土多量

154-144旧

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	9層土・2.5Y5/1黄灰色粘質土多量
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	－	砂性あり 10層土・2.5Y6/3にぶい黄褐色砂質土多量
9	にぶい黄褐色砂質土	2.5Y6/3	多	－	10層土多量
10	黄褐色砂質土	2.5Y5/3	少	－	鉄分多量
11	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	少	－	鉄分多量 9・13層土多量
12	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	－	－	鉄分多量 13層土とのやや均一な混合土
13	灰色粘質土	7.5Y4/1	－	－	鉄分多量
14	灰オリーブ色粘質土	7.5Y6/2	－	－	Ⅲ層土を主体とする 13層土多量
15	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	鉄分極多量
16	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	少	鉄分多量 ほぼ均一な層
17	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	－	－
18	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	鉄分多量
19	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	－	鉄分多量
20	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	Ⅲ層土多量
21	灰色砂質土	10Y4/1	－	－	Ⅳ層土を主体とする
22	灰色砂質土	10Y4/1	少	－	Ⅳ層土を主体とする Ⅲ層土多量
23	灰色砂質土	7.5Y4/1	－	－	Ⅴ層土を主体とする



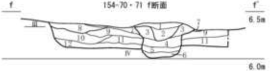
154-143a断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	少	少	－	－
2	浅黄色砂質土	5Y7/3	－	－	－	－	粒子細かい
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	－	少	－	－
4	オリーブ灰色粘質土	10Y5/2	－	－	－	－	24層土との不均一な混合土

154-143b断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	多	－
2	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	少	鉄分多量 a断面3層に相当
3	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	少	Ⅲ層土多量

第74図　154-143・144（縮尺1/100・1/40）

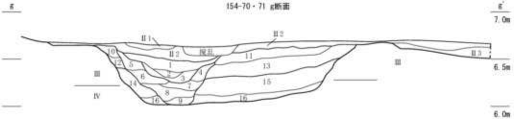


154-70 f断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	極多	少	鉄分多量 2.5Y7/4浅黄色粗砂多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y6/1	多	−	鉄分多量
3	にぶい黄色砂質土	2.5Y6/3	多	−	7層土多量
4	灰色粘質土	10Y5/1	多	−	砂性あり
5	灰色砂質土	5Y5/1	極多	−	5Y4/1灰色粘質土・5Y7/2灰白色細砂多量
6	灰色砂質土	5Y6/1	少	−	−

154-71 f断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
7	にぶい黄色砂質土	2.5Y6/4	−	−	5Y4/1灰色粘質土・5Y7/4浅黄色細砂多量
8	灰色粘質土	7.5Y5/1	−	−	砂性あり
9	灰色粘質土	5Y6/1	少	−	11層土より粒子が粗い
10	灰色粘質土	5Y5/1	−	−	9層土を主体とする Ⅲ層土多量
11	灰色粘質土	5Y5/1	少	−	−
12	灰オリーブ色砂質土	5Y5/2	−	−	Ⅳ層土を主体とする 11層土・Ⅲ層土多量



154-70 g断面

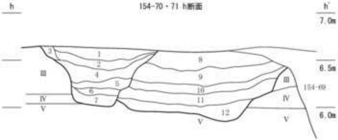
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	極多	少	鉄分・2.5Y7/4浅黄色粗砂多量
2	黄灰色粘質土	2.5Y6/1	多	−	鉄分多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y6/1	多	−	砂性あり 鉄分多量
4	にぶい黄色砂質土	2.5Y6/3	少	−	−
5	灰色粘質土	7.5Y5/1	少	−	Ⅲ層土と2.5Y7/4浅黄色粗砂とのやや均一な混合土
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	−	砂性あり 鉄分・7層土多量
7	灰色粘質土	10Y5/1	多	−	砂性あり
8	灰色砂質土	5Y5/1	極多	−	5Y4/1灰色粘質土・5Y7/2灰白色細砂多量
9	灰色砂質土	5Y6/1	少	−	16層土多量

154-71 g断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
10	にぶい黄色砂質土	2.5Y6/3	少	−	粗砂を主体とする
11	浅黄色砂質土	2.5Y7/4	少	−	粗砂を主体とする Ⅱ2・Ⅲ層土多量
12	灰オリーブ色粘質土	5Y6/2	少	−	砂性あり
13	灰白色砂質土	5Y7/2	−	−	細砂を主体とする
14	灰色粘質土	5Y5/1	−	−	15層土を主体とする Ⅲ層土多量
15	灰色粘質土	5Y5/1	少	−	−
16	灰色砂質土	7.5Y6/1	−	−	Ⅴ層土を主体とする

包含層

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	備考
Ⅱ1	灰黄褐色粘質土	10YR5/2	少	−	砂性あり 鉄分多量
Ⅱ2	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	少	−	砂性あり 鉄分多量
Ⅱ3	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/4	少	−	Ⅲ層土を主体とする 鉄分・Ⅱ2層土多量

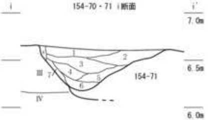


154-70 h断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	少	Ⅱ層土を主体とする
2	黒色粘質土	10YR2/1	−	腐植土を主体とする
3	灰色粘質土	10Y6/1	−	Ⅲ層土と1・2層土との不均一な混合土
4	灰色粘質土	5Y4/1	多	2・8層土多量
5	灰色粘質土	5Y5/1	多	しまり強い 灰色細砂・Ⅲ層土小ブロック多量
6	灰色砂質土	5Y5/1	多	しまり強い
7	灰色砂質土	5Y5/1	−	灰色粗砂を主体とする Ⅲ層土多量

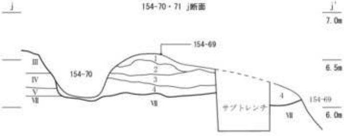
154-71 h断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
8	灰色砂質土	7.5Y4/1	−	しまり弱い 灰色粗砂を主体とする
9	灰色砂質土	7.5Y4/1	−	しまり強い 8層土より砂粒が細かい
10	黄灰色粘質土	5Y5/1	少	しまり強い
11	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	土質は10層に近似する
12	灰色粘質土	7.5Y6/1	−	Ⅲ・Ⅳ層土多量



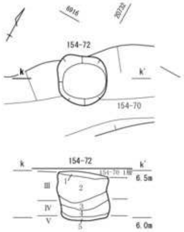
154-70 i断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	−	しまり強い Ⅱ層土・Ⅲ層土小ブロック多量
2	黒色粘質土	5Y4/1	−	しまり強い 1層土と3層土との不均一な混合土
3	黒色粘質土	2.5Y2/1	−	腐植土を主体とする Ⅲ層土多量
4	灰色粘質土	5Y4/1	−	Ⅲ層土小ブロック多量
5	灰色粘質土	10Y4/1	−	−
6	灰色粘質土	7.5Y4/1	多	しまり強い
7	オリーブ黄色粘質土	5Y6/3	−	しまり強い Ⅲ層土を主体とする 4・6層土多量
8	灰色粘質土	7.5Y5/1	−	Ⅲ層土を主体とする 1層土多量



154-71 j断面

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	黄褐色砂質土	2.5Y5/6	−	しまり弱い 灰色粗砂を主体とする
2	灰オリーブ色 粘質土	5Y5/2	−	2.5Y5/4黄褐色細砂多量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	多	しまり強い
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	−	しまり強い 5Y2/1黒色粘質土・Ⅲ層土小ブロックで多量



154-72

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	備考
1	褐灰色粘質土	10YR5/1	多	鉄分多量 Ⅲ層土多量
2	褐灰色粘質土	10YR5/1	少	Ⅲ層土小ブロック・2.5Y6/3にぶい黄色粗砂多量
3	褐灰色粘質土	10YR4/1	多	Ⅲ層土小ブロック・2.5Y6/3にぶい黄色粗砂多量
4	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	Ⅲ層土小ブロック多量
5	灰色粘質土	5Y6/1	−	4層土多量

第75図　154-70・71・72（縮尺1/40）

第5節　FKJ15－5調査区

FKJ15－5調査区は、城下絵図と対照すると、調査区中央のやや北よりに道路が通り、その南北が武家屋敷地となる（南がⅤ街区、北がⅥ街区）。さらに、近世前半の城下絵図によると、Ⅴ街区の南部には自然河川やそれを利用した屋敷境溝が走り、これによって大きく南北に二分されていた。全体に近代の削平がひどいため、整地土層面によって遺構の前後関係が分かる地点は少なく、遺構の切りあい等も含めて、遺構を1～3面に分けている（第76図）

1　Ⅴ街区南側

1）1面

1面で確認できたのは水路にともなう石列等だけである（第77図、図版第16）。

石列155－6　長さ5.5mで東に面を持つが、対応する石組みは後世の破壊からか確認できない。北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06－3調査区）の石列63527につながるものである（福井県埋文2009）。

石列155－38　長さ1.9mで北東に面を持つ。胴木の上に一石分が残存する。対応する石組みは後世の破壊からか確認できない。

2）2・3面

石列の構築以前、ここには自然河川や溝が、掘り直しも含めて重複して存在していた。

溝155－15・21・90、自然河川155－45（第102・103図、図版第18）　重複関係から、155－45→90→15・21の前後関係になる。155－15下層から頭蓋骨2点のほか、古代や15世紀の遺物が、上層からは古代や中・近世（15～16、～18世紀中葉）の遺物が出土しており、155－21からは近世（18世紀中葉～19世紀）の遺物が出土している（第2分冊 第21図）。これらの状況から、自然河川155－45の埋没が進行し、15・16世紀頃に155－15が掘り込まれ、これが埋没した18世紀中葉以降、155－21が掘削されたことが推察される。

ただし、155－15・21は屋敷境の溝・水路として機能していたものであり、それぞれ数度の再掘削と埋没を経たことが、埋土の堆積状況から確認できる。トレンチで確認した北側の溝を155－15、南側を21としたが、埋没と掘削を繰り返すなかで、上層では相互に移動して掘削したようであり、155－15が155－21を切っているように観察される。

2　Ⅴ街区北側（F8・9、G9・10区付近）

1）1面目

溝155－12付近から小穴155－119付近にかけての約18.0mの間に、整地土である褐灰色粘土が約6.0cmの厚さで堆積していた。調査区内は全面が大きく削平されており、整地土および1面目の遺構の残存状況は良くない。この整地土中から竹樋1・2を検出した（第78・79図、図版第16）。それぞれの接続部分は残存しておらず、現状ではどのように配置されていたのかは不明である。竹の節は全て取り除かれ、内部に水が流れるように加工されていた。

溝155－12（第79図）　幅1.2m、深さ0.15mで、北西から南東へ延びる。両端は調査区外へ延びる。

小穴155－7・8・9・10（第79図）　溝155－12の埋没後に掘削されている。東西方向に1列に並んでおり、何らかの構造物の一部であると推測するが、それぞれの間隔が狭く、東側が廃棄土坑155－5、溝155－163によって削平されているため不明である。

廃棄土坑155－5（第79図）　長径2.0m、短径1.3mで、中央でくびれる歪な楕円形を呈する。小穴155－7、溝155－12埋没後に掘削され、東端は井戸155－163に切られる。壁が垂直に立っており、

西端部が直径約1.0mの範囲で浅くくぼんでいることから、井戸材は出土していないが、当初は井戸であったと推定される。井戸の廃絶後、東側に拡張するように掘削され、廃棄土坑として埋め戻されたと考えられる。南壁付近からは0.5×0.4mの網代片が2点出土した。

井戸155−163（第78図） 長径1.2m、短径1.1mで、廃棄土坑155−5の埋没後に構築される。復元径約60cmの桶の底板の一部と側板1枚が残存する。底板が設置されていることから、竹樋などの上水管に接続した水汲み用の井戸である。出土遺物の年代から19世紀以降に廃絶したと考えられる。

155−5が井戸としての役割を終えた後、廃棄土坑として利用され、そこに隣接して155−163が構築されていることから、この二つの井戸は掘り直しに伴う、一連のものと考えられる。この付近の遺構の構築順は、155−12→155−7・8・9・10→155−5→155−163となる。

2）2・3面目

F8・9、G9区付近には、調査区外へ延びる溝が集中している。しかし、北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06−3調査区）で検出した遺構と接続するものは少ない（福井県埋文2009）。

溝155−43・71（第80図） 155−43は東西方向の溝で幅約0.8m、深さ約0.6mを測り、断面形は薬研堀状を呈す。両端とも調査区外に延びる。155−71は幅0.7m、深さ0.3mで、155−43にほぼ並行するが、西端は土坑155−91に当たって終わる。土層や出土遺物から同時期のものと考えられる。155−91は、出土遺物からこれらの溝に先行する。155−43・71は、位置や方向から屋敷境溝とも推測できる。

溝155−86（第81図、図版第16） 大部分が調査区外にあり、深さは1.3mある。土坑155−23を切って作られており、切り合い部では木材を組んで土留めを行っている。

土坑155−23（第81図） 溝155−43に沿う位置にあり、西側は溝155−86によって切られ、東側は調査区外に延び、深さは1.3mある。土層の状況から、155−43に先行することが分かる。

土坑155−44（第80図） 長径4.1m、短径3.3mの土坑である。

井戸155−60（第90・92） 直径約0.6m、深さ0.8mの素掘りの井戸である。井戸155−64、土坑155−96と同様の規模であるが、底面まで先細ることがなく、筒状である。

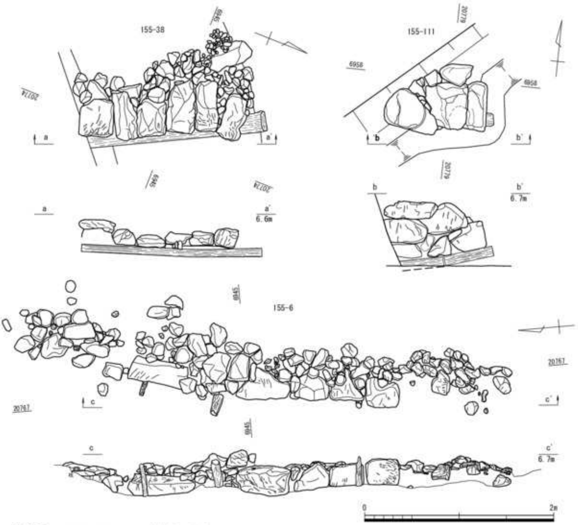
井戸155−83（第89図） 直径1.7m、深さ2.1mの素掘りの井戸である。検出面から約0.8m下層で径が窄まる。

井戸155−97（第90図） 掘方は長径1.1m、短径1.0mで楕円形を呈する。竹の割裂材を用いたタガのみが残存し、廃絶時に桶板は全て抜き取られている。出土遺物から18世紀後半に廃絶したと考えられる。福井地震の影響で、検出面より約0.4mの位置で上層が南へずれており、また9層では掘方の土壌が桶内に流入している状況を確認した。

井戸155−133（第83図） 直径約0.8m、深さ0.6mの素掘りの井戸で、溝155−57・113の埋没後に掘削される。福井地震の影響で上層が南へずれる。

廃棄土坑155−16（第90・91、図版第17） 長径1.9m、短径1.7m、深さ1.3mの円形を呈する大型の廃棄土坑である。検出面から底面に向かって窄まる。上層は福井地震の影響で南にずれる。18世紀後半の遺物が出土している。

土坑155−88（第91図、図版第17） 長径1.3m、短径0.8mの楕円形を呈し、検出面から底面に向かって窄まる。6層と10層の境界で土師質皿が一括廃棄されており、9点は重なった状態で出土した。堆積状況から、一度埋没した土坑を再掘削し、土師質皿を廃棄したと考えられる。土師質皿は18世紀のもので、この時期に完全に埋没したと考えられる。



第77図　155-6・38・111（縮尺1/40）

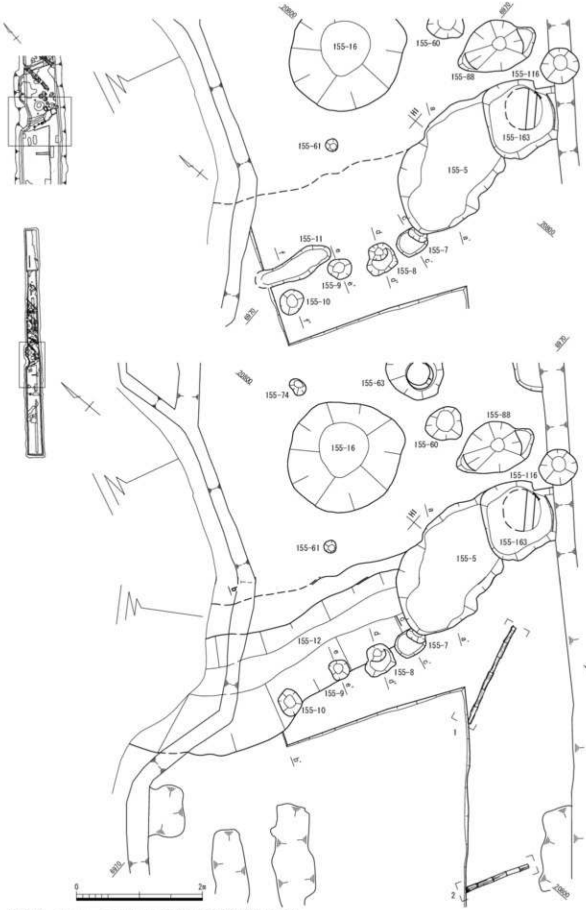
溝155－13・84（第87図、図版第17）155－84は幅0.5m、深さ0.4mで、緩やかに蛇行しつつ調査区を南北に横断する。155－13は84を再掘削した溝であるが、調査区西端では流路の方向が異なっている。

溝155－79・80（第83～85図）155－80は幅約0.5mで調査区を東西に横断し、調査区東端で溝155－13と交差する。西端はFKJ06－3調査区の溝63802に接続する（福井県埋文2009）。155－79は、155－80の埋没後に約0.2mの幅で掘り直された溝である。概ね155－80と同じ場所を通るが、調査区を横断することなく途切れる。

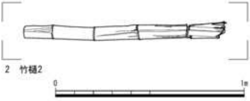
溝155－164（第83・85図）幅1.2m、深さ0.3mで、調査区を概ね東西に横断する。溝155－57・81・82、井戸155－133の埋没後に掘削されている。

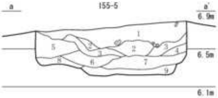
溝155－57・81・82（第83・85図）155－57と82は東西方向に延び、調査区中央で接する。155－57が幅1.0m、深さ0.4mの規模を持つのに対し、155－57を切る155－82は幅0.6m、最深部で深さ0.2mと浅い。155－81は北西－南東方向に延びる。155－81と155－82は東端が溝155－80と合流して途切れ、いずれも西端は調査区内で消失する。構築順は155－57・81→82→80となる。

溝155－113・114（第83～85図、図版第17）155－114は幅3.4m、深さ0.9mで、北西から南北方向に調査区を横断する。福井地震による影響で、上層が南にずれる。また、下層では細粒砂が縞状に



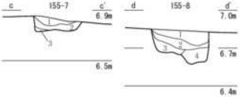
第78図　1面目　G・H区周辺の遺構配置図（縮尺1/60）





155-5

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	少	—	少	少	灰色粘質土ブロック微量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	微	灰色粘質土斑に多量
4	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	—	微	—	—	灰色粘質土斑に少量
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック少量
6	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	—	—	—	—
7	暗オリーブ灰色粘質土	5GY4/1	—	—	—	—	微	—
8	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	—	—	—	—

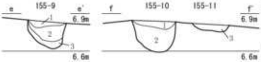


155-7

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	—
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	—	—
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	微	—	—	—	—

155-8

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土斑に少量 灰黄色粘質土ブロック微量
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	灰黄色粘質土ブロック微量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	—	—
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	灰黄色粘質土ブロック微量

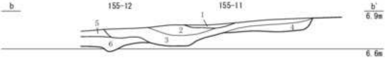


155-9

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	灰黄色粘質土ブロック少量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に多量

155-10・11

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	黄灰粘質土ブロック少量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	—
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	155-11



155-11・12・97

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	155-11
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土斑に中量　155-12
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土少量　155-12
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	155-12
5	褐灰色粘質土	10YR4/1	—	—	—	微	—	褐灰色粘土層
6	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	—	—	—	—	中粒砂斑に微量　155-97

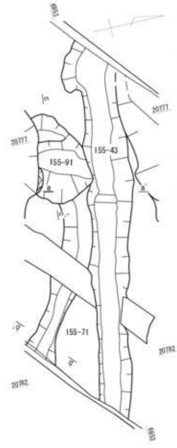
第79図　155-5・7・8・9・10・11・12、竹樋1・2（縮尺1/40・1/30・1/20）

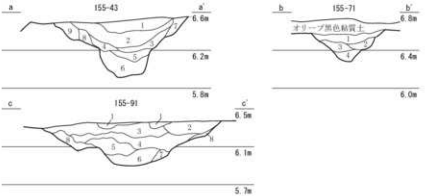
混じり、水が流れる状態であったと考える。流水痕跡が認められる土層の上下には、下層を構成する土壌と同じ土壌のブロック土が含まれることから、掻い掘り等の行為が行われた可能性が高い。155－113は、155－114の埋没後に再掘削されていると考えられ、155－114より幅が狭く、全体的に浅い。

3　Ⅴ街区北側（H1・2、I1・2区付近、図版第16）

調査区内は全面が大きく削平されており、整地土はほとんど残存せず、遺構の残りも悪かった。遺構の切り合いにより、全体図では１・２面に分けているが、確認された標高は同一である。

道路側溝 155－24・36・37（第95図）　FKJ15－5調査区の中央付近で南北に延びる道路に伴うものである。砂利敷舗装は確認されなかったが、両側に側溝155－24・36・37が残存した。検出規模は、側溝はいずれも幅0.3～0.5m、深さ0.2mであり、道路は幅約４m、延長約12mである。この道路





155-43

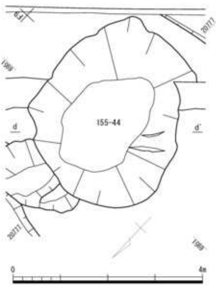
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒状に微量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土微量 ブロック状に微量
3	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土 ブロック状に微量
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	—
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土 ブロック状に微量
7	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	—	—	—	—	—
8	灰色粘質土	10Y4/1	微	—	—	—	—	白粒極微量
9	灰色粘質土	10Y4/1	微	—	—	—	—	白粒極微量

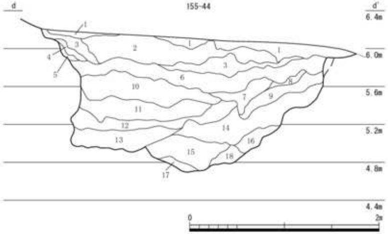
155-71

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	白粒極微量
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	砂礫混じり
3	灰色粘土	5Y5/1	—	—	—	—	—	—
4	灰色粘土	5Y5/1	微	—	—	—	—	砂礫やや多い

155-91

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	—
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	白粒極微量
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	白粒極微量
4	オリーブ黒色粘質土	10Y3/1	微	微	—	—	—	白粒極微量　骨片が混じる
5	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	微	—	—	—	—	骨片が混じる
6	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	微	—	—	—	—	白粒微量
7	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY3/1	—	—	—	—	—	—
8	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	—	—	—	—	白粒極微量

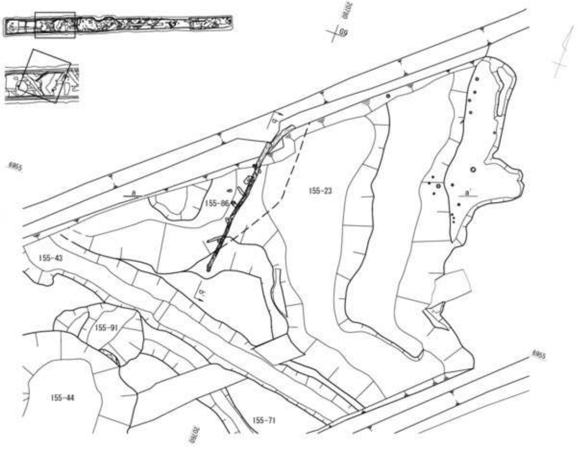


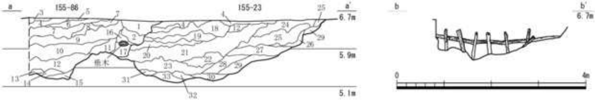


155-44

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	白粒微量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	—	—	—	—	白粒微量
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	—	—	—	—	—
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	—	—	—	3層の土が混合する
5	灰色粘土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
6	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	—	—	—	白粒微量
7	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	—	—	—	—	—
8	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	—	—	—	—	白粒微量
9	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	—	—	—	14層との混合　白粒微量
10	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	—	—	—	白粒極微量 灰色粘土ブロック状微量
11	灰色粘土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土微量
12	灰色粘土	5Y4/1	微	—	—	—	—	—
13	灰色粘質土	10Y4/1	微	微	—	—	—	灰白色粘土粒状微量
14	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	少	少	—	—	—	灰白色粘土粒状微量
15	灰色粘質土	10Y5/1	微	微	—	—	—	緑灰色粘土ブロック状に微量
16	灰色粘土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
17	灰色粘土	5Y5/1	—	—	—	—	—	15層との混合
18	黄灰色粘土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	—

第80図　155-43・44・71・91（縮尺 1/80・1/40）

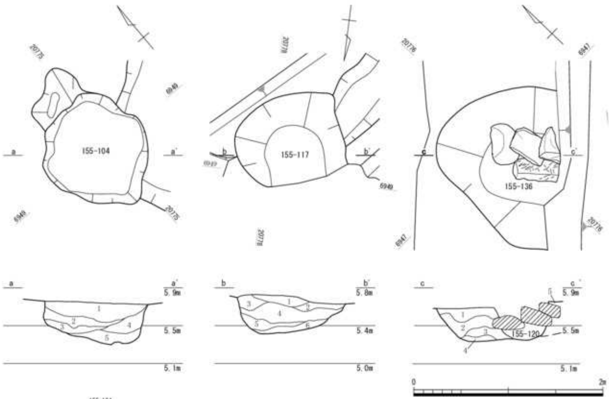




155-23・86

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	[illegible]	他の石	備考	
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	―	―	―	―	オリーブ灰色粘土・9層と混合	155-86
2	灰色粘質土	5Y4/1	中	微	―	―	―	灰色粘質土・オリーブ灰色粘質土と混合	155-86
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	―	―	―	―	オリーブ灰色粘土ブロック微量	155-86
4	灰色粘質土	5Y4/1	微	―	―	―	―	白粒微量　1層土がブロック状に混合	155-86
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	―	―	―	―	―		155-86
6	灰色粘質土	7.5Y4/1	少	―	―	―	―	細かい骨片を含む　7層土が多量	155-86
7	褐灰色土	10Y4/1	中	微	―	―	少	腐葉土	155-86
8	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	―	―	―	―	7層土が多量　白粒微量	155-86
9	灰色粘質土	5Y4/1	少	―	―	―	微	オリーブ灰色粘土ブロック微量	155-86
10	褐灰色粘質土	10Y4/1	多	―	―	―	微		155-86
11	褐灰色土	10Y4/1	多	―	―	少	―	砂礫混じり　腐葉土	155-86
12	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	―	―	―	―	砂礫混じり　腐葉土	155-86
13	灰色粘土	5Y4/1	―	―	―	―	―		155-86
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	―	―	―	―	13層土が微量	155-86
15	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	微	―	―	―	―		155-86
16	褐灰色土	10YR4/1	微	―	―	―	―	6層土が混合	155-86
17	褐灰色土	10YR4/1	微	―	―	―	―		155-86
18	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	―	―	―	―	微	黒褐色粘質土に混合	155-23
19	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	―	―	―	―	18層土ブロック状微量　腐葉土	155-23
20	灰色粘土	7.5Y4/1	微	―	―	―	―		155-23
21	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	―	―	―	―	白粒微量　砂礫微量	155-23
22	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	―	―	―	微	灰色粘土ブロック多量　腐葉土	155-23
23	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	―	―	―	―	白粒微量	155-23
24	黒褐色土	2.5Y3/2	多	―	―	―	―	灰色粘土多量	155-23
25	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	―	―	―	―	白粒微量　灰色粘土ブロック微量　21層土微量	155-23
26	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	―	―	―	―	灰色粘土と混合	155-23
27	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	―	―	―	―	白粒微量	155-23
28	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	―	―	―	―	オリーブ灰色粘土微量	155-23
29	緑灰色粘土	7.5GY5/1	―	―	―	―	―	28層土と混合	155-23
30	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	微	―	―	―	―	オリーブ灰色粘土と混合	155-23
31	黒褐色粘土	2.5Y3/1	―	―	―	―	―	オリーブ灰色粘土微量	155-23
32	暗オリーブ灰色砂	2.5GY3/1	―	―	―	―	―	中砂	155-23
33	灰色粘土	7.5Y5/1	―	―	―	―	―		155-23

第81図　155-23・86（縮尺 1/80）



155-104

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	10Y4/1	微	—	—	—	—	骨片少量　黒褐色粘質土ブロック微量
2	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	微	—	—	—	—	骨片微量
3	黄灰色粘土	2.5Y5/1	微	—	—	—	—	—
4	灰色粘質土	7.5Y5/1	微	—	—	—	—	—
5	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	白粒極微量

155-117

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	10Y5/1	微	—	—	—	—	—
2	灰色粘質土	10Y5/1	微	—	—	—	—	—
3	灰色粘土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	微	—
5	黄灰色粘土	2.5Y4/1	—	—	微	—	—	—
6	黄灰色粘土	2.5Y5/1	—	—	—	—	—	5層土と混合

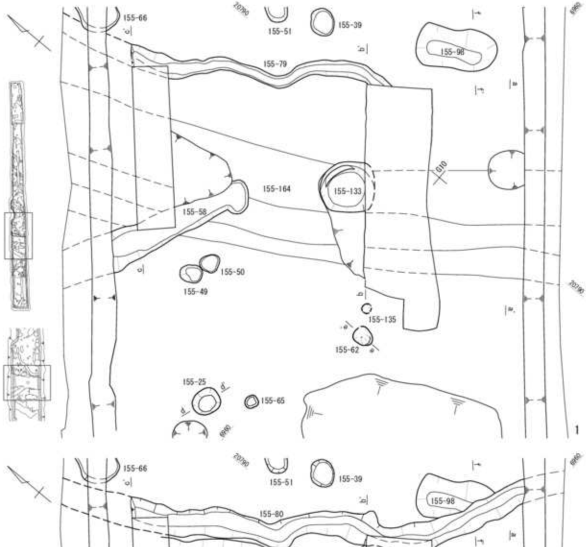
155-136

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	10Y5/1	微	—	—	—	微	—
2	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	白粒微量
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘土粒状少量
4	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘土粒状微量
5	灰色粘質土	10Y4/1	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土微量

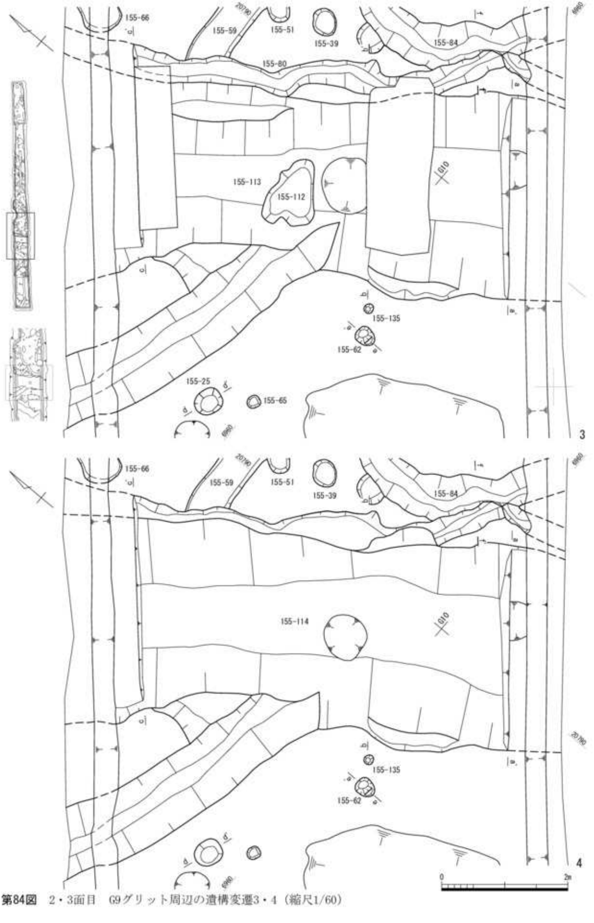
第82図　155-104・117・136（縮尺 1/40）

は、北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06－3地区）で検出した道4にあたる（福井県埋文2009）。道4は17世紀代・18～19世紀・幕末頃の状況が確認されており、今回の道路はそのうち17世紀代の状況と合致する。道4は18～19世紀には東にやや拡幅されるが、幕末頃には西側に移設される。移設後は道路の東に集石列、西に側溝が付随し、おそらく土塀等の基礎とみられる集石列がそれまでの西側溝の位置にあり、新たに別の西側溝が備えられる。その新たな西側溝の延長上に溝155－28があり、同一の溝とみられる。155－28の検出規模は幅0.56m、深さ5.0cm程度であり、幕末頃の道路幅は概ね5mとなる。なお、今回の道路側溝の検出面は標高6.8m前後であるが、FKJ06－3地区での17世紀の側溝検出面は標高7.3～7.4m、幕末頃は標高7.5mであり、全面が大きく削平されている。

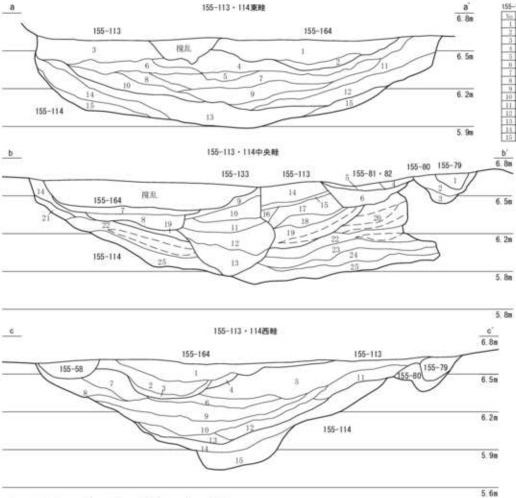
溝155－29・30（第94図、図版第17）　ともに概ね南北に延びる約6m分を検出した。155－29は北端が確認されるが南が撹乱されており、155－30は南端が確認されるが北が調査区外へと延びる。ただし、北接するFKJ06－3地区に155－30の延長部分が確認されないため、その北端は155－29と大きく変わらないものと思われる。どちらも溝内に間隔をあけて複数の土坑が穿たれており、各土坑を埋

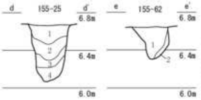


第83図　2・3面目　G9グリット周辺の遺構変遷1・2（縮尺1/60）



第84図 2・3面目 G9グリット周辺の遺構変遷3・4（縮尺1/60）





155-113・114東畦

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	黄灰色粘質土塊に少量　鉄分少量　西1層と同一 155-164
2	黒褐色粘質土	10YR2/2	少	黄灰色粘質土塊に中量　鉄分少量　西畦2層と同一 155-164
3	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	褐鉄鋼微量　西畦5層に対応 155-113
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	褐鉄鋼微量　細粒砂微量 155-113
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	灰オリーブ色粘質土ブロック少量 155-113
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	鉄分微量 155-113
7	灰色粘質土	5Y4/1	—	細粒砂微量 155-113
8	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	オリーブ灰色粘質土ブロック少量　黒褐色粘質土塊に少量　西畦9層に対応 155-113
9	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	西畦10層と同一 155-113
10	灰色粘質土	5Y4/1	微	灰オリーブ色粘質土ブロック少量 155-113
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	細粒砂縞状中量 155-113
12	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	細粒砂縞状中量　不明なラミナ構造 155-113
13	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	細粒砂ブロック中量　西畦12層と同一 155-114
14	灰色粘質土	2.5Y4/1	—	細粒砂縞状中量不明なラミナ構造　西畦14層と同一 155-114
15	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	—	西畦15層と同一 155-114

155-113・114中央畦

No	土色・土質	土色No	炭化物	有機質	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	細粒砂中量　鉄分少量 155-79
2	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	微	—	細粒砂縞状中量　鉄分少量 155-80
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	灰オリーブ色粘質土塊中量　鉄分少量 155-80
4	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	細粒砂縞状多量　褐鉄鋼微量 155-81
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	細粒砂縞状少量　褐鉄鋼微量 155-81
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	灰オリーブ色粘質土塊に少量　褐鉄鋼少量　細粒砂縞状少量 155-82
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	細粒砂縞状中量　黒色砂質土縞状少量　褐鉄鋼微量　不明瞭なラミナ構造 155-164
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	黒褐色粘質土塊に少量　灰オリーブ色粘質土塊に少量 155-164
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	少	灰色粘質土塊に中量　細粒砂少量　植物遺体あり 155-133
10	黒褐色粘質土	10YR3/1	—	少	植物未分解層縞状少量　灰オリーブ色粘質土部分的に縞状少量 155-133
11	暗オリーブ灰色粘質土	5GY4/1	—	少	黒褐色粘質土層中量　細粒砂少量 155-133
12	暗オリーブ灰色粘質土	2.5GY4/1	—	—	黒褐色粘質土塊・灰色粘質土塊に中量 155-133
13	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	—	暗オリーブ灰色砂質土塊に少量　黒褐色粘質土塊に少量 155-133
14	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	細粒砂少量　褐鉄鋼微量 155-113
15	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	—	—	オリーブ黒色粘質土(開墾土)部分的に縞状少量 155-113
16	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	155-113
17	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	細粒砂縞状中量　不明瞭なラミナ構造 155-113
18	黒褐色粘質土	10YR3/1	微	—	155-113
19	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	炭化物・細粒砂縞状少量　鉄分微量 155-113
20	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	微	—	褐灰色粘質土縞状少量　明瞭なラミナ構造 155-114
21	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	—	—	黒褐色粘質土塊に中量 155-114
22	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	—	炭化物・細粒砂縞状中量　明瞭なラミナ構造 155-114
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	—	—	部分的に細粒砂ブロック中量 155-114
24	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量 155-114
25	黒褐色粘質土	10YR3/1	微	—	灰オリーブ色粘質土ブロック状中量　細粒砂部分的に縞状中量　不明瞭なラミナ構造 155-114

155-113・114西畦

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	黄灰色粘質土塊に少量　鉄分少量 155-164
2	黒褐色粘質土	10YR2/2	少	黄灰色粘質土塊に中量　鉄分少量 155-164
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	鉄分微量 155-164
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	155-164
5	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	微	細粒砂微量　鉄分少量 155-113
6	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	灰オリーブ色粘質土塊に微量 155-113
7	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	—	細粒砂微量　褐鉄鋼微量 155-113
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	黒褐色粘質土縞状中量　鉄分微量 155-113
9	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	中	オリーブ灰色粘質土ブロック微量　黒褐色粘質土塊に少量 155-113
10	黄灰色粘質土	2.5Y3/1	微	155-113
11	灰色粘質土	5Y4/1	少	細粒砂少量　鉄分少量　不明瞭なラミナ構造 155-113
12	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	細粒砂ブロック中量 155-113
13	灰色粘質土	5Y5/1	—	細粒砂ブロック中量　黒褐色粘質土塊に中量 155-113
14	灰色粘質土	2.5Y4/1	—	細粒砂縞状中量ラミナ構造 155-114
15	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	—	155-114

155-62

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考
1	黄灰色粘質土	5Y4/1	微	鉄分微量
2	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	鉄分微量

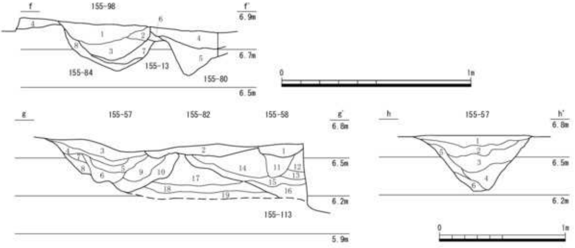
155-25

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	安山岩	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	少	微	微	緑灰色粘質土塊に中量　鉄分微量
2	灰色粘質土	7.5Y5/1	少	—	少	微	微	鉄分微量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	微	少	—	—	オリーブ灰色粘質土塊に少量
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—

0　1m

0　2m

第85図　155-25・58・62・79・80・81・82・113・114・133・164（縮尺1/40・1/30）



155-13・80・84・98

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量 155-98
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分微量 155-98
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	微	鉄分微量 155-98
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	微	—	—	—	オリーブ灰色粘質土ブロック微量 鉄分微量 褐灰色粘土層
5	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	緑灰色粘質土ブロック少量 鉄分少量 155-80
6	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分微量 155-13
7	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土ブロック少量 鉄分少量 155-13
8	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	—	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土ブロック中量 鉄分少量 155-84

155-57・58・82・113・114

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ色粘質土	5Y4/3	—	—	—	—	—	浅黄色粘質土縞状少量 155-58
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	細粒砂縞状少量 灰オリーブ色粘質土斑少量 褐鉄鉱少量 155-82
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	多	オリーブ灰色粘質土・オリーブ黒色粘質土斑に少量 鉄分微量 1層と同一 155-57
4	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量 2層と同一 155-57
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量 3層と同一 155-57
6	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量 4層と同一 155-57
7	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	5層と同一 155-57
8	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	6層と同一 155-57
9	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—	暗オリーブ灰色粘質土ブロック中量 細粒砂ブロック少量（噴砂?）鉄分微量 155-57
10	褐灰色粘質土	10Y4/3	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に中量 細粒砂微量 鉄分微量 155-57
11	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	細粒砂少量 鉄分微量 155-113
12	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	—	—	—	—	細粒砂少量 鉄分微量 155-113
13	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	微	—	—	—	—	細粒砂微量 鉄分微量 155-113
14	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	微	—	—	—	—	細粒砂微量 不明瞭なラミナ構造 鉄分微量 155-113
15	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量 155-113
16	黄灰色粘質土	5Y3/1	少	—	—	—	—	鉄分微量 155-113
17	緑灰色粘質土	7.5GY6/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土斑に少量 鉄分微量 155-114
18	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土ブロック少量 細粒砂ブロック少量 155-114
19	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	—	—	—	—	—	155-114

155-57

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土・オリーブ黒色粘質土斑に少量 鉄分微量
2	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	—
6	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—

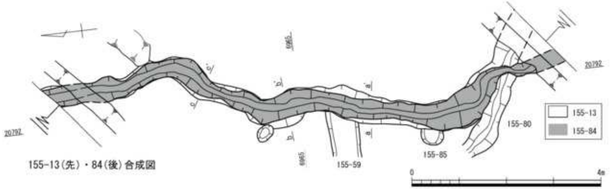
第86図 2・3面目 155-13・57・58・80・82・84・98・113・114（縮尺 1/30・1/20）

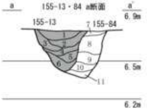
めた後にそれらを覆うように溝内を埋めている。155－29は溝内に径0.4～0.6mの土坑8基が0.7m前後の間隔で並び、155－30では径0.3～0.7mの土坑7基が0.8mの間隔で並ぶ。どちらも緩やかに湾曲する溝のため布掘り柱の掘形とは考えられず、性格不明である。生垣のような苗木の痕跡かもしれない。

溝155－31（第94図） 溝155－29･30と交差し、両者に先行する溝である。検出規模は幅1.0m前後、深さ0.15mで、北西から南東へ延びる約5.4m分を確認した。この溝の方向性は南北道路等と異なるが、FKJ06－3地区で確認された福井城に先行する溝等と合致する。そのため、北庄城期以前の遺構となる可能性がある（福井県埋文2009）。

井戸155－52（第93図） 検出規模が径約1m、深さ1.55mの素掘り井戸である。調査中に半裁した堆積土が崩落して実測できなかった。

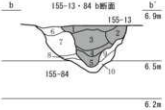
井戸155－63・64（第92図、図版第17） 155－63は検出規模が径0.9～0.95m、深さ約1.2mであるが、検出面から0.5～0.65mあたりより下層は急に窄まっており、その部分に曲物を据える。155－64は検出規模が径約0.65m、深さ約1mで、検出面から約0.6mの位置より下層はやや窄まる。曲物等





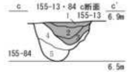
155-13・84 a断面

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考	
1	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量	155-13
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分少量	155-13
3	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土多量　鉄分少量	155-13
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック少量　鉄分微量	155-13
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分微量	155-13
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に中量　鉄分微量	155-13
7	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に微量　鉄分微量	155-84
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に中量　鉄分微量	155-84
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土多量　鉄分少量	155-84
10	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量　鉄分少量	155-84
11	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-84



155-13・84 b断面

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考	
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	鉄分微量	155-13
2	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分少量	155-13
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-13
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分微量	155-13
5	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-13
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-84
7	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分少量	155-84
8	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に中量	155-84
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-84
10	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土斑に中量	155-84



155-13・84 c断面

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考	
1	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分少量	155-13
2	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量	155-13
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量　鉄分微量	155-13
4	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	—	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土斑に中量　鉄分微量	155-84
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量	155-84

0　1m

第87図　２・３面目　155-13・84（縮尺1/30・1/80）

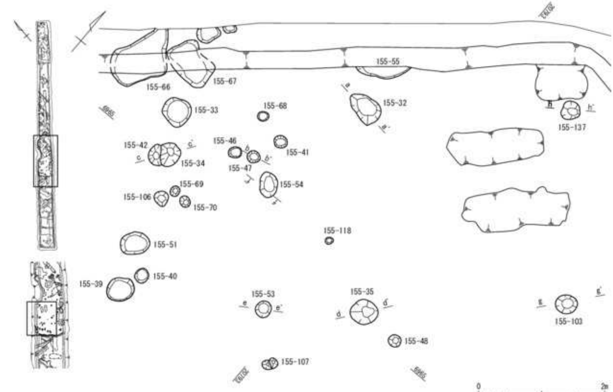
は確認されなかったが、155－63と似た形状の土坑断面であり、同様に据えていたものをはずしたことが考えられる。なお、隣接する土坑155－96は下層が径約0.6mで、底面の位置が155－63の曲物を据えた高さ、155－64の窄まる高さと揃う。155－96が井戸として機能したか否かは不明ながら、周囲の切り合い状況から155－64→96→63の構築順が追える。

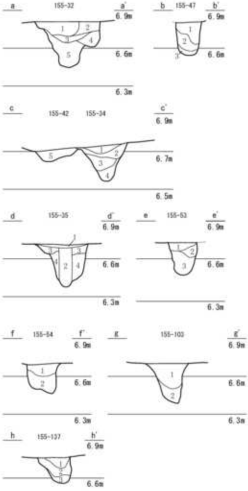
井戸155－72（第93図、図版第17）　検出規模が長径1.1m、短径0.7mで、深さ約1.9mの素掘り井戸である。底面から0.9m埋没しても使用されていたようだが、その後廃絶して埋められた。埋没後、地震等の影響により縦断面形に歪みが生じている。

３　Ⅵ街区

調査区内は全面が大きく削平されており、整地土はほとんど残存せず、遺構面は１面のみであった。

池状遺構155－18（第96・97図、図版第18）　池の上層部分が削平され、最深部分のみ残存したものとみられる。完掘時の平面形はＬ字形もしくはへ字形となるが、南北に長い隅丸長方形だったものを東西に長い長方形へと改変したようである。当初の規模は3.3m×1.2～1.6mで、北辺に大小４つの笏谷石が残存する状況だった。もとは縁に並べてあったと思われる。次の段階の規模は2.8～3.0m×1.5～1.8mで、南西側に４つの大きめの笏谷石を縁に沿ってＬ字形に並べており、その石列の背後に小さな笏谷石の砕片や大きめの川砂利が確認された。笏谷石砕片や砂利は、石列石材の上を覆うような状況で検





155-32

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	微	鉄分微量
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土ブロック少量 鉄分微量
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土ブロック少量 鉄分微量

155-34・42

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量 鉄分微量 155-34
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	微	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量 155-34
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	鉄分微量 155-34
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	155-34
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	微	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量 155-42

155-35

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	緑灰色粘質土斑に少量 鉄分微量
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	微	—	—	緑灰色粘質土ブロック微量 鉄分微量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	緑灰色粘質土斑に少量
4	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量

155-47

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に多量 鉄分微量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—

155-53

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	鉄分中量
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	鉄分微量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	鉄分微量

155-54

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	緑灰色粘質土斑に少量 鉄分微量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	鉄分微量

155-103

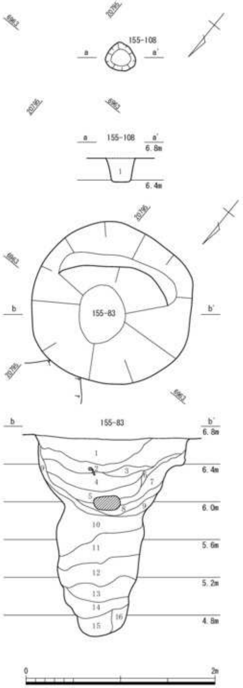
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量 鉄分微量
2	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量

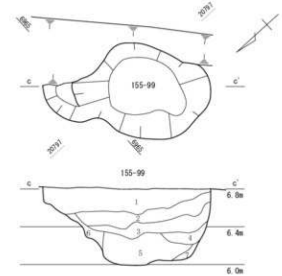
155-137

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に微量 鉄分少量
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量
3	オリーブ灰色粘質土	2.5GY6/1	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量

0 1m 0 1m

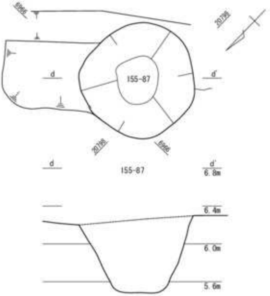
第88図 155-32・34・35・42・47・53・54・103・137（縮尺1/60・1/30・1/20）





155-99

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	微	—	微	灰色粘質土斑に少量　鉄分少量
2	灰色粘質土	5Y4/1	極微	—	微	—	微	オリーブ灰色粘質土斑に中量 鉄分微量
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に中量 鉄分微量
4	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土斑に微量
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	微	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に微量
6	灰色粘質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
7	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	—	—	—	—	—	—



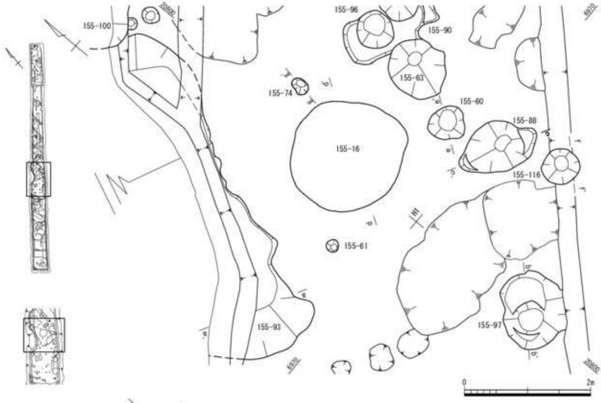
155-108

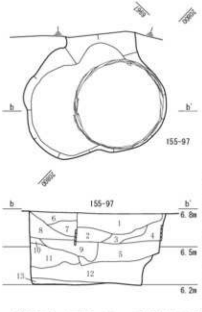
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	微	鉄分微量

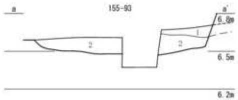
155-83

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック少量　鉄分少量
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	微	少	—
3	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	少	—	—	植物遺体あり
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	—	植物遺体あり
6	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	微	—
7	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	微	灰色粘質土ブロック微量
8	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量
10	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土斑に中量
11	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土ブロック中量　細砂少量
12	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土斑に中量
13	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	黒色粘質土斑に少量　黄灰色粘質土縞状中量
14	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	少	—	—	黒褐色粘質土ブロック中量　植物遺体あり
15	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	微	—	—	—
16	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土斑に中量

第89図　2面目　155-83・87・99・108（縮尺1/40）







155-93

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰色粘質土	10YR4/1	—	—	—	微	—	暗灰色粘土層
2	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	緑灰色粘質土斑に中量 鉄分少量

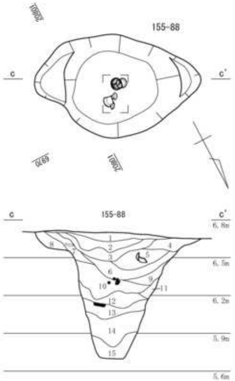
155-97

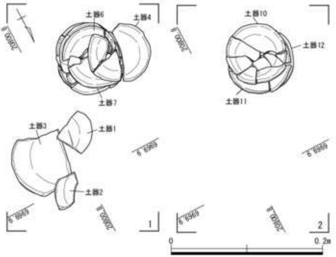
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	少	少	少	土器・笏谷石製品あり オリーブ灰色粘質土ブロック少量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	微	—	植物遺体あり オリーブ灰色粘質土斑に少量
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	微	—	灰色粘質土斑に多量
4	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	微	—	灰色粘質土斑に微量
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑微量
7	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	微	オリーブ灰色粘質土斑に中量
10	黒褐色粘質土	10YR3/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	微	—	—	細砂少量
12	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	微	オリーブ灰色粘質土斑に中量
13	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	鉄分微量

第90図 2面目 H1・10区付近の遺構配置図、155-93・97（縮尺1/30・1/60）

出されており、それらの裏込としたものではない。おそらく池の上層南側に砂利や笏谷石砕片により洲浜が形成されていたことの名残だと考えられる。155－18は南北道路東側の屋敷区画に位置するが、道路西側の屋敷区画にも06－3地区で池63064が検出されている（福井県埋文2009）。池63064は東西に湾曲して延びて、北側に川原石を敷き詰めた洲浜が形成されており、下層の最深部（土坑63218）は東西に長い3.7m×1.7～2.0mの歪な隅丸長方形となる。おそらく155－18も同様な構造だったと思われる。

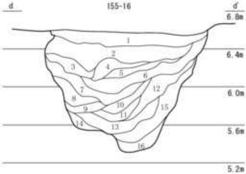
側溝155－138（第98・99図） 東西道路の南側側溝にあたり、規模は幅1.8m、深さ0.6mを測り、断面形が薬研堀状を呈す。この側溝は北陸新幹線建設事業に伴う調査（FKJ06－3調査区）から、17世紀後半に掘削され18世紀以後に埋められたことが判明している（福井県埋文2009）。





155-88

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	花崗岩	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量　鉄分微量
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	微	—	中	—	—	—
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	鉄分微量
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	微	—	—	灰色粘質土斑に少量　土器片あり
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	少	—	—	灰色粘質土斑に少量　鉄分微量
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	少	—	—	鉄分微量　土器片あり
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量
9	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	少	—	—	灰色粘質土斑に多量
10	黒褐色粘質土	10YR3/1	微	—	中	—	—	植物遺体あり
11	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に多量
12	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—
13	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック少量
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	少	—	—	—
15	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量



155-16

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	花崗岩	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	少	微	微	—
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	少	微	微	灰オリーブ色粘質土ブロック少量　鉄分微量
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	微	少	—	—	—
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	緑灰色粘質土斑に中量
5	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—
6	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	微	オリーブ黒色粘質土ブロック少量
7	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	少	—	微	灰色粘質土ブロック少量
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	少	—	—	灰オリーブ色粘質土ブロック少量
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	少	—	—	灰色粘質土斑に少量
10	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	—	—	—	—
11	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	—	—	微	—
12	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	—	—	—	鉄分微量
13	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	微	灰色粘質土ブロック少量
14	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	—	—	—	—
15	灰色粘質土	10Y6/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量
16	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック少量

第91図　２面目　155-16・88（縮尺1/30・1/5）

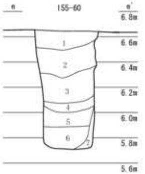
柱穴 155－144・145（第 98 図）　側溝 155－138 の溝肩付近に位置する柱穴で、柱穴間距離は 2.7m を測る。両柱穴の規模は長軸約 1.5m、短軸約 0.5m の長方形を呈し、深さ 0.2m を測る。柱根が残り、ともに地貫が確認でき、地貫方向は道路に対し直交方向である。

井戸 155－143・151・152・153・161・162（第98・100図）　井戸は径約0.7m～1.1mの円形で、すべて素掘りである。155－143・152 は上部が南方向にずれている。155－161 は道路の側溝が構築される前に掘られた井戸である。

３　下層確認トレンチ（第 104・105 図）

下層確認トレンチは調査区内に６ヵ所設定したが、そのうちトレンチ１・２とトレンチ３～５はそれぞれ類似する状況だった。そのためトレンチ１・３・６の土層堆積図を代表して掲載する。

下層確認トレンチ１　標高 6.5m 前後の遺構検出面から約 1.65m 掘り下げた。すべて自然堆積であり、上半（標高 5.7～6.4m や 5.5m 前後）では砂質土と粘質土の互層堆積が顕著で、頻繁に流水のあったこ



155-60

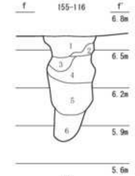
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	細砂少量
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	—	—	—	—	灰オリーブ色粘質土ブロック少量
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	灰オリーブ色粘質土ブロック中量
4	黒褐色粘質土	10Y3/1	微	—	—	—	—	—
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土斑に少量
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	少	—	—	灰色粘質土斑に少量
7	灰色砂質土	10Y5/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量

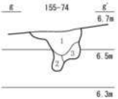
155-74

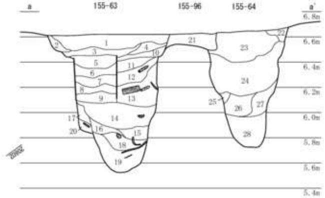
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	灰色粘質土斑に多量　鉄分微量
2	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/2	—	—	—	—	—	—
3	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	微	—	—	植物遺体あり

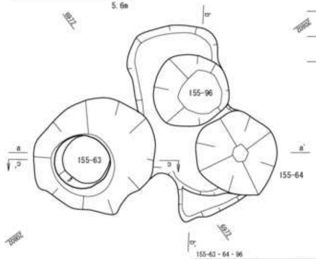
155-116

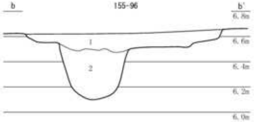
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	微	—	—	灰色粘質土ブロック中量　鉄分中量
2	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土斑に少量　鉄分中量
3	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土ブロック少量　鉄分少量
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	少	—	—	灰色粘質土斑に微量　鉄分微量
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	灰色粘質土ブロック微量
6	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に少量

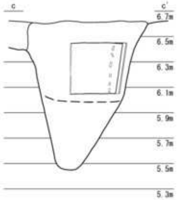












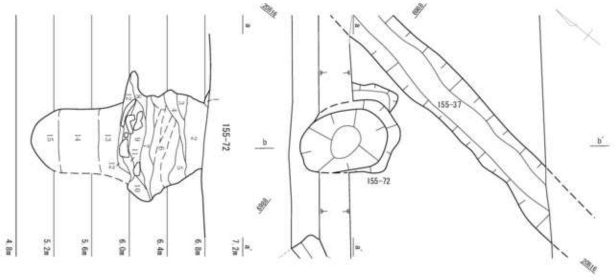
155-63・64・96

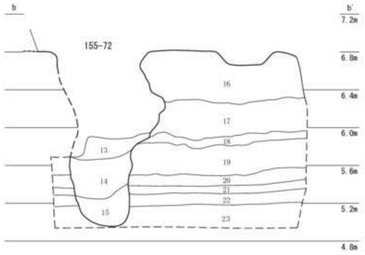
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量　155-63
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	—	—	—	—	灰黄色粘質土斑に多量　155-63
3	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	—	—	—	—	灰オリーブ色粘質土ブロック微～少量　155-63
4	黒褐色粘質土	10YR2/2	—	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土ブロック中量　155-63
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	—	少	—	—	微～細砂微量　155-63
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	155-63
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	155-63
8	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	—	—	—	—	155-63
9	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	155-63
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	155-63
11	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	—	微	—	—	155-63
12	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	微	—	—	155-63
13	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	少	—	中	—	微	灰色粘質土ブロック少～中量　155-63
14	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	少	—	—	155-63
15	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	微	—	—	155-63
16	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	—	—	—	黄灰色粘質土ブロック斑に少量　155-63
17	灰オリーブ粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	155-63
18	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	微	—	中～多	—	—	155-63
19	オリーブ黒色粘質土	2.5Y5/2	微	—	少	—	—	灰色粘土ブロック斑に中量　155-63
20	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	少～中	—	—	155-63
21	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	—	—	—	—	—	155-96
22	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	微	—	—	—	—	微砂微量　155-64
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	155-64
24	黒褐色粘質土	10YR3/1	少	—	—	—	—	155-64
25	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	155-64
26	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	155-64
27	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	灰オリーブ色粘質土ブロック中量　155-64
28	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	—	—	—	—	—	155-64

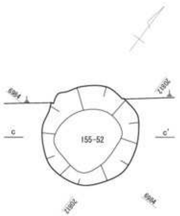
155-96

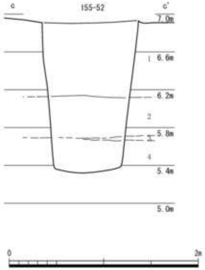
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量　上の表の21
2	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量　黒褐色粘質土ブロック少量

第92図　155-60・63・64・74・96・116（縮尺1/30・1/20）









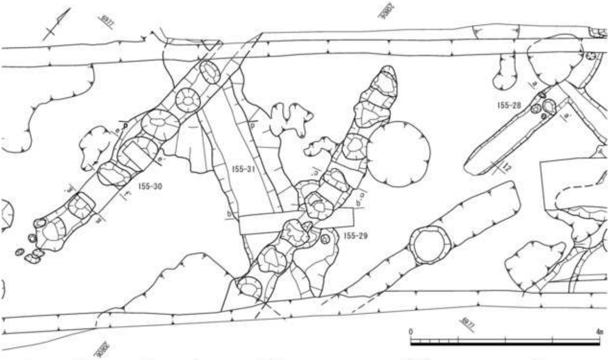
155-72および周囲の地山

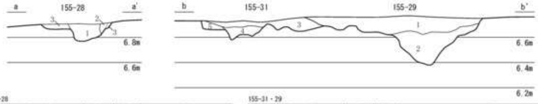
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒色粘質土	10YR7/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土斑に多量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	微	—	微	—	微	—
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量
4	オリーブ黒色砂質シルト	7.5Y2/2	微	—	中～多	—	—	細砂中量
5	黒褐色砂質シルト	2.5Y3/1	微	—	中～多	—	—	細砂中量　灰色粘質土ブロック微量
6	黒褐色粘質土	10YR2/2	少	—	多	—	微	細～中砂少量
7	暗灰黄色粘質シルト	2.5Y4/2	中	—	中	—	微	微～細砂中量
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	—	微	—	—	—
9	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	微	—	少～中	—
10	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	—	微	—	—	—
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	多	—	微	—	—	—
12	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	—	—	—	少～中	灰オリーブ粘質土ブロック微量
13	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土縞状に少量
14	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	少	—	微	オリーブ黒色粘質土縞状に中量 植物遺体あり
15	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	灰色砂質土斑に少量
16	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	—	—	—	—	—	地山
17	灰色粘質土	N6/1	—	—	—	—	—	地山
18	灰オリーブ砂質土	5Y4/2	—	—	—	—	—	同色粘質土斑に少量　地山
19	灰色砂質土	5Y4/1	—	—	少	—	—	地山
20	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	地山
21	褐灰色粘質土	10YR4/1	—	—	中	—	—	植物遺体あり　木材サンプル　地山
22	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	—	—	少～中	—	—	地山
23	褐灰色粘質土	10YR4/1	—	—	少	—	—	地山

155-52周囲の地山

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	—	—	—	—	—	地山
2	灰色粘質土	N 6/1	—	—	—	—	—	地山
3	灰オリーブ砂質土	5Y4/2	—	—	—	—	—	同色粘質土斑に少量　地山
4	灰色砂質土	5Y4/1	—	—	少	—	—	植物遺体あり　地山

第93図　155-52・72（縮尺 1/40）



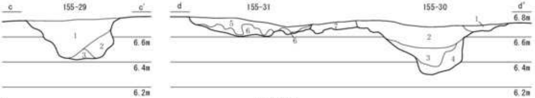


155-28

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—
2	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	—	暗灰黄色粘質土斑に微量
3	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	—	暗灰黄色粘質土ブロック多量

155-31・29

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考	
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	緑灰色粘質土ブロック微量　鉄分多量	29
2	褐灰色粘質土	10YR4/1	少	灰色粘質土斑に少量	29
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	灰色粘質土ブロック微量　鉄分含む	31
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	灰色粘質土ブロック少量	31
5	灰色粘質土	5Y4/1	—	灰色粘質土ブロック中量	31

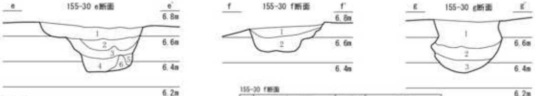


155-29

No	土色・土質	土色No	炭化物	有機質	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	微	灰色粘質土ブロック少量　鉄分含む
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	灰色粘質土斑に混じる少量
3	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—

155-31・30

No	土色・土質	土色No	炭化物	備考	
1	黄褐色粘質土	2.5Y5/3	—	黒褐色粘質土ブロック中量	30
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少		30
3	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	—	黄褐色粘質土斑に中量	30
4	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	—		30
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	—	
6	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	—	暗オリーブ褐色粘質土ブロック少量	31
7	黒褐色粘質シルト	2.5Y3/2	—	細～中砂中量　灰オリーブ色粘質土ブロック中量	31



155-30 e断面

No	土色・土質	土色No	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—
2	黒色粘質シルト	10YR2/1	細～中砂少量
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	オリーブ褐色粘質土縞状に中量
4	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	暗オリーブ褐色粘質土ブロック少量
5	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	—
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—

155-30 f断面

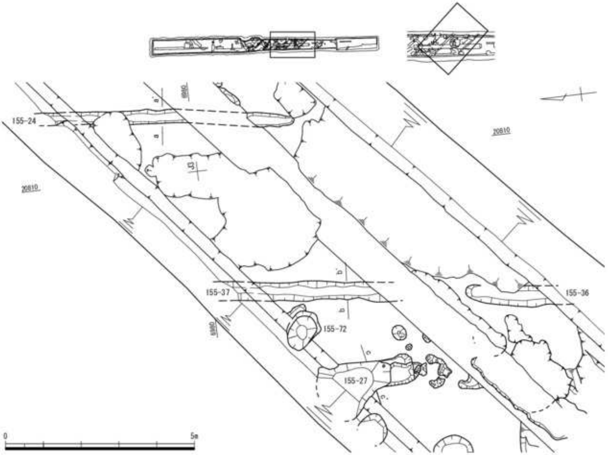
No	土色・土質	土色No	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—
2	黒色粘質土	2.5Y2/1	黄褐色粘質土斑に中量

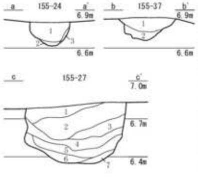
155-30 g断面

No	土色・土質	土色No	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—
2	灰色粘質土	5Y4/1	—
3	暗灰黄色砂質シルト	2.5Y5/2	細砂中量

0　1m

第94図　155-28・29・30・31（縮尺1/80・1/30）





155-24

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	頁岩石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	灰オリーブ粘質土ブロック微量
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	灰オリーブ粘質土ブロック微量
3	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	—

155-37

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	頁岩石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	微	—	—	微	—
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘質土塊に少量

155-27

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	頁岩石	他の石	備考
1	褐灰色粘質土	10YR4/1	微	—	少	—	—	オリーブ灰色粘質土ブロック少量
2	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	微	灰色粘質土塊に中量
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	微	少	—	—	—
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	中	—	—	—
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	多	—	—	—
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘質土塊に少量
7	灰オリーブ色粘質土	7.5Y4/2	—	—	少	—	—	植物遺体あり

0　1m

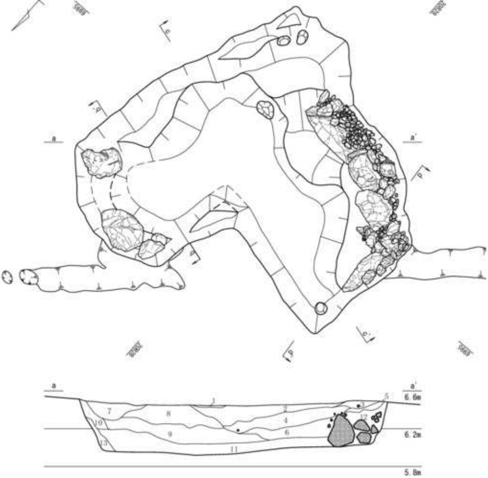
第95図　155-24・27・37（縮尺1/100・1/30）

とが窺える。下半は粘質土がちとなり、流木等の有機質が比較的多量に含まれることから、沢のような状況だったと思われる。

下層確認トレンチ３　標高6.8～6.9mの遺構検出面から1.95m掘り下げた。標高5.6～6.2m前後に砂質土と粘質土の互層堆積が顕著となり、その辺りから下層は粘質土がちで、炭化物や流木等の有機質が比較的多量に含まれることから、トレンチ１付近と同様な状況が広く展開したようである。

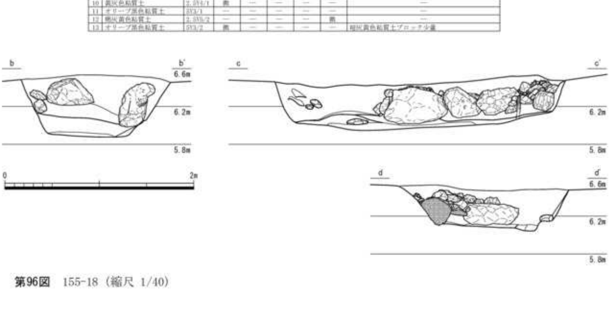
下層確認トレンチ５　標高5.3～5.6mでトレンチ３と同様の流水痕跡が認められる。６～10層にかけて植物遺体が含まれており、６・７層では倒木を確認した。

下層確認トレンチ６　標高5.2～5.6m付近で複数の倒木が確認された。周辺の土壌堆積は有機質を多く含む粘質土と砂質土との互層になっており、流水作用と陸地化が繰り返されていたと考える。倒木の年輪年代分析及び本調査区の土壌分析による古環境復元については、第２分冊第６章で述べる。

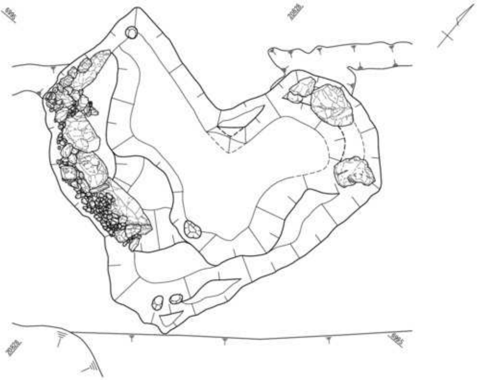


155-18

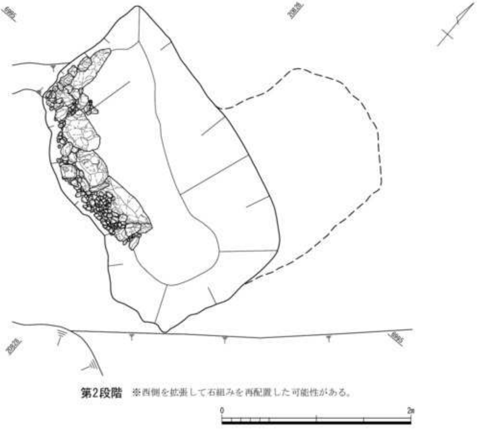
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	芦谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	多	—	—	—	—	—
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	—
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土ブロック少量
4	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	中	—	—	微	微	—
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック少量
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	微	—	—	—	微	—
7	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	多	中	—	—	—	—
8	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	—	—	—	—	—
9	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	微	—	—	—	—
10	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	—
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—	—
12	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	—	—	—	—	微	—
13	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	暗灰黄色粘質土ブロック少量



第96図 155-18（縮尺 1/40）

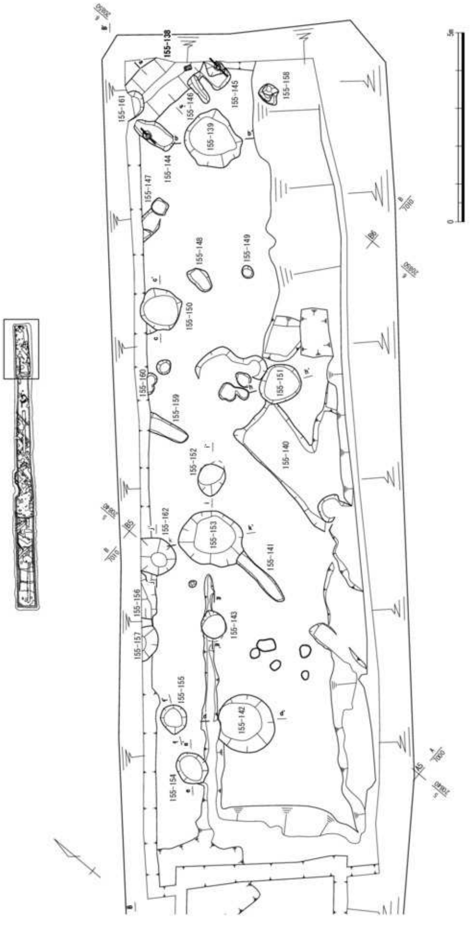


第1段階　※当初の平面形はこれとは異なる可能性がある。

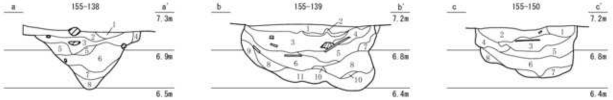


第2段階　※西側を拡張して石組みを再配置した可能性がある。

第97図　155-18の変遷（縮尺 1/40）



第98図 Ⅵ街区北半部遺構配置図（縮尺1/100）



155-138

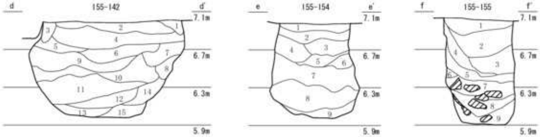
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	多	—	微	表土
2	黒褐色粘土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	表土
3	黄灰色粘土	2.5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土との混合
5	黒褐色土	2.5Y3/2	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒状微量
6	黒褐色土	2.5Y3/2	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
7	黒褐色土	2.5Y3/2	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
8	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量

155-139

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	少	—	—	微	オリーブ灰色粘土ブロック微量
2	黒褐色粘質土	10YR2/2	—	—	多	—	—	—
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	—	多	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック～筋混入
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	多	—	—	—
5	黒褐色土	2.5Y3/2	中	—	多	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
6	黒褐色土	2.5Y3/2	多	—	多	—	—	—
7	灰色粘土	10Y5/1	—	—	—	—	—	ブロック状に混入
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	少	—	微	オリーブ灰色粘土粒微量
9	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	微	—	—	—
10	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	砂微量　11層土混合
11	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	灰色粘土と混合

155-150

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	中	中	多	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	多	—	微	オリーブ灰色粘土ブロック微量　砂礫やや多い
3	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	多	—	—	—
4	灰色粘土	5Y4/1	微	—	—	—	少	オリーブ灰色粘土粒微量
5	黒褐色ピート	2.5Y3/2	—	—	多	—	—	全体に木質が炭化して混じりボソボソする
6	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	多	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
7	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土粒微量
8	灰色粘土	10Y5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土微量



155-142

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	灰色粘土	10Y5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
3	灰色粘土	10Y5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	灰色粘土ブロック多量
5	オリーブ灰色粘質土	10Y5/2	—	—	—	—	—	緑灰色砂斑に混じる　黒褐色粘土粒微量
6	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	緑灰色砂斑に混じる　黒褐色粘土粒微量
7	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
8	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
9	灰色粘質土	10Y5/1	微	—	—	—	—	灰色粘土粒微量
10	灰色粘質土	10Y5/1	—	—	—	—	—	灰色粘土マーブル状に混合
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック少量
12	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	微	—	—	—	—	黒褐色粘土マーブル状に微量
13	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
14	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土ブロック微量
15	オリーブ灰色粘土	2.5GY6/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土微量

155-154

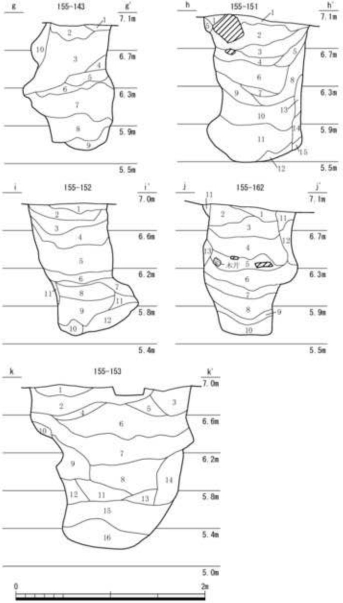
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	少	少	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　オリーブ黒色粘土ブロック微量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　オリーブ黒色粘土微量
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土多量
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	灰色粘土ブロック微量
6	灰色砂質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	—
7	灰色粘土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
8	オリーブ黒色粘土	7.5Y3/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
9	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	8層土少量

155-155

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	—	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土混合
3	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土混合
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土少量
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土少量
6	灰色粘土	10Y6/1	—	—	—	—	—	—
7	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	微	—	—	多	—	—
8	灰色粘土	5Y4/1	微	—	微	多	—	—
9	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	多	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　灰色砂質土ブロック微量

0　2m

第99図　155－138・139・142・150・154・155（縮尺1/40）



第100図 155-143・151・152・153・162（縮尺1/40）

155-143

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y5/1	微	—	—	—	—	—
2	灰色砂質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
3	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	微	—	—	—	—	灰色砂ブロック微量
4	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	腐葉土微量
5	灰色粘土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土微量
6	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	—
7	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	微	—	—	—	—	灰色粘土混合
8	黒褐色粘質土	2.5Y4/1	—	—	微	—	—	腐葉土混じる
9	灰色砂質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
10	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	—	—	—	—	—	黄褐色粘土と混合

155-151

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	中	微	—	微	—	—
2	暗褐色粘質土	2.5Y3/2	中	微	—	微	—	オリーブ灰色粘土粒微量
3	暗褐色粘質土	2.5Y3/2	中	—	—	微	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
4	灰色粘土	5Y4/1	少	—	—	—	—	黄褐色粘土混合
5	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	微	—	—	—	—	黄褐色粘土混合
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土ブロック少量
7	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	—
8	灰色粘質土	10Y6/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土と混合
9	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土微量
10	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	多	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
11	灰色粘質土	5Y4/1	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土多量
12	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘土多量
13	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
14	灰色砂質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	灰色粘土ブロック多量
15	灰色粘土	5Y4/1	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量

155-152

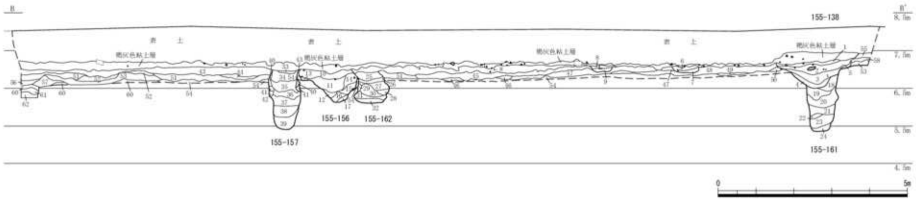
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	微	—	—	—	灰色粘土ブロック微量
2	黒褐色土	2.5Y3/2	中	微	—	—	—	玉石一部混入
3	黒褐色土	2.5Y3/2	中	微	—	—	—	—
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
6	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	微	—	多	—	微	—
7	黒褐色粘質土	5Y3/1	微	—	多	—	—	腐葉土層
8	黒褐色粘質土	5Y3/1	微	—	中	—	微	—
9	黒褐色粘質土	5Y3/1	微	—	中	—	微	オリーブ灰色粘土ブロック微量
10	灰色粘質土	5Y4/1	中	—	多	—	微	—
11	灰色粘土	5Y5/1	—	—	中	—	—	暗オリーブ灰色粘土ブロック少量
12	黄灰色粘土	2.5Y6/1	—	—	中	—	—	細かい木片を含み腐葉土が混じる

155-153

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	—	微	—	—	—	灰色粘土と混合　黄灰色粘土ブロック微量
2	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	—	—	—	—	—	灰色粘土多量　黄灰色粘土ブロック微量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	微	オリーブ灰色粘土ブロック状に多量　黒褐色粘質土もブロック状
4	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	2層の土が多量
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	微	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
6	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	灰色粘土ブロック多量
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　一部人頭大のブロックも混入
8	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　腐葉土混じる
9	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土多量
10	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	7層土と混合
11	灰色粘質土	5Y4/1	微	微	—	—	微	オリーブ灰色粘土粒微量
12	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量
13	オリーブ灰色粘土	5GY6/1	—	—	—	—	—	—
14	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	微	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
15	緑灰色粘土	7.5GY6/1	—	—	—	—	—	暗オリーブ灰色砂質土多量混合
16	褐灰色粘土	10YR4/2	—	—	—	—	—	暗オリーブ灰色砂質土やや混合　腐葉土

155-162

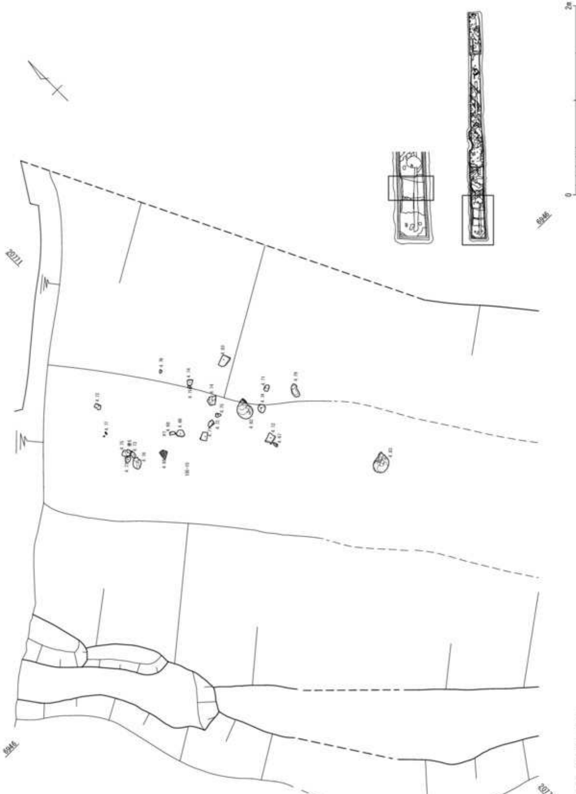
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	有機質	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	微	微	—	—	—	黄灰色粘土粒微量
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	少	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック状に少量　白粒微量
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	微	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土多量
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	中	—	—	暗オリーブ灰色粘土ブロック微量
6	灰色粘土	2.5Y4/1	微	—	微	—	微	—
7	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	微	—	中	—	微	腐葉土層
8	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	微	—	—	—	—	緑灰色粘土ブロック多量
9	灰色砂質土	10Y4/1	—	—	—	—	—	緑灰色粘土ブロック微量
10	灰色砂質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	緑灰色粘土微量
11	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土と混合
12	灰色粘土	10Y6/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土が微量混じる
13	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	—



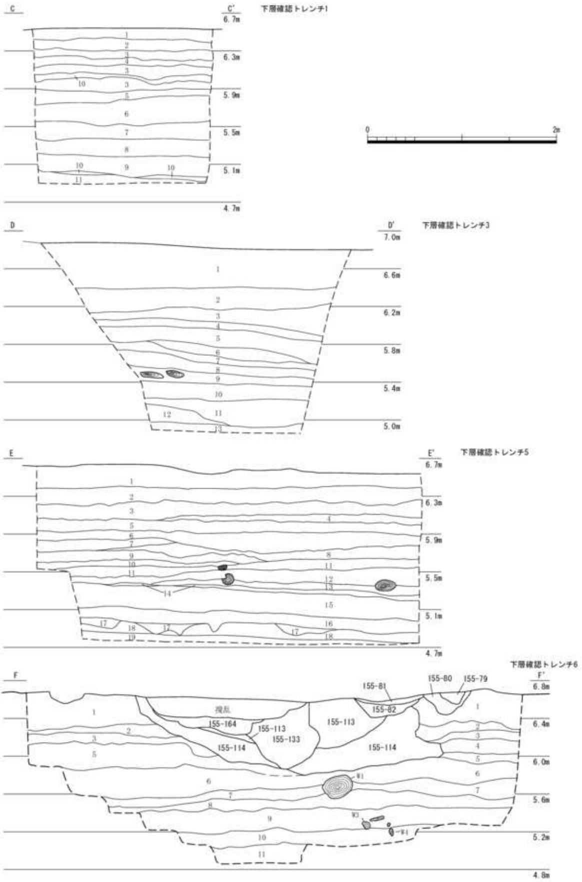
No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量　155-138
2	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　155-138
3	黒褐色土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量　砂礫混じり　155-138
4	黒褐色土	2.5Y3/2	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量　砂礫やや混じる　155-138
5	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	2層の土が混合　155-138
6	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	微	—	—	微	緑灰色粘土ブロック微量
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	—
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量
9	緑灰色粘質土	7.5GY5/1	—	—	—	—	—	8層の土が多量
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	少	微	少	少	155-156
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	—	微	—	微	155-156
12	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	黄褐色粘土微量　155-156
13	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	微	155-156
14	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	微	黄褐色粘土粒微量　黒褐色粘土と混合　155-156
15	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	微	—	—	—	微	黄褐色粘土粒微量　黒褐色粘土と混合　155-156
16	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	微	—	—	—	—	黒褐色粘土と混合　灰色粘土ブロック微量　155-156
17	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土と混合　155-156
18	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	白粒微量　155-161
19	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　155-161
20	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	微	—	—	砂やや混じる　155-161
21	灰色粘土	5Y4/1	微	—	微	—	—	砂やや多い　オリーブ灰色粘土ブロック多量　155-161
22	灰色砂質土	5Y4/1	—	—	微	—	—	灰色粘土がやや混合　155-161
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	多	—	微	155-161
24	黄灰色粘土	2.5Y5/1	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　155-161
25	灰色粘質土	7.5Y6/1	微	—	—	—	—	灰色粘土ブロック微量　155-162
26	オリーブ灰色粘質土	2.5GY5/1	微	—	—	—	—	155-162
27	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	微	—	—	—	—	155-162
28	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	灰色粘土粒多量（根の粘土化したものか）　155-162
29	灰色粘土	10Y6/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土微量　155-162
30	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	微	—	—	—	暗オリーブ灰色粘土多量　155-162
31	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	微	—	多	—	—	暗オリーブ灰色粘土ブロック微量　155-162
32	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土と混合　155-162

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
33	灰オリーブ色砂質土	5Y6/3	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量　155-157
34	緑灰色粘質土	7.5GY5/1	微	—	—	—	—	155-157
35	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	微	—	—	—	灰色粘土ブロック少量　155-157
36	オリーブ灰色粘土	2.5GY6/1	微	—	—	—	—	オリーブ黒色粘土微量　155-157
37	黒褐色粘土	2.5Y3/1	微	—	微	—	—	腐植土を含む　155-157
38	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	—	—	微	155-157
39	暗オリーブ灰色砂質土	2.5GY4/1	微	—	—	—	—	同色粘土と混合　155-157
40	オリーブ灰色粘質土	5GY6/1	—	—	—	—	—	155-157
41	緑灰色粘質土	7.5GY5/1	—	—	—	—	—	黄褐色粘土多量　155-157
42	オリーブ灰色粘土	5GY6/1	—	—	—	—	—	黄褐色粘土微量　155-157
43	黄褐色粘質土	2.5Y5/3	微	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量　黄褐色粘土微量
44	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	灰色粘土ブロック微量
45	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	微	—	—	—	—	灰色粘土と混合　黒褐色粘土ブロック微量
46	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土粒微量 黒褐色粘土ブロック微量
47	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土やや混合 黒褐色粘土ブロック微量
48	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
49	灰色粘質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
50	灰色粘質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
51	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	微	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土ブロック微量 黒褐色粘土ブロック微量
52	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
53	緑灰色粘土	10GY5/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
54	オリーブ灰色粘土	5GY5/1	—	—	—	—	—	根のあとが黒褐色粘土になって少量入り込む
55	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	微	—	—	—	—	黒褐色粘土ブロック微量
56	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土多量
57	にぶい黄褐色粘質土	10YR5/4	—	—	—	—	—	オリーブ灰色粘土少量
58	黒褐色粘質土	10YR3/2	微	微	—	—	—	—
59	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	—	—	—	—	—	—
60	黄褐色粘土	10YR5/6	—	—	—	—	—	—
61	灰色粘土	10Y6/1	—	—	—	—	—	—
62	灰色砂質土	N5/	—	—	—	—	—	—

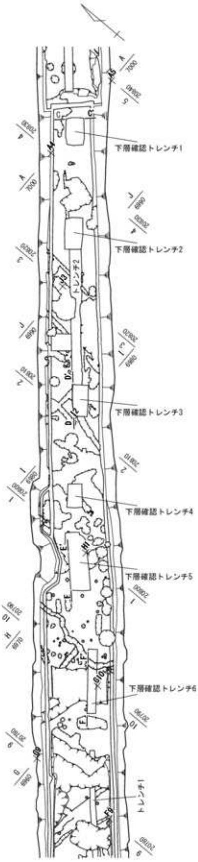
第101図　Ⅵ街区北半部土層断面図（縮尺1/100）



第102図 155-15（縮尺1/40）



第104図　下層確認トレンチ1・3・5・6（縮尺 1/40）



下層確認トレンチ1

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	鉄分多量 粗砂微量
2	灰色砂質土	7.5Y6/1	—	—	—	—	—	同色粘質土と互層堆積
3	灰色中砂	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	同色粘質土と互層堆積
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	微～細砂微量
5	灰色中～粗砂	7.5Y5/1	—	—	中～多	—	—	同色粘質土と互層堆積
6	暗灰色粘質土	10YR4/1	—	—	少～中	—	—	—
7	黒色砂質土	N2/0	—	—	中	—	—	灰色粘質土と互層堆積
8	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	少～中	—	—	—
9	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	—	—	中	—	—	—
10	灰色細砂	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	—
11	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	オリーブ黒色粘質土斑らに少量

下層確認トレンチ3

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/3	—	—	—	—	—	—
2	灰色粘質土	N6/1	—	—	—	—	—	—
3	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	うすい微砂層と互層堆積
4	褐灰色粘質土	10YR5/1	微	—	—	—	微	—
5	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	—	うすい細砂層と互層堆積
6	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	少	—	中	—	—	うすい有機質層と互層堆積
7	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	少	—	—	—
8	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	—	少	—	—	—
9	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	—	多	—	—	—
10	灰色粘質土	5Y4/1	中	—	少	—	—	—
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	中	—	多	—	—	—
12	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	微	—	少	—	—	—
13	灰色砂質土	5Y4/1	—	—	微	—	—	微～細砂主体 同色粘質土少量

下層確認トレンチ5

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y5/2	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土縞状に中量
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土縞状に少量
3	オリーブ灰色粘質土	10Y4/2	—	—	—	—	—	黒褐色粘質土ブロック微量
4	灰色粘質土	7.5Y4/1	微	—	—	—	—	—
5	灰色粘質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	—
6	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	微	—	—	—	—	微砂微～少量
7	灰色粘質土	5Y4/1	微	—	微	—	—	微～細砂層及び同色粘質土層と互層堆積
8	灰色粘質土	7.5Y4/1	—	—	—	—	—	細砂少量 オリーブ灰色粘質土ブロック中量
9	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	微	—	微	—
10	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	微	—	—	—
11	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	微～少	—	—	微砂層と互層堆積
12	灰色砂質土	7.5Y4/1	少	—	少	—	—	微砂中量 同色粘質土層と互層堆積
13	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	少	—	—	—
14	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	—	多	—	—	—
15	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	微	—	中～多	—	—	—
16	黒色粘質土	10YR2/1	微	—	少～中	—	—	—
17	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	—	微～少	—	—	灰色粘質土斑に少～中量
18	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	—	—	—	—	—	暗灰黄色砂質土ブロック少量
19	灰色砂質土	10Y5/1	—	—	微～少	—	—	—

下層確認トレンチ6

No	土色・土質	土色No	炭化物	焼土	有機質	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ灰色粘質土	5GY5/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土斑に中量 鉄分微量
2	灰色粘質土	7.5Y5/1	—	—	—	—	—	鉄分少量
3	灰色粘質土	5Y5/1	—	—	—	—	—	褐灰色粘質土斑に微量
4	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	細粒砂微量
5	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	—	—	—	—	—	灰色粘質土縞状中量 ラミナ構造
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	—	—	少	—	—	細粒砂微量 植物遺体あり
7	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	—	—	少	—	—	—
8	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	—	—	微	—	—	灰色粘質土斑に中量
9	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	—	—	少	—	—	植物遺体あり
10	黒褐色粘質土	10YR3/1	—	—	—	—	—	植物遺体あり
11	灰色粘質土	5Y4/1	—	—	—	—	—	—

0 20m

第105図 下層確認トレンチ配置図（縮尺1/400）

第６節　FKJ15－6調査区

1　FKJ15－6調査区の概要

FKJ15－6調査区は、平成18年度に北陸新幹線福井駅部建設事業に伴い実施したFKJ06－4調査区の南東に隣接する（福井県埋文2009）。また、「御城下絵図」等の福井城下の絵図等によると、中・下級武士の屋敷街と外郭を守る土居及び外堀にあたると考えられる。

遺構は、屋敷地３区画、砂利敷道路２条、区画溝４条、石列３条、石垣１条、外堀１条、土居１条があり、屋敷地で池状遺構１基、溝７条、井戸６基、土坑15基、小穴105基を検出した（第106図）。この内、下層遺構として区画溝２条、石列２条、溝１条等がある。屋敷地には南からⅦ－1、Ⅷ－1・2の番号を振った。

狭小な範囲だが比較的良好に遺存しており、調査区全体で多くの遺構と遺物を検出した。各屋敷地では井戸、土坑や小穴等の分布状況から屋敷地の構造を推察でき、砂利敷道路や区画溝等で二時期が重複することを確認した。特に外堀と大型土坑156－14では、土器・陶磁器等の遺物が多量に出土しており、福井城の廃絶期に一括して廃棄されたと考えられる。

以下、各屋敷地と遺構について詳述する。

2　屋敷地Ⅶ－1（第107・108図、図版第19）

遺構は、溝３条、井戸２基、土坑２基、小穴３基があり、FKJ06－4調査区の屋敷地⑤にあたる（福井県埋文2009）。遺構の検出面が屋敷地Ⅷ－1より約40cm低く、削平が他の屋敷地より深く及んでいる。遺構は東半でややまとまるものの全体的に疎らであり、屋敷地の裏手にあたると考えられる。

溝156－114は、E9で井戸156－113の北側に位置し、溝156－119・120と同様に細長く直線的にほぼ南北にのびる。溝156－119・120は、共にE9で土坑156－118の東側に位置する。砂利敷道路156－1と平行しており、屋敷地内の区画溝と考えられる。また、溝156－119は土坑156－118と重複しており、埋没後に土坑156－118が構築されている。

井戸156－113はD・E8で溝156－114の南側、井戸156－115はE9で溝156－114の東側に位置する。共に素掘りの井戸であり、掘方は平面が円形で長軸1.2～1.9mを測る。井戸156－113の断面は幅広の筒状を呈し、深さ0.7mを測る。井戸156－115の断面は、中程に明瞭な段をもって中央が深くなり、深さ1.5mを測る。

土坑156－112は、E8で井戸156－113の北西に位置する。平面は楕円形を呈し、断面は北東半が深くなっている。また、中程に段をもち、西側の肩部で径20～40cm大の笏谷石を数点検出した。土坑156－118は、E9で溝156－119の西側に隣接する。平面は略円形を呈し、断面は浅く立ち上がる。

3　砂利敷道路156－1、区画溝156－148他（第109図、図版第19）

砂利敷道路156－1は、E・F9からE・F10にかけて検出した。屋敷地Ⅶ－1・Ⅷ－1の間に位置し、FKJ06－4調査区の砂利敷道路２にあたる（福井県埋文2009）。直線的に南北方向にのびるが、遺存状況が悪いため幅員は不詳である。西半の大部分は攪乱され、東半は砂利敷面下位の路盤のみ遺存する。路盤の幅は約５m弱を測る。

区画溝156－148は、E9·10とF9·10で砂利敷道路156－1とほぼ同じ範囲で検出した下層遺構であり、FKJ06－4調査区の溝64069にあたる（福井県埋文2009）。西半の大部分は攪乱されるが、平面はやや幅広く直線的に南北にのびる。北東の肩部と南端中央に段が形成されており、異なる溝が平行してのびているとも考えられる。また、南半で石列２条の他、北東の肩部で握拳大程の礫からなる小型の集

石を1基検出した。

区画溝156－148の東側石列は、E9・10で屋敷地Ⅶ－1・Ⅷ－1の間に位置し、砂利敷道路156－1の下層で検出した。ほぼ南北方向にのび、区画溝156－148の東肩部に溝の中央へ向けて構築されている。10～30cm大の礫の他に50cm大の笏谷石製丸瓦が用いられている。やや不整に列をなして並び、全長1.7mを測る。区画溝156－148の西側石列は、E9で東側石列の南西に位置する。区画溝156－148の南端中央でほぼ南北方向に構築されたと推察されるが、大半は撹乱されて遺存しない。石列の基礎は胴木組であり、幅10cm程の角材が2列平行して配置され、杭で固定されている。裏込の栗石には10～20cm大の河原石や角礫が用いられ、丸太材の杭がやや不規則に打込まれている。石列は、20～50cm大の笏谷石がやや不整に列をなして並び、1～2段積み上げられているが、裏込の一部であるとも考えられる。また、胴木上位に構築された石垣の石材が抜き取られた状況であると考えられる。

4 屋敷地Ⅷ－1（第110～113図、図版第20・21）

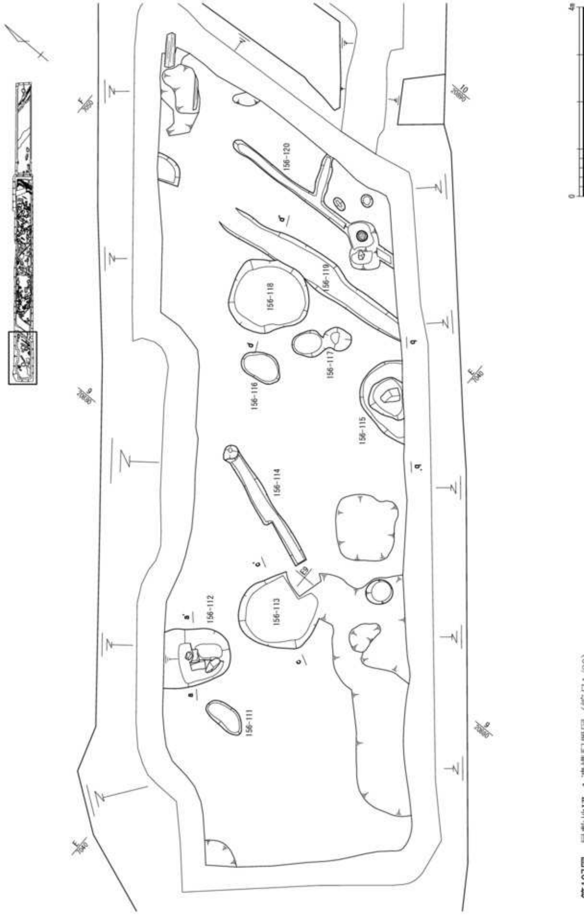
遺構は、池状遺構1基、溝2条、井戸2基、土坑4基、小穴47基があり、FKJ06－4調査区の屋敷地③にあたる（福井県埋文2009）。屋敷地の東側で池状遺構、溝や土坑、西側では小穴が偏ってまとまり、屋敷地③と同様な分布状況である。溝により屋敷地Ⅷ－1・2が区画されており、池状遺構は区画溝に隣接して構築されている。小穴は、同じ形状の一群が東西方向に2条ほど列をなしており、砂利敷道路156－1に面して建物が存在していたと考えられる。また、屋敷地Ⅷ－1の中央西側と同Ⅷ－2の南東側では、調査区に沿って撹乱が溝状や柱穴列状に及んでおり、近代の鉄道に関する軌道の基礎と考えられる。

池状遺構156－52は、G1で溝156－51・53の間に位置し、掘方は平面がやや大型で不整な円形を呈す。底面には凹凸があり、断面は浅く立ち上がる。池状遺構156－52の北東部と南西部は、木組と石組によりやや乱雑だが方形に区画されている。木組には多数の杭や横板材、石組は10～40cm大の礫や笏谷石が用いられている。溝156－53から続く北東端の肩部では、数cm大の礫が集石状となっており、取水口と考えられる。取水口から南西へ向けて緩く湾曲しながら導水していたと推察される。

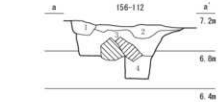
溝156－51・53は、G1・2で池状遺構156－52の南北両側に位置し、FKJ06－4調査区の区画溝64008にあたる（福井県埋文2009）。共に平面はやや不整な形状を呈し、僅かに湾曲して南北にのびる。断面は、溝156－53が浅く池状遺構156－52へ向けて傾斜し、溝156－51はやや深くなっている。また、溝156－53の東肩部には杭と横木による木組があり、溝156－51・53の西肩部にも杭等を検出している。溝156－51・53は不連続だが同じ遺構であり、屋敷地境の区画溝と考えられる。

井戸156－7は、F10で砂利敷道路156－1の北東に位置し、井戸側に桶をもつ。掘方は平面が円形で長軸約1.0mであり、断面は下部から斜めに緩く開いて深さ1.2mを測る。桶は、幅8cm程の板材を用いた円形の縦板組で底板をもち、長軸0.6mを測る。縦板上部と底板には径5cm程の孔が穿たれている。また、竹樋等の部材と推察される竹管が底板からほぼ直立した状況で出土した。井戸156－55は、G1で池状遺構156－52の北側に位置し、北西半は調査区外へ広がる。素掘りの井戸であり、掘方は平面が円形で長軸1.6mを測る。断面は、筒状だが上部で斜めに大きく開き、深さ1.2mである。また、長さ0.3～0.4m程で延石状の笏谷石が覆土上部からまとまって出土した。

廃棄土坑156－14は、E・F10で砂利敷道路156－1の東側に位置する。平面は大型の方形を呈し、南東半は調査区外へ広がる。断面はやや浅く立ち上がり、底部はほぼ平坦である。所謂ごみ穴で覆土に炭や木片等を多量に含み、特に西半の覆土上部を中心に土器・陶磁器、木製品や石製品等が多量に

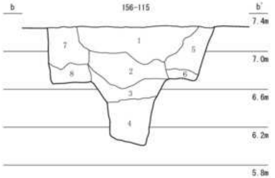


第107図　屋敷地Ⅶ-１遺構配置図（縮尺1/80）



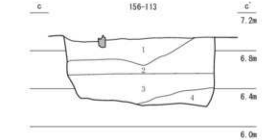
156-112

No.	土色・土質	土色No.	笏谷石	備考
1	暗オリーブ灰色砂質土	2.5GY4/1	–	暗灰色粘質土ブロックを少量含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	–	暗オリーブ灰色粘質土ブロック多く含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	有	オリーブ色粘土を含む。
4	暗オリーブ灰色粘土	5GY4/1	–	オリーブ黒色粘質土少量含む。



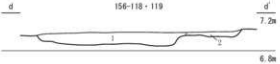
156-115

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	有	有	–	–	暗緑灰色粘土との混合土。黄褐色粘土ブロック少量含む。
2	灰色粘質土	7.5Y4/1	–	–	–	–	灰色粘土ブロック多く含む。砂多く含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	–	–	–	–	灰色粘土との混合土。黄褐色粘土ブロック多く含む。
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	–	–	–	–	暗緑灰色粘質土ブロック多く含む。
5	灰色粘質土	7.5Y4/1	–	有	有	有	灰色粘土との混合土。
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	–	–	–	–	暗緑灰色砂質土ブロック少量含む。
7	暗緑灰色粘質土	10GY4/1	–	–	–	–	暗オリーブ灰色砂質土との混合土。
8	暗オリーブ灰色粘土	2.5GY4/1	–	–	–	–	黄褐色粘土多く含む。



156-113

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	多	有	オリーブ灰色粘質土ブロック多く含む。
2	黒褐色粘質土	10YR3/2	–	–	–	オリーブ灰色粘質土との混合土。オリーブ黒色砂質土ブロックを多く含む。
3	黒褐色粘質土	10YR3/2	有	–	–	灰色粘質土・オリーブ灰色砂質土ブロック少量含む。
4	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	–	–	–	黒褐色粘質土ブロックを少量含む。



156-118・119

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	備考
1	黒褐色粘質土	10YR3/1	有	有	–
2	灰色砂質土	7.5Y4/1	–	–	黒褐色粘質土ブロック少量含む。

第108図 156-112・113・115・118・119（縮尺1/40）

出土した。遺物の時期は大半が幕末から明治初めであり、福井城の廃絶期に一括して廃棄されたと考えられる。土坑156－48は、G1で池状遺構156－52の西側に位置する。平面は楕円形を呈し、土坑156－54と同様に北西半は調査区外へ広がる。また、一部が溝状に攪乱されており、断面は浅く立ち上がる。土坑156－50は、F・G1で溝156－51の南西に位置する。平面はやや不整な楕円形を呈し、南東半は調査区外へ広がる。断面は中程に段をもち、南半が深くなる。土坑156－54は、G1で土坑156－48の北東に位置する。平面は小型の楕円形を呈し、断面は北東の肩部が緩く立ち上がる。覆土に板材等の木片を含み、底面で角材を数点検出した。

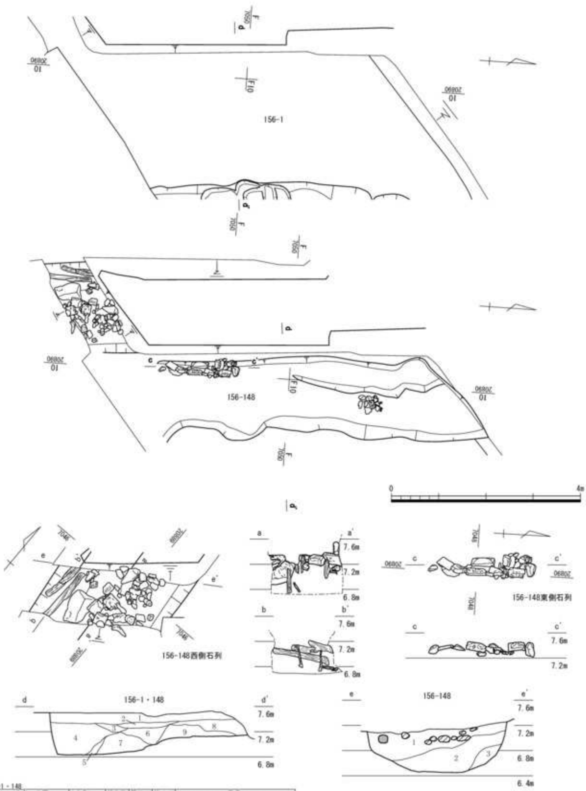
5　屋敷地Ⅷ－2（第114・115図、図版第22）

遺構は、溝2条、井戸2基、土坑9基、小穴55基があり、溝1条と小穴1基は砂利敷道路156－151の下層で検出した。また、FKJ06－4調査区の屋敷地②にあたる（福井県埋文2009）。屋敷地の東側で小穴、西側では井戸が偏ってまとまり、屋敷地Ⅷ－1の分布状況と対照的である。小穴は不明確だが列状をなしており、砂利敷道路156－151に面して建物が存在していたとも考えられる。

溝156－61は、G2で井戸156－62・63の南側に隣在し、平面は細長く直線的に東西にのびる。井戸156－62・63と埋設桶をもつ小穴156－128との間に構築されており、これらと関連する施設であったと推察される。

井戸156－62･63は､G･H2で溝156－61の北側に位置し､井戸156－62の北西半は調査区外へ広がる。共に素掘りの井戸であり､掘方の形状も相似している。平面はやや大型の方形で長軸2.0～2.4mを測り、井戸156－62の断面は幅広く斜め上方へ緩く立ち上がる。

土坑156－60は、G2で池状遺構156－52の東側に位置する。平面は不整な方形を呈し、土坑156－



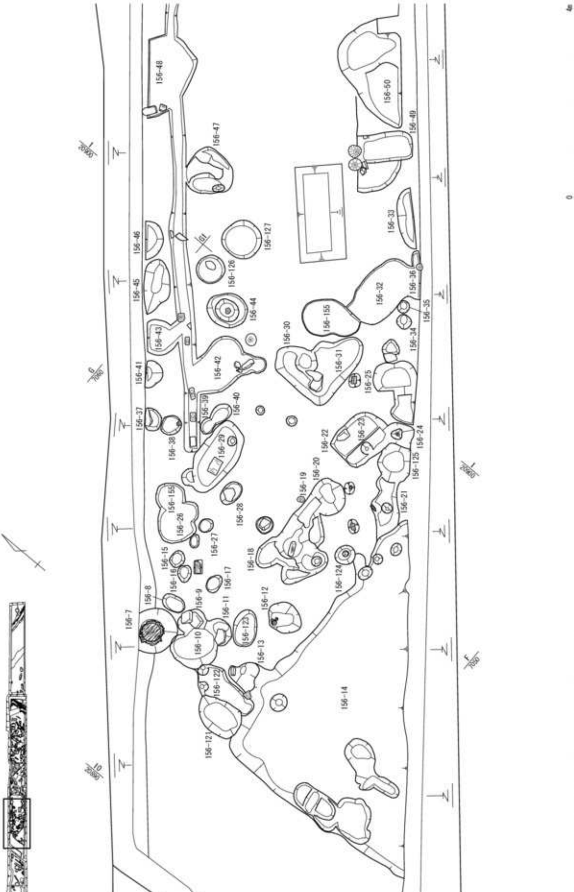
156-1・148

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼け石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	有	−	多	暗オリーブ色粘質土ブロック少量含む。
2	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	有	−	−
3	黒色粘質土	10YR1.7/1	−	−	−	灰色粘質土との混合土。
4	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	−
5	灰色砂質土	5Y5/1	−	−	−	黄褐色粘質土ブロックを少量含む。
6	灰色粘質土	5Y4/1	−	−	−	黄褐色粘質土ブロックを含む。
7	緑灰色粘質土	5G5/1	−	−	−	オリーブ褐色土をしみ状に含む。砂多く含む。
8	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	−	−	−	暗灰黄色ブロック含む。
9	緑灰色粘質土	5G5/1	−	−	−	オリーブ褐色土をしみ状に含む。黒褐色粘質土ブロック含む。

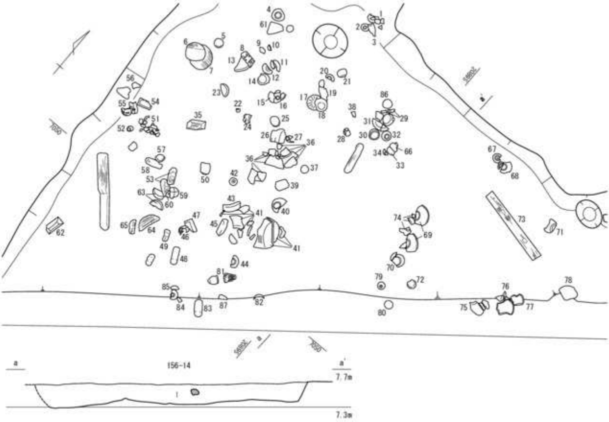
156-148

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	焼け石	他の石	備考
1	黄灰色砂質土	2.5Y4/1	有	有	多	−	−
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	有	有	−	有	オリーブ黒色砂との混合土。
3	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	有	−	−	−	−

第109図　156-1・148（縮尺1/80・1/60）

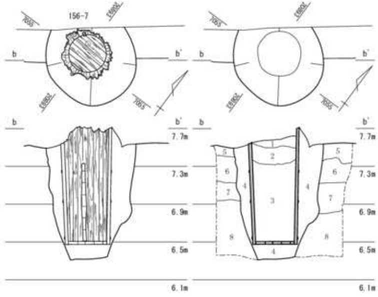


第110図 屋敷地Ⅷ-1西側遺構配置図（縮尺1/80）



156-14

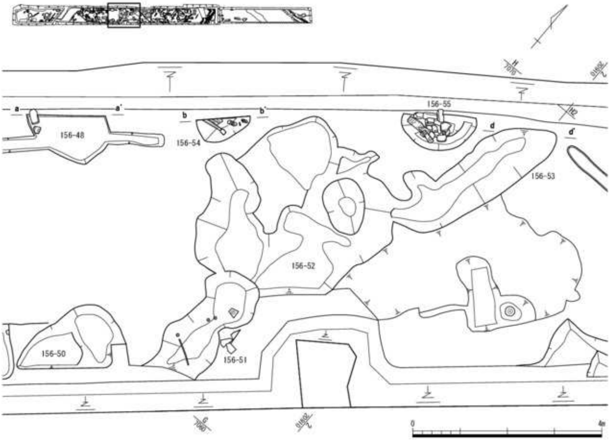
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	10YR2/3	有	有	有	黒褐色粘質土との混合土。遺物多い。

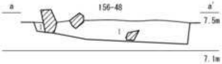


156-7

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	他の石	備考
1	灰色粘質土	7.5Y4/1	－	－	有	－
2	オリーブ黒色砂質土	10Y3/1	－	－	多	－
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	有	多	－	－
4	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	黄褐色粘質土ブロック含む。
5	黒褐色粘質土	10YR2/2	－	－	－	赤褐色土ブロック含む。
6	オリーブ灰色砂質土	2.5GY5/1	－	－	－	明赤褐色粘質土をしみ状に含む。黒褐色粘質土との混合土。
7	オリーブ灰色砂質土	2.5GY5/1	－	－	－	明黄褐色土をしみ状に含む。
8	オリーブ灰色粘土	2.5GY5/1	－	－	－	明赤褐色土をしみ状に多く含む。

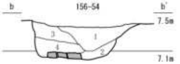
第111図　156-7・14（縮尺1/40）





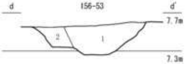
156-48

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/2	黒褐色粘質土ブロック含む。



156-54

No.	土色・土質	土色No.	遺物	備考
1	黒色粘質土	10YR2/1	有	−
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	多	礫含む。
3	黒褐色粘質土	10YR2/2	−	礫含む。
4	黒褐色粘質土	10YR3/1	有	礫含む。

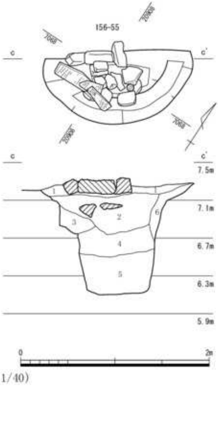


156-53

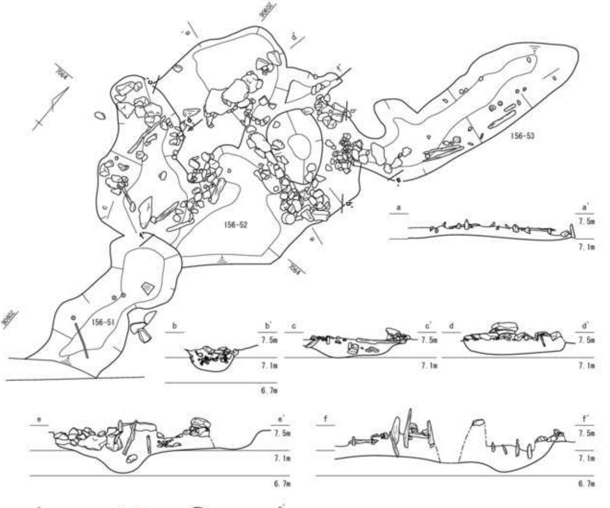
No.	土色・土質	土色No.	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	10YR2/2	多	にぶい黄色粘質土ブロック含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	−	−

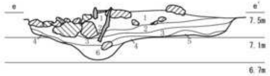
156-55

No.	土色・土質	土色No.	河原石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	黒褐色砂質土との混合土。
2	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	有	黒褐色砂質土との混合土。
3	黄褐色粘土	2.5Y5/6	−	緑灰色粘土との混合土。
4	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	黒褐色砂質土を少量含む。
5	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−



第112図 屋敷地Ⅷ-1東側遺構配置図156-48・53・54・55（縮尺1/80・1/40）



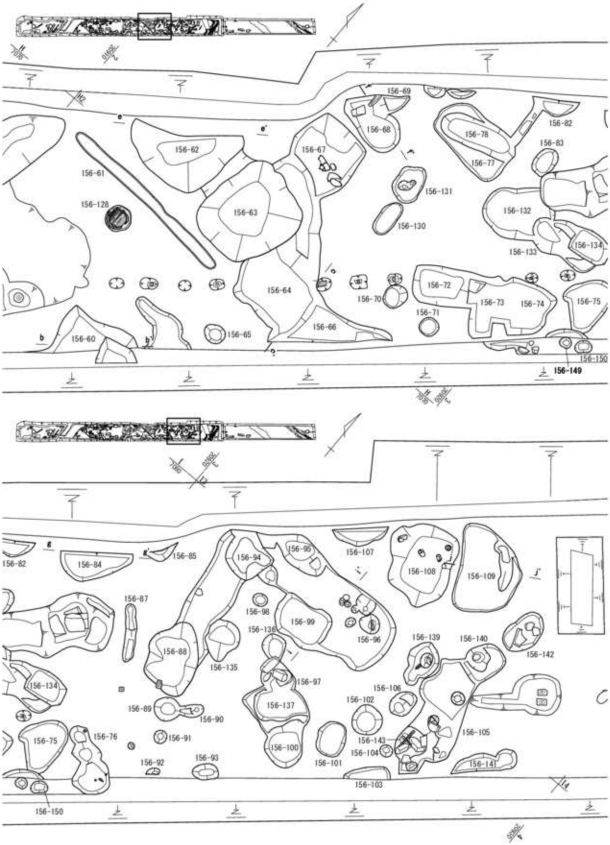


156-52

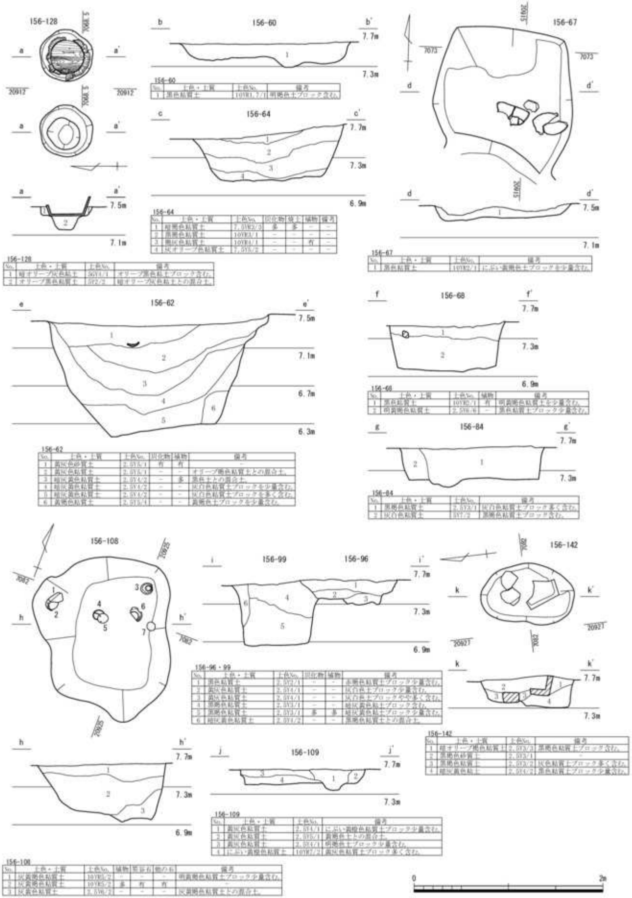
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	−	有	有	黄灰色粘質土ブロックわずかに含む。
2	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	−	−	−	砂を多く含む。
3	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	有	−	多	腐葉土を層状に多く含む。
4	にぶい黄色粘質土	2.5Y6/4	−	−	−	オリーブ褐色粘質土との混合土。
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	−	−	黄色粘質土を含む。
6	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	−	−	−	腐葉土を層状に多く含む。

第113図　156-51・52・53（縮尺1/60）

66と同様に南東半は調査区外へ広がる。土坑東端で遺物がややまとまって出土し、調査区壁面の一部を掘削したため、底部が段状になっている。土坑156－64・66は、G・H2で井戸156－63の東側に位置する。共に不整な形状を呈す。土坑156－64・66の重複関係は不詳だが、土坑156－67と同様に土坑156－64は井戸156－63と重複しており､埋没後に井戸156－63が構築されている。土坑156－67は、H2で井戸156－63の北側に位置する。不整な方形を呈し、断面は浅く立ち上がる。底面中央から東半で越前焼甕がまとまって出土した。土坑156－68は、H2で土坑156－67の北側に位置する。平面はやや小型の楕円形を呈し、土坑156－84と同様に西半は調査区外へ広がる。土坑156－84は、H2・3で土坑156－68の北東に位置する。平面はやや小型の楕円形を呈す。土坑156－96は、H・I3で土坑156－84の東側に位置し、平面はやや大型の楕円形を呈す。底面には凹凸があり、断面は浅く立ち上がる。土坑156－108は、I3で土坑156－96の北東に位置する。平面は楕円形を呈し、断面は西肩がやや緩く立ち上がる。土坑北半の覆土中層から土師質土器や伊万里焼、漆器椀等がややまとまって出土した。



第114図　屋敷地Ⅷ-2遺構配置図（縮尺1/80）



156-60

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黒色粘質土	10YR1.7/1	明褐色土ブロック含む。

156-64

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	遺物	備考
1	暗褐色粘質土	7.5YR3/3	多	多	－	－
2	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	－
3	褐灰色粘質土	10YR4/1	－	－	有	－
4	灰オリーブ色粘質土	7.5Y5/2	－	－	－	－

156-128

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	暗オリーブ灰色粘土	5GY4/1	オリーブ黒色粘土ブロック含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	暗オリーブ灰色粘土との混合土。

156-67

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黒色粘質土	10YR2/1	にぶい黄褐色土ブロックを少量含む。

156-68

No.	土色・土質	土色No.	遺物	備考
1	黒色粘質土	10YR2/1	有	明黄褐色粘質土を少量含む。
2	明黄褐色粘質土	2.5Y6/6	－	黒色粘質土ブロック少量含む。

156-62

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	遺物	備考
1	黄灰色砂質土	2.5Y5/1	有	有	－
2	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	－	－	オリーブ褐色粘質土との混合土。
3	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	多	黒色土との混合土。
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	灰白色粘質土ブロックを少量含む。
5	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	灰白色粘質土ブロックを多く含む。
6	黄褐色粘質土	2.5Y5/4	－	－	黄褐色土ブロックを少量含む。

156-84

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	灰白色粘質土ブロック多く含む。
2	灰白色粘質土	5Y7/2	黒褐色粘質土ブロック含む。

156-96・99

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	遺物	備考
1	黒色粘質土	2.5Y2/1	－	－	赤褐色粘質土ブロック少量含む。
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	灰白色土ブロック少量含む。
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	－	－	灰白色土ブロックやや多く含む。
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	－	暗灰黄色粘土ブロック含む。
5	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	多	多	暗灰黄色粘土ブロック少量含む。
6	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	黒褐色粘質土との混合土。

156-142

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	黒褐色粘質土ブロック含む。
2	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	灰色粘質土ブロック多く含む。
4	暗灰黄色粘土	2.5Y4/2	黒色粘質土ブロック少量含む。

156-109

No.	土色・土質	土色No.	備考
1	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	にぶい黄橙色粘質土ブロック少量含む。
2	黄灰色粘質土	2.5Y5/1	黄褐色土との混合土。
3	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	明褐色土ブロック少量含む。
4	にぶい黄橙色粘質土	10YR7/2	黄灰色粘質土ブロック多く含む。

156-108

No.	土色・土質	土色No.	遺物	焼礫石	他の石	備考
1	灰黄褐色粘質土	10YR5/2	－	－	－	明黄褐色粘質土ブロック少量含む。
2	灰黄褐色粘質土	10YR5/2	多	有	有	－
3	灰黄色粘質土	2.5Y6/2	－	－	－	灰黄褐色粘質土との混合土。

第115図　156-60・62・64・67・68・84・99・96・108・109・128・142（縮尺1/40）

土坑156－109は、I3で土坑156－108の北東に隣在する。平面はやや不整な楕円形を呈し、断面は浅く立ち上がる。

小穴156－128は、G2で溝156－61の南側に位置する。小型の桶が埋設されており、桶は幅5cm程の板材を用いた円形の縦板組で底板をもち、長軸0.5mを測る。掘方は平面が円形を呈し、断面は中程に段をもって底部中央が深くなっている。溝156－61や井戸156－62・63と関連し、溜枡等であったとも考えられる。小穴156－142は、I3で土坑156－109の東側に位置する。平面は楕円形を呈し、覆土中層から底面にかけて笏谷石製盤が出土した。

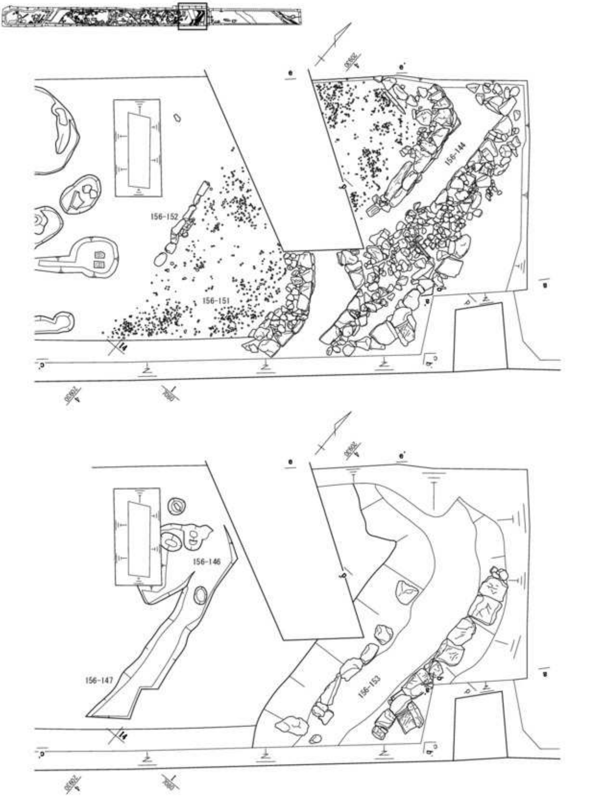
6　砂利敷道路156－151、区画溝156－144他（第116～119図、図版第23・24）

砂利敷道路156－151は、I3・4で屋敷地Ⅷ－2の東側に位置し、FKJ06－4調査区の砂利敷道路1にあたる（福井県埋文2009）。中央から北西部を長方形状に攪乱されているが、幅広く直線的に南北方向にのびる。また、享和3年（1803）の城下絵図によれば、攪乱された範囲付近で屈曲して東西方向にのびていたと推察される。時期として上下二段階あり、ほぼ同一箇所に重複し嵩上げして造成されている。上層段階は路面に玉砂利敷が疎らに遺存し、幅員は約2.7mを測る。土層堆積状況からみて、溝156－147が埋没後に盛土と砂利敷により嵩上げされており、西側へ若干ずらして造成されている。また、下層段階は溝156－147と区画溝156－153の間でのび、北端で東西方向へ屈曲する。路盤のみ検出したが、砂利敷舗装されていたとも考えられる。

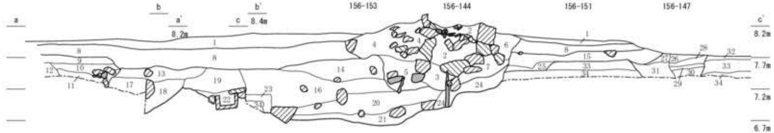
石列156－152は、I3で砂利敷道路156－151の西側に隣接して検出した。20～40cm大の河原石や角礫の他に笏谷石製丸瓦が用いられ、ほぼ南北方向に不整な列をなして並ぶ。また、ほぼ中央には丸太材の杭が数本打込まれている。砂利敷道路156－151の境界である縁石の一部であったとも考えられる。

溝156－147は、I3・4で砂利敷道路156－151の下層で検出した。細長くほぼ直線的に南北方向にのび、断面は浅く立ち上がる。屋敷地内の区画溝であったとも考えられる。

区画溝156－144・145・153は、I3で砂利敷道路156－151の東側に位置し、FKJ06－4調査区の水路64027にあたる（福井県埋文2009）。時期として三段階あり、ほぼ同一箇所で重複して構築されている。区画溝156－145は、時期が最上層段階であり、南から北西方向へのびて攪乱範囲に続くと考えられる。西側の石組は緩く湾曲し、東側の石組は途中で屈曲する。石組は東西共に2段程積み上げられるが、区画溝156－144が埋没後に構築されている。西側の石組中央と東側の石組屈曲部から北西側は積み直して改修され、東西石組の南半部は区画溝156－144を再利用したと推察される。区画溝156－144は、時期が上層段階であり、下層段階の区画溝156－153から西側へ若干ずらして構築されている。区画溝156－153と同様に砂利敷道路156－151に沿って直線的に南北方向へのび、北端でほぼ直角に屈曲して西方へのびる。石組の基礎は胴木組であり、幅10～20cm程の丸太材や角材が列状に並べられ、杭で固定されている。ほぞ穴をもつ角材もあり、建築部材が再利用されたと考えられる。西側石組の基礎には、他に数cm大の礫が根石として用いられ、北端の屈曲部では集石状となっている。石組は30～40cm大の厚手で立方体状の笏谷石が2～3段積み上げられ、裏込の栗石には握拳大の笏谷石が用いられている。また、東側石組のほぼ中央で暗渠施設を検出した。石組2段目付近の栗石内に東方の屋敷地へ向けて埋設されている。取水口には、丸太材中央を刳り貫いて継ぎ手とし、竹樋が据えられている。区画溝156－145を構築する際、暗渠施設より上位については石組の石材が抜き取られ、栗石は溝内に埋め戻したと考えられる。区画溝156－153では、溝の肩部に上層段階より大振りの笏谷石を用いた石組を1～2段分検出した。石材の多くは抜き取られたと推察される。また、東側石

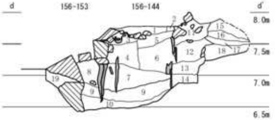


第116図　156-151付近遺構配置図（縮尺1/80）



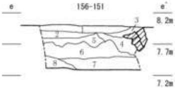
156-151・144・153・147

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笏谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	有	－	－	有	156-1
2	暗灰黄色砂質土	2.5Y5/2	－	－	多	多	上層に炭を多く含む。 156-144
3	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	－	－	多	156-144
4	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	多	156-153
5	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	有	－	－	－	褐色土ブロック含む。 156-153
6	暗褐色粘質土	10YR3/4	－	－	－	－	黒褐色粘質土との混合土。 156-153
7	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	－	－	有	156-153
8	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	－	－	－	少	褐色土との混合土。
9	暗褐色粘質土	10YR4/3	有	－	－	－	灰白色粘質土ブロック少し含む。黒色粘質土少し含む。
10	黒褐色土	10YR3/2	－	－	－	－	明褐色粘質土しみ状に含む。
11	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	－	有	－	－	暗灰黄色砂質土少し含む。
12	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	明褐色土しみ状に含む。暗灰黄色砂質土少し含む。
13	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	有	－	有	－	砂を含む。
14	黒褐色粘土	2.5Y3/1	有	－	－	－	橙色土ブロック少し含む。
15	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	有	－	－	有	－
16	灰色粘質土	5Y4/1	少	－	－	有	褐色土ブロック含む。
17	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	有	－	－	－	黒色粘質土ブロック含む。
18	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	－
19	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	緑灰色粘質土ブロック含む。
20	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	有	有	有	有	－
21	黒褐色砂質土	2.5Y3/1	－	多	－	有	－
22	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	－
23	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－
24	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	緑灰色土ブロック含む。
25	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	明褐色土しみ状に含む。
26	暗褐色砂質土	10YR3/4	有	－	－	－	黄灰色砂質土ブロック含む。 156-147
27	褐色砂質土	10YR4/2	－	－	－	－	156-147
28	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	有	－	－	－	156-147
29	黒色粘質土	10YR1.7/1	－	－	－	－	暗褐色粘質土少し含む。 156-147
30	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	褐色土しみ状に多く含む。 156-147
31	灰黄褐色粘質土	10YR4/2	－	－	－	－	明褐色土ブロック含む。 156-147
32	暗褐色粘質土	10YR3/3	－	－	－	－	明褐色土ブロック少し含む。
33	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	－	－	－	－	明褐色土しみ状に含む。
34	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	－	－	－	－	赤褐色土しみ状に含む。



156-144・153

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笏谷石	他の石	備考
1	明黄褐色土	10YR6/6	－	－	－	－	明黄褐色腐れ礫を含む。黄褐色土ブロック含む。屋敷地の入口部にあたる。 156-144
2	暗オリーブ灰色土	5GY4/1	－	－	－	－	オリーブ灰色腐れ礫を含む。屋敷地の入口部にあたる。 156-144
3	灰色砂質土	5Y4/1	－	－	有	有	156-144
4	灰色砂質土	5Y4/1	－	－	有	有	暗灰黄色砂質土との混合土。 156-144
5	灰色砂質土	5Y4/1	－	－	－	有	156-144
6	灰オリーブ色砂質土	5Y5/2	－	－	－	有	灰オリーブ色砂と灰オリーブ色粘質土との混合土。 156-144
7	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	有	－	有	有	灰オリーブ色粘質土ブロック少し含む。 156-144
8	暗灰黄色砂質土	2.5Y4/2	有	－	－	－	156-153
9	暗黄色粘土	2.5Y5/2	－	－	－	少	黄灰色粘土と黄褐色粘土との混合土。 156-153
10	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	－	－	－	－	灰色粘質土との混合土。 156-153
11	灰色砂質土	5Y4/1	－	－	有	有	灰色粘土と灰色砂との混合土。裏込め。 156-153
12	灰色粘質土	5Y5/1	－	－	－	少	黄褐色土粘土含む。裏込め。 156-153
13	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	－	－	－	少	灰色粘質土と暗オリーブ色粘質土との混合土。 156-153
14	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	有	－	－	－	砂・黄灰色粘土ブロック多く含む。 156-153
15	灰色砂質土	5Y6/1	少	－	－	少	－
16	灰オリーブ砂質土	5Y4/2	－	－	－	－	灰オリーブ色粘質土と灰色砂との混合土。
17	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	有	有	－	－	－
18	灰色粘質土	5Y6/1	－	－	－	－	黄褐色粘土少し含む。
19	灰色粘質土	5Y4/1	－	－	－	－	緑灰色粘質土少し含む。

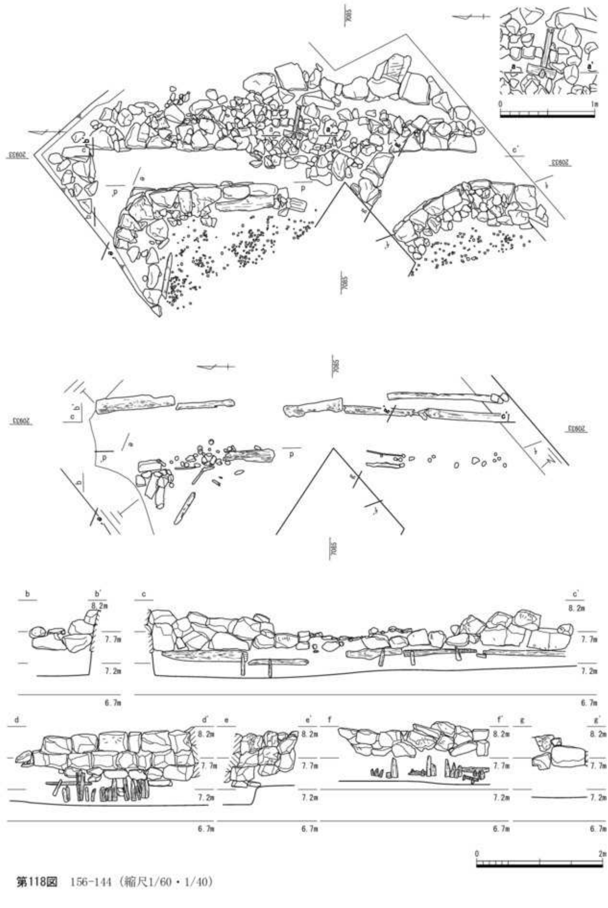


156-151

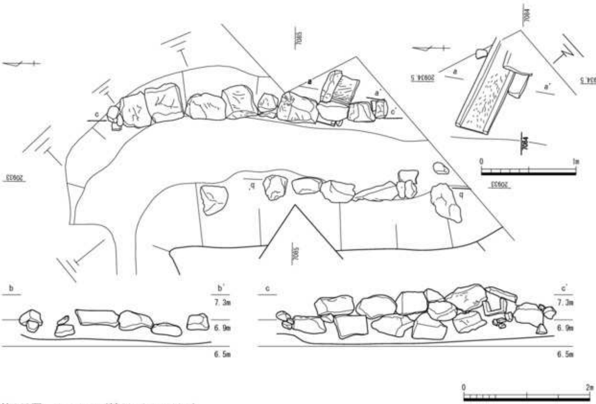
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	他の石	備考
1	暗褐色砂質土	10YR3/4	少	－	有	黒褐色粘質土との混合土。
2	暗褐色砂質土	10YR3/4	－	－	多	－
3	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	赤褐色土をしみ状に含む。暗褐色粘質土との混合土。
4	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/3	－	－	－	赤褐色土をしみ状に含む。
5	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	－	－	－	明赤褐色土をしみ状に含む。暗赤褐色砂質土との混合土。
6	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	少	－	－	暗褐色砂質土を少し含む。
7	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	有	有	砂を含む。
8	黒褐色粘質土	10YR3/1	－	－	－	褐灰色粘質土ブロック多く含む。

0　2m

第117図 156-144・151・153等（縮尺1/60）



第118図　156-144（縮尺1/60・1/40）



第119図 156-153（縮尺1/60・1/40）

組の南端で笏谷石製の暗渠施設を検出した。上層段階の区画溝156－144と同様に東方の屋敷地へ向けて構築され、取水口には断面U字状の石樋と蓋石が埋設されている。

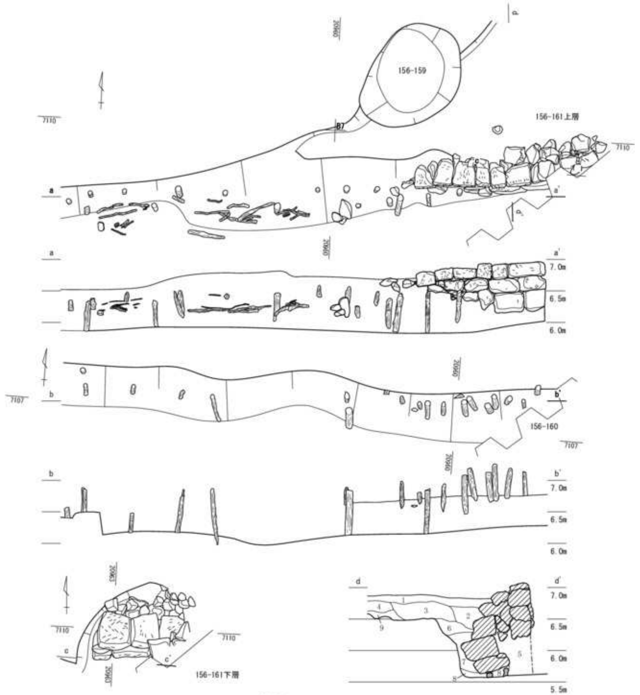
7 土居、外堀（156－156）他（第120・121図、図版第25）

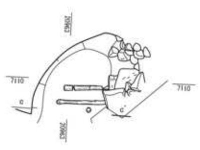
土居はJ4・5で外堀の南西に隣接し、盛土による塁状の高まり等は削平のため遺存せず、基礎部分のみ検出した。外堀の南肩上端と小穴156－157・158等から、土居の基底幅は8m程であったと推察される。

外堀は、J5・6とA5～7にかけて検出し、土居の北東に位置する。幅広く直線的に東西にのびて調査区外へ続き、幅約15mで現道路面から深さ約3.5mを測る。北側肩は中程に段をもち、杭や横木等による護岸施設156－160が列状に平行してのびる。また、南西半の埋土上層を中心に、幕末から明治初めにかけての越前焼、伊万里焼、唐津焼及び美濃焼等の各器種や木製品等が多量に出土している。

石垣156－161は、A・B7に位置し、外堀156－156の北側肩部の東半で検出した。時期として上下二段階があり、同一箇所に重複して構築されている。上下共にほぼ直線的に東西方向にのび、調査区外へ続くと考えられる。石垣156－161上層は、下層段階の石垣上位に盛土し、石垣の列を南側へ若干ずらして構築される。上層段階の石垣は、下層段階より小振りでやや扁平な直方体状の笏谷石が2～3段積み上げられており、裏込の栗石には10～20cm大で角礫状の笏谷石が用いられている。また、石垣156－161下層は、外堀の北側肩部の東端を土坑状に掘り込み、基礎として胴木組をもつ。幅10cm程の角材が2列整然と平行に配置され、杭で固定されている。石垣は30cm大の厚手で立方体状の笏谷石が2段程積上げられ、裏込の栗石には握拳大の笏谷石が用いられている。

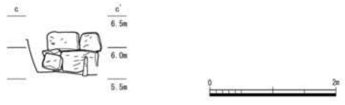
土坑156－159は、B7で外堀の北側に位置する。平面はやや大型の楕円形を呈し、断面はやや深く立ち上がる。





156-161

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	琉球石	他の石	備考
1	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	−	少	−	少	明黄褐色土ブロックを多く含む。
2	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	−	−	−	少	黒褐色粘質土ブロック含む。
3	暗オリーブ褐色砂質土	2.5Y3/3	少	少	−	−	暗オリーブ灰色粘質土・黒褐色粘質土ブロック含む。
4	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	有	−	−	−	黒褐色粘質土・明褐色土含む。
5	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	−	−	有	有	オリーブ灰色粘土ブロック含む。
6	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	−	−	−	−	暗オリーブ褐色粘質土との混合土。
7	オリーブ黒色粘質土	7.5Y3/1	−	−	−	−	オリーブ灰色粘土ブロックを少量含む。
8	黒灰色粘質土	7.5Y4/1	−	少	−	少	−
9	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/2	−	−	−	−	オリーブ褐色砂質土との混合土。



第121図　156-161（縮尺1/60）

第7節 FKJ06－5調査区

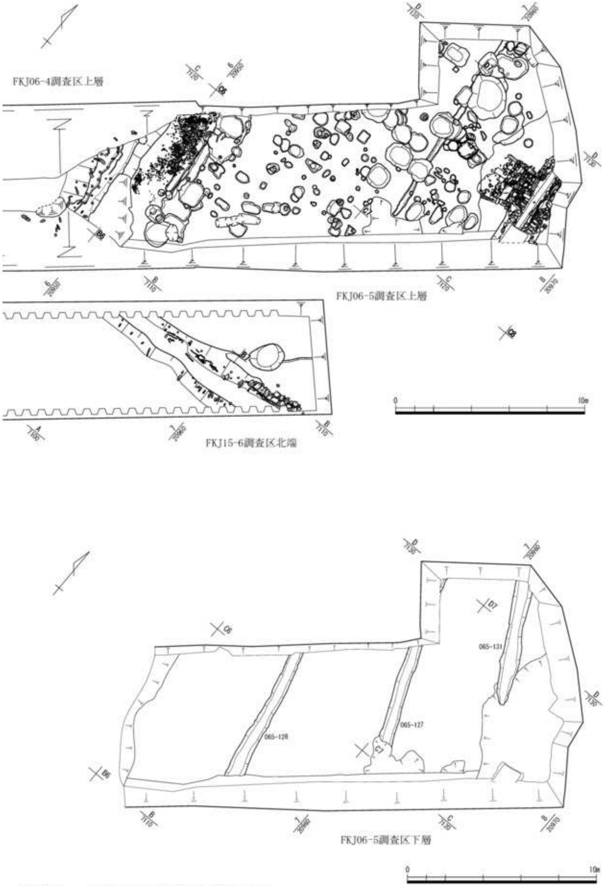
調査区南西端に外堀があり、その上端に沿って砂利敷道路065－124が南北に延びる。外堀は、南に隣接するFKJ15－6調査区と過去の調査（FKJ06－4調査区）により、調査区からやや南に外れた箇所でほぼ直角に東へ屈曲することが確認されており、外堀北岸はこの調査区の外周あたりで屈曲するようである（県埋文2009）。砂利敷道路065－124も外堀に沿って屈曲し東へ延びることが城下絵図に確認できるが、FKJ15－6地区では道路の痕跡が明瞭でなく確認できていない。調査区北東端には南北に延びる石組水路065－2がある。この砂利敷道路065－124と石組水路065－2に囲まれた間が屋敷地となる（Ⅸ街区、第122図、図版第26）。

屋敷地内は、概ね西側に柱穴が並び、東側に大型土坑等がある。柱穴は、南北に複数列並んでおり個別の建物としては把握しづらいが、南北に軒を並べた小規模な建物か長屋状建物を構成することが考えられる。大型土坑等は、生活に関わる不用品等の廃棄土坑や、桶を据えた便所と推測されるもの等がある。石組水路は、もともと備えられた洗い場065－121が埋め殺しにされていた。石組水路内や洗い場からは庖丁7柄が出土しており、生活用水として利用されたようである。

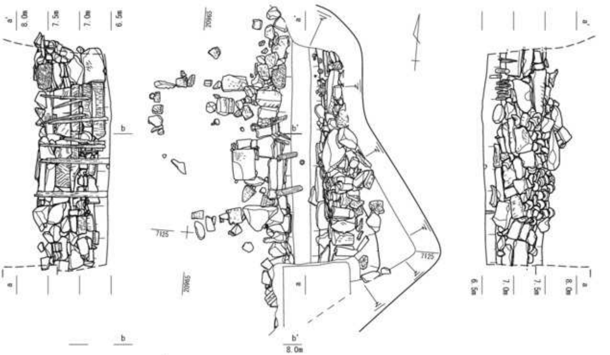
この屋敷地は17世紀中葉から与力屋敷・組屋敷として主を変えつつ存続しており、19世紀前葉以降には御留守作事・作事組となっている。文化8年（1811）の城下絵図『福井分間之図』には「御留守作事　家六軒」とあり、屋敷地の寸法（南北20間3尺×東西8間）も記される。東西の屋敷境となる砂利敷道路065－124と石組水路065－2の間は約15mでほぼ合致する。屋敷地の南限はFKJ06－5・15－6にあり、そこから約37m北までが一つの屋敷地となる。この調査区の北側は、平成9年度（1997）に福井市教育委員会が発掘調査を実施し、今回とほぼ同様な遺構配置となることが確認されており、同一の屋敷地になるとみられる（福井市2004）。

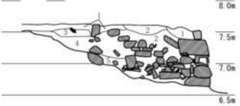
石組水路（第123図、図版第27）　石組水路065－2は、もともと備えていた洗い場065－121を埋めて直線的に改修しており、近代以降も土管やコンクリートを使用して補修しながら存続した。065－2は、検出長3～5m分で、内法幅0.4～0.7m、深さ0.9～1.3mである。石組に使用される石材はいずれも笏谷石で、割石のほか多量の石製品が転用されていた。東側の石組からは、多量の石丸瓦をはじめ、行火、盤、炉壇石等の転用が確認された。西側の石組は、洗い場の部分を土で埋めて、石瓦類や囲炉裏石、炉壇石等の破片を転用して直線的に塞いでいた。なお、近代以降も水路として利用しており、石組中に多量の石製品が転用されるため、水路内堆積から出土した遺物は065－2、石組やその裏込から出土した遺物は065－120と区別して取り上げた。

洗い場（第123図、図版第27）　洗い場065－121は、石組水路065－2の西側石組の中位あたりに備えられた平坦面と、その平坦面へ下りる階段で構成される。平坦面は、割石や扁平な石製品の破片等を、水路の底付近から約0.5mほど積み上げて平らに整えている。階段は、平坦面を構築した後に西側を土で埋めて角度を調整し、比較的偏平な石材や丸瓦を踏み石として据えており、3～4段程度が残存する。洗い場の南北両側壁は、水路の石組が屈曲して壁面を形成する。平坦面、階段、壁面の石組は、いずれも笏谷石の割石や転用材である。洗い場全体は、水路側間口1.8m、西側幅2～2.4m、東西2.2m前後で、東にやや狭まる台形となる。割石や転用材による平坦面を概ね1間四方に整えた後、その西側を埋めて階段を整備するため、洗い場として機能する平坦面は、南北1.8m東西0.6m強の長方形となる。階段の勾配は1mで0.5m下がる。なお、階段の南半分の石材が抜かれた状態となっていたが、水路を改修する際に水路の石組に利用するため、外したものとみられる。



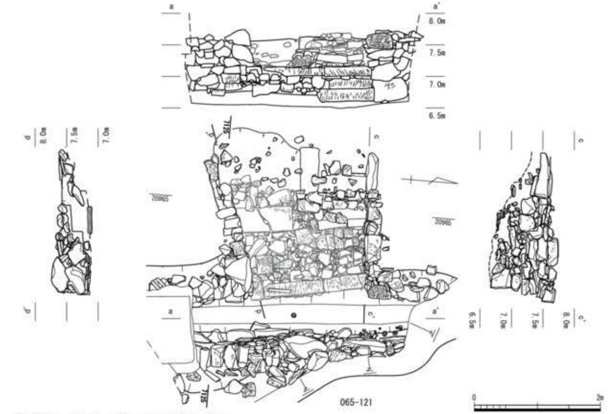
第122図　FKJ06-5調査区全体図（縮尺1/200）





065-2・120

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	遺物	[illegible]	他の石	備考
1	オリーブ褐色粘質土	2.5Y4/3	少	−	−	多	少	黒褐色粘土含む、鉄分含む
2	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	−	−	少	少	鉄分含む
3	オリーブ褐色砂質土	2.5Y4/4	少	−	−	少	少	鉄分含む
4	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	−	−	少	少	鉄分含む
5	オリーブ黒色粘土	5Y2/2	少	−	少	多	少	−



第123図 065-2・120・121（縮尺1/60）

土坑（第124・126・130・131図、図版第28）　土坑は、おもに屋敷地内の東側にまとまるが、砂利敷道路065－124の東に沿って並ぶ一群もある（第124・130図）。

屋敷地内東側には50基におよぶ大小の土坑があり、そのうち比較的炭化物や有機質の堆積物が多いものを廃棄土坑と捉えた。この他、1mを超す大型土坑や、桶を据えた便所跡と思われるもの等がある。

廃棄土坑は、065－43・44・51・52・58・78・79・82・101・102・103・110がある。このうち最大の065－102は2.36m×1.85m、深さ0.86mで、有機質等の廃棄物が複数層確認された（第124・126図）。その他は概ね1m前後で、比較的炭化物・有機質等が少ないものの、一対の下駄（065－58）や土師質皿（065－43・79）、越前焼甕・鉢破片（065－103）等の破損品を遺棄したものがある。

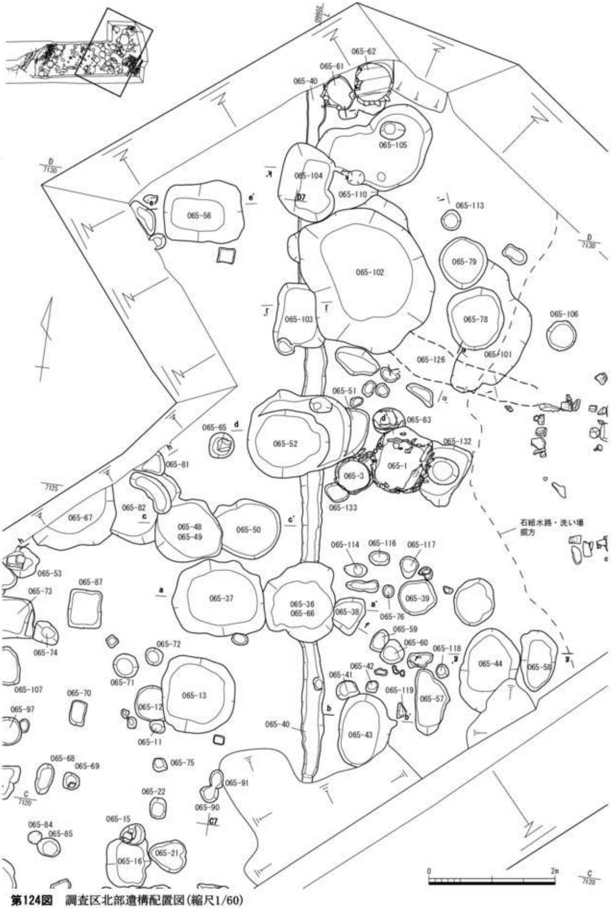
大型土坑は、065－13・36・37・48・50・56・67・104・105がある。これらは、廃棄物の痕跡が不明瞭ではあったが、廃棄土坑として利用されたものも含まれると思われる。

便所跡は、桶を据えた土坑065－1・3・61・62（第124図）を、そのように判断した。このうち065－1・3と61・62はそれぞれ大小が並んでおり、2基で一つの便所を構成するものと思われる。桶の残存状況は良好ではなく、側板がまばらにしか残存せず、底板は比較的残存状況の良好な065－62にしか残存しなかったが、他の土坑底も板を当てたように平坦になっていた。065－1の桶は径0.9m前後、065－3の桶は径0.5m強、065－62の桶は径0.6m前後、065－61の桶は径0.35～0.5mである。また、065－51・52および81・82は内部の堆積物から廃棄土坑としたが、52と82に桶の抜き跡が確認されており、大小の土坑が隣接する状況から、もとは同様な設備だった可能性がある。なお、これまで便所の明確な検出例はないが、平成12年（2000）の福井駅構内の調査で確認された便所3371は、検出状況から可能性が高いとされる。便所3371は、径0.9mの底板のある桶を据えた土坑が2つ併設されたものである。

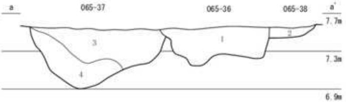
この他、埋甕065－83は、平面形が楕円形で長径0.5m・短径0.36m、深さ0.2mの土坑内に、越前焼甕の底部を欠いた胴部下半を据える（第126図）。

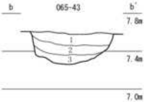
砂利敷道路の東側には、065－47・88・89・93～95等の大型土坑が切り合いながら一列に並ぶ（第130・131図）。これらは、並びの中央が陸橋状に掘り残り、それに対応するように065－8・29があるため、道路から屋敷地への入口施設の痕跡であるように見えた。しかし、福井市の調査成果や検出した柱穴群、城下絵図等の情報から、南北に軒を並べた小規模な建物か長屋状の建物が道路に面して建っていたとみられるため、建物廃絶後に順に掘られた土坑群であり、屋敷地区画に関わる遺構ではないようである。

柱穴（第127～131図、図版第28）　柱穴はおもに屋敷地の西側にまとまる。柱根・礎石が残存するもの065－53、柱根の痕跡が僅かに残存するもの065－10・73、礎石が残存するもの065－15・65・80、そのほか柱根・礎石が残存しないものの列をなすもの等、柱穴は20基を超える。これらの多くは屋敷地西側でも、その北側により集中しており、そこには南北方向に並ぶ柱穴が4列確認される。これを直交して繋ぐ東西方向の柱穴列もいくつか見出せるがあまり明瞭ではない。南北の柱穴列は、西から065－123・32・4、065－53・73・107・80、065－87・70・69、065－72（・12）・11・75・22（・21・34・33）の4列がある。このうち前二者は、各柱穴の規模がやや大きめで、東西の柱穴列（065－4・5・6・80等）と複合することから、建物を構成する主たる柱となることが考えられる。後二者は、概ね径数十cm程度の小ぶりな柱穴からなるため、柵や板塀あるいは下屋の痕跡であることが考えられる。また、前二者と東西の柱穴列には切り合うものが多く、建物を幾度か建て替えたことがわかるが、切り合いの有無にかかわらず多数の柱穴が各列の直線上に並ぶことから、同様な位置に同様な規模の建物が同様な向きで建て替えられているようである。なお、南北に長い屋敷地の西側に沿う道路に面して、軒を並べた小規模な建物



第124図　調査区北部遺構配置図(縮尺1/60)



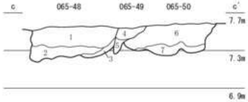


065-36・37・38

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層・オリーブ黒色粘質土ブロック少し含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土少し含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	少	灰オリーブ色粘土若干含む。
4	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層・オリーブ黒色粘質土ブロック含む。

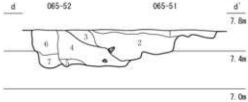
065-43

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	中	−	少	少	少	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	少	少	−	−
3	黒色粘土	5Y2/1	少	−	少	−	−	−



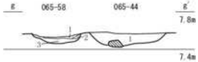
065-48・49・50

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗オリーブ褐色粘質土	2.5Y3/3	少	−	少	少	−	−
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	−	−	少	−	灰オリーブ色粘土ブロック含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	−
4	暗オリーブ褐色粘土	2.5Y3/3	−	−	−	−	−	−
5	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	−	−	−	−	−	−
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	少	少	少	−
7	黒色粘土	5Y2/1	−	−	少	−	−	−



065-51・52

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	少	少	少	少	−	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	中	少	少	石瓦含む。
3	黒褐色砂質土	2.5Y3/2	少	少	少	−	−	−
4	オリーブ黒色砂質土	7.5Y3/1	−	少	中	少	−	−
5	黒色粘土	7.5Y2/1	少	−	−	少	−	−
6	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	少	少	少	灰オリーブ色粘土ブロック含む。
7	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土ブロック含む。

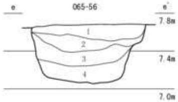


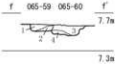
065-58

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘土	10YR2/2	少	−	中	中	−	−
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	少	−	多	−	少	−
3	黒褐色粘質土	2.5Y3/1	−	−	−	−	−	−

065-44

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	中	−	−	−	−	石瓦含む。



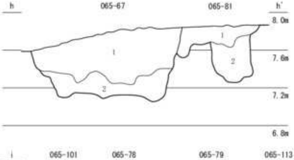


065-56

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	−	−	−
2	黄灰色粘質土	2.5Y4/1	少	少	−	−	−	−
3	灰色粘土	5Y4/1	少	−	−	−	−	−
4	黒色粘土	2.5Y2/1	−	−	−	−	−	−

065-59・60

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	−	−	中	−	鉄分含む。
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	少	−	−	少	少	鉄分含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	−	−	少	少	暗オリーブ褐色粘土（鉄分含む）ブロック含む。
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	暗オリーブ褐色粘土（鉄分含む）を一部含む。



065-67

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	少	少	黒褐色粘土・灰色粘土ブロック含む。暗灰黄色粘質土一部含む。鉄分含む。
2	灰色粘土	5Y5/1	少	少	−	鉄分含む。

065-81

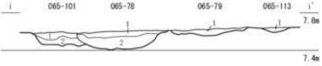
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	少	鉄分含む。
2	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	−	−	少	少	灰色粘土ブロック・鉄分含む。

065-78

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	中	少	少	灰オリーブ色粘土ブロック含む。鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	中	少	少	鉄分含む。

065-79

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	灰色粘質土	5Y4/1	中	少	少	灰オリーブ色粘土ブロック含む。鉄分含む。

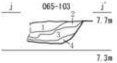


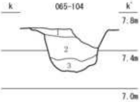
065-101

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	−	−	少	−	鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘土	5Y2/2	少	−	−	少	少	鉄分含む。

065-113

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	鉄分含む。





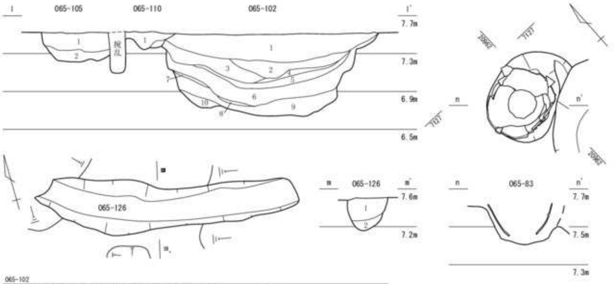
065-103

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	少	少	鉄分含む。
2	褐色粘土	7.5YR4/6	少	−	少	少	オリーブ褐色粘土一部含む。鉄分含む。
3	黒褐色粘土	2.5Y3/2	中	−	少	少	オリーブ褐色粘土一部含む。鉄分含む。
4	黒褐色粘土	2.5Y3/1	−	少	−	少	−

065-104

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	少	鉄分含む。
2	黒褐色粘土	2.5Y3/2	中	−	少	暗オリーブ色粘土ブロック含む。鉄分含む。
3	黒褐色粘土	2.5Y3/1	中	−	少	−

第125図　調査区北部遺構図１（縮尺1/40）



065-102

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	-	-	少	少	灰オリーブ色粘土一部含む。鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	-	-	少	少	暗オリーブ色砂質土一部含む。
3	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	-	-	少	少	オリーブ褐色砂質土一部含む。
4	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	-	-	-	少	-
5	黒色粘土	2.5Y2/1	少	-	-	-	少	-
6	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	-	-	-	少	-
7	黒色粘土	N2/0	-	-	多	-	-	-
8	黒色粘土	N2/0	-	-	多	-	-	-
9	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	少	-	少	-	少	-
10	オリーブ黒色粘土	5Y3/2	少	-	中	少	-	-

065-105

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	-	-	少	少	灰オリーブ色粘土・黒褐色粘土ブロック含む。鉄分含む。
2	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	-	-	-	-	鉄分含む。

065-110

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	多	-	-	少	少	鉄分含む。

065-126

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	-	-	少	少	暗オリーブ黒色粘質土、鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	-	-	-	-	-

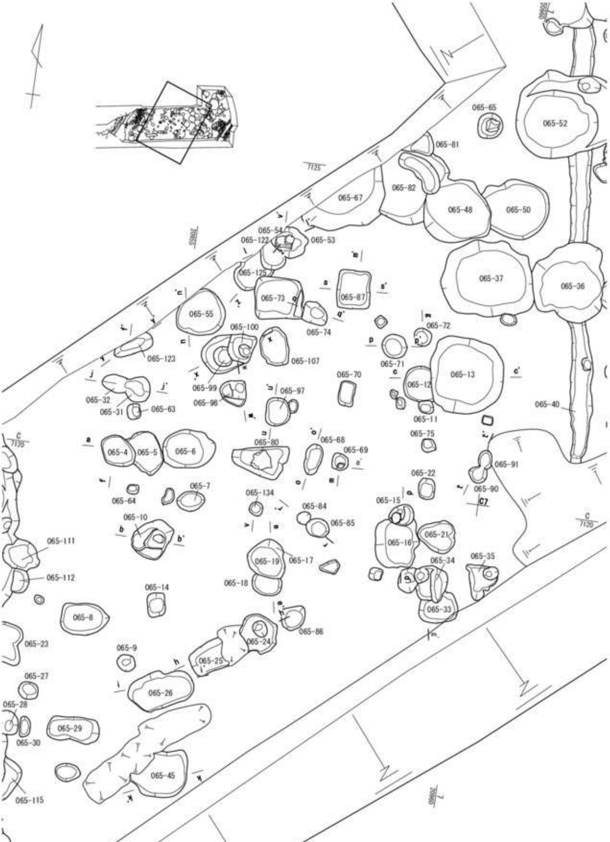
第126図 調査区北部遺構図２（縮尺1/40、1/20）

か長屋状の建物が建てられていたと考えられ、福井市の調査で道路から1.5～1.8m程度離れた位置に西端の柱穴列が確認されていることから、ほぼこの延長上に柱穴列が存在した可能性が高い（福井市2004）。しかし、今回の調査区では道路沿いに大型土坑が切り合いながら並んでおり、道路から1.5～1.8m程度離れた位置は土坑内となる（第122・130図）。おそらくその位置に、建物を構成する南北の柱穴列が存在したものと考えられるが、重複する大型土坑により痕跡も残らず確認できない。

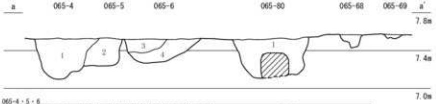
建物は、西端の消滅した柱穴列の延長上と、中央の065－123・32・4、東側の065－53・73・107・80の３列で構成されるとみられ、東西方向の065－4・5・6・80が建物の南端もしくは界壁になることが考えられる。これらの東の065－87・70・69は、建物の南北柱穴列とほぼ平行で、東西の柱穴列の延長上に南端が揃うため、この建物に付随する構造物となる可能性がある。また、東西柱穴列の南に065－64・7・134・84等からなる小規模な柱穴列があるが、建物の柱穴列とはやや方向性が異なるため、建物を構成する柱とはならないようである。ただし、簡易な雪囲いのような設備の痕跡の可能性はある。

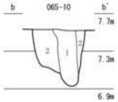
建物の南側は柱穴が希薄になるが、建物を構成する南北柱穴列（065－123・32・4）の延長上に位置する柱穴065－8・29や、東西柱穴列（065－4・5・6・80）に平行に位置する柱穴065－8・24があり、頻繁な建て替えはなかったものの共通する方向性の建物が建てられていた可能性がある。この西側の道路脇にも大型土坑が並ぶため、存在したであろう柱穴列が消滅したものと思われる。

この他、柱根の痕跡が僅かに残存する065－10は、065－19と東西に並び、両者の中心間距離はほぼ1.8mとなる（第127図）。065－19は、北の建物を構成する柱穴列065－53・73・107・80と、南の建物となる可能性をもつ柱穴065－24とともにほぼ直線上に並び、二つの建物の間に位置する。そのため065－10・19は二つの建物を連結するような性格の構造の痕跡であることが考えられる。



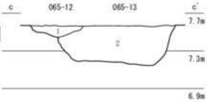
第127図　調査区中央部遺構配置図（縮尺1/60）





065-4・5・6

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	−	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）ブロック含む。 065-4
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	−	少	−	オリーブ黒色粘土ブロック含む。 065-5
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	−	−	−	オリーブ黒色粘土ブロック含む。 065-6
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	−	−	−	緑灰色粘土と同量混在。 065-6



065-80

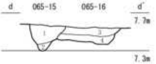
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	中	−	−	少	少	緑灰黄色粘質土・灰色粘土・黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。

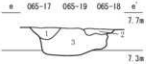
065-10

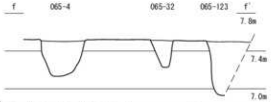
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）との混在層。

065-12・13

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	黒色鉄分層ブロック少し含む。 065-12
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）と黒色鉄分層が含む。 065-13





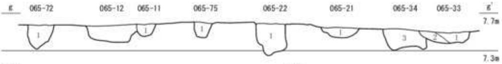


065-15・16

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	−
2	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	−	−	−	−	−	−
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	1層より若干明るい。
4	オリーブ黒色粘土	5Y2/2	−	−	−	−	−	−

065-17・18・19

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	少	−
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）ブロック少し含む。



065-11

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	鉄分少し含む。

065-33

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	多	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土ブロック含む。
2	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	−	−	−	−	−	オリーブ黒色粘質土ブロック含む。

065-21

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層含む。

065-34

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	少	−	灰オリーブ色粘土ブロック含む。

065-22

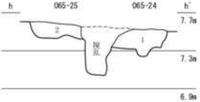
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層含む。

065-75

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	多	−	−	少	−	鉄分含む。

065-72

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	−	−	少	少	黒褐色粘土・褐色粘質土・鉄分一部含む。

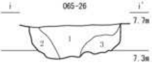


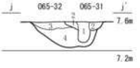
065-24・25

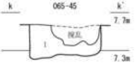
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分ブロック含む。 065-24
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分ブロック少し含む。065-25

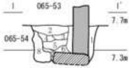
065-26

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	−
2	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	−	−	−	−	−	−
3	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	オリーブ黒色粘質土含む。









065-31・32

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層ブロック含む。065-31
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層ブロック含む。065-31
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分層ブロック含む。065-32
4	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	−	−	−	−	−	黒色鉄分層ブロック含む。065-32

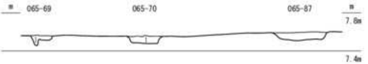
065-45

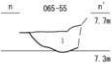
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	鉄分・黒色粘土ブロック含む。

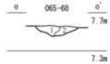
065-53・54

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	065-53
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	−	灰色粘質土ブロック含む。 065-53
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	−	065-53
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	灰色粘質土ブロック少し含む。065-53
5	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	灰色粘質土ブロック含む。 065-53
6	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	−	−	−	065-53
7	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	065-53
8	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	少	−	−	065-54

第128図 調査区中央部遺構図 1 （縮尺1/40）







065-69

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	少	鉄分含む。

065-70

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	少	黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。

065-55

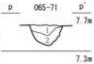
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	−	−	−	−	鉄分含む。黒色粘質土含む。

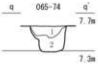
065-68

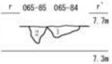
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒褐色粘土・灰オリーブ色粘土ブロック・鉄分含む。
2	暗灰黄色粘質土	2.5Y5/2	少	−	−	−	少	黒褐色粘土一部含む。鉄分含む。

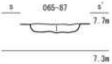
065-71

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	−	−	少	少	鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	少	鉄分含む。



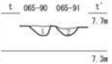


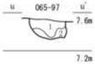




065-74

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	少	黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	少	−	黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。灰オリーブ色粘土一部含む。





065-84・85

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	少	−	−	少	少	黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。　065-84
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	少	黒褐色粘土ブロック・鉄分含む。　065-85

065-87

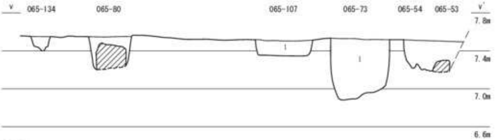
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	少	−

065-90・91

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	暗灰黄色粘質土	2.5Y4/2	−	−	−	少	−	065-90
2	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	065-91

065-97

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分粘土ブロック少し含む。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	黒色鉄分粘土・灰オリーブ色粘土ブロック含む。

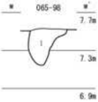


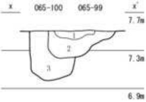
065-107

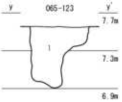
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分粘土・灰オリーブ色粘土ブロック含む。

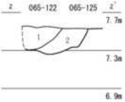
065-73

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	−	少	少	少	灰オリーブ色粘土・黒褐色粘土ブロック含む。









065-98

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	−

065-122・125

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色粘土ブロック・鉄分含む。　065-122
2	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	−	−	−	−	鉄分含む。　065-125

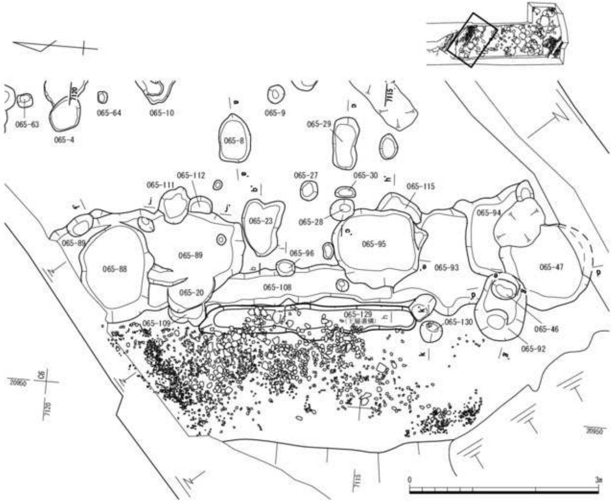
065-99・100

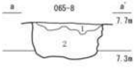
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘土	5Y2/2	−	−	−	−	−	鉄分・オリーブ黒色粘質土・灰オリーブ色粘土ブロック含む。　065-99
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	黒色鉄分粘土ブロック多く含む。　065-99
3	黒褐色粘土	2.5Y3/1	少	−	−	−	−	065-100

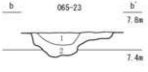
065-123

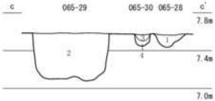
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笠谷石	他の石	備考
1	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	−	−	少	−	鉄分上層部に多く含む。灰オリーブ色粘土・黒色粘土ブロック含む。

第129図　調査区中央部遺構図２（縮尺1/40）









065-8

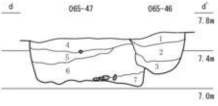
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	荒谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	−	黒色鉄分層含む。
2	灰オリーブ色粘土	5Y4/2	−	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）と上層との混在層

065-23

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色粘土ブロック少量。
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	−	−	−	−	黒色粘土ブロック少量。

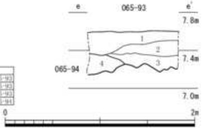
065-28・29・30

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分ブロック少し含む。 065-28
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土（地山）ブロック含む。065-29
3	黒褐色粘土	2.5Y3/2	少	−	−	−	−	オリーブ黒色粘質土ブロック少量。 065-30
4	オリーブ黒色粘質土		−	−	−	−	−	黒色鉄分層少量。 065-30



065-46・47

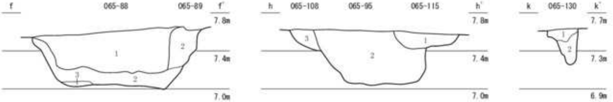
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	5Y5/3	少	−	−	中	−	瓦片含む。 065-46
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	065-46
3	オリーブ黒色砂質土	5Y3/1	−	−	−	−	−	青灰色・黒色鉄分、粘土ブロック含む。 065-46
4	暗オリーブ色砂質土	5Y4/3	少	−	少	少	少	065-47
5	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	中	−	−	−	−	065-47
6	オリーブ黒色粘質土	5Y2/2	多	少	−	−	−	炭化物の塊大きい。 065-47
7	オリーブ黒色粘質土	5Y3/1	少	少	−	−	少	瓦片含む。 065-47



065-93・94

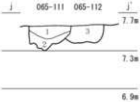
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	荒谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分粘土ブロック多量。灰オリーブ色粘土ブロック少量。 065-93
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分粘土・灰オリーブ色粘土ブロック少量。 065-93
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	少	−	黒色鉄分粘土ブロック含む。灰オリーブ色粘土ブロック多量。 065-93
4	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分粘土・灰オリーブ色粘土ブロック含む。 065-94

第130図　調査区南部遺構配置図（縮尺1/60・1/40）



065-88・89

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	少	少	黒色粘土ブロック少し含む。灰オリーブ色粘土ブロック多く含む。　065-88
2	オリーブ黒色粘土	5Y2/3	少	−	−	灰色粘土・灰オリーブ色粘土ブロック含む。065-89
3	灰色粘土	5Y5/1	−	−	−	オリーブ黒色粘土ブロック含む。　065-89



065-115・95・108

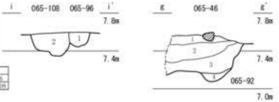
No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	−	少	中	少	065-115
2	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	少	−	−	少	少	オリーブ黒色粘土・鉄分含む。　065-95
3	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	オリーブ黒色粘土・鉄分含む。　065-108

065-130

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	灰オリーブ色砂質土	5Y4/2	−	−	−	−	−	−
2	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	−	−	−	−	−

065-111・112

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	多	−	−	−	少	065-111
2	オリーブ黒色砂質土	5Y3/2	少	少	−	−	−	065-111
3	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	−	−	−	−	−	灰オリーブ色粘土含む。　065-112



065-96・108

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	笏谷石	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	−	−	−	−	黒色鉄分ブロック・鉄分含む。　065-96
2	オリーブ黒色粘土	5Y3/1	−	−	−	−	少	黒色鉄分ブロック・鉄分含む。　065-108

065-46・92

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	笏谷石	他の石	備考
1	にぶい黄褐色粘質土	10YR4/3	−	少	−	黒色鉄分粘土ブロック少し含む。　065-46
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	−	少	−	黒色鉄分粘土・灰オリーブ色粘土ブロック多く含む。　065-46
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	−	少	−	065-46
4	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	−	−	−	灰オリーブ色粘土ブロック含む。　065-92

第131図　調査区南部遺構図（縮尺1/40）

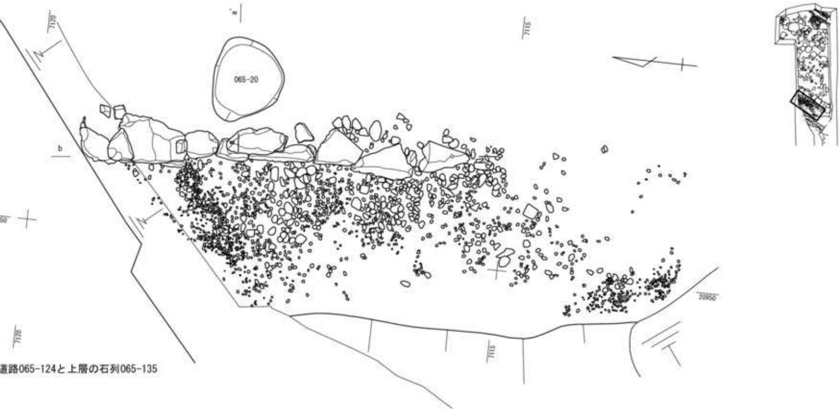
南北柱穴列のうち最も東の065－72（・12）・11・75・22（・21・34・33）は、建物とは延長方向に若干の差異があり、僅かに北側が西へ傾いて平行とはならない。周囲に平行となり対応するような柱穴列はなく、単独の列となる。そのため、柵や板塀のような遮蔽設備の痕跡となることが考えられる。

砂利敷道路（第130・132図、図版第28）　砂利敷道路065－124は、南北に延びる箇所の延長6.5m分を検出した。西には福井城外堀が、東には溝065－108があり、間に挟まれた路面の幅は約２mである。路面として数cm～拳大の川原石からなる砂利が粘質土の地山上に敷設されるが、南側では多くの砂利が流失し希薄となる。砂利中には陶磁器片や瓦片等が混入していた。

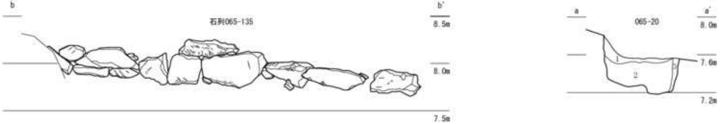
道路のほぼ東端となる砂利敷上に凝灰岩（非笏谷石）の割石による石列が検出された。道路側の面を平らに揃えることから、屋敷地内を盛土により嵩上げして石列で整えたものと考えられる。過去の福井市の調査でも僅かながら石列（縁石）が残存しており、この屋敷地全体が嵩上げされたようである（福井市2004)。石列に非笏谷石の石材が使用されることから、幕末頃から近代にかけて設けられたことが考えられる。

溝（第124・133図、図版第26）　屋敷地内の遺構以前に４条の溝（065－40・127・128・131）がある。このうち065－40は、石組水路065－２・120に平行して南北に延びるものであり、大型土坑等の切り合う遺構のすべてから切られるため、屋敷地の区画整備に関わることが考えられる。

065－127・128・131は下層の遺構となるが、出土遺物がなく時期不明である。ただし、外堀南西側のFKJ96－4・97－1・98－1・06－2～4地区で、９世紀代を中心とする遺構・遺物が検出されており、これらと同様な時期となる可能性はある（福井県埋文2004・2009)。また、これらはそれぞれ福井市の調査で検出された溝と一連のものである可能性が高い（福井市2004)。



砂利敷道路065-124と上層の石列065-135

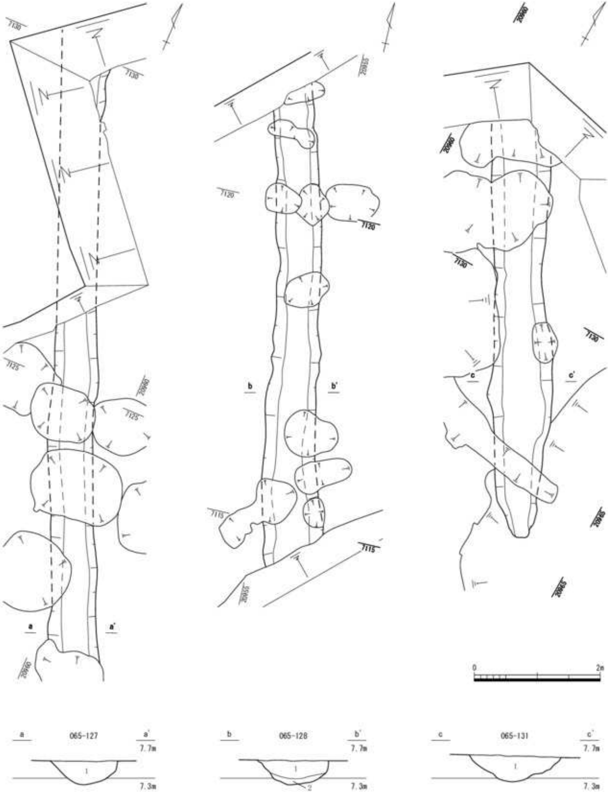


065-20

No.	土色・土質	土色No.	包含物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	暗オリーブ色粘質土	5Y4/4	－	－	－	－	－	黒色鉄分層との混在層。
2	灰オリーブ色粘質土	5Y4/2	－	－	－	－	－	灰オリーブ色粘土（地山）ブロック含む。
3	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	－	－	－	－	－	－

0 2m

第132図 065-20・124・135（縮尺1/40）



065-127

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	少	－	－	－	－	鉄分含む。

065-128

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	－	－	－	－	－
2	黒褐色粘質土	2.5Y3/2	－	－	－	－	－	－

065-131

No.	土色・土質	土色No.	炭化物	焼土	植物	[illegible]	他の石	備考
1	オリーブ黒色粘質土	5Y3/2	少	－	少	－	－	黒色粘土含む。

第133図　下層遺構（縮尺1/60・1/40）

第２表　FKJ13－1 調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
131－1	Ⅱ	廃棄土坑	D7	19C～	4.50	(2.98)	0.50	越】甕、伊】碗 皿 柄唐草散利、九】仏飯器、信】土瓶、瀬・美】土鍋、瓦】赤	
131－2	Ⅱ	小穴	E8		0.80	0.63	0.31		

第３表　FKJ13－2 調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
132－1	Ⅰ	土坑	I4	18C 後半～	3.62	(0.90)	0.26	土】G C3 D3、越】壺（ロクロ）、伊】陶胎染付碗 菊文碗 手捻碗 青磁花瓶、京・信】碗 火入	
132－2	Ⅰ	土坑	G3		(1.35)	1.27	0.57	土】C3	
132－3	Ⅰ	土坑	J5		1.25	1.01	0.08		
132－4	Ⅰ	土坑	J4･5		1.76	(0.55)	0.23		
132－5	Ⅰ	土坑	J4		1.14	(0.45)	0.71		
132－6	Ⅰ	土坑	J5		(2.50)	(0.54)	1.05	瀬・美】天目 灰釉瓶	
132－7	Ⅰ	廃棄土坑	I4	18C 後半～	(3.20)	2.60	0.42	土】C3、越】鉢、唐】碗、伊】碗 皿 瓶、瀬・美】天目 灰釉皿 杯、瓦質】茶釜	
132－8	Ⅰ	廃棄土坑	J4		1.20	1.15	0.70	土】C3、伊】一重網目碗 青磁皿	
132－9	Ⅰ	廃棄土坑	J5		2.12	(0.70)	0.60	土】C2	

第４表　FKJ14－1 調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
141－1	Ⅲ	土坑	J10	近世上面	近世	0.98	0.80	0.15		
141－2	Ⅲ	土坑	J10	近世上面	近世	0.92	0.64	0.15		
141－3	Ⅲ	土坑	J10	近世下面	近世	1.85	1.07	0.50		
141－4	Ⅲ	石積井戸	H8	近世下面	近世	1.31	1.14	(1.85)		

第５表　FKJ14－2 調査区遺構観察表

遺構番号	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
中之馬場北面石垣	石垣	B2･3		近世	(6.00)	(1.84)	高 (0.80)		
百間堀	堀	C2･3 I7･8		近世	－	－	－	土】C D	
三ノ丸土橋	土橋	I8･9 J9･10		近世	(8.00)	(15.00)	高 (1.02)		
土橋南面石垣	石垣	I8		近世	(7.50)	(2.60)	高 (1.80)		
土橋北面石垣	石垣	J9･10		近世	(8.00)	(1.40)	高 (0.80)		
三ノ丸東堀	堀	A9･10 B2･C2 J9･J10		近世	－	－	－	土】C D	
割場西面石垣	石垣	C2		近世	(6.00)	(1.60)	高 (1.00)		

第６表　FKJ15－3 調査区遺構観察表

遺構番号	小調査区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
153－1	1･2･4区	砂利敷道路	E3～B2	1面	～近代	(101.00)	(4.80)	－	越】擂鉢Ⅵ2、伊】皿 碗、唐】碗 鉢、瀬・美】天目 水滴 土瓶、中】染付	
153－17	1区	越前甕散	I･J6	1面		1.30	0.48	－	越】甕Ⅵ2、京・信】碗	
153－18	1区	溝状土坑	F4	1面	～近代	1.10	0.30	0.10	土】G、越】甕、伊】皿、京】碗、瀬・美】灰釉碗	G系土師器多数　地鎮跡？
153－19	1区	土坑	G4	1面	～近代	1.16	0.58	0.42	土】G、越】鉢 甕、在】七輪、伊】広東碗 陶胎染付碗、唐】碗、瀬・美】鉄絵鉢 染付碗、信】鉢	
153－20	1区	土坑	I5	1面	18C～	1.50	0.50	0.32	越】擂鉢Ⅵ2、伊】碗（見込－蛇の目）陶胎染付、瓦】桟	
153－21	1区	小穴	H5	1面	～近代	0.56	0.37	0.33		道路1下
153－22	1区	小穴	F4	1面	～近代	0.57	0.36	0.10		
153－23	1区	小穴	H5	1面	～近代	0.67	0.46	0.16		笏谷石集中
153－24	1区	溝	H5～J6	2面	～16C後	(13.80)	(0.50)	(0.74)	瓦】壺	32→25→**24**→道路1
153－25	1区	溝	I･J6	2面	～16C後	(5.73)	(0.51)	(0.92)	土】C、越】甕	32→**25**→24→道路1
153－26	1区	溝	G･H5	2面		(7.00)	(0.32)	(0.58)	土】D2	笏谷石集中　**26**→24
153－28	1区	小穴	G4	2面		0.46	0.28	0.15		道路1下
153－29	1区	小穴	H5	2面		(0.50)	0.37	0.08		道路1下
153－30	1区	小穴	H5	2面		0.42	0.25	0.20		道路1下
153－31	1区	小穴	I6	2面	17C	0.40	(0.32)	0.38	越】甕 壺 擂鉢、瀬・美】天目 灰釉皿、伊】碗 皿、唐】鉢、中】染付皿 青磁碗	
153－32	1区	土坑	I6	2面	～16C後	1.42	(0.90)	(0.82)		**32**→25→24→道路1
153－33	1区	小穴	H5	2面		0.43	0.41	0.10		道路1下
153－2	2区	土坑	B･C7	1面	～近代	1.70	(0.60)	0.20		
153－3	2区	側溝	J6～E8	1面	～近代	(58.00)	0.56	0.60	土】C2 G、越】甕Ⅶ、伊】広東碗 碗蓋、唐】鉄皿 鉢、瀬・美】土瓶、京】小碗、瓦】桟瓦	13→4→**3** 近代陶磁器混じる
153－4	2区	側溝	J6～E8	1面	18C後～	(38.36)	(0.55)	0.46	土】G、越】擂鉢Ⅶ、伊】くらわんか碗 皿、信】灯明皿、瓦】赤瓦	13→**4**→3
153－5	2区	側溝	B6～E8	1面	～近代	(29.40)	0.50	0.35	越】擂鉢Ⅳ	**5**→6
153－6	2区	小穴	D8	1面		0.40	0.40	0.20		5→**6**
153－8	2区	小穴	D7	1面		(0.55)	－	0.45		9→**8**
153－9	2区	小穴	D7	1面		0.86	0.53	0.74	土壁片	**9**→8
153－10	2区	小穴	D7	1面	17C	(0.68)	(0.64)	0.34	土】C、伊】碗、唐】鉢、瀬・美】天目 灰釉皿	
153－11	2区	小穴	D7	1面		(0.35)	(0.28)	0.15		
153－12	2区	土坑	A6	1面	～近代	1.50	0.74	0.70	唐】絵唐津小鉢	4→3→**12**
153－13	2区	土坑	A6	1面	17C	2.12	1.55	1.07	土】C3、越】擂鉢Ⅵ、唐】絵唐津碗、瀬・美】小皿	**13**→4→3
153－14	2区	暗渠	J6	1面		(2.81)	0.54	0.29		道路1下
153－15	2区	溝	B7	1面		(2.37)	0.61	0.22		道路1下
153－16	2区	小穴	J6	1面		0.72	(0.30)	0.24		道路1下
153－34	3区	石列	H9	1面	～近代	(2.55)	0.60	－		

遺構番号	小調査区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
153－35	3区	溝状土坑	H9～I10	1面	～近代	(2.27)	1.45	0.54	越】擂鉢Ⅵ、伊】近代碗、瓦】桟瓦	切り合いから
153－36	3区	土坑	H10	1面	17C	(1.00)	(0.53)	(0.45)		**36**→81
153－37	3区	土坑	H9	1面		(1.42)	0.90	0.23		
153－38	3区	土坑	F8・F9	1面		(0.82)	0.80	0.29		
153－39	3区	土坑	G9	1面	18C中	1.63	(0.55)	0.32	伊】碗	
153－40	3区	土坑	G9	1面	19C	1.62	1.58	0.43	越】甕Ⅶ、伊】広東碗 皿、唐】碗、中】青磁皿、瓦】赤新	
153－41	3区	小穴	G9	1面		0.86	(0.57)	0.51		42→**41**
153－42	3区	小穴	G9	1面		(0.85)	0.78	0.23	越】擂鉢	**42**→41
153－43	3区	土坑	G9	1面		(1.96)	1.39	0.15	土】C	
153－44	3区	土坑	H9	1面	～18C前	1.86	1.21	0.30	土】C、美】志野鉢	84→77→88→46→47・78→**44**・45
153－45	3区	小穴	H9	1面	～18C前	0.91	0.73	0.34		84→77→88→46→47・78→44・**45**
153－46	3区	土坑	H9	1面	～18C中	3.11	(2.30)	0.58	土】D2 C、伊】碗 皿、唐】碗、中】青磁碗、瓦】棟	63→65→**46**、84→63→**46** G系なし
153－47	3区	土坑	H9	1面	～18C前	(2.38)	1.44	0.38	土】D2	84→77→88→46→**47**・78→44・45
153－48	3区	小穴	H10	1面		0.86	0.66	0.25	唐】皿	
153－49	3区	礎石列	H・I10	1面		(2.80)	－	－		
153－50	3区	土坑	G9	1面		(0.79)	0.70	0.33		
153－51	3区	土坑	F8	1面	18C後～	2.95	(1.96)	0.46	土】G、越】擂鉢Ⅵ 2、伊】碗 陶胎染付碗、唐】鉢、京】碗、瓦】赤－桟	
153－52	3区	小穴	G9	1面		0.82	0.46	0.06		
153－53	3区	土坑	F8	1面	～18C中	1.20	0.80	0.17	土】D、伊】笹文碗、唐】鉢	
153－54	3区	小穴	G8	1面		0.58	0.46	0.14		
153－55	3区	土坑	F・G8	1面	18C中～	(1.80)	1.63	0.79	伊】蛸唐草碗、唐】碗、瓦】棟、須恵器	焼土多量
153－56	3区	小土坑	G9	1面	～17C中	1.36	0.72	0.50	土】C1、唐】碗 、京】壺	69→58→**56**
153－57	3区	土坑	F8、G8・9	1面	～17C中	3.28	(1.50)	0.40	土】C2、美】志野鉢 灰釉皿、京】軟質施釉陶器	69→**57**
153－58	3区	土坑	G8・9	1面	～17C中	(1.87)	(0.90)	0.21	土】C1、美】志野皿、石】硯	69→**58**→56
153－59	3区	土坑	F8	1面	～17C前	(3.40)	(1.75)	0.50	土】C、越】擂鉢、美】灰釉碗、中】漳州窯皿	61→**59**・60 G系なし
153－60	3区	土坑	F8	1面	～17C前	(1.28)	－	0.26	土】D1、越】擂鉢Ⅵ1、美】灰天目、中】染付皿	61→59・**60**
153－61	3区	土坑	F8	1面	～17C前	(1.82)	－	0.38	土】C1、信】壺	**61**→59・60
153－62	3区	土坑	F8	1面		2.04	(0.99)	0.24	土】C1	
153－63	3区	井戸	H9	1面	～17C中	1.28	1.03	1.04	土】D1、越】甕、唐】碗 鉄皿、美】志野皿	**63**→65→46 84→**63**→46
153－64	3区	土坑	F8	1面	17C	1.04	(0.51)	0.27	土】C2	
153－65	3区	井戸	H9	1面	～18C	(1.38)	(0.90)	0.66	土】D3、越】甕、唐】碗	63→**65**→46
153－66	3区	柱穴	F8	1面		0.57	0.45	0.27		
153－67	3区	小穴	F8	1面	～17C前	0.54	0.48	0.14	美】志野鉢	
153－68	3区	柱穴？	G9	1面		0.35	(0.30)	0.52		
153－69	3区	土坑？	G8・9	1面	～17C前	2.59	(1.60)	0.32	美】志野鉢、中】染付皿	**69**→57 **69**→58→56、70→**69**
153－70	3区	土坑	G9	1面	～17C前	1.50	(1.28)	0.16	美】志野鉢	**70**→69
153－71	3区	柱穴	F8	1面		0.44	0.37	0.38	唐】碗	
153－72	3区	溝？	F8	1面	17C後～18C後	(1.90)	(0.65)	0.43	土】C3	
153－73	3区	小穴	H9	1面	18C前	0.59	0.49	0.27	伊】色絵碗	
153－74	3区	集石	H9	1面		0.61	0.48	0.29		
153－75	3区	土坑	G9	1面	17C	(2.36)	(1.02)	0.80	土】C D、美】鉄釉壺	
153－76	3区	土坑	H・I10	1面		(1.66)	(0.29)	0.30	唐】壺、瀬・美】天目	
153－78	3区	溝	H9・10	1面		(2.40)	0.77	0.29	瀬・美】天目茶碗	84→77→88→46→47・**78**→44・45
153－79	3区	土坑	G9	1面		1.38	(1.03)	0.50		
153－80	3区	小穴	G8・9	1面		0.87	(0.57)	0.68		
153－81	3区	石組溜桝	H10	1面	17C	(0.85)	0.57	0.56	越】甕Ⅵ	36→**81**
153－82	3区	小穴	G9	1面		(0.45)	(0.41)	0.22		
153－83	3区	側溝	G9	1面		(7.35)	0.77	0.38	越】甕	
153－85	3区	小穴	H9	1面		0.67	(0.54)	0.33		上層
153－86	3区	小穴	H9・10	1面		0.74	0.55	0.33		上層
153－87	3区	小穴	H10	1面		0.60	(0.34)	0.19		上層
153－91	3区	柱穴	F8	1面		0.42	(0.34)	0.44		
153－92	3区	小穴	G9	1面		0.33	(0.12)	0.17		
153－94	3区	小穴	H9	1面		0.83	(0.31)	0.30		
153－100	3区	小穴	G・H9	1面		0.81	(0.36)	0.32	瀬・美】緑釉皿	
153－77	3区	溝	H9	2面	16C後	(1.42)	0.49	0.11	越】擂鉢Ⅴ2	84→**77**→88→46→47・78→44・45
153－84	3区	土坑	H9	2面	16C後	4.53	(2.88)	1.69	土】C1 C2、越】甕 擂鉢Ⅴ3、瀬・美】天目 灰釉皿、中】青磁 染付 白磁、坩堝	唐津・伊万里なし **84**→77・88→46→47・78→44・45 **84**→63→46
153－88	3区	礎石列	H9	2面	16C後	0.50	－	－		84→77→**88**→46→47・78→44・45
153－89	3区	礎石列	H9・10	2面	16C後	6.00	－	－		下層
153－90	3区	石列	H9	2面	16C後	0.80	－	－		下層
153－93	3区	小穴	H10	2面	16C後	0.39	0.37	0.11		
153－95	3区	礎石列	H9・10	2面	16C後	3.40	1.96	－		95・96は同一の建物の可能性がある
153－96	3区	土坑礎石	H9	2面	16C後	0.88	0.79	0.15		
153－97	3区	小穴	H10	2面	16C後	0.58	0.48	0.23		
153－98	3区	小穴	H10	2面	16C後	0.43	0.40	0.16		
153－99	3区	小穴	H9	2面	16C後	0.67	0.54	0.25	土】皿	
153－101	3区	小穴	H10	2面	16C後	0.91	0.51	0.19		
153－102	3区	土坑	H9	2面	16C後	1.44	0.67	0.10	越】擂鉢	
153－103	3区	小穴	H9	2面	16C後	0.94	(0.86)	0.23		
153－104	3区	小穴	H10	2面	16C後	0.53	0.45	0.30	瀬・美】天目	
153－105	4区	土坑	J1・10	1面	17C後	(5.34)	(2.68)	0.89	土】C2 土錘、越】擂鉢Ⅵ 2、伊】碗、唐】碗 鉢 鉄絵皿 小皿、美】灰志野鉢 天目、須恵器	G系なし
153－106	4区	石組溝	J1・10	1面	17C	(1.87)	(1.66)	0.32	土】C1 土錘、越】擂鉢Ⅵ、伊】碗、唐】小皿 壺、美】灰志野鉢、須恵器	
153－107	4区	溝	J・A1	1面	～近代	(16.07)	0.38	0.32	伊】コバルト釉皿	

遺構番号	小調査区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
153－108	4区	土坑	J・A1	1面	18C中～	(5.24)	(1.21)	0.65	土】C系3、越】擂鉢Ⅵ、伊】扇面碗 大鉢 大皿 徳利 赤絵皿 白磁香炉 皿、唐】鉄絵皿 鉢、瀬・美】天目 蛇の目皿 鉄釉壺 灰釉瓶子、信】壺、中】青磁鉢	焼土で埋まる
153－109	4区	溝	A2、B1・2	1面	17C	(2.95)	1.01	0.51	唐】皿	
153－110	4区	小穴	B2	1面	18C後	0.66	0.44	0.17	伊】宜徳銘碗 大皿、唐】大鉢 皿、瓦】赤 桟	
153－111	4区	土坑	J1	1面	18C後	(1.63)	(0.41)	0.47	伊】碗、唐】鉄絵鉢、京】琺瑯釉皿、九】皿、中】彰州鉢、瓦】赤 桟	
153－112	4区	溝	A1	1面		(3.58)	0.63	0.36	唐】皿	
153－113	4区	土坑	A1	1面	17C後～18C前	(3.00)	(0.71)	1.28	越】甕（刷毛塗り）、伊】碗 皿 徳利、唐】灰釉碗、瀬・美】鉄釉壺 土瓶、瓦】赤	
153－114	4区	小穴	J1・10	1面		0.87	0.68	0.21		
153－115	4区	井戸	J・A1	1面	－18前	(3.19)	(1.78)	1.10	土】C D、越】擂鉢、伊】碗 徳利、唐】皿、瀬・美】天目、瓦灯、瓦】桟	108の下 G系なし
153－116	4区	土坑	A1	1面	18C	(1.28)	(0.93)	1.10	土】C3 G	
153－117	4区	小穴	J1	1面	18C	(0.59)	(0.38)	(0.35)	土】C3	

第７表　FKJ15－4調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
154－9	Ⅲ	井戸	E6	近世上面	近代	1.09	0.92	2.10	越】甕 壺、伊】徳利、唐】壺 甕、瀬・美】植木鉢 土鍋、中】青磁碗	掘方は径1.1m
154－14	Ⅲ	溝	E・F5	近世上面	19C～	(2.43)	0.51	0.36	越】擂鉢、在】七輪、伊】碗 小碗、唐】土瓶、京】小碗、美・瀬】小壺 土鍋	
154－19	Ⅲ	土坑	E6	近世上面	19C	7.80	6.10	0.22	越】甕 擂鉢Ⅸ、灰釉】鉢	
154－23	Ⅲ	土坑	E6	近世上面	19C～	(1.55)	0.91	0.82	越】擂鉢Ⅸ 甕、伊】碗蓋 半筒碗 小杯 小皿、唐】甕 碗 灰】鉢、瓦】赤、近】碗 土瓶	
154－29	Ⅲ	土坑	E6	近世上面	19C	1.26	(0.63)	0.45	越】甕 鉢、唐】碗、中】染付碗	31→29
蓄場北面石垣（154－12）		石垣	J1・2	近世上面	17C～近代	(8.35)	2.95	－	越】甕、瓦】赤 桟、伊】碗 唐】碗・皿、瀬・美】天目 壺 土鍋 擂鉢、京】碗 急須、近】碗、須】坏 甕	
松蔵南面石垣（154－52）		石垣	A2	近世上面	17C～19C後	(8.90)	0.90	(0.90)	土】C3 G、越】擂鉢、伊】碗 唐】鉢 瀬】壺	
154－57	Ⅴ	土坑	B4	近世上面	19C	1.41	1.25	0.06	越】甕、伊】小碗	
154－58	Ⅴ	土坑	A4	近世上面	19C	2.37	1.60	0.25	土】B、越】甕 壺 擂鉢、伊】碗 小碗、唐】鉢、瀬・美】壺、焼塩壺	
154－59	Ⅴ	小穴	B3	近世上面	19C	0.20	0.15	0.08		
154－61	Ⅴ	小穴	B4	近世上面	19C	0.26	0.23	0.12		
154－62	Ⅴ	小穴	B4	近世上面	19C	0.29	0.24	0.06		
154－65	Ⅴ	小穴	B3	近世上面	19C	0.24	(0.10)	－		
154－78	Ⅴ	土坑	C5	近世上面	19C	2.12	1.87	0.60	土】C3 D2、越】甕、瀬・美】天目、唐】碗 皿、須】坏	80→78　79→78
154－80	Ⅴ	土坑	C5	近世上面	19C	1.31	(0.66)	0.60	唐】皿、美】天目、須】坏	80→78
154－86	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	2.85	1.80	0.50	土】G、越】甕 壺 擂鉢、伊】碗 小碗、唐】碗、瀬・美】天目 灰釉皿 碗 風炉 土瓶、京・信】片口、須】坏、瓦】桟	86・87・88は短期間に掘り返されているため前後関係不明
154－87	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	(2.25)	1.80	0.42	土】G、越】甕 鉢 擂鉢、伊】段重蓋 鉢 碗蓋 、京・信】土瓶蓋、瓦質】火消壺蓋、瓦】赤	
154－88	Ⅴ	土坑	C5	近世上面	19C	2.25	0.82	0.55	越】甕、伊】碗、瓦】桟	
154－90	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	(2.10)	1.85	0.51		89→90→91
154－91	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	1.70	(1.25)	0.20	土】G、越】甕 擂鉢、伊】段重、唐】壺、信】灯明皿、瓦】桟	89→90→91
154－92	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	(1.75)	1.61	0.38		
154－93	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	1.44	(1.27)	0.54	土】C2 C3、伊】碗、須】坏	
154－94	Ⅴ	土坑	C6	近世上面	19C	(2.28)	(0.56)	0.60		
154－96	Ⅴ	土坑	D6	近世上面	19C	2.87	2.82	0.38	越】甕 擂鉢、伊】碗 皿、唐】碗、瀬】壺、須】坏	
割場北堀（154－53）		堀	J2、A2・3	近世上面	17C－19C後	12.70	(8.90)	(2.05)	土】C3 D G、越】壺 擂鉢、瓦質】壺蓋 火鉢、瓦】赤、備】壺、伊】水滴 碗 皿、唐】碗 皿 壺 甕、瀬・美】鍋手片口 壺蓋、須】坏	
154－33	Ⅲ	廃棄土坑	E・F6	近世下面	17C後～18C前	(2.22)	2.14	0.90	土】C2 D、越】甕 擂鉢、瓦】桟、伊】一重網目碗、唐】碗 皿 壺、瀬・美】天目 壺、中】染付碗	
154－37	Ⅲ	土坑	E6	近世下面	17C後～18C前	(1.62)	1.31	0.66	土】C3 D2、越】擂鉢Ⅵ、伊】碗 、唐】碗 皿 天目、信】壺、九】鉢、中】染付皿	
154－38	Ⅲ	小穴	E6	近世下面		0.38	0.37	0.14		
154－39	Ⅲ	小穴	E6	近世下面		0.64	0.43	0.22		
154－40	Ⅲ	小穴	E6	近世下面		0.64	0.45	0.32		
154－41	Ⅲ	小穴	E6	近世下面		0.51	0.40	0.18		
154－43	Ⅲ	土坑	E6	近世下面	17C	(2.87)	1.52	0.12	唐】碗、瀬・美】灰釉皿	
154－44	Ⅲ	土坑	E6	近世下面	16C	0.85	0.43	0.20		
154－45	Ⅲ	土坑	E6	近世下面	17C	1.02	0.84	0.80	越】擂鉢	
154－47	Ⅲ	土坑	F6	近世下面	17C	1.75	1.18	0.88	土】C2 D3、越】擂鉢 甕、伊】碗、唐】碗、瀬・美】天目 茶入 灰釉皿	
154－48	Ⅲ	土坑	F6	近世下面	17C後～18C前	2.09	1.06	0.84	土】C3 D3、越】擂鉢Ⅵ 甕、伊】碗Ⅳ 青磁鉢 小杯、唐】碗 鉢、京】碗、中】染付碗	G系なし コンニャク印判あり
154－1	Ⅳ	廃棄土坑	H10	近世下面	17C初	1.43	1.14	0.20	土】C1	
154－4	Ⅳ	廃棄土坑	H9	近世下面	17C初	1.00	0.82	0.18		
154－5	Ⅳ	土坑	H10	近世下面		0.98	0.58	0.20		
154－13	Ⅳ	土坑	J1	近世下面	17C初	(2.22)	2.22	0.70	土】C2、唐】皿、須】坏、瓦】桟	
154－16	Ⅳ	土坑	J2	近世下面	近世	1.05	1.01	0.18		
154－20	Ⅳ	土坑	H10	近世下面	17C初	1.57	0.75	0.62		
154－21	Ⅳ	小穴	H10	近世下面	16C後～17C初	0.80	0.70	0.70	唐】絵唐津皿、瀬・美】鉄釉瓶、須】坏 甕	
154－35	Ⅳ	土坑	H9	近世下面	17C初	8.40	0.76	0.23		
154－51	Ⅴ	小穴	B4	近世下面	近世	0.60	(0.40)	0.60	越】擂鉢、瀬・美】天目 灰釉壺	
154－54	Ⅴ	屋敷地	B4	近世下面	～19C後	(3.30)	2.50	0.24	越】甕	
154－55		道路側溝	A・B4	近世下面	～19C後	(2.10)	0.77	0.36	越】甕、唐】皿、瀬・美】天目	
154－56		道路側溝	B3	近世下面	～19C後	2.04	0.63	0.18	唐】皿、瀬・美】天目	
154－60		道路面	B4	近世下面	～19C	0.97	(0.52)	0.20		
154－74	Ⅴ	石組井戸	C5	近世下面	近世	2.90	2.60	3.24	越】甕 擂鉢、須】坏	
154－99	Ⅴ	土坑	D6	近世下面	19C	(1.07)	0.68	0.15		
154－100	Ⅴ	井戸	D6	近世下面	17C	4.40	3.95	(2.60)	越】甕 擂鉢、瀬・美】卸皿、中】青磁碗、須】坏、古代土師器	

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
154－104	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.70	0.66	0.32	須】坏	
154－105	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.66	0.66	0.24	土】C2、須】坏、古代土師器	
154－106	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.36	0.28	0.10	須】坏	
154－107	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.89	0.61	0.40	須】坏	
154－110	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.73	0.51	0.42		
154－111	V	小穴	E5	近世下面	近世	(0.21)	0.21	0.10		
154－112	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.20	0.17	0.05		
154－113	V	土坑	D5	近世下面	近世	(0.60)	0.54	0.25	須】坏	
154－114	V	土坑	D5	近世下面	近世	0.50	0.39	0.24		
154－115	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.17	0.90	0.05		
154－116	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.58	0.43	0.16	須】坏	
154－117	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.39	0.35	0.18	須】坏	
154－118	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.25	0.20	0.10		
154－119	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.26	0.22	0.15		
154－120	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.25	0.21	0.05		
154－121	V	小穴	E4	近世下面	近世	0.25	0.24	0.05		
154－122	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.44	0.39	0.15		
154－123	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.26	0.21	0.06		
154－124	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.36	0.35	0.24		
154－125	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.30	0.25	0.20		
154－126	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.24	0.17	0.10		
154－127	V	小穴	E5	近世下面	近世	(0.30)	0.28	0.10		
154－128	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.28	0.18	0.08		
154－129	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.32	0.32	0.12		
154－130	V	導水管	E5	近世下面	近世	7.60	0.45	0.12	越】円盤、須】坏、古代土師器	
154－131	V	溝	E6	近世下面	近世	(2.53)	0.18	0.05	須】坏	
154－132	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.14	0.11	0.07		
154－133	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.12	0.10	0.08		
154－134	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.18	0.10	0.10		
154－135	V	小穴	D5	近世下面	近世	0.32	0.24	0.10		
154－136	V	小穴	E6	近世下面	近世	0.24	0.17	0.25		
154－137	V	小穴	E6	近世下面	近世	0.28	0.25	0.20		
154－138	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.28	0.26	0.08		
154－139	V	小穴	E5	近世下面	18C 後～	0.25	0.21	0.03	伊】碗（五弁花文）、京・信】鉄絵湯飲	
154－140	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.58	0.48	0.20		
154－141	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.10	0.90	0.05		
154－142	V	小穴	E5	近世下面	近世	0.12	0.10	0.19		
154－2	(Ⅳ)	小穴	G9	中世上面	16C 後	0.95	0.69	0.68	越】擂鉢、伊】碗、唐】皿、瀬・美】天目	3 → **2**
154－15	(Ⅳ)	土坑	G9	中世上面		1.16	1.04	0.58		17 → 30 → **15**
154－25	(Ⅳ)	落込み	I10・1	中世上面	中世後半	(10.80)	6.00	(1.20)	土】C1、美】灰釉皿、瀬】土鍋蓋、中】染付皿、須】坏、古代土師器	16C に整地　須恵器多数出土　近世陶磁器の混入有
154－28	(Ⅳ)	小穴	H9	中世上面	16C 末	0.92	0.59	0.25	須】坏	
154－30	(Ⅳ)	土坑	G9	中世上面	中世	1.37	1.13	0.66	須】坏	17 → **30** → 15
154－34	(Ⅳ)	土坑	G9	中世上面	16C 中～後	0.59	0.53	0.60	土】C、瀬・美】天目	
154－46	(Ⅲ)	石組井戸	E6	中世上面	16C	1.50	1.49	(1.75)	土】C D、越】甕 擂鉢、青】鉢	
154－49	(Ⅲ)	溝	F6	中世上面	16C 後	(0.97)	1.10	0.75	土】C、越】甕、瀬・美】天目 灰釉碗・皿、備】小壺、中】染付皿	無文銭一枚出土
154－50	(Ⅲ)	土坑	F6	中世上面	16C	(4.07)	(2.26)	1.35	越】擂鉢V 壺、中】染付 青磁	
154－63	(V)	道路砂利敷	A4	中世上面	中世後半	(1.33)	(0.93)	0.02		64 → **63**
154－64	(V)	道路側溝	A4	中世上面	中世後半	(7.20)	2.50	0.78		道路 63 の側溝　5 回以上改修　**64** → 63
154－66	(V)	杭跡	B4	中世上面	中世後半	0.17	0.16	0.07		
154－67	(V)	道路側溝	B4	中世上面	中世後半	(7.20)	1.60	0.08	越】甕 擂鉢、瀬・美】灰釉皿、中】青磁碗 皿、須】坏	道路 63 の側溝　溝幅が 1.3m から 1.0m に、深さも 1.3m から 0.5m と小さくなる
154－68	(V)	溝状	B4	中世上面	中世後半	(0.96)	0.22	0.70		
154－73	(V)	井戸	J3	中世上面	中世後半	0.87	0.84	0.77		
154－75	(V)	小穴	B5	中世上面	中世後半	0.62	0.61	0.78	伊】小杯、瀬・美】天目 灰釉皿	
154－76	(V)	土坑	B5	中世上面	中世後半	1.19	1.01	0.80		77 → **76**
154－77	(V)	土坑	B5	中世上面	中世後半	1.42	1.24	0.72	越】甕、須】坏	**77** → 76
154－79	(V)	小穴	A5	中世上面	中世後半	0.66	(0.43)	0.07	美】天目	**79** → 78
154－81	(V)	土坑	B5	中世上面	中世後半	1.98	1.26	0.64	伊】碗、須】坏	
154－82	(V)	土坑	A5	中世上面	中世後半	1.78	(0.69)	0.85		
154－83	(V)	土坑	B5	中世上面	中世後半	1.05	0.76	0.83	越】甕 擂鉢、伊】碗、瀬・美】天目	84 → **83**
154－85	(V)	小穴	B5	中世上面	中世後半	0.77	0.59	0.70	越】甕	
154－89	(V)	土坑	B6	中世上面	中世後半	1.60	(1.25)	0.84	須】坏	**89** → 90 → 91
154－95	(V)	井戸	C5	中世上面	中世後半	0.89	0.69	0.12		
154－97	(V)	小穴	C5	中世上面	中世後半	0.47	0.43	0.18		
154－98	(V)	土坑	B5	中世上面	中世後半	(1.17)	0.92	0.50	越】擂鉢	
154－101	(V)	土坑	E5	中世上面	中世後半	1.28	1.23	1.10	須】坏 平瓶、土師】壺	
154－102	(V)	土坑	D5	中世上面	中世後半	1.37	(1.00)	1.10	須】坏、古代土師器	
154－103	(V)	小穴	D5	中世上面	中世後半	0.94	(0.53)	1.08	須】坏	
154－108	(V)	小穴	D5	中世上面	中世後半	0.80	0.79	1.10	越】擂鉢、須】坏 甕	
154－109	(V)	小穴	E5	中世上面	中世後半	0.78	0.75	1.08	信】甕、須】坏	
154－69	(V)	河川	B3・4	中世下面	中世前半	(6.70)	(3.60)	(2.00)	越】甕、伊】碗、唐】皿、信】甕、須】坏 甕、古代土師器	71 → 70 → **69**
154－3	(Ⅳ)	土坑	G9	古代上面	律令	1.88	1.82	0.96	中】泉州窯鉢	**3** → 2
154－8	(Ⅳ)	溝	G8・9	古代上面	律令	(14.40)	0.85	0.30	古代土師器	
154－10	(Ⅳ)	自然流路	G8、H9・10	古代上面	律令	(22.90)	(1.50)	(0.70)	唐】瓶、須】坏 甕	西側に流れる　**10** → 31
154－17	(Ⅳ)	土坑	G9	古代上面	律令	(2.10)	1.60	0.46	須】坏 皿、古代土師器	**17** → 30 → 15
154－18	(Ⅳ)	溝	G9	古代上面	律令	(4.40)	0.70	0.18	須】坏、古代土師器	
154－26	(Ⅳ)	溝	G9	古代上面	律令	(5.00)	0.75	0.62	須】坏 瓶	17 の下
154－31	(Ⅳ)	土坑	G10	古代上面	律令	2.57	(0.84)	0.50	古代土師器	10 → **31**　**31** → 29
154－36	(Ⅳ)	溝	G8・9	古代上面	律令	(5.80)	(3.02)	(1.10)		27 → **36**
154－70	(V)	溝	B4 ～ C6	古代上面	古代～ 9C	(12.00)	1.25	0.64	須】坏、古代土師器	71 → **70** → 69
154－84	(V)	溝	C5	古代上面	古代	(5.35)	1.20	0.24	伊】碗、土】D1、瀬・美】灰釉皿、須】坏 甕	**84** → 83　近世遺物混じる
154－143	(V)	溝	E5	古代上面	古代	(11.25)	0.90	0.40	古代土師器	**143** → 145
154－144	(V)	溝	D5・6	古代上面	古代～ 9C	(14.35)	1.50	0.66		

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
154－145	(V)	溝	D・E5	古代上面	古代～9C	(10.75)	2.05	0.60	土】赤色土器皿，須】坏 甕　土師】壺	143→**145**
154－71	(V)	溝	B4～C6	古代下面	古代～9C	23.70	2.70	0.75	土師】壺	**71**→70→69
154－72	(V)	小穴	B4	古代下面	古代以前	0.53	0.51	0.52	唐】絵唐津皿	
154－27	(Ⅳ)	溝	G8・9	古墳	古墳	(4.35)	1.10	0.62	古代土師器，緑釉皿	**27**→36　8の下
154－32	(Ⅳ)	土坑	G9	古墳	古墳	(2.35)	1.70	0.28		

第８表　FKJ15－5 調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
155－5	V	廃棄土坑	G10・I	1面	19C	(2.00)	1.33	0.49	土】CDG、越】甕 擂鉢Ⅸ、伊】碗 蓋 銚子、唐】碗 絵唐津鉢 瓶、京】小碗、信】灯明皿　瀬美】瓶	**5**→163 近代陶磁器混じる
155－6	V	石列	E7	1面	19C 前	(5.50)	0.98	－	土】G、越】擂鉢Ⅸ、唐】碗、伊】半筒碗、信】碗、瀬・美】碗 土鍋	
155－7	V	小穴	G10	1面		0.44	0.40	0.09	越】擂鉢	
155－8	V	小穴	G10	1面		0.50	0.46	0.19		
155－9	V	小穴	G10	1面		0.33	0.28	0.20		
155－10	V	小穴	G10	1面		0.44	0.35	0.25		
155－11	V	溝	G・H10	1面		1.29	0.37	0.05		
155－12	V	溝	G・H10	1面		(3.38)	1.19	0.15	土師】甕、縄】甕	
155－20	V	土坑	I2	1面	18C～19C 中	1.91	(0.71)	0.70	唐】瓶、京・信】碗、瓦】桟	
155－27	V	溝	I2	1面	17C	(2.20)	0.70	0.47	唐】皿、美】志野	
155－28	V	溝	I1・2	1面		(3.65)	0.50	0.14	伊】碗、瀬】碗	
155－29	V	溝	H・I1	1面		(6.11)	0.60	0.38		31→**29**・30 溝内に径 0.6m、深さ 0.3m の穴が 1m 間隔にある
155－30	V	溝	H1	1面		(6.28)	0.65	0.40		31→29・**30** 溝内に径 0.6m、深さ 0.3m の穴が 1m 間隔にある
155－31	V	溝	H1	1面		(5.54)	1.39	0.50		**31**→29
155－38	V	石列	E8	1面		(1.94)	0.80	－		
155－52	V	井戸	I2	1面		1.06	1.02	1.58		
155－61	V	小穴	H10	1面		0.20	0.20	0.09		
155－63	V	井戸	H1	1面		0.95	0.90	1.10	土】C 中世土師皿	64→96→**63**
155－64	V	小穴	H1	1面		0.67	0.64	0.92		**64**→96→63
155－72	V	井戸	I2	1面	17C	1.08	0.73	1.83	土】C2、越】擂鉢、伊】碗、唐】絵唐津皿 皺皿、瀬・美】天目	G 系なし
155－74	V	小穴	H1	1面		0.27	0.21	0.21		
155－89	V	溝	I2	1面		(2.10)	0.50	0.07		
155－96	V	土坑	H1	1面		1.52	0.72	0.52		64→**96**→63
155－98	V	土坑	G10	1面		1.35	0.72	0.45		
155－100	V	土坑	H10	1面	18C	1.20	(0.27)	0.78	土】GHK C2、越】擂鉢、唐】絵唐津鉢	
155－111	V	石垣	F9	1面		(0.93)	0.40	－		
155－116	V	小穴	G1	1面		0.59	0.57	0.83	土】C	
155－119	V	小穴	G9	1面		0.55	0.52	0.21		
155－163	V	井戸	G1	1面	～近代	－	－	－	土】CK	5→**163**
155－1	V	小穴	E7	2面		0.61	0.45	0.25	土】CD	
155－2	V	小穴	E7	2面		0.51	0.42	0.17	土】G	
155－3	V	溝	D・E7	2面		(1.04)	0.44	0.06	唐】皿、伊】碗	
155－4	V	溝	D・E7	2面		(1.20)	0.43	0.09		
155－15	V	溝上層	E7・8	2面	～18C 中	(5.96)	4.48	1.37	土】BCDG、越】甕 擂鉢Ⅸ 鉢、伊】碗、唐】絵唐津碗 皿 絵唐津鉢、京・信】碗、瀬・美】天目、瓦】桟、須】坏 甕、土師】甕、縄】深鉢	45→90→**15**→21 須恵器・15C～16C の遺物も多い
		溝下層			15C				土】CD、越】甕 擂鉢、瀬・美】天目 灰釉碗、中】染付皿	
155－16	V	土坑	H10・I	2面	17C 前	1.94	1.77	1.27	土】CD、唐】碗、美】灰釉皿 志野皿、京】軟質施釉陶器	18C 後半の伊万里が混じる
155－21	V	溝	D7・E7・E8	2面	18C 中～19C	(6.25)	3.47	0.44	土】C2 D2 G、越】鉄漿壺 擂鉢 鉢、在】七輪、伊】端反碗 皿、唐】碗 皺皿 絵唐津皿 鉢、信】壺、須】坏 甕	45→90→15→**21** 近代陶磁器混じる
155－23	V	土坑	F8・9	2面	18C～19C 前	(6.65)	1.66	1.30	土】CG 受皿、越】甕 壺 擂鉢鑵 鉢、在】七輪　伊】広東碗 蛸唐草文銚子、唐】碗 皿、京】碗、瀬・美】御深井碗	**23**→86
155－25	V	小穴	G9	2面		0.46	0.39	0.56		
155－32	V	小穴	G10	2面		0.53	0.34	0.35		
155－35	V	小穴	G10	2面		0.44	0.40	0.33		
155－39	V	小穴	G10	2面		0.44	0.38	0.09		
155－40	V	小穴	G10	2面		0.23	0.21	0.12		
155－41	V	小穴	G10	2面	18C	0.21	0.20	0.12	京・信】碗	
155－42	V	小穴	G9	2面		0.32	0.21	0.55		
155－43	V	溝	F8・9	2面	18C 後	(7.74)	0.78	0.59	土】C2 G、伊】陶胎染付碗、唐】皿	23→**43**→71
155－44	V	土坑	E・F8	2面	～18C	4.07	3.26	1.41	土】D2、越】甕、唐】皿、瀬・美】碗 瀬戸黒、京・信】碗	121→**44**　G 系なし
155－46	V	小穴	G10	2面		0.21	0.17	0.10		
155－47	V	小穴	G10	2面		0.21	0.19	0.26		
155－48	V	小穴	G10	2面		0.20	0.19	0.11		
155－51	V	小穴	G10	2面		0.23	0.18	0.04		
155－53	V	小穴	G10	2面		0.26	0.20	0.26		
155－54	V	小穴	G10	2面		0.36	0.28	0.21		
155－55	V	小穴	G10	2面		0.85	(0.19)	0.06		
155－56	V	土坑	D7	2面	～19C 前	0.80	0.77	0.85	土】G、唐】鉢、信】土瓶	
155－58	V	溝	G9	2面		(3.21)	0.55	0.14		
155－60	V	井戸	H1	2面		0.59	0.50	0.93	土】K	
155－62	V	小穴	F9	2面		0.32	0.27	0.25		
155－65	V	小穴	F・G9	2面		0.21	0.19	0.14		
155－66	V	小穴	G9	2面		(1.15)	0.61	0.35		
155－67	V	小穴	G9	2面		0.73	0.48	0.35		
155－68	V	小穴	G10	2面		0.18	0.15	0.15		
155－69	V	小穴	G10	2面		0.17	0.14	0.21		
155－70	V	小穴	G10	2面		0.18	0.16	0.13		
155－71	V	溝	F8・9	2面	18 後～	(1.62)	0.66	0.29	土】C	23→43→**71**
155－73	V	小穴	H10	2面		0.29	0.26	0.08	土】G	
155－75	V	小穴	G10	2面		0.30	0.27	0.18		

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m） 長辺	短辺	深さ	主な出土遺物	備考
155－76	V	小穴	G10	2面		0.23	0.21	0.09		
155－77	V	小穴	G10	2面		0.21	0.19	0.15		
155－78	V	小穴	G10	2面		0.30	0.27	0.18		
155－81	V	溝	G9・10	2面		(3.11)	1.09	0.03		114→113→133→164・82→**81**
155－82	V	溝	G9	2面		(3.83)	0.59	0.07		114→113→133→164・**82**→81
155－83	V	土坑	G10	2面		1.72	1.68	2.08		
155－86	V	溝	F8	2面	18C～19C前	5.60	(1.85)	1.30	土】G、越】甕 擂鉢 鉢、伊】陶胎染付碗 唐草文大鉢 香炉、唐】皿 甕 鉢、瀬・美】鉄釉碗 灰釉皿 御深井碗 壺、京】碗	23→**86**
155－87	V	土坑	G10	2面		1.25	1.22	1.15		
155－88	V	土坑	G・H1	2面	18C後	1.32	0.82	1.00	土】D3H系、越】擂鉢	
155－91	V	土坑	F8	2面	18C前	1.91	1.07	0.46	土】C D1	
155－92	V	土坑	G10	2面		1.35	0.72	0.45		
155－93	V	土坑	H10	2面		5.53	(0.73)	0.13		
155－94	V	小穴	G10	2面		0.31	0.26	0.14		
155－95	V	小穴	G10	2面		0.58	0.56	0.07		
155－97	V	土坑	G10・1	2面	18C後	1.13	0.95	0.57	越】甕、伊】亀甲文碗 雪文碗、信】壺	
155－99	V	土坑	G10	2面	～18C後	1.78	0.99	0.81	土】G、唐】絵唐津鉢	
155－103	V	小穴	G10	2面		0.35	0.30	0.31		
155－105	V	小穴	E8	2面		0.54	0.10	0.37		
155－106	V	小穴	G10	2面	18C後	0.24	0.22	0.07	土】G	
155－107	V	小穴	G10	2面		0.25	0.15	0.10		
155－108	V	小穴	G10	2面		0.32	0.30	0.25		
155－115	V	小穴	G10	2面		0.19	0.18	0.11		
155－118	V	小穴	G10	2面		0.13	0.11	0.06		
155－135	V	小穴	F9	2面		0.16	0.14	0.12		
155－137	V	小穴	G10	2面		0.29	0.27	0.20		
155－13	V	溝	G10	2・3面		(10.67)	0.68	0.32	土】D2	84→**13**
155－49	V	小穴	G9	2・3面		0.35	0.28	0.09		
155－50	V	小穴	G9	2・3面		0.28	0.26	0.10		
155－57	V	溝	G9	2・3面		(5.22)	0.96	0.44		114→113・**57**→133→164・82→81
155－79	V	溝	G9・10	2・3面		(4.07)	0.18	0.18		80→**79**
155－80	V	溝	G9～F10	2・3面		(8.00)	0.50	0.14		**80**→79
155－102	V	溝	G9	2・3面		－	－	－		
155－113	V	溝	F9～G10	2・3面		(5.90)	3.35	0.55		114→**113**・57→133→164・82→81
155－133	V	小穴	G9	2・3面		0.80	0.71	0.62		114→113・57→**133**→164・82→81
155－164	V	溝	F・G9	2・3面		(5.60)	(1.60)	0.24		114→113・57→133→**164**・82→81
155－33	V	小穴	G9	3面		0.45	0.42	0.06		
155－34	V	小穴	G9	3面		0.40	0.28	0.19		
155－59	V	溝	G9・10	3面		(2.60)	0.59	0.13		
155－84	V	溝	G10	3面		(11.60)	0.45	0.37		**84**→13 **84**→98
155－85	V	河川埋土	G10	3面		0.47	0.33	0.05		
155－90	V	土坑	E7	3面		－	－	－	越】擂鉢、土】C系、須】坏	45→**90**→15→21
155－101	(V)	溝	D・E7	3面	古代	(5.77)	1.16	0.68		**101**→45→90→15→21
155－104	V	土坑	E8	3面		1.16	1.07	0.41		
155－110	V	小穴	F8	3面		0.77	0.71	0.21		
155－112	V	土坑	E7	3面		3.93	2.89	－	土】C、越】甕 擂鉢、伊】碗、唐】碗	
155－114	V	溝	F9～G10	3面		(5.90)	3.35	0.85		**114**→113・57→133→164・82→81
155－117	V	土坑	E8	3面		1.13	(0.93)	0.39		
155－120	V	溝	E8	3面		2.31	0.65	0.27		136→**120**
155－121	V	土坑	E8	3面		(1.73)	(0.46)	0.27		**121**→44
155－122	V	溝	F8	3面		(2.50)	0.35	0.13		
155－123	V	小穴	F8	3面		0.33	0.25	0.55		
155－124	V	小穴	F8	3面		0.76	(0.41)	0.21		
155－125	V	小穴	F9	3面		0.27	0.25	0.13		
155－126	V	小穴	F9	3面		0.33	0.31	0.19		
155－127	V	小穴	F9	3面		0.33	0.21	0.18		
155－128	V	溝	F8・9	3面		(1.42)	0.27	0.10		
155－129	V	小穴	E8	3面		0.45	0.29	0.35		
155－130	V	小穴	E8	3面		0.35	0.33	0.10		131→**130**
155－131	V	土坑	E8	3面		0.96	0.71	0.08		**131**→130
155－132	V	小穴	E8	3面		0.38	0.34	0.33		
155－134	V	小穴	E8	3面		0.61	0.31	0.23		
155－136	V	土坑	E8	3面		1.58	1.31	0.36		**136**→120
155－45	V	河川上層	E7・8	4面	近世	12.10	(6.20)	－	土】G H、越】甕 壺 擂鉢甕、在】七輪、伊】半筒碗 鉢 唐草文皿、唐】碗 皿 絵唐津大鉢、美】灰志野皿、信】灯明皿	**45**→90→15→21 中世土師皿あり 近世陶磁器の混入多い
		河川下層			古代～16C	－	－	－	土】C D 中世土師皿、越】甕 擂鉢、瀬・美】天目、中】染付碗 青磁皿、須】坏 甕、土師】甕	
155－109	(V)	小穴	E7	4面	古代	0.42	0.30	(0.15)		
155－24		溝	I・J3	1面		(6.33)	0.39	0.19	伊】碗、唐】皿 鉢、瀬・美】皿、京】碗、信】碗	
155－36		溝	I2	1面		(2.49)	0.52	0.10	瓦】塼	
155－37		溝	I2	1面	～17C後	(3.69)	0.49	0.18	越】擂鉢、瀬・美】碗、瓦】塼	
155－18	VI	池状遺構	J3	1面	19C～	3.69	2.41	0.52	伊】碗 鉢、越】擂鉢	近代陶磁器混じる
155－138		溝	B5	1面	18C中～	(1.82)	1.26	0.61	越】擂鉢、土】G K、瀬・美】天目、京・信】碗	
155－139	VI	土坑	B5	1面	～18C後	1.54	1.52	0.71	土】G、越】甕 壺 擂鉢、伊】陶胎染付碗 皿 鉢、唐】碗、京】碗、信】灯明皿	
155－140	VI	溝	A5	1面	～18C後	(3.47)	1.21	0.31	土】CDG、越】壺、唐】皿 甕、伊】五弁花文碗、瀬・美】天目	
155－141	VI	溝	A5	1面		1.67	0.34	0.10		
155－142	VI	土坑	A4	1面		1.53	1.50	1.00	土】C	井戸？
155－143	VI	井戸	A4	1面		0.74	0.65	1.32		
155－144	VI	土坑	B5	1面		1.15	0.55	0.33	越】壺、在】七輪、伊】碗、瀬】鉢	
155－145	VI	土坑	B6	1面		0.88	0.57	0.32		

遺構番号	面区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
155－146	Ⅵ	小穴	B6	1面		0.80	0.25	0.10		
155－147	Ⅵ	小穴	B5	1面		0.47	0.46	0.11		
155－148	Ⅵ	土坑	B5	1面		0.72	0.49	0.10		
155－149	Ⅵ	小穴	B5	1面		0.33	0.32	0.13		
155－150	Ⅵ	廃棄土坑	B5	1面	18C後	1.18	1.14	0.53	土】C2 G、越】甕 擂鉢、伊】コンニャク印判碗 広東碗、信】碗、瀬】風炉	
155－151	Ⅵ	廃棄土坑	A5	1面	17～18C	1.13	1.02	1.54	土】D1 K、唐】絵唐津鉢 蛇の目釉剥ぎ皿、瀬・美】碗	G系なし
155－152	Ⅵ	井戸	A5	1面	～18C後	0.85	0.71	1.40	土】C2 G、伊】素描碗、唐】鉢、瀬・美】天目、瓦】赤	
155－153	Ⅵ	土坑	A5	1面	18C	1.67	1.45	1.71	土】C2 K、越】甕 擂鉢、伊】碗、唐】皿、瀬・美】天目	
155－154	Ⅵ	土坑	A4	1面	18C後	0.94	0.77	0.99	京・信】碗	
155－155	Ⅵ	土坑	A4	1面	18C後	0.76	0.69	1.10	土】C、越】擂鉢、伊】五弁花文碗 鉢、唐】天目碗 絵唐津大鉢 瓶 碗（現川）、京】碗、瀬】土鍋、中】青磁碗	
155－156	Ⅵ	土坑	A4	1面	17C前	1.18	(0.40)	0.97	唐】皿	
155－157	Ⅵ	小穴	A4	1面		0.90	(0.42)	1.76	越】甕 鉢	
155－158	Ⅵ	小穴	B6	1面		0.58	0.54	0.43		
155－159	Ⅵ	溝	B5	1面		(1.07)	0.42	0.17		
155－160	Ⅵ	溝？	B5	1面		0.56	(0.25)	0.12		
155－161	Ⅵ	井戸	B5	1面		(0.78)	(0.64)	－	瀬・美】天目	
155－162	Ⅵ	井戸	A4・5	1面	17C	(0.99)	0.93	1.36	瀬・美】灰釉皿、唐】皿	

第９表　FKJ15－6調査区遺構観察表

遺構番号	面区屋敷番号	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
156－1	Ⅷ－1	砂利敷道路	E9・10、F9・10	上層	～近代	(6.00)	4.90	－	大半が近代陶磁器。（道路を覆う整地土より）	
156－7	Ⅷ－1	井戸	F10	上層	～近代	0.50	0.50	1.20	越】擂鉢 深鉢、伊】皿、近】碗 皿、瓦】赤	大半が近代陶磁器
156－8	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.97	0.55	－		
156－9	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.60	(0.50)	－		
156－10	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	18C後	(1.00)	0.75	0.49	唐】皿、伊】碗、京・信】碗	
156－11	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.60	(0.45)	0.36		
156－12	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	18C後	0.75	0.62	0.36	伊】染錦段重	
156－13	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	～19C	0.65	0.60	0.58	唐】碗 土瓶	
156－14	Ⅷ－1	土坑	E・F10	上層	幕末～近代	(6.20)	(4.60)	0.25	土】C3 G、越】擂鉢Ⅶ 鉢、在】行平、伊】端反小碗 碗蓋 皿 鉢 徳利 土瓶、信】灯明皿 油注、瀬・美】碗 皿 灯明台 土鍋、京】碗、瓦質】焜炉 火鉢	大半が近代陶磁器
156－15	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	幕末～近代	0.45	0.30	－	伊】皿、信】土鍋蓋 土瓶	大半が近代陶磁器
156－16	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.35	0.25	－		
156－17	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.40	0.25	－		
156－18	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		(0.70)	0.50	0.49		
156－19	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		－	－	0.19		
156－20	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	17C後～18C	0.75	(0.70)	0.54	越】擂鉢Ⅵ、伊】碗 鉢	
156－21	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	18C後～	(1.30)	0.65	－	土】C、美】天目 白濁系碗、瓦】桟瓦	
156－22	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	19C前	1.15	0.90	0.18	土】G、瀬・美】天目 陶胎染付	
156－23	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		(0.30)	0.25	0.24		
156－24	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.65	(0.50)	0.30		
156－25	Ⅷ－1	小穴	F10・1	上層		0.80	0.75	0.42	越】擂鉢	
156－26	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		1.00	(0.70)	0.46		
156－27	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.35	0.30	－		
156－28	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.55	0.35	－		
156－29	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	17C前	1.60	0.78	0.47	越】擂鉢、唐】碗 皿 大鉢、瀬・美】天目	
156－30	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		－	－	0.47	唐】皿	
156－31	Ⅷ－1	小穴	F10・1	上層		－	－	0.30		
156－32	Ⅷ－1	小穴	F1	上層	19C～	(1.55)	0.90	0.10	越】擂鉢Ⅷ、唐】皿	近代遺物混じる
156－33	Ⅷ－1	小穴	F1	上層		1.30	(0.30)	0.37		
156－34	Ⅷ－1	小穴	F1	上層		0.30	0.25	－		
156－35	Ⅷ－1	小穴	F1	上層		0.25	0.25	－		
156－36	Ⅷ－1	小穴	F1	上層		0.10	0.10	－		
156－37	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.45	(0.35)	0.35		
156－38	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.45	0.45	－		
156－39	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	17C	(0.30)	0.30	－	唐】皿 大鉢 、瀬・美】天目	
156－40	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.45	0.35	－		
156－41	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.55	(0.35)	0.41		
156－42	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	17C前	(1.50)	0.90	0.24	唐】皿 鉢、瀬・美】天目	
156－43	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		(0.75)	0.75	－		
156－44	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	17C前	0.85	0.70	0.57	唐】皿、美】志野菊皿	
156－45	Ⅷ－1	小穴	F・G10	上層		1.17	(0.55)	－		
156－46	Ⅷ－1	小穴	G10	上層	18C	0.80	(0.35)	－	唐】火入、伊】皿	
156－47	Ⅷ－1	小穴	G1	上層	17C後	(1.00)	0.98	0.25	伊】碗　唐】刷毛目皿	
156－48	Ⅷ－1	土坑	G1	上層		1.70	(1.00)	0.25	唐】鉢、石瓦	
156－50	Ⅷ－1	土坑	F・G1	上層	～19C中	2.83	(1.45)	0.78	土】D3 G、越】甕 鉢、唐】碗、伊】広東碗 皿 閉高台鉢、京】碗、信】碗、瀬】火鉢、瓦質】火鉢、瓦】桟瓦	近代遺物混じる
156－51	Ⅷ－1	溝	G1	上層		(2.45)	1.23	0.67		
156－52	Ⅷ－1	池状遺構	G1	上層	～19C中	4.00	(3.30)	0.82	土】G、越】甕Ⅶ 平鉢 擂鉢Ⅸ、伊】軸唐草文碗 皿 湯飲 閉高台鉢、瀬・美】竹文碗 植木鉢、京】碗、瓦】桟瓦	近代遺物混じる
156－53	Ⅷ－1	溝	G1・2	上層		(4.00)	1.15	0.36		
156－54	Ⅷ－1	土坑	G1	上層		1.15	(0.50)	0.42		
156－55	Ⅷ－1	井戸	G1	上層		1.58	(0.80)	1.24		最後に野面石で埋める
156－60	Ⅷ－2	土坑	G2	上層	18C	2.00	(1.00)	0.25	土】G、越】甕 鉢、伊】碗、唐】鉢、京】碗	
156－61	Ⅷ－2	溝	G2	上層	17C後～	4.00	0.20	－	唐】碗	
156－62	Ⅷ－2	井戸	G・H2	上層	18C後～	2.38	(1.20)	1.15	土】G、唐】刷毛目鉢、伊】碗、瀬・美】天目	近代遺物混じる
156－63	Ⅷ－2	井戸	G・H2	上層	17C後～18C後	2.05	1.70	－	土】G、越】擂鉢Ⅶ 鉢、唐】碗、伊】碗蓋 半筒碗 火入 灰吹、瀬】鉄釉鉢 灰釉仏花瓶、京・信】碗	
156－64	Ⅷ－2	土坑	G・H2	上層	18C後	(1.80)	(1.60)	0.58	土】G、越】甕Ⅶ 鉢、唐】皿 鉢、伊】竹笹文碗、京・信】鉄絵碗 皿、九】水滴	
156－65	Ⅷ－2	小穴	G2	上層	18C後	0.45	0.30	－	越】甕 鉢Ⅶ、伊】碗 皿、瀬】雨手土鍋	

遺構番号	調区層數番号	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
156－66	Ⅷ－2	土坑	G・H2	上層	18C後	2.50	(0.85)	－	土】CG、越】擂鉢甕 鉢、唐】碗 皿、伊】くらわんか碗 碗蓋 皿、京・信】碗、信】灯明皿 壺 碗、瓦】桟瓦	
156－67	Ⅷ－2	土坑	H2	上層	18C後～19C中	1.50	(1.20)	0.18	土】G、越】甕 壺 擂鉢、伊】陶胎染付碗 匹高台皿、信】灯明皿	
156－68	Ⅷ－2	土坑	H2	上層	18C後～	(1.80)	0.80	0.53	越】甕、伊】染付香炉	
156－69	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		(0.55)	(0.35)	－		
156－70	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		0.50	0.45	－		
156－71	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		0.40	0.35	－		
156－72	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		(1.20)	0.85	0.63		
156－73	Ⅷ－2	小穴	H2・3	上層	～近代	1.25	0.50	0.42	越】壺 鉢、伊】小碗 壺、京】碗、在】通い徳利、鋳型	近代遺物混じる
156－74	Ⅷ－2	小穴	H2・3	上層	18C後	1.15	(0.85)	0.33	伊】碗、唐】刷毛目大鉢、瀬】御深井擂絵碗、信】碗	
156－75	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	17C	1.20	0.95	0.36	土】D、唐】碗、瀬・美】天目	
156－76	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	1.50	0.80	0.46	唐】蛇の目釉剥鉢、中】染付	
156－77	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		1.80	0.95	－		
156－78	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		1.70	0.58	－		
156－82	Ⅷ－2	小穴	H2	上層	18C	1.00	(0.35)	0.47	伊】碗、京・信】端反碗、瀬】ねじ文鉢	
156－83	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		0.60	0.45	0.48		
156－84	Ⅷ－2	土坑	H2・3	上層	18C後	1.55	(0.60)	0.40	伊】碗 皿、瓦】棟	
156－85	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.80	(0.20)	－		
156－86	Ⅷ－2	小穴	H2・3	上層	19C～	－	－	－	土】G、越】甕 擂鉢 鉢、伊】碗 皿、唐】碗、瀬】壺 徳利、信】碗 土瓶 、瓦】桟瓦	近代遺物多く混じる
156－87	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C	1.20	0.25	0.25	伊】徳利	
156－88	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	1.55	1.05	0.61	土】CG、伊】半筒碗、京・信】笹文碗	
156－89	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	0.55	0.50	－	土】G、越】甕 擂鉢甕 鉢、伊】陶胎染付碗 皿、唐】碗、京・信】色絵碗、瀬】鉄釉碗 壺	
156－90	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.50	0.25	－		
156－91	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.25	0.25	－		
156－92	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.30	(0.15)	－		
156－93	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.55	0.35	0.27		
156－94	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	19C～	0.94	0.85	0.65	土】GH、越】壺 擂鉢 鉢、伊】半筒碗 皿 鉢 小杯、唐】鉢、信】笹文碗、瀬】染付碗 髪盥	近代遺物混じる
156－95	Ⅷ－2	小穴	H・I3	上層	18C後～	1.20	0.65	0.67	土】G、越】甕 擂鉢甕、伊】陶胎染付碗 匹高台皿 鉢、唐】鉢、信】壺、京】小碗、中】香炉 皿	
156－96	Ⅷ－2	土坑	H・I3	上層		0.45	0.38	0.28		99 → **96**
156－97	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C中～	0.70	(0.40)	0.30	土】G、唐】皿、備】小壺、瀬・美】御深井髪盥	
156－98	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.32	0.25	－		
156－99	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		1.20	0.80	0.72		**99** → 96
156－100	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		1.05	0.80	0.88		
156－101	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.85	0.60	0.30		
156－102	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.65	0.60	0.51	伊】白磁小皿	
156－103	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	0.98	(0.25)	－	土】G	
156－104	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.25	0.25	－		
156－105	Ⅷ－2	小穴	H・I3	上層	～近代	－	－	0.44	唐】皿、備】鉢、近】碗、瓦】桟瓦	
156－106	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.55	0.45	0.45		
156－107	Ⅷ－2	小穴	I3	上層		(1.20)	(0.35)	0.52		
156－108	Ⅷ－2	土坑	I3	上層	18C後	1.75	1.25	0.62	土】C3G、伊】半筒碗 皿 小杯	
156－109	Ⅶ－2	土坑	I3	上層	18C後～19C前	1.85	1.45	0.22	土】G、越】擂鉢甕、伊】素描碗 陶胎染付碗 皿、唐】鉢、京】碗、瀬・美】天目 壺	
156－111	Ⅶ－1	小穴	D8	上層		0.90	0.45	－		
156－112	Ⅶ－1	土坑	E8	上層	18C後	(1.90)	1.30	0.50	土】C2G、伊】菊花碗	
156－113	Ⅶ－1	井戸	D・E8	上層		(1.85)	1.65	0.70	唐】碗	
156－114	Ⅶ－1	溝	E9	上層		2.95	0.35	0.10		
156－115	Ⅶ－1	井戸	E9	上層	～近代	1.20	(1.00)	1.50	近】徳利 皿 香炉	
156－116	Ⅶ－1	小穴	E9	上層		0.90	0.55	0.15		
156－117	Ⅶ－1	小穴	E9	上層		1.25	0.55	0.20		
156－118	Ⅶ－1	土坑	E9	上層		1.78	1.55	0.14		
156－119	Ⅶ－1	溝	E9	上層	19C～	(4.50)	0.68	0.08	瀬】小碗	
156－120	Ⅷ－1	溝	E9	上層	19C～	(4.25)	0.20	0.07	伊】碗蓋、瀬】碗、在】酒徳利	近代遺物多く混じる
156－121	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		1.00	0.72	－		
156－122	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		1.45	0.70	0.30		
156－123	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.80	0.48	0.34		
156－124	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		0.45	0.40	－		
156－125	Ⅷ－1	小穴	F10	上層		(0.84)	0.68	0.57	土】C	
156－126	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	18C後	0.60	0.58	0.25	土】G	
156－127	Ⅷ－1	小穴	F11	上層		0.85	0.80	0.25		
156－128	Ⅷ－2	小穴	G2	上層		0.55	0.50	0.26		柱
156－130	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		0.80	0.40	0.14		
156－131	Ⅷ－2	小穴	H2	上層	19C前	0.85	0.67	0.13	伊】碗 皿 碗蓋	
156－132	Ⅷ－2	小穴	H2	上層		1.56	1.08	0.35		
156－133	Ⅷ－2	小穴	H2・3	上層	18C後	－	0.72	－	土】G、伊】碗 半筒碗、唐】刷毛目碗 灰釉瓶	
156－134	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	0.85	0.58	－	土】G 越】甕 壺 鉢、伊】半筒碗	
156－135	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	0.92	0.70	0.22	土】G、越】擂鉢甕、伊】陶胎染付碗 碗（五弁花文）半筒碗、美】志野、京】小碗	
156－136	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		(0.60)	0.52	0.24		
156－137	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		1.15	(0.60)	0.41	備】壺	
156－139	Ⅷ－2	小穴	H・I3	上層		1.00	0.70	0.44	伊】碗、瓦】赤	
156－140	Ⅷ－2	小穴	I3	上層		0.85	0.75	0.22		
156－141	Ⅷ－2	小穴	H3	上層	18C後	1.43	(0.35)	0.35	土】G、唐】鉢、瀬】鉄釉小壺、瓦】赤	
156－142	Ⅷ－2	小穴	I3	上層	17C	1.00	0.60	0.34	唐】碗	
156－143	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.65	0.65	－		
156－144		区画溝	I4	上層	18C後～近代	(7.00)	0.60	1.15	土】CDG、越】甕甕 壺 擂鉢 鉢、伊】碗 皿、唐】碗、京・信】碗 土瓶、丸】碗、瀬・美】仏花瓶 植木鉢 端反碗 碗蓋 鉢、瓦質】火鉢 鋳型、瓦】赤	153 → **144** 近代遺物多く混じる
156－145		区画溝	I4	上層	～近代	－	－	－	土】C2G、越】甕 壺 擂鉢甕 鉢、伊】碗 皿、唐】碗、京】碗、瀬・美】端反碗 碗蓋 片口、瓦】桟瓦	近代遺物多く混じる
156－149	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		－	－	－		
156－150	Ⅷ－2	小穴	H3	上層		0.35	0.25	－		
156－151		砂利敷道路	I3・4	上層	～近代	(8.00)	5.00	－	土】G、越】甕 壺 鉢、瀬・美】端反碗、瓦】桟瓦	近代陶磁器がほとんど

遺構番号	街区屋敷番号	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
156－152		石列	I3	上層	～近代	(2.00)	0.30	0.23	瀬・美】織部向付	道路境界石列
156－155	Ⅷ－1	小穴	F10	上層	18C 後	1.70	0.75	1.06	唐】碗 皿、美】鉄釉碗	
外堀（156－156）		堀	A5･6･7、J5	上層	～近代	(9.00)	－	2.24	土】G、越】甕 壺 鉢壇 擂鉢、伊】端反碗 広東碗 皿 蓋 曳膳口 仏飯器 香炉、唐】碗 皿 鉢、瀬・美】天目 太白碗 鉢 緑釉大鉢、京・信】鉄絵碗 鉄絵土瓶 、瓦質】焙烙 火鉢、瓦】赤	
156－157		小穴	I4	上層	18C 後	1.60	(0.90)	0.58	伊】コンニャク印判碗 半筒碗、瀬】腰手碗 鉄釉土瓶	
156－158		小穴	J5	上層		(0.80)	0.80	0.19		
156－159		土坑	B7	上層		1.85	1.45	1.28	土】C	
156－160		護岸施設	A6	上層		(7.30)	－	0.95		
156－161		石垣	A7	上・下層	18C 後	(3.10)	0.70	1.50	土】CDG、越】甕 擂鉢壇、伊】碗、京・信】碗、瓦】桟	
156－146	Ⅷ－2	小穴	I3	下層		－	－	－	在】壺	
156－147		溝	I3・4	下層	18C 後	(4.50)	0.70	(0.40)	越】擂鉢壇、伊】菊花文碗 水滴人形、美】天目 志野、瓦】桟 赤	
156－148		区画溝	E・F10	下層	18C 後～	(6.96)	－	0.80	土】C3DG、越】甕 擂鉢壇、伊】碗 皿 仏飯器 香炉、唐】碗 皿、瀬・美】天目 鉢	通路Ⅰの下層溝 近代遺物多く混じる
156－153		区画溝	I4	下層	18C 後	(6.00)	0.85	1.45	土】CHG、越】甕 擂鉢壇 鉢、伊】碗 皿 紅皿、唐】碗、九】碗、瀬】碗 鉢、瓦】桟瓦	**153**→144

第 10 表 FKJ06－5 調査区遺構観察表

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
065－1	Ⅸ	便所	C7	上層	幕末（19C）～近代	1.06	0.88	0.29	土】七輪、瀬】端反碗 皿、越】擂鉢、瓦】赤－平	桶側一部残存 132→**1**
065－2	Ⅸ	石組水路	C7	上層	（17C 後～）近代	5.28	4.04	1.25	土】皿、伊】皿 大皿、瀬】端反碗 皿、唐】鉢、信】鉄絵碗 皿、越】鉢 擂鉢、瓦】赤－軒平	石組水路内堆積
065－3	Ⅸ	便所	C7	上層	（17C 後？）幕末～近代	0.63	0.57	0.23	伊】瓶、越】擂鉢、瓦】赤－平、銅】徳利	桶側等残存 133→**3**
065－4	Ⅸ	柱穴	C6	上層	17C 後	0.61	0.46	0.43	土】皿、唐】叩き甕、瓦】桟－平・丸	柱穴列 065－123・32・4 等
065－5	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.68	0.42	0.30		柱穴列 065－4・5・6・80 等 065－4 に切られる
065－6	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.84	0.60	0.25		柱穴列 065－4・5・6・80 等
065－7	Ⅸ	柱穴か	B6	上層		0.44	0.31	0.11		小規模な柱穴列 065－64・7・134・84 等
065－8	Ⅸ	柱穴か	B6	上層		0.77	0.50	0.38		柱穴列 065－8・29 065－8・24
065－9	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.29	0.25	0.08		
065－10	Ⅸ	柱穴	B6	上層		0.70	0.60	0.59		柱根僅かに残存 柱穴 065－19 と対応
065－11	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.23	0.20	0.13		小規模な柱穴列 065－72・11・75・22 等 065－12 に切られる
065－12	Ⅸ	土坑	C6	上層		0.56	0.43	0.12		柵柱穴を破壊か
065－13	Ⅸ	大型土坑	C6	上層	17C 後（大火後）	1.19	1.15	0.42	土】皿、伊】碗、中】青磁鉢、唐】皿 刷毛目大皿、瓦】桟－平、南蛮】長胴壺	
065－14	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.37	0.28	0.17		柱穴か
065－15	Ⅸ	柱穴	B6	上層	17C 後	0.40	0.31	0.27	唐】壺、瓦】桟－平	礎石か 16→**15**
065－16	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.76	0.69	0.17		**16**→15
065－17	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.61	0.59	0.12		
065－18	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.48	0.28	0.07		
065－19	Ⅸ	柱穴	B6	上層		0.40	0.12	0.29		柱根僅かに残存 065－17・18 に切られる
065－20	Ⅸ	土坑	B6	上層	（17C 後）幕末～近代	0.85	0.70	0.38	伊】瓶、中】染付碗、越】擂鉢	89・109→**20**
065－21	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.59	0.46	0.10		柵柱穴を破壊か
065－22	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.33	0.25	0.34		小規模な柱穴列 065－72・11・75・22 等
065－23	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.91	0.59	0.26		柱穴か
065－24	Ⅸ	柱穴	B6	上層	17C 初	0.65	0.52	0.28	唐】碗	
065－25	Ⅸ	土坑	B6	上層		(0.60)	0.43	0.17		
065－26	Ⅸ	土坑	B6	上層	18C 後	1.05	0.59	0.34	土】皿、伊】陶胎染付碗、越】擂鉢	柱穴か
065－27	Ⅸ	土坑	B6	上層	17C 後	0.31	0.27	0.12	瓦】桟－平	
065－28	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.38	0.33	0.13		
065－29	Ⅸ	柱穴	B6	上層		0.82	0.35	0.50		柱穴列 065－8・29
065－30	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.32	0.16	0.11		
065－31	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.40	0.39	0.22		
065－32	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.36	0.27	0.27		柱穴列 065－123・32・4 等 065－31 に切られる
065－33	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.61	0.48	0.11		柵柱穴を破壊か 34→**33**
065－34	Ⅸ	土坑	B6	上層	17C ？	0.80	0.53	0.22	土】皿	柵柱穴を破壊か **34**→33
065－35	Ⅸ	土坑	B7	上層		0.56	0.51	0.17		
065－36	Ⅸ	大型土坑	C7	上層	18C 前	1.27	1.12	0.41	土】皿、信】茶壺	37・38→**36**
065－37	Ⅸ	大型土坑	C6	上層	17C 後（大火後？）	1.47	1.18	0.64	土】皿、伊】瓶、越】擂鉢、瓦】桟－平、銅】徳利？	**37**→36
065－38	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.60	0.43	0.11		**38**→36
065－39	Ⅸ	土坑	C7	上層	17C 後？	0.61	0.53	0.12	土】皿	
065－40	Ⅸ	溝	C7	上層		(10.96)	0.30	0.07		砂利敷道路や石組水路とほぼ平行
065－41	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.37	0.30	0.12		**41**→43
065－42	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.19	0.18	0.10		
065－43	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	18C 前～後	(1.17)	0.82	0.33	土】皿、伊】筒香炉？唐】刷毛目碗、瀬】灰釉製皿、越】鉢	炭化物・有機質多く含む 41→**43**
065－44	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	17C 後～18C 前	(1.35)	0.92	0.16	土】皿、伊】碗、唐】刷毛目鉢、越】擂鉢	石製品

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
065－45	Ⅸ	土坑	B6	上層	17C前	(0.93)	0.73	0.36	唐】叩き甕 藁灰釉鉢、瓦】赤	
065－46	Ⅸ	土坑	B6	上層	18C前	0.44	0.31	0.44	唐】京風碗、瓦】桟－平	92→**46**
065－47	Ⅸ	大型土坑	B6	上層	17C後（大火後？）	1.48	(1.36)	0.47	伊】鉢？ 唐】呉器手碗、瓦】桟－平・丸 赤－平	道路脇 **47**→46
065－48	Ⅸ	大型土坑	C6	上層		1.16	1.05	0.37		49→**48**
065－49	Ⅸ	土坑	C6	上層	17C	0.72	0.30	0.27	唐】刷毛目大皿、信】擂鉢	**49**→48 完掘時に痕跡残らない
065－50	Ⅸ	大型土坑	C6	上層		1.09	0.93	0.33		**50**→49
065－51	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	(17C後) 幕末～近代	0.82	0.36	0.32	土】皿、唐】京風碗 刷毛目鉢、堺】甕、瓦】桟－平・丸 赤－丸	便所か 52→**51**
065－52	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	幕末～近代	1.66	1.40	0.40		桶の抜き跡 便所か **52**→51
065－53	Ⅸ	柱穴	C6	上層	17C	0.58	0.48	0.40	土】皿	礎石・柱根（角材・貫あり） 125→122→54→**53** 柱穴列065－53・73・107・97・80等
065－54	Ⅸ	柱穴か	C6	上層	17C後	0.35	0.34	0.38	伊】碗	125→122→**54**→53
065－55	Ⅸ	土坑	C6	上層		0.77	0.73	0.22		
065－56	Ⅸ	大型土坑	C6	上層	17C後～18C前	1.28	0.92	0.62	伊】碗、瀬】織部向付、堺】擂鉢、瓦】桟－平、備】瓶	
065－57	Ⅸ	土坑	C7	上層		1.05	0.55	0.16		
065－58	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	19C	0.96	0.54	0.07	陶】水注	有機質少ない 下駄等
065－59	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.36	0.23	0.07		60→**59**
065－60	Ⅸ	土坑	C7	上層	17C？	0.39	0.37	0.10	土】皿	**60**→59
065－61	Ⅸ	便所	D7	上層	(17C後) 幕末～近代	0.53	0.42	0.13	土】皿、伊】碗、唐】刷毛目碗 呉器手碗 瓶、瀬】鉄釉碗、堺】鉢、瓦】桟－平、陶】鉄釉土鍋	桶側一部残存
065－62	Ⅸ	便所	D7	上層	(18C後) 幕末～近代	0.85	0.66	0.27	土】皿、伊】鉢 碗 瓶 紅皿、唐】甕、堺】鉢 甕 擂鉢	桶側・底板残存
065－63	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.24	0.21	0.04		
065－64	Ⅸ	柱穴	B6	上層		0.18	0.15	0.03		小規模な柱穴列065－64・7・134・84等
065－65	Ⅸ	土坑	C6	上層		0.41	0.39	0.24		礎石か
065－66	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.61	0.29	0.26		
065－67	Ⅸ	大型土坑	C6	上層	16C後～17C前	1.51	(0.69)	0.78	土】皿	
065－68	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.50	0.25	0.10		柱穴列065－4・5・6・80等
065－69	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.28	0.25	0.10		柱穴列065－4・5・6・80等 柱穴列065－87・70・69
065－70	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.39	0.24	0.07		柱穴列065－87・70・69
065－71	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.40	0.37	0.21		
065－72	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.28	0.27	0.25		小規模な柱穴列065－72・11・75・22等
065－73	Ⅸ	柱穴	C6	上層	17C（～近代）	0.78	0.65	0.65	瀬】瓶、唐】叩き甕	柱根僅かに残存 柱穴列065－53・73・107・97・80等
065－74	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.40	0.33	0.27		
065－75	Ⅸ	柱穴	C6	上層	17C前？	0.24	0.21	0.16	土】皿、唐】碗？	小規模な柱穴列065－72・11・75・22等
065－76	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.19	0.18	0.16		
065－78	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	(17C後～) 19C	1.01	0.87	0.19	土】皿、伊】碗、瓦】赤－丸	101→**78**
065－79	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	19C	0.82	0.76	0.07	土】皿、伊】コンニャク碗、唐】刷毛目鉢 片口鉢、瀬】灰釉瓶（尾瓶？）、堺】擂鉢	
065－80	Ⅸ	柱穴	C6	上層	18C～	0.92	0.49	0.40	土】皿、伊】碗	礎石 柱穴列065－4・5・6・80等 柱穴列065－53・73・107・97・80等
065－81	Ⅸ	土坑	C6	上層		(0.50)	(0.35)	0.60		便所か **81**→82
065－82	Ⅸ	廃棄土坑	C6	上層	幕末～近代？	1.15	0.72	0.32		桶等の抜き跡 便所か 81→**82**
065－83	Ⅸ	埋甕	C7	上層	18C中～後	0.50	0.36	0.20	伊】皿 碗、唐】皿 刷毛目碗？ 信】灰釉小碗、堺】甕	埋甕（底部を切断した体部下半） 065－1に切られる
065－84	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.22	0.19	0.11		85→**84**
065－85	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.38	0.29	0.17		**85**→84
065－86	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.41	0.30	0.25		
065－87	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.60	0.52	0.09		柱穴列065－87・70・69
065－88	Ⅸ	大型土坑	B6	上層	17C後～18C前	1.53	1.05	0.45	唐】皿 碗、瓦】桟－平・丸	道路脇 89→20・**88**
065－89	Ⅸ	大型土坑	B6	上層		3.10	1.15	0.51		道路脇 **89**→20・88
065－90	Ⅸ	土坑	C6	上層		0.29	0.26	0.10		
065－91	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.28	0.21	0.07		
065－92	Ⅸ	土坑	B6	上層	17C後～18C前	0.49	0.41	0.48	伊】小壺、堺】擂鉢	**92**→46
065－93	Ⅸ	大型土坑	B6	上層	17C後	1.68	0.80	0.43	伊】碗、唐】甕 鉛釉平鉢 皿、瓦】桟－平、陶】土瓶	道路脇 94→**93**→47・95→115
065－94	Ⅸ	大型土坑	B6	上層	17C後	1.40	0.55	0.44	伊】碗	道路脇 **94**→93→47・95→115
065－95	Ⅸ	大型土坑	B6	上層	17C後	1.39	1.22	0.57	土】皿、唐】溝縁皿、瀬】天目、堺】甕、瓦】桟－平	道路脇 94→93→47・**95**→115
065－96	Ⅸ	柱穴か	B6	上層		0.30	0.25	0.15		
065－97	Ⅸ	柱穴	C6	上層	17C前	0.45	0.38	0.20	中】染付碗、唐】皿	柱穴列065－53・73・107・97・80等
065－98	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.42	0.38	0.39		
065－99	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.60	0.42	0.29		100→**99**
065－100	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.45	0.40	0.52		**100**→99
065－101	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	18C後	2.15	1.15	0.15	土】香炉？ 皿 羽釜、伊】小壺、唐】鉢、堺】小壺	造成土か **101**→78

遺構番号	街区	遺構種別	地区	遺構面	時期	規模（m）			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
065－102	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	17C 後～18C 後	2.36	1.85	0.86	土】皿 施釉人形、伊】端反鉢 皿 陶胎染付碗、唐】呉器手碗 刷毛目碗 刷毛目大皿、瀬】鉄釉瓶、信】色絵小碗、越】甕 擂鉢 火鉢？ 瓦】赤－丸・平・特殊 燻－丸・平	103・126→**102**→110・120
065－103	Ⅸ	廃棄土坑	C7	上層	18C	1.13	0.63	0.24	伊】くらわんか碗、伊】刷毛目碗、越】甕 擂鉢、瓦】赤－丸	**103**→102→110
065－104	Ⅸ	大型土坑	D7	上層	17C 後	1.23	0.82	0.45	土】灯明皿 皿、唐】刷毛目大皿 呉器手碗 絵付皿、瓦】燻－平	105→**104**
065－105	Ⅸ	大型土坑	D7	上層	18C 後	1.86	1.37	0.30	土】皿、瓦】赤－平	**105**→104
065－106	Ⅸ	土坑	C7	上層	18C 前～後	0.49	0.47	0.12	越】擂鉢	
065－107	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.62	0.44	0.16		柱穴列 065－53・73・107・97・80 等
065－108	Ⅸ	溝	B6	上層	17C 後～	2.90	0.54	0.25	瓦】燻－平	砂利敷道路側溝にあたる位置 065－89・95・96 等に切られる
065－109	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.61	0.32	0.12		**109**→20
065－110	Ⅸ	廃棄土坑	D7	上層		0.78	0.58	0.18		103→102→**110**
065－111	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.59	0.47	0.19		**111**→89
065－112	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.38	0.27	0.26		**112**→89・111
065－113	Ⅸ	土坑	D7	上層		0.33	0.30	0.05		
065－114	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.37	0.21	0.10		
065－115	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.71	0.28	0.17		柱穴か
065－116	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.33	0.22	0.13		
065－117	Ⅸ	土坑	C7	上層	17C 後～18C 前	0.34	0.30	0.07	土】皿、唐】京風碗	
065－118	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.22	0.20	0.10		
065－119	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.25	0.15	0.12		
065－120	Ⅸ	石垣裏込	C7	上層	17C 後～18C 中	－	－	0.88	土】皿、伊】中鉢 皿、唐】京風碗、信】鉄釉瓶口 鉄絵碗、越】擂鉢 甕	裏込造成土中 126→102・**120**
065－121	Ⅸ	洗い場	C7	上層	18C 後（～19C 中）	5.28	4.04	1.25	土】皿、伊】筒碗 碗 大皿 なます鉢、瀬】端反碗、唐】刷毛目片口鉢 呉器手碗、信】端反碗、越】擂鉢 小壺 鉢、瓦】燻－丸・平 赤－丸・平・鬼？（葵紋）、陶】土瓶	廃絶時の埋土も含む
065－122	Ⅸ	土坑	C6	上層	17C 初～前	0.47	0.39	0.16	唐】叩き甕 灰釉碗？	125→**122**→54→53
065－123	Ⅸ	柱穴	C6	上層		0.65	（0.25）	0.65		
065－124		砂利敷道路	B6	上層	（17C 後）近世～近代	（5.63）	1.90	－	土】皿、伊】碗、唐】鉄釉碗、越】擂鉢、瓦】燻－平・丸、須】坏	砂利敷舗装薄い
065－125	Ⅸ	柱穴か	C6	上層		0.62	（0.44）	0.19		**125**→122→54→53
065－126	Ⅸ	溝	C7	上層	18C 後～19C 中	2.63	0.48	0.51	伊】瓶 碗、瀬】端反碗、唐】擂鉢、信】瓶白壺、越】擂鉢 甕	101 の下層 **126**→102・120
065－127	Ⅸ	溝	C7	下層	古代か	（5.30）	0.67	0.25		
065－128	Ⅸ	溝	B6	下層	古代か	（7.32）	0.79	0.25		
065－129	Ⅸ	溝	B6	上層		3.44	0.44	0.25		道路砂利敷舗装下
065－130	Ⅸ	土坑	B6	上層		0.35	0.34	0.38		道路砂利敷舗装下
065－131	Ⅸ	溝	C7	下層	古代か	（6.63）	0.94	0.27		
065－132	Ⅸ	土坑	C7	上層	17C 後（～19C 中）	1.03	0.65	0.27	土】皿、伊】碗 白磁小壺、唐】呉器手碗、信】小碗？ 瓦】燻－平	**132**→1
065－133	Ⅸ	土坑	C7	上層		0.40	0.31	0.21		**133**→3
065－134	Ⅸ	柱穴	B6	上層		0.22	0.22	0.15		小規模な柱穴列 065－64・7・134・84 等
065－135	Ⅸ	石列	B6	上層	幕末～近代	4.13	0.43	0.53		道路砂利敷舗装上 盛土造成の土留

註】主な出土遺物の項目で使用している略称は以下のとおりである。「土」→「土師質土器」、「伊」→「伊万里焼」（肥前産磁器）、「唐」→「唐津焼」（肥前産陶器）、「瀬」→「瀬戸窯」、「美」→「美濃窯」、「越」→「越前窯」、「京」→「京焼」、「信」→「信楽窯」、「九」→「九谷窯」、「備」→「備前窯」、「中」→「中国産陶磁器」、「在」→「在地産陶磁器」、「瓦質」→「瓦質土器」、「土師」→「古墳・古代土師器」、「須」→「須恵器」。また、瓦の項目に使用している略称は次のとおりである。「燻」→「燻瓦」、「赤」→「赤瓦」、「丸」→「丸瓦」、「平」→「平瓦」、「軒丸」→「軒丸瓦」、「軒平」→「軒平瓦」。

参考文献

福井県　2019 『福井城山里口御門復元整備事業報告書』

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター　2004
福井県埋蔵文化財調査報告第 72 集『福井城跡』―JR 北陸線外2線連続立体交差事業および高架側道4号線街路工事に伴う調査―

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター　2009
福井県埋蔵文化財調査報告第 109 集『福井城跡』―北陸新幹線福井駅部建設事業に伴う調査―

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター　2014
福井県埋蔵文化財調査報告第 146 集『福井城跡』―JR 北陸線外2線連続立体交差事業に伴う調査―

福井市文化財保護センター　2004
『福井城跡Ⅳ』―福井駅付近連続立体交差事業および市道宝永清川線改善事業に伴う発掘調査報告書